



東日本大震災

久慈市の記録

2011.3.11～2012.3.11

久慈市
久慈市災害対策本部
久慈市東日本大震災復旧復興本部



あいさつ



平成23年3月11日、午後2時46分三陸沖を震源とするマグニチュード「9.0」の大地震が発生し、この地震による大津波の襲来は、沿岸部を中心に未曾有の被害をもたらしました。

この大津波は、尊い命を奪い、美しい三陸海岸を形成する沿岸部の漁村をすさまじい破壊力で一瞬にして瓦礫の山に変えました。私たちの先人が脈々と築いてきた財産を無残な姿に変え、市民の生活基盤を奪い去りました。愛する家族を失い、住み慣れた家や生活を支える漁船、漁具、そして、職場を奪われた方々の悲しみは、言葉に表すことが出来ません。無念にも今回の大津波の犠牲になられた方々に心から哀悼の

意を表し、また、被災を受けられました方々に心からお見舞い申し上げます。

この度の「東日本大震災」に係る復旧・復興に際しましては、多くの皆様から、様々な形でご支援をいただいたところであります。特に、国及び県におきましては、早期に現地入りをして、状況把握をし、その対策に取り組んでいただき、「復興道路」として高規格幹線道路「八戸・久慈自動車道」、地域高規格道路「三陸北縦貫道路」の早期完成を決断されるなど、多くのご支援をいただいているところであります。

おかげをもちまして、復旧・復興に向けた取り組みが強力に進められてきているものと認識をいたしており、感謝申し上げます。

顧みますと本市では、過去において水害や大火など幾多の災害を被ってきた歴史があります。今回の「東日本大震災」による被害は甚大であります。幾多の災害から不屈の精神で立ち上がってきた先人たちの労苦を思い起こし、市民の英知と努力を結集し、復興に立ち向かって行かなければなりません。

本市におきましては、昨年7月に県内被災地に先駆け「久慈市復興計画」を市民の皆様のご理解のもと早期に策定することが出来ました。本市の復興に向け「新たな視点による新たなまちづくり」を目標に据え、取り組んで参りたいと考えており、今後の本市の指針として、「復旧・復興そして飛躍」を実現し、久慈市総合計画に掲げます「夢・希望・未来に向かってひと輝くまち」に向かって皆様と共に取り組んでまいりたいと考えております。

今回の震災により、甚大な被害を受けたところでありますが、その中であって、本市では尊い命が多く残りました。これは、日頃からの訓練により防災意識が高かったことから、速やかな初動活動と避難行動ができたことによるものと考えております。防災対策の大きな柱は、湾口防波堤や防潮堤などのハードの整備と日頃からの災害に対する心がけであることが再認識されたところであります。

震災から1年を経て、後世に記録を残すことにより、この災禍を記憶にとどめ、さらなる久慈市の飛躍を期すものであります。

平成24年3月

岩手県久慈市長 山内隆文

目 次

No.	項 目	頁
1	東日本大震災：久慈市の記録	4
1	東日本大震災：久慈市の記録	4
2	浸水エリア	19
3	久慈港を襲う大津波	30
2	復興計画（久慈市復興の羅針盤）	32
3	復旧・復興への主な取組・動き	41
1	避難所の状況	41
2	災害義援金、救援・支援物資等について	42
3	函館からの贈り物：水産業への活力	46
4	食料、燃料等の確保について	48
5	久慈地区災害ボランティア活動状況	49
6	断水・給水等について	54
7	久慈市災害廃棄物処理状況と方向	56
8	議会と共に取り組む	59
9	復旧・復興への主な取組・動き【一覧表】	60
4	久慈市災害対策本部・復旧復興本部の状況	86
5	東日本大震災に係る久慈市の対応について	105
6	義援金等支援者名簿	117
1	義援金寄付者名簿	117
2	寄付金寄付者名簿	127
3	救援物資寄付者名簿	129
4	協力団体等名簿	133
7	「広報くじ」ダイジェスト	134
	東日本大震災復旧復興本部規程 (平成23年3月30日制定)	200
	東日本大震災記録集編集運営委員会設置要領 (平成23年10月24日設置)	203

東日本大震災

久慈市の記録



平成 23 年 3 月 11 日、東日本大震災発生。マグニチュード 9.0 という世界最大級の地震は、巨大な津波を引き起こし、このまちから数え切れないほどの財産と、かけがえのない命までをも奪い去りました。

数十年後、100 年後も決して忘れてはならない未曾有の大災害。おびえるのではなく、備えるために。支え合い、全市民の力で復興を果たすために。震災による甚大な被害と、力強く前に進む人たちの姿を、皆さんの胸に刻んでもらえればと思います。

写真…勢いよく陸地にぶつかり、大きなしぶきを上げる津波（平成 23 年 3 月 11 日 15 時 33 分ころ・久慈湊地区金刀比羅神社から撮影）



久慈を襲った大津波 驚異と惨状

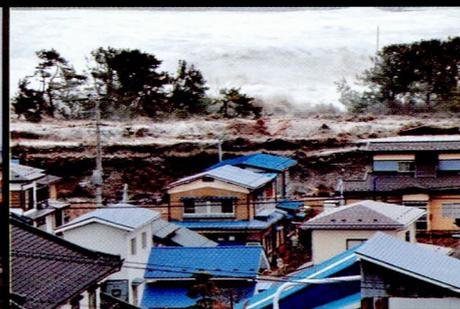
平成23年3月11日（金）14時46分ころ、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、久慈市でも震度5弱を観測しました。地震により市内全域で停電と断水が相次ぎ、14時49分には大津波警報が発表。約40分後、大津波が沿岸部に襲い掛かりました。何度も何度もまちを襲い、漁港や工場、家屋などをのみ込んだ津波。信じられない、信じたくないような惨状が沿岸部に広がりました。



15:32 ころ。勢いを増しながら迫る第1波



15:32 ころ。海の端から端までが大きな壁に



15:34 ころ。防潮堤を越波。背後にはすぐ第2波が



15:36 ころ。第2波襲来。海面はさらに上昇



17:32 ころ。津波が遡上し、はん濫寸前となった久慈川

驚異

惨状

半崎
久慈湊 1
諏訪下 3
玉の脇 4

久喜 5



- 1 / 半崎地区。ほぼ全ての地上施設が壊滅した久慈国家石油備蓄基地
- 2 / 久慈湊地区。家屋などの倒壊、損壊が続出しました
- 3 / 諏訪下地区。防潮堤を越えて打ち上げられた漁船。周囲一帯ががれきの山に
- 4 / 玉の脇地区。全壊した漁港施設。漁船や漁具なども津波に奪われました
- 5 / 久喜地区。12mの防潮堤をも越えた津波は、深い爪痕を残しました

12mの防潮堤をも越えて大津波はまちを襲った⁵



募る不安、生活は混乱

ただならぬ危険を察知し、多くの人々が迅速に避難。しかし大津波の驚異に避難者は不安と恐怖を募らせました。また、地震発生直後から停電や断水などが続き、燃料や食料も不足。“日常”は一変し、全市民の生活が大混乱に陥りました。



1・2 / 久慈湊地区の金刀比羅神社。最小限の荷物を手にし、すばやく避難した住民。誰もが不安と恐怖で表情をこわばらせていました (3月11日)
3 / 市全体の避難者は最大で2,916人。福祉の村には、千人近くが避難しました (3月11日)



- 1 / スーパーなどでは、水やカップラーメンなどの保存食は売り切れ。電池や医薬品など物資の不足が続きました (3月16日)
- 2 / 電気の大切さを痛感。停電で暗く寒い夜が続きました (3月12日)
- 3 / 燃料不足で大混乱。わずかな燃料を求める車が1km以上にわたって列をつくりました (3月17日)
- 4 / 水すら出ない。自衛隊の給水車の前に列をつくる市民 (3月12日)



不安 混乱

支え合った市民の絆



1 2

厳しく困難な状況に陥った久慈市。しかし、困難を乗り越え、不安を和らげるために、私たちは自然に支え合いました。がれきに覆われた沿岸部や避難所、隣近所などでも見られた「支え合い」。そこには確かな市民の絆がありました。

絆

- 1 / 必死になって行方不明者を捜索する消防団員。水門閉鎖や避難誘導などに加え、自らの地域も支え続けた消防団活動は、使命感と地域愛に満ちていました (3月19日)
- 2 / 久喜公民館。避難者などのため、食事を準備する皆さん (3月17日)
- 3・4 / 被災者にエールを送る災害ボランティア (3月21日)



3 4

- 5・6 / 被災者のために一。ほこりにもみれながら、がれき撤去や家の片付け作業に汗を流す災害ボランティア (5・3月24日、6・3月19日)
- 7 / 募金を呼び掛ける高校生ら。多くの善意が集まりました (3月21日)



5 6



7



9

世界、全国からの熱い支援

世界、全国から熱い支援が久慈市に寄せられています。自衛隊や消防、警察などは、危機を救うために全国から駆けつけてくれました。物資や義援金のほか、被災した人たちを元気づけ、癒やそうとする活動も。温かい心と願いがこもった支援活動は多岐にわたっています。
写真…半崎地区で、行方不明者の捜索や漂流物の撤去作業にあたる緊急消防援助隊（3月19日）



物資の搬送や炊き出しなどを行った自衛隊（3月17日）



全国から届けられた支援物資（3月16日）



電気の復旧に向けて懸命に作業（3月19日）



必死の形相で作業にあたる消防援助隊（3月19日）



市外国語指導助手も心を込めて作業（3月24日）



全国から駆け付けた車両（3月14日）



小学校などを訪問した、さかなクン（4月13・14日）



闘牛で縁のある市町村からも義援金（6月12日）



学習院大学の学生も支援活動（7月18 - 22日）



N 響復興支援コンサート（8月9日）



二十山親方や春日野部屋の力士が励まし（8月15-22日）



出前講座で久喜小を訪れた滝川クリステルさん（9月13日）



善意の結晶 函館義援船

函館市内漁業協同組合長連絡協議会と函館市から無償で提供された磯舟 228 隻。函館の善意の結晶は、漁業者に再起への力を与えてくれました（6月5-8日）

がんばれ東北!! がんばれ久慈!!

復旧、復興へ一歩ずつ

多くの支援に励まされながら、久慈市は復旧・復興に向けて一歩ずつ歩みを進めてきました。沿岸部を埋め尽くしたがれきなどは、いち早く撤去。復興を果たすための課題はありますが、一日も早い生活と産業の立て直しを目指し、全力で取り組みを進めています。

写真…平沢地区の仮置き場に集積されたがれき（4月8日）



1 2
3

- 1 被災は地上だけでなく海中にも。港湾、漁港機能に大きな影響を及ぼした沈下がれきの撤去作業（5月20日）
- 2 旧長内中学校敷地内での応急仮設住宅の建設作業。このほか仮設住宅は旧久慈水産高校敷地内にも整備しました（4月21日）
- 3 壊滅的な被害を受けた沿岸部。がれきを撤去し、急ピッチで応急復旧工事を進めました。現在では、仮設の作業場なども漁港周辺に整備されています（4月8日）
- 4 復興と新たなまちづくりを進めるための市復興計画。地域と意見を交わし、策定作業を進めました。久慈市は県内市町村に先駆けて7月22日に同計画を策定しました（7月6-15日）
- 5 復興のシンボルの一つとなる三陸沿岸道路の中心杭設置式。早期完成の期待がかかる復興道路が始動しました（平成24年2月19日）



久慈湊地区



玉の脇地区



小袖地区



久喜地区



がれきで覆われた惨状

迅速ながれき撤去作業



45





私たちは負けない

震災後も衰えない強い意志と使命感。大津波から多くの命を守った消防団。地域愛に満ちたその活動はこれからも続きます





- 1 / 奮起し、漁を再開。船の上は漁業者の熱意と決意であふれていました
- 2 / 困難の中、5月5日から開催した二子朝市
- 3 / 5月に早期再開を果たした市漁協冷凍工場

- 4 / 伝統を絶やさず実演。小袖北限の海女の会
- 5 / ゼロから再出発を果たした「もぐらんぴあ」
- 6 / 海に懸ける覚悟。アワビ漁に臨む漁業者
- 7 / 避難意識の高まりが感じられた津波避難訓練



やるしかない。甚大な被害を受けながらも再起に向けて立ち上がった多くの人たち。その姿は力強さを感じさせるものでした。これまでも久慈市は、津波など多くの災害や困難を乗り越えてきました。私たちは負けない。大震災にも屈しない。全市民の力と思いを一つにし、前に進んでいきましょう。

大震災に屈しない

みなぎる久慈市の底力。復興への願いが結集した久慈秋まつり。全市民の力と思いを一つにすれば、きっと復興も果たせるはずだ



資料 久慈市の被害状況 (平成24年1月31日現在)

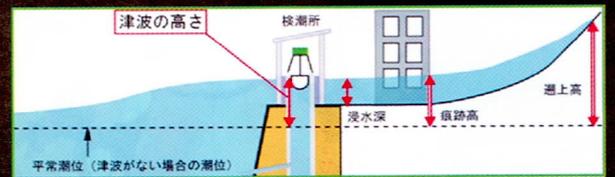
津波の浸水範囲



久喜地区の浸水範囲



津波の高さと浸水面積



●津波関係

波高	遡上高	河川遡上
8.6m (気象庁・久慈港)	27m程度 (市調査・久喜漁港)	約4m (市調査)

●浸水面積 3.67km² (市調査)

被害状況の数値

1. 人的被害

死亡	行方不明	重傷	軽傷
4人 (うち1人は市外で被災)	2人	2人	8人

2. 住家・非住家被害

地区名	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
久慈地区	1 (0)	0 (0)	12 (10)	71 (56)	84 (66)
小久慈地区	0 (0)	0 (0)	1 (1)	14 (13)	15 (14)
長内地区	141 (18)	39 (8)	264 (100)	105 (65)	549 (191)
大川目地区	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (6)	13 (6)
夏井・湊地区	137 (34)	36 (16)	115 (59)	150 (117)	438 (226)
宇部地区	72 (13)	14 (8)	17 (9)	24 (23)	127 (53)
侍浜地区	4 (0)	0 (0)	1 (1)	9 (7)	14 (8)
山根地区	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)
山形地区	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (3)	7 (3)
合計	355 (65)	89 (32)	410 (180)	394 (291)	1,248 (568)

※棟数は住家・非住家の合計。()内は住家のみ棟数

3. 被害額

区分	概要	被害額
商工関係	商業関係 57 社、工業関係 49 社、計 106 社	149 億 5,267 万円
水産関係	公共施設 8 力所、民間施設 217 力所、漁船 575 隻ほか	89 億 4,282 万円
住家・非住家	1,248 棟	42 億 1,438 万円
漁港施設等	13 力所	10 億 6,450 万円
観光施設	8 力所	8 億 9,898 万円
林業関係	4 力所	4 億 1,300 万円
土木施設関係等	道路 15 路線、下水道 3 力所、公園 3 力所ほか	2 億 5,413 万円
農業関係施設	施設等 2 棟、家畜等 1 式、農作物等 4 力所ほか	1 億 4,947 万円
消防施設	屯所全壊、防災行政無線屋外拡声子局倒壊ほか	7,430 万円
医療衛生施設	上水道 14 力所、衛生施設 2 棟	7,381 万円
通信関係	7 力所	2,626 万円
社会教育・文化・体育施設	2 力所	1,936 万円
防犯・交通・衛生関係	40 力所	526 万円
社会福祉施設	3 施設	61 万円
学校関係	6 校	60 万円
合計		310 億 9,015 万円

※各項目の金額は 1 万円未満を四捨五入しています



著しく損壊した北日本造船株久慈工場



津波で全壊した住宅 (久喜地区)



大きな被害を受けた市営魚市場



全壊した地下水族科学館もぐらんぴあ

追悼と復興への決意。さまざまな思いをかみしめる出席者



復興へ一丸

東日本大震災から一年 決意と祈り



平成 24 年 3 月 11 日
久慈市東日本大震災復興祈念式

久慈市東日本大震災復興祈念式を市漁業協同組合で挙行。出席者は悔しさや悲しさなどの思いを胸に、犠牲になった方々を追悼し、復興に向けて全市民一丸となって突き進むことを決意しました。



思いを込めて献花する出席者

祈

港に広がった優しく温かい光



久慈港岸壁で「鎮魂と復興」希望の灯りをつくる会を開催。小・中学生や有志が心を込めて作った 3,800 個のキャンドルに火をともし、犠牲になった方々の冥福と、まちの復興を祈りました。

「鎮魂と復興」希望の灯りをつくる会

平成 24 年 3 月 11 日



決意

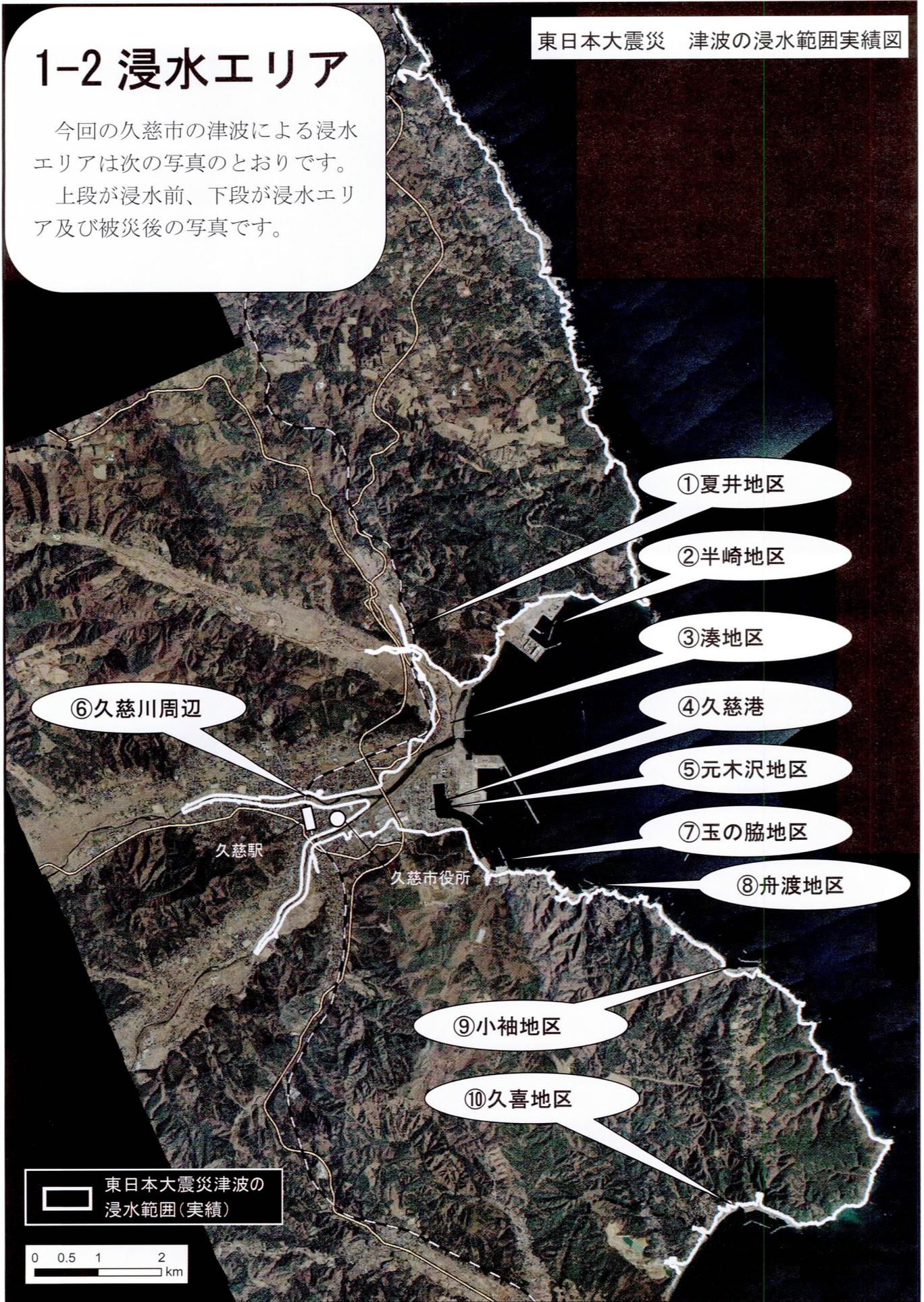


「3・11」などの形に並べられたキャンドル。連なる光に多くの人の思いが繋がります

1-2 浸水エリア

今回の久慈市の津波による浸水エリアは次の写真のとおりです。

上段が浸水前、下段が浸水エリア及び被災後の写真です。

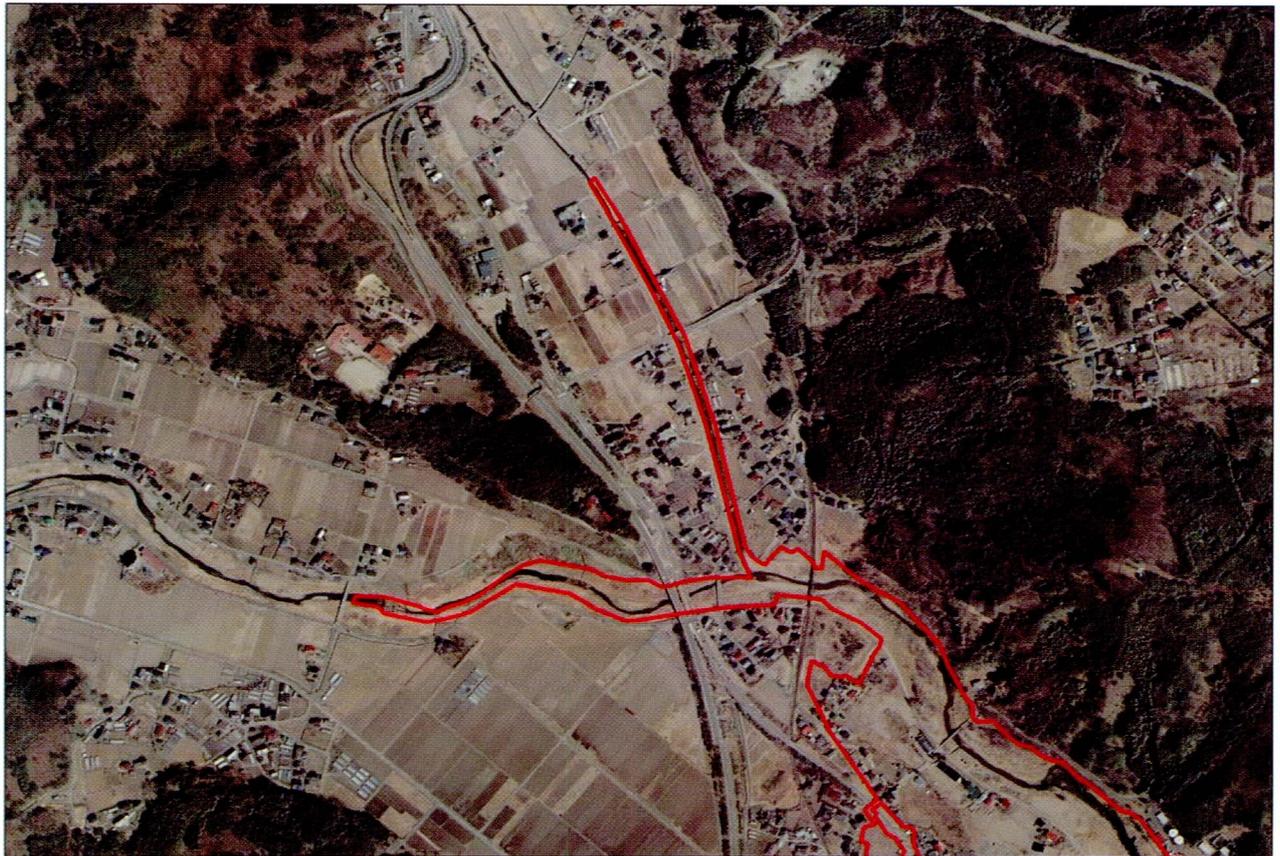


出典：岩手県河川課資料をもとに作成

被災写真(地震・津波 前後比較)



① 夏井地区 被災前(H22年9月)



① 夏井地区 被災後(H23年5月)

凡例
— 浸水実績

被災写真(地震・津波 前後比較)



② 半崎地区 被災前(H22年9月)



② 半崎地区 被災後(H23年5月)

凡例
— 浸水実績

被災写真(地震・津波 前後比較)



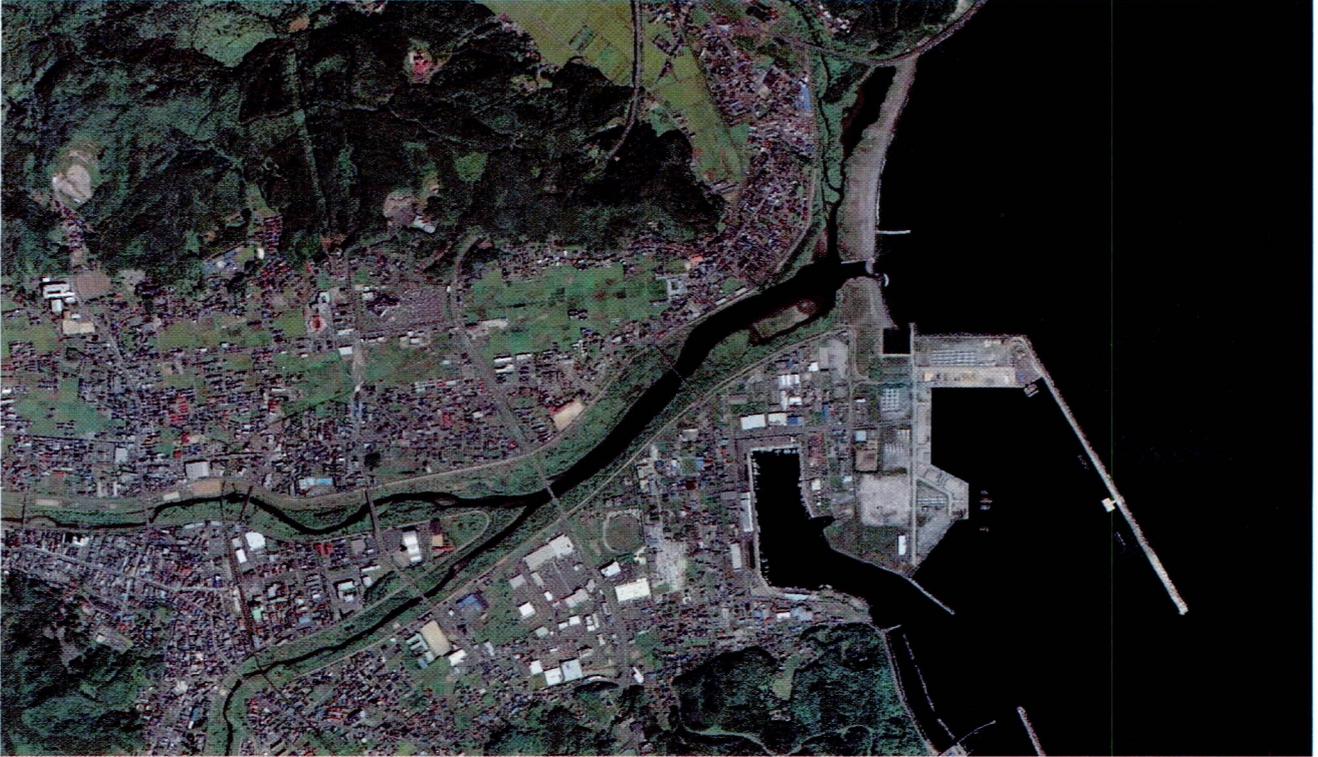
③ 湊地区 被災前(H22年9月)



③ 湊地区 被災後(H23年5月)

凡例
— 浸水実績

被災写真(地震・津波 前後比較)



④ 久慈港 被災前(H22年9月)



④ 久慈港 被災後(H23年5月)

凡例
— 浸水実績

被災写真(地震・津波 前後比較)



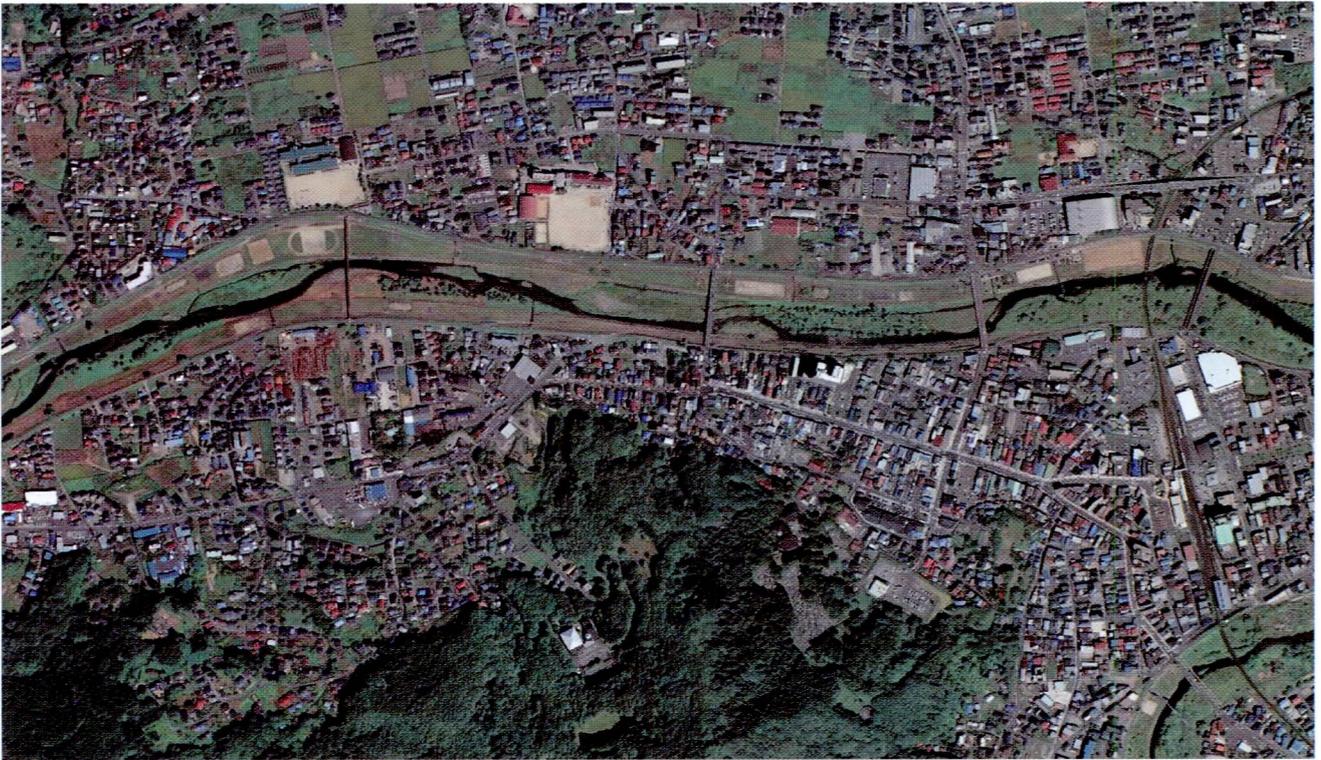
⑤ 元木沢地区 被災前(H22年9月)



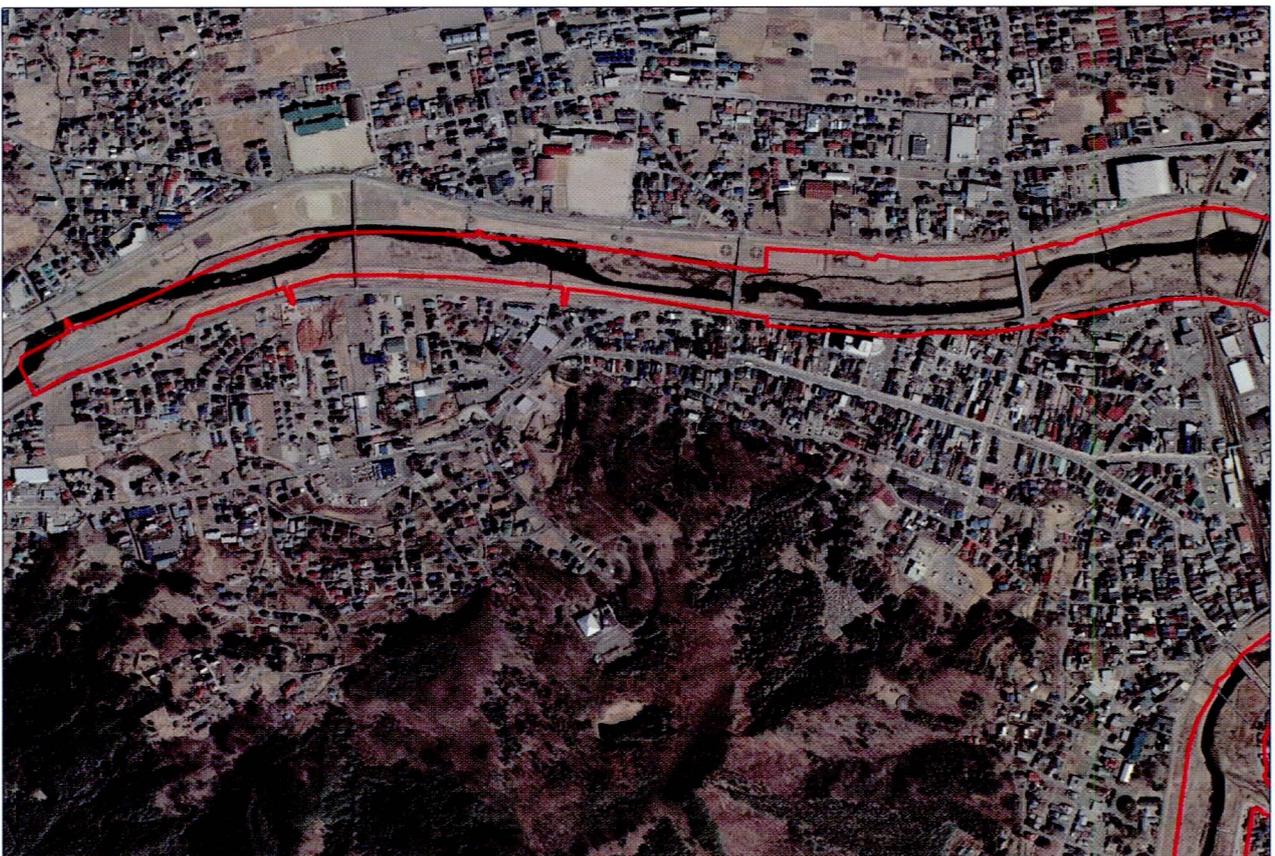
⑤ 元木沢地区 被災後(H23年5月)

凡例
— 浸水実績

被災写真(地震・津波 前後比較)



⑥ 久慈川周辺 被災前(H22年9月)



⑥ 久慈川周辺 被災後(H23年5月)

凡例
— 浸水実績

被災写真(地震・津波 前後比較)



⑦ 玉の脇地区 被災前(H22年9月)



⑦ 玉の脇地区 被災後(H23年5月)

凡例
— 浸水実績

被災写真(地震・津波 前後比較)



⑧ 舟渡地区 被災前(H22年9月)



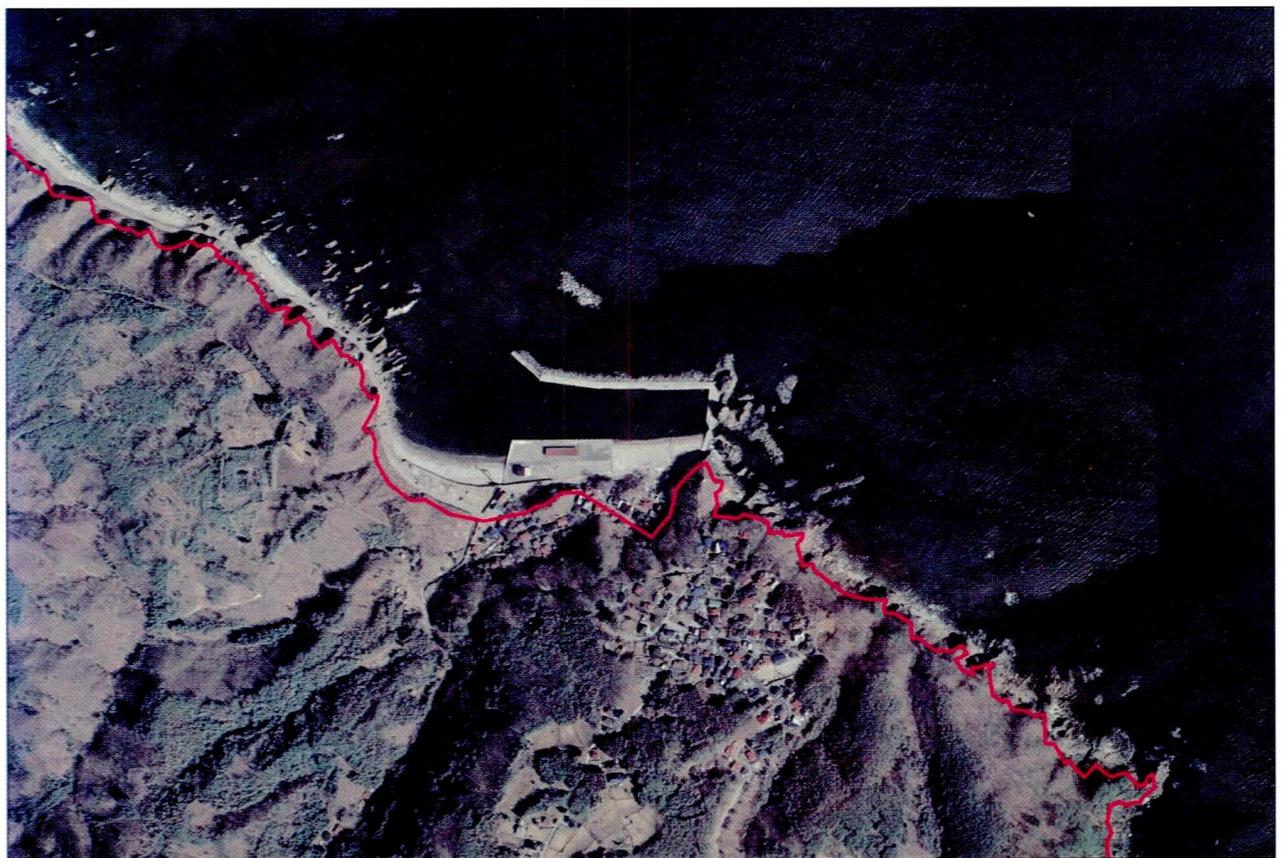
⑧ 舟渡地区 被災後(H23年5月)

凡例
— 浸水実績

被災写真(地震・津波 前後比較)



⑨ 小袖地区 被災前(H22年9月)



⑨ 小袖地区 被災後(H23年5月)

凡例
— 浸水実績

被災写真(地震・津波 前後比較)



⑩ 久喜地区 被災前(H22年9月)



⑩ 久喜地区 被災後(H23年5月)

凡例
— 浸水実績

1-3 久慈港を襲う大津波

久慈市漁協の職員が、建物に留まり津波襲来の一部始終を撮影した写真です。



15:30:08 釣鐘洞付近、津波の第1波を確認。避難する船。



第1波のクローズアップ



15:31:37
大型港湾に迫る津波



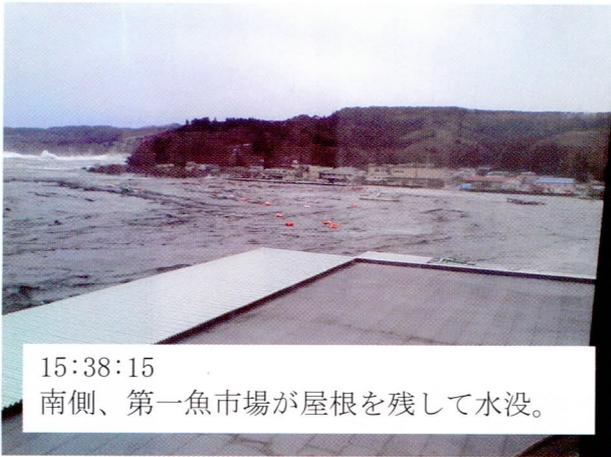
15:31:40
津波は赤浜展望台へ近づく



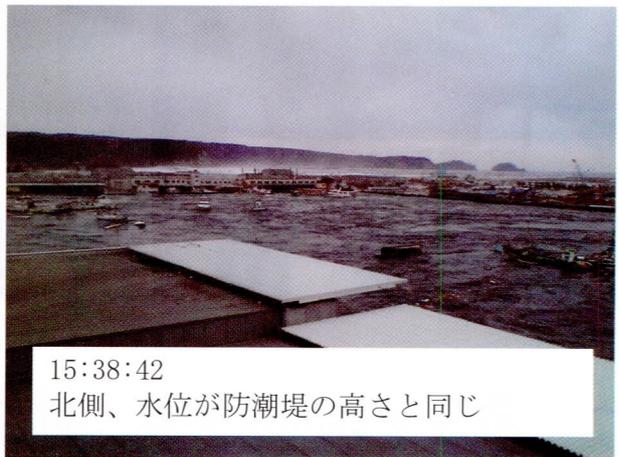
15:31:58 牛島を過ぎ、前浜に接近。潮が引いている状態。



15:37:43
組合の北方向。コカコーラ営業所付近



15:38:15
南側、第一魚市場が屋根を残して水没。



15:38:42
北側、水位が防潮堤の高さと同じ



15:40:17 港内の潮が引き始めたため、陸地側の水位が高くなった。



15:40:40 うねりにより防潮堤を越える波が随所に確認される。



17:40:10 防潮堤を越えて押し寄せる津波、正面玄関の底にかかった漁船



15:57:42 潮が引き始め、第一魚市場前の海底が露出した。



南側からの漁協の前景、定置起し船2艘が打ち上げられ、岸壁のコンクリートが口を開いた。

2 復興計画(久慈市復興の羅針盤)

久慈市復興計画

～ 新たな視点による 新たなまちづくり ～

平成 23 年 7 月策定

久慈市

平成 23 年 7 月 22 日に策定した「久慈市復興計画」。この計画は、東日本大震災の被害から一日も早く立ち直り、前進していくための、まちの羅針盤となるものです。これまで以上の久慈市を築き上げるため、計画目標には「新たな視点による新たなまちづくり」を設定しました。

計画期間は平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 カ年です。このまちの復旧・復興、そして飛躍を果たすために、久慈市総合計画などと連動させながら、生活や企業の再建支援、水産業の復興、防災面の強化など、各種事業を全力で推進していきます。

第1章 計画の概要

1 計画策定の趣旨

平成 23 年 3 月 11 日、東日本沿岸地域を襲ったマグニチュード「9.0」の「東日本大震災」は、沿岸部を中心に未曾有の被害をもたらしました。

当市においても、死者 4 人、行方不明者 2 人、負傷者 10 人のほか、住宅、事業所等の全壊など、甚大な被害を受けました。

特にも、沿岸部を襲った大津波により、漁船の流失、水産施設の全壊など、水産業は壊滅的な被害を受け、漁業関係者は、明日を生きる術を失い、悲嘆に暮れています。

この計画は、市民がこの壊滅的な被害から一日も早く立ち直り、明日への希望を失わずに前進していくためへの羅針盤とするため策定するものです。

2 計画の役割

(1) 復興を計画的に進める

この計画は、一日も早い復興を実現させていくために、様々な事業と多額の事業費が必要になることから、その復興に向けての指針とするものです。

(2) 被災した市民等へ安心を与える

この計画は、市民や事業者の不安を少しでも解消し、明日への希望を持てるものとするものです。

(3) 総合計画との関係

この計画にある「基本理念、施策、事業等」は、久慈市総合計画に連動することにより、一体となって調整が図られるものです。

(4) 国・県の復興計画との関係

この計画と国や県がそれぞれ策定する復興計画との連動性を担保するため、実施計画のローリング¹時にその調整を図ります。

¹ 3年間の実施計画について、財政環境等の変化を踏まえて2年目以降の計画の内容を点検し、対象期間を1年後ろにずらした新たな3年間の実施計画を策定する方式。

3 計画の期間

この計画は、平成 23 年度（2011 年度）を初年度とし、平成 32 年度（2020 年度）を目標年度とする 10 か年計画とします。

また、復興までの目標期間を次の復旧期、復興期及び飛躍期の 3 段階に分けて、着実な取組を進めます。

(1) 復旧期 平成 23 年度から平成 25 年度まで

各種復旧事業により、生活基盤の再生に取り組む期間。

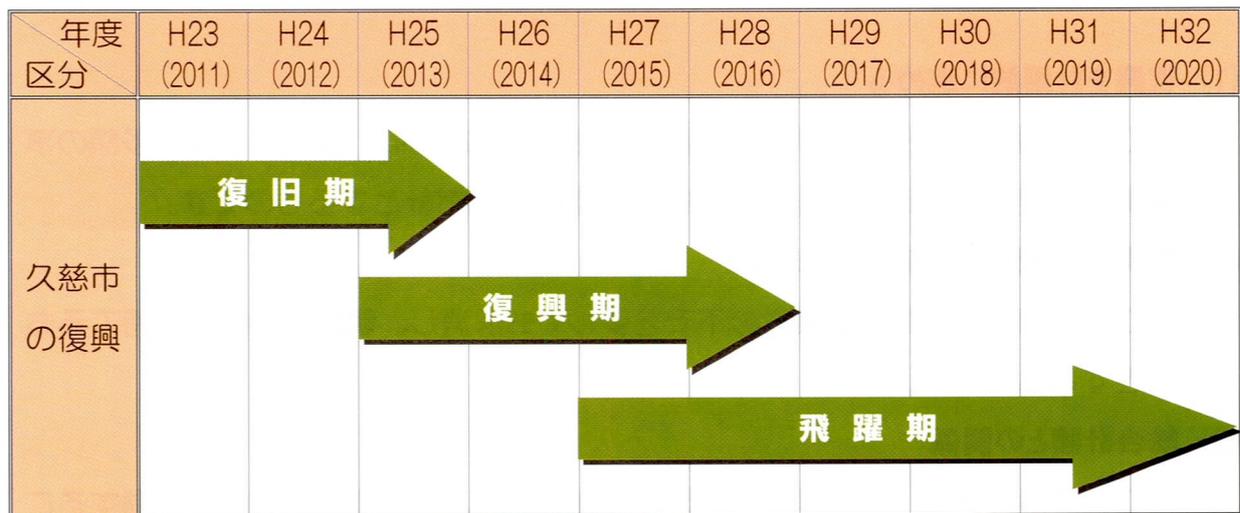
(2) 復興期 平成 25 年度から平成 28 年度まで

復旧期における取組がほぼ完了に近づくとともに、復旧事業によって再生された基盤に基づいて復興に向けた取組が行われる期間。

(3) 飛躍期 平成 27 年度から平成 32 年度まで

復興の取組を結実させ、新たな魅力と活力に満ちたまちづくりに向かって、諸事業を実現、推進していく期間。

【復興計画の期間】



4 計画の進行管理

この計画の進行管理は、毎年度、向こう 3 年間の実施計画を策定し、久慈市総合計画後期基本計画の実施計画と併せて、計画の適切な進行管理を行います。

第2章

計画の基本理念

1 計画の目標

本市は、雄大な自然と美しい景観に恵まれ、その豊かな環境の下で、家族はもとより、地域の「ひと」と「ひと」とが互いに支え合いながら、その「絆」を大切にし、先人たちが築き上げてきた文化・風土を守るとともに、ソフト・ハード両面にわたる防災機能の強化を図ってきました。

しかし、この度の「東日本大震災」による大津波の猛威は、尊い生命・財産を始め、多くのものを私たちから奪い去ってしまいました。

もう一度、家族が、地域が、そして市全体が、この豊かな三陸の海をはじめとする自然を背景にしながら復興を進めることは、単に被災前の本市の状況を取り戻すことだけではなく、災害に強いまちに築き上げるなど、これまで以上の本市を築き上げるものでなくてはなりません。

災害に負けず、一日も早く立ち直り、本市を復興させることが、不幸にしてこの度の災害で犠牲となられた方や、幾多の困難を乗り越えた先人たち、あるいは明るい未来が来ることを信じる次世代の子どもたちに対する、今を生きる私たち市民に課せられた大きな責務であると考えます。

そのためには、従来の観念にとらわれない自由な発想と新しい視点が必要となります。

このことから、計画の目標を次のように設定します。

「 新たな視点による 新たなまちづくり 」

2 計画の視点

この計画は、1に掲げる「計画の目標」を実現させるため、次の基本的な視点に立ち、取組を進めます。

- (1) 被災した市民の暮らしを再建するため、雇用の維持・確保に努めるとともに、企業等の再建も支援することによって、市民が安心して生活できるまちを目指します。
- (2) 甚大な被害を受けた水産業を立て直し、併せて農林業への更なる取組も進めることにより、他地域にも貢献し得る食料供給基地としての役割を担えるまちを目指します。
- (3) 食の安全・安心に取り組み、生産者と消費者との交流を進めることによって、本市の持つ海・山・里の良さを他地域に積極的に発信し、本市がその交流拠点のモデル地域としての役割を担えるまちを目指します。
- (4) 災害に強いまちづくりを進めるため、防災体制の強化と防災施設の整備を図り、防災拠点都市として機能を備えることによって、本市が他地域のモデル地区としての役割を担えるまちを目指します。
- (5) これまでのエネルギー政策の中心を占めてきた化石燃料と原子力発電の双方に依存し過ぎないために、再生可能なエネルギーである自然エネルギー、リサイクルエネルギー等の研究、取組を積極的に進め、他地域にも貢献し得る再生可能エネルギー²等の活用・供給拠点としての役割を担えるまちを目指します。

² 適切に利用すれば、利用する以上の速度で自然に再生し、将来にわたって持続的な利用が可能なエネルギー。例として水力、風力、太陽光、太陽熱、地熱などがある。

第3章

計画の体系

本市の復興の実現を図るため、計画の視点に基づき、この計画を先導する次の5つのプロジェクトを設定し、事業の推進を図ります。

(1) プロジェクトⅠ「生活を再建する」

被災した市民の暮らしを再建するため、雇用の維持・確保に努めるとともに、企業等の再建も支援することによって、市民が安心して生活できるまちを目指します。

- ① 生活支援の充実
- ② 雇用機会の創出と就業支援
- ③ 企業等への再建支援
- ④ 内発型産業の振興
- ⑤ 保健、医療、福祉の充実

(2) プロジェクトⅡ「水産業を復興する」

甚大な被害を受けた水産業を立て直し、併せて農林業への更なる取組を進めることにより、他地域にも貢献し得る食料供給基地としての役割を担えるまちを目指します。

- ① 水産施設等の再建
- ② 漁船、漁具等の整備
- ③ つくり育てる漁業の推進
- ④ 漁港等の整備
- ⑤ 農林業の振興

(3) プロジェクトⅢ「交流人口を拡大する」

食の安全・安心に取り組み、生産者と消費者との交流を進めることによって、本市の持つ海・山・里の良さを他地域に積極的に発信し、本市がその交流拠点のモデル地域としての役割を担えるまちを目指します。

- ① 生産者と消費者との交流推進
- ② 体験型教育旅行等の推進
- ③ 観光産業の振興

(4) プロジェクトⅣ「災害に強いまちづくりを進める」

災害に強いまちづくりを進めるため、防災体制の強化と防災施設の整備を図り、防災拠点都市として機能を備えることによって、本市が他地域のモデル地区としての役割を担えるまちを目指します。

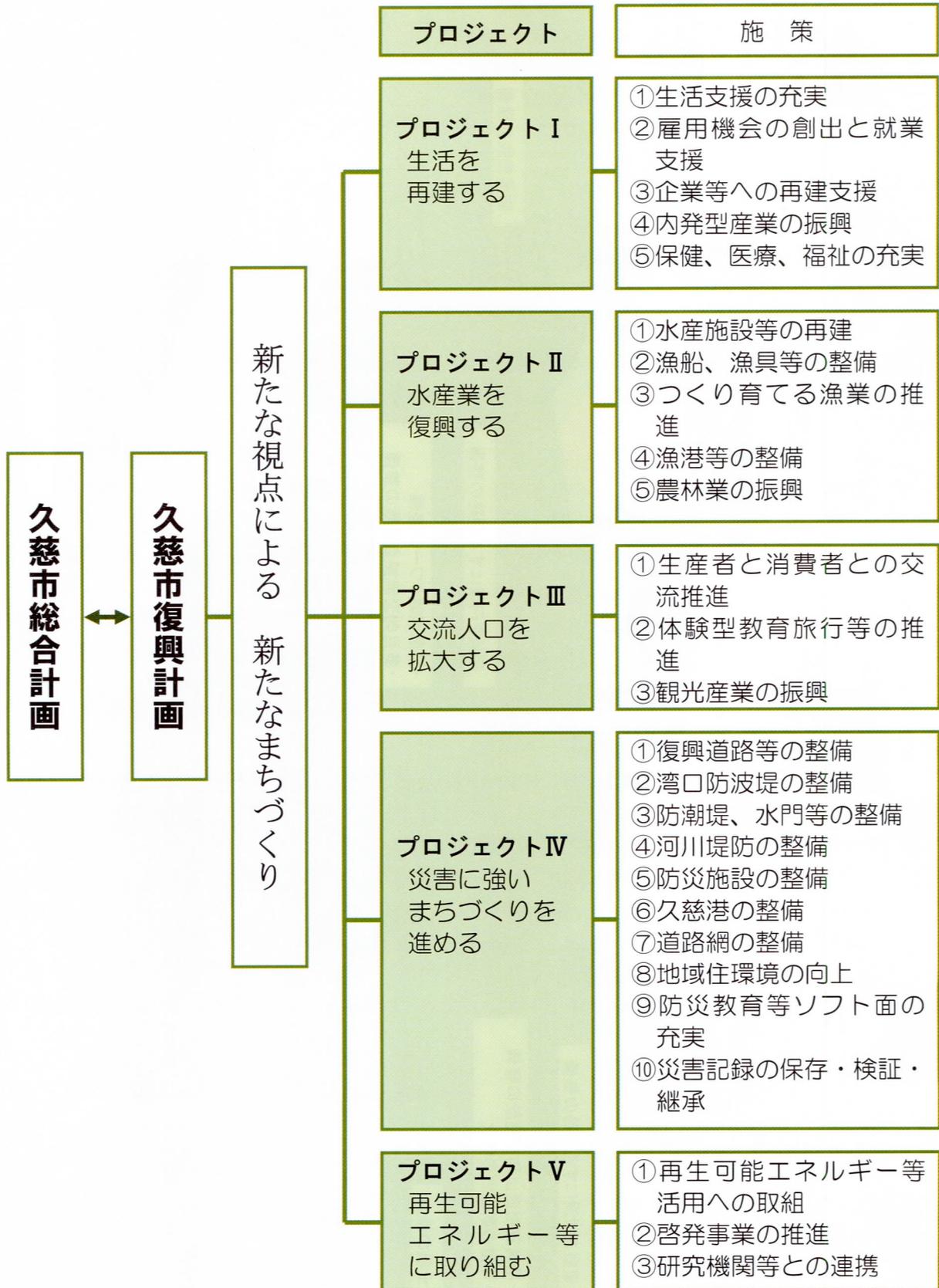
- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 復興道路等の整備 | ② 湾口防波堤の整備 |
| ③ 防潮堤、水門等の整備 | ④ 河川堤防の整備 |
| ⑤ 防災施設の整備 | ⑥ 久慈港の整備 |
| ⑦ 道路網の整備 | ⑧ 地域住環境の向上 |
| ⑨ 防災教育等ソフト面の充実 | ⑩ 災害記録の保存・検証・継承 |

(5) プロジェクトⅤ「再生可能エネルギー等に取り組む」

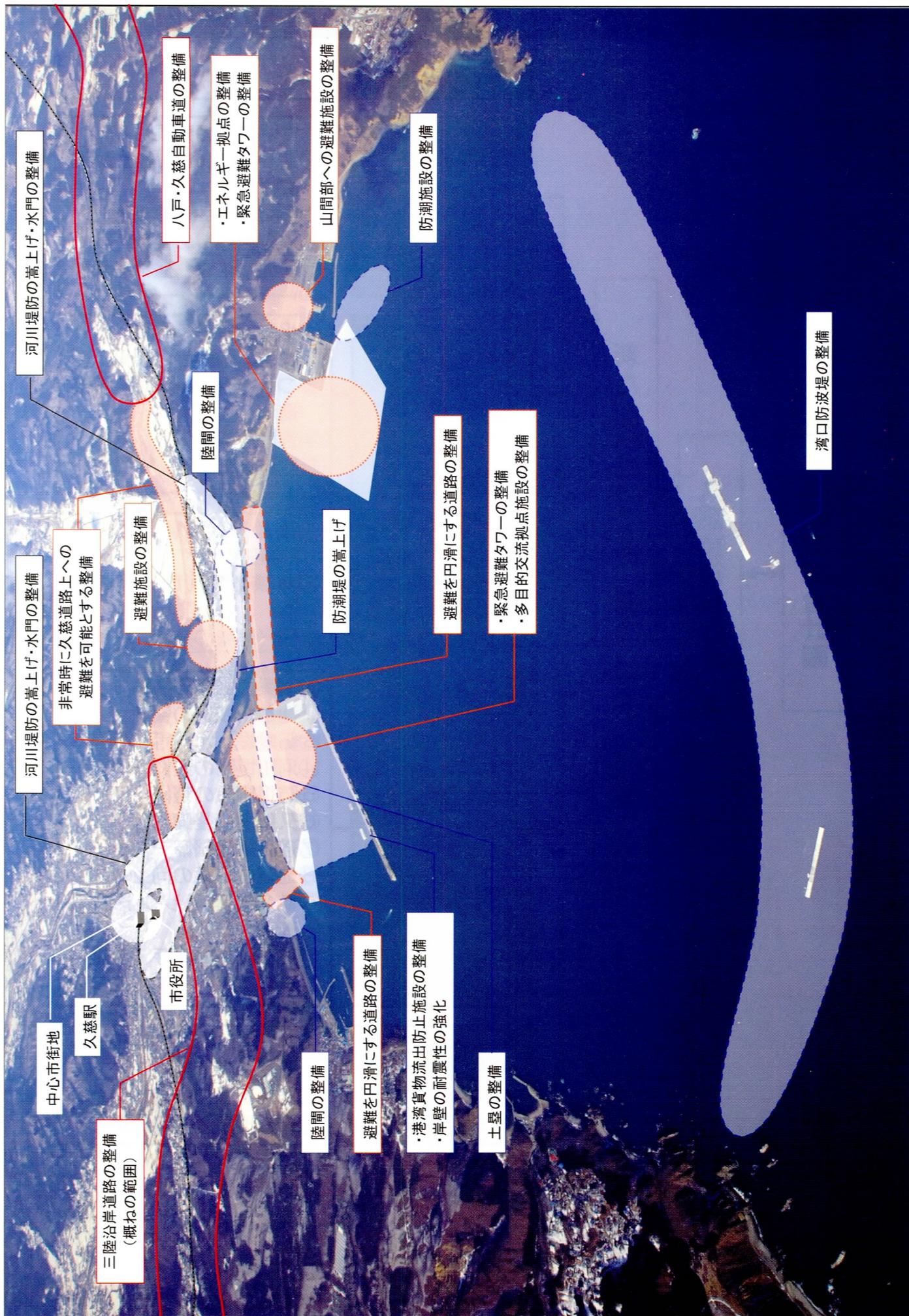
これまでのエネルギー政策の中心を占めてきた化石燃料と原子力発電の双方に依存し過ぎないために、再生可能なエネルギーである自然エネルギー、リサイクルエネルギー等の研究、取組を積極的に進め、他地域にも貢献し得る再生可能エネルギー等の活用・供給拠点としての役割を担えるまちを目指します。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 再生可能エネルギー等活用への取組 | ② 啓発事業の推進 |
| ③ 研究機関等との連携 | |

計画の体系図



久慈港周辺における防災関連施設等の将来像



3 復旧・復興への主な取組・動き

今回の東日本大震災による未曾有の被害に対応するため、次のとおり主な取組・動きにより、復旧・復興に向け取り組みました。

3-1 避難所の状況

14:46発生の東北地方太平洋沖地震に伴って14:49大津波警報が発令され、同時刻に久慈市災害対策本部設置と避難指示を発令しました。

これを受け、久慈市地域防災計画に定める津波対応避難所(11施設)をはじめ、次々と寄せられる消防団等からの避難情報により38避難所を開設し、日時別の最大避難者数は3月11日午後7時現在で2,916人でした。

発災直後から生じた電気・水道・通信等ライフラインの途絶、交通網の寸断、燃油欠乏等々により、情報伝達や物資調達等は困難を極めました。自衛隊による炊き出しを始め、多くの方々の支援と避難者相互の共助により、各避難所とも秩序が保たれました。

3月13日7:30津波警報から津波注意報への切替えに伴い、避難指示・避難勧告を自主避難に切替えて帰宅可能者の避難解除を促すとともに、プライバシー確保の視点から避難所の質の確保に向けた統合再編を進め、3月15日18時現在で4避難所・113名にまで縮小されました。

その後においても、家屋損壊による帰宅困難者の長期避難生活を回避するため、仮設住宅整備までの暫定措置として雇用促進住宅の空室活用を国に要望し利用実現を図るなど、被災者のニーズに少しでも応えられるよう迅速に対応し、3月27日、発災から17日間で全ての避難所の閉鎖に至りました。



避難所の状況（一覧表）

避難所名	開設期間 (3月11日～)	施設毎の 避難者数 (最大人数)	延べ避難者数 (日毎の合計)				
1 半崎集会所	3月15日	35	138	21 長内中学校	3月12日	38	38
2 若宮八幡宮	3月14日	58	162	22 久慈市役所・分庁舎	3月12日	2	4
3 金刀比羅神社	3月11日			23 中央公民館	3月13日	20	50
4 長寿庵	3月27日			24 久慈地区合同庁舎	3月13日	123	316
5 諏訪神社	3月13日	1,000	1,234	25 巽山公園(巽山稲荷神社)	3月13日	26	52
6 久慈総合運動場	3月13日	60	78	26 やませ土風館	3月13日	39	98
7 久慈高等学校・長内校舎	3月13日	300	615	27 宇部公民館	3月13日	20	47
8 大尻地区漁村センター	3月13日	47	114	28 平山小学校	3月13日	81	159
9 総合福祉センター	3月27日	0	0	29 三船十段記念館	3月12日	18	18
10 久喜保育園	3月26日	1,000	2,599	30 ブランドール	3月13日	80	117
11 小袖地区漁村センター	3月15日	57	327	31 久慈東高校	3月13日	138	262
12 下長内公民館	3月13日	21	68	32 小久慈公民館	3月13日	18	36
13 防災センター	3月21日	80	166	33 門前子供会館	3月13日	80	119
14 長内公民館	3月12日	57	325	34 巽町公民館	3月13日	80	90
15 久慈市役所	3月13日	46	81	35 大崎生活技術伝承館	3月13日	38	76
16 山根公民館	3月12日	122	226	36 長福寺	3月13日	31	62
17 夏井公民館	3月12日	1	2	37 老人福祉センター	3月13日	8	16
18 長内小学校	3月12日	3	3	38 久慈高等学校	3月12日	45	45
19 久慈小学校	3月12日	71	106	合計		3,942	7,963
20 小久慈小学校	3月12日	72	72	●参考 日時別の最大避難者数	3月11日午後7時現在	2,916人	
		27	42				

3-2 災害義援金、救援・支援物資等について

久慈市独自の災害義援金について（受付・支給開始）

東日本大震災久慈市地震災害義援金の受付状況

（平成23年3月15日開設）

～

998件 81,161,707円

（平成24年3月10日現在）

岩手県内で一番最初に被災者に対して災害義援金（見舞金）を支給開始

被災者の当面の生活費等に充てるため、岩手県内で一番最初に被災者に対して災害義援金（見舞金）を支給しました。

交付基準は以下のとおりです。

人的被害（死亡）・（行方不明者）・（重傷者）

住宅被害（全壊）・住宅被害（大規模半壊）・住宅被害（半壊）

3月16日	東日本大震災久慈市地震災害義援金の受付開始
4月18日	東日本大震災見舞金（第1次配分）申請受付開始
4月26日	東日本大震災見舞金（第1次配分）支給開始

久慈市独自の災害義援金について（委員会設置・第2次配分）

義援金配分委員会を設置、漁業被害に対して見舞金を支給

東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会を設置し、第二次配分として、漁業被害に対して見舞金を支給しました。

6月1日	東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会設置
6月10日	第1回東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会開催 東日本大震災見舞金（第2次配分）の検討
7月11日	久慈市漁業協同組合各生産部長へ 東日本大震災見舞金（第2次配分）交付式を開催



久慈市独自の災害義援金について

(第3次配分)

出稼ぎ者等住宅所有者・津波による農業、林業被害・ 個人事業主に対して見舞金を支給

お盆時期の前に、大震災時に出稼ぎ等で居住実態が無かった等の理由により、被災者生活再建支援金等の対象外となった住宅の所有者等、津波による農業・林業被害、個人事業主に対して見舞金を支給しました。

7月15日	第2回東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会開催 東日本大震災見舞金（第3次配分）の検討
8月1日	東日本大震災見舞金（第3次配分）申請受付開始
8月10日	東日本大震災見舞金（第3次配分）支給開始

久慈市独自の災害義援金について

(第4次配分)

灯油等暖房費・個人事業主に対して見舞金を追加支給

住宅被害により見舞金の交付を受けた被災者に対して、灯油価格の状況等を踏まえた冬期間の生活需要に対して灯油等暖房費の追加支給を行いました。

個人事業被害（漁業被害、津波による農業・林業被害、店舗・アパート等被害）により見舞金の支給を受けた者に対して追加支給を行いました。

11月14日	第3回東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会開催 東日本大震災見舞金（第4次配分）の検討
12月9日	東日本大震災見舞金（第4次配分）支給開始

救援・支援物資（食料等）の配布について

第1順位から第3順位の順位に従い救援・支援物資の配布を行いました。

順位	内容	対応
第1順位	避難所への対応	社会福祉課（本庁車庫等）から炊出し等の食料及び救援・支援物資を、基本的に朝、夕の2回配布しました。 3月11日から3月28日
第2順位	津波被災集落への対応	社会福祉課（本庁車庫等）から支援物資等を配布しました。 配布日： 3月16日・3月19日・3月23日・ 3月26日・3月29日
第3順位	災害時要援護者及びガソリン不足等による交通難民等への対応	山形総合支所、各公民館等が町内会及びまちづくり振興協議会、民生委員等と協議等を行い必要者へ配布を行う。 配布日：3月17日



支援物資配布会等を開催しました。（平成23年4月～5月）

4月9日(土)、10日(日) 開催

対象世帯数：231世帯(半壊以上) 受け取り世帯数：196世帯
支給物資：食料品(米、カップ麺、レトルト食品など)、水、タオル、オムツ、生理用品、衣類、毛布、ラジオ、その他生活用品等

4月18日(月)～5月16日(月) 開催

対象世帯数：246世帯(半壊以上) 受け取り世帯数：214世帯
支給物資：食料品(米、カップ麺、レトルト食品など)、水、オムツ、生理用品、衣類、毛布、ティッシュペーパー、その他生活用品等

5月18日(水)～5月25日(水) 開催

対象世帯数：266世帯(半壊以上) 受け取り世帯数：256世帯
支給物資：食料品(米、レトルト食品、調味料など)、自転車、布団、オムツ、生理用品、衣類、タオル、卓上コンロ、ティッシュペーパー、トイレトペーパー、その他生活用品等

支援物資配布会等を開催しました。（平成23年7月～12月）

7月5日(火)～7月8日(金) 開催

対象世帯数 : 64世帯(仮設住宅、借り上げアパート入居世帯)

支給物資 : 扇風機、掃除機、調味料、清涼飲料水、皿、衣類、日用品セット等

7月12日(火)～7月15日(金) 開催

対象世帯数 : 54世帯(仮設・借り上げ入居世帯以外の大規模半壊以上)

支給物資 : 調味料、清涼飲料水、皿、衣類、日用品セット等

9月7日(水)～9月9日(金) 開催

対象世帯数 : 288世帯(半壊以上)

※久慈市受付の民間借上げ住宅に入居している市外避難者も含む(8世帯)

支給世帯数 : 176世帯

支給物資 : 衣類、タオル、布団、毛布、尿取りパッド、オムツ、その他生活用品等

12月3日(土) 暖房器具支給

対象世帯数 : 274世帯(半壊以上、応急仮設住宅入居世帯は除く)

※久慈市受付の民間借上げ住宅に入居している市外避難者も含む(8世帯)

希望世帯数 : 251世帯

支給物資 : 石油ファンヒーター

支援物資配布会等を開催しました。（平成24年1月～3月）

1月26日(木)、27日(金) 配達

対象世帯数 : 59世帯(応急仮設住宅および民間借上げ住宅入居世帯)

※久慈市受付の民間借上げ住宅に入居している市外避難者も含む(8世帯)

支給方法 : 戸別配布

支給物資 : どんぶく(綿入れはんてん)、生活情報雑誌

※生活情報雑誌に関しては、市営住宅および雇用促進住宅入居者へも支給(6世帯)

2月23日(木)、24日(金) 配達

対象世帯数 : 61世帯(応急仮設住宅、民間借上げ住宅、市営住宅、雇用促進住宅入居世帯)

※久慈市受付の民間借上げ住宅に入居している市外避難者も含む(7世帯)

支給方法 : 戸別配布

支給物資 : 花王生活用品セット

3月22日(木)、23日(金) 配達

対象世帯数 : 56世帯(応急仮設住宅、民間借上げ住宅)

※久慈市受付の民間借上げ住宅に入居している市外避難者も含む(8世帯)

支給方法 : 戸別配布

支給物資 : 玉ねぎ(20kg)

3-3 函館からの贈り物：水産業への活力

函館市では昭和9年大火に見舞われたことに伴い当時久慈市をはじめとする県内各地からの多くの支援を受けたことから、この度の震災にあたり対市に対し、228隻もの義援船を頂き、漁業の復旧・復興に大きな支援をいただきました。そして、漁協・各生産部及び市が連携し、早期受入れに取り組みました。

漁船228隻を寄贈——迅速な行動が久慈漁民のウニ漁を救う

(北海道函館市→岩手県久慈市)

平成23年3月11日、久慈市は最大8.6mの津波に襲われ、617隻の漁船の9割以上を失いました。

地震の報を受け函館市では、発災直後から岩手県への支援物資輸送を決定、準備を始めました。函館税関の協力を得て、税関の巡視船に支援物資を積み込み、日帰りでの往復できる距離、そして、港の機能が比較的復旧している久慈港を目指して出港、3月30日に港に入りました。そこで、被害状況を聞くに至り、船を失い、磯漁ができなくなった久慈の人々の実情を知ったのです。

函館市では、昭和9年に大火に見舞われ、2,800名もの人命が失われました。その際、久慈市をはじめ、岩手県各地から多くの支援を受けた経緯があったのです。その恩を返したいと函館市では、使われていないコンブ漁用の磯船の再利用を久慈市に提案。思いがけない応援力を得た久慈市は、函館市と漁業協同組合の協力のもと、その実現に動き始めました。



●漁船確認

4月中旬、久慈市職員、久慈市漁協関係者は函館に渡り、函館市と函館の5つの漁協の協力のもと、使われていない中古の船の調査を行いました。船の所在は海沿いや陸など広範囲に渡っていましたが、最終的に228隻の磯船が使用可能と判断され、函館の漁協から久慈市漁協へ義援船として寄贈が決定したのです。



●久慈港へ出発!

船の運搬を引き受けたのは函館市の建設会社。起重機船での輸送が決定しました。しかし、この船は荷物を載せて航行できる船ではありません。船の利用にあたって、内航海運業法に係る国への特例措置の手続きを急ぎ行うと同時に、1か月の短期間の中で漁船の登録・抹消などの数多くの手続きや申請が行われました。函館市のアイデアで、起重機船には、磯船を破損しないよう、立体駐車場のよう鉄骨が組まれ、船は細心の注意を払って固定されました。起重機船には横断幕が張られ、いよいよ出発です。



●待望の船到着

6月5日、久慈港には、函館市と久慈市の関係者が集結し、第1陣として到着する83隻の磯船を迎えました。函館市からの大きなプレゼントに港は沸き返ります。船は漁民の「命」。次々と陸揚げされる磯船を前に、津波で磯船を失い、気力を失っていた人々に笑顔が戻りました。



●機装に力を入れて

函館ではコンブ漁で使用されていた義援船。久慈の人たちが使っていた船とは勝手が違います。ウニやアワビ漁には使いにくいのではないかと不安もありました。しかし、船の装備を行い、船を扱っていくうちに不安は次第に取り払われていき、働く喜び、そして生きる喜びがよみがえってきました。



●出漁の日

6月23日、いよいよ磯漁の再開です。装備を整え、ウニ、アワビ、ワカメを求めて、われ先にと船が出ていきます。漕ぎ出してみれば、なかなか扱いやすい船で、次々とウニやアワビが収獲されていきました。



●海の恵みが次々と

漁の期間が限られていたため、漁獲高は例年に劣りましたが、漁期に間に合っただけでなく、周辺よりいち早く出漁できたことで、単価は例年より高い結果となりました。その結果、販売額は前年同期に比べて93%の出来になったのです。ウニ漁が終わった9月現在でも、新規に注文した船は10数隻しか納品されていません。義援船がなければ、今年のウニ漁は皆無に近かったでしょう。久慈市の復興に、函館の義援船が果たした役割は、想像を大きく上回るものでした。



●久々の作業

海がにぎわえば、浜もにぎわいます。とれたてのウニの身を取り出す女性陣の手も軽やかに動きます。義援船は、多くの職場に、働く喜びを復活させました。



●にぎわう二子の朝市

新鮮な海の幸と威勢のよい掛け声で評判だった二子の朝市も津波で大きな被害を受けました。しかし、6月中旬には仮設テントながらも再開でき、毎月第3日曜日の開催日には、多くの人たちが集まるようになりました。磯漁が再開されてからは、ますますにぎわいを増し、みんな、笑顔、笑顔！ 228隻の義援船は、久慈の海に生きる人々の生きがいを取り戻し、明日への活力を生み出す原動力となったのです。



【取材協力】北海道函館市総務課防災担当
【取材・写真協力】岩手県久慈市林業水産課

「国際文化研修（2011秋 vol.73）」より

3-4 食料、燃料等の確保について

発災直後～翌日

避難所や自衛隊炊出し用の食糧等調達

・避難所設置に伴い、食糧や水、毛布等の確保に努めた。また、発災翌日から自衛隊による避難所への炊き出しが決定したため食材も合わせて調達。市内が停電で混乱する中、物資確保に奔走した。



調達先	用途	品目
防災センター	避難所	乾パン、アルファ米
小売店等	避難所	水、お茶、ジュース、おにぎり、菓子パン、カップ麺、他多数
	自衛隊炊出し用	米、味噌、野菜、調味料他多数
寝具店・ホテル・旅館	避難所	毛布、布団

発災翌日以降

・翌日以降、被害の実態が明らかとなる。災害復旧を進めるために必要な燃料は、停電やタンクの被災、交通事情の混乱等により入手困難な状況となった。災害協定に基づく業界の協力を得て優先給油を実施。優先給油は久慈市のみならず、岩手県や東北電力、災害復旧支援業者等も対象として、復旧作業を早い段階で行うことを可能とした。各GS店頭では市職員が交通整理などを行い、市民の理解と協力を得るよう努めた。

・避難所に必要な物資の調達や供給、情報収集にも車が不可欠であり、燃料確保の重要性が認識された。

・ライフラインの回復とともに、被災者への生活必需品支援のための物資調達が主となる。



調達先・交渉相手	用途	品目
小売店等	自衛隊炊出し用	米、味噌、野菜、調味料他多数
リース会社	避難所	仮設トイレ、発電機、投光器
石商組合及び市内GS	避難所・災害復旧	ガソリン、軽油、灯油、A重油

3-5 久慈地区災害ボランティア活動状況

○久慈地区災害ボランティアセンター

H23. 3. 18

災害ボランティアセンター立上げ会議開催
災害ボランティア募集案内

H23. 3. 19

災害ボランティアセンター設置
災害ボランティア登録受付開始
災害ボランティア活動開始

登録者数：598人

H23. 10. 1

瓦礫撤去や住居の清掃など災害ボランティア活動が収束傾向にあったため、名称を変更し、日常生活の支援を目的として活動を継続

○久慈市復興支援ボランティアセンター

H23. 10. 1

日常生活の支援を目的として活動を継続
登録者数：131人

○久慈市災害ボランティア研修会 (H23. 11. 20)

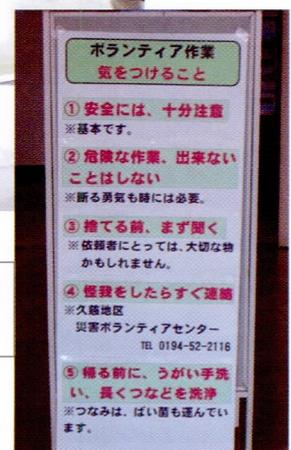
- ・震災の様子とボランティア活動の状況を映写
- ・災害ボランティアセンターの活動状況報告
- ・ボランティア活動体験発表
- ・情報交換
- ・祈念植樹

○災害ボランティア活動状況 (H24. 3. 15現在)

活動日	活動人数	主な活動内容
3月19日(土)	84人	物資仕分け、瓦礫撤去等
20日(日)	162人	物資仕分け、瓦礫撤去、野田村派遣等
21日(月)	151人	物資仕分け、瓦礫撤去、野田村派遣等
22日(火)	98人	物資仕分け、瓦礫撤去、野田村派遣等
23日(水)	78人	瓦礫撤去、野田村派遣等
24日(木)	118人	物資仕分け、瓦礫撤去、野田村派遣等
25日(金)	126人	物資仕分け、瓦礫撤去、野田村派遣等
26日(土)	25人	物資仕分け
27日(日)	10人	物資仕分け
28日(月)	100人	物資仕分け、瓦礫撤去等、野田村派遣等
29日(火)	73人	物資仕分け、瓦礫撤去等、野田村派遣等
30日(水)	87人	物資仕分け、瓦礫撤去等
31日(木)	107人	物資仕分け、瓦礫撤去等、野田村派遣等
4月 1日(金)	52人	瓦礫撤去等
2日(土)	55人	物資仕分け、瓦礫撤去等
3日(日)	47人	瓦礫撤去等
12日(火)	2人	瓦礫撤去等
5月 1日(日)	2人	住宅清掃
2日(月)	2人	住宅清掃
14日(土)	13人	仮設住宅引越し作業
15日(日)	5人	仮設住宅引越し作業
6月 7日(火)	6人	瓦礫撤去
10日(金)	7人	瓦礫撤去、物置清掃
14日(火)	4人	瓦礫撤去
15日(水)	5人	住宅周り砂利敷き
21日(火)	2人	瓦礫撤去
25日(土)	10人	住宅清掃、仮設住宅引越し作業
26日(日)	12人	仮設住宅引越し作業
7月 8日(金)	4人	庭の片付けと整地
9日(土)	7人	仮設住宅引越し作業
計	1,454人	延べ30日



ボランティアセンター
設置



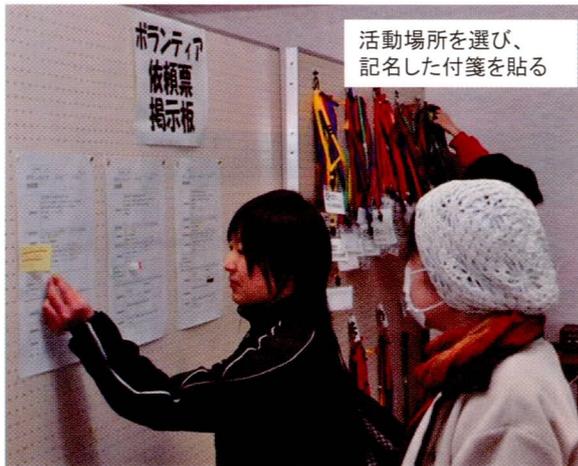
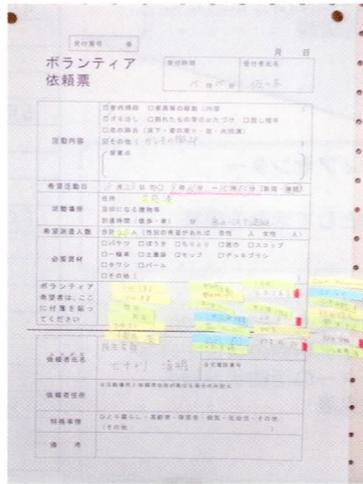
ボランティアセンター受付



ボランティア登録書類記入の様子



ボランティア依頼票掲示



活動場所を選び、記名した付箋を貼る



現地へ出発する前の説明



ボランティア登録者ネームプレート



バスで現地へ移動

ボランティア活動の様子



物資の仕分け



スーパーで募金活動をする高校生ボランティア



衣類を寄贈してくれた方へお礼状を書く中学生ボランティア



宅地内のガレキ撤去の様子

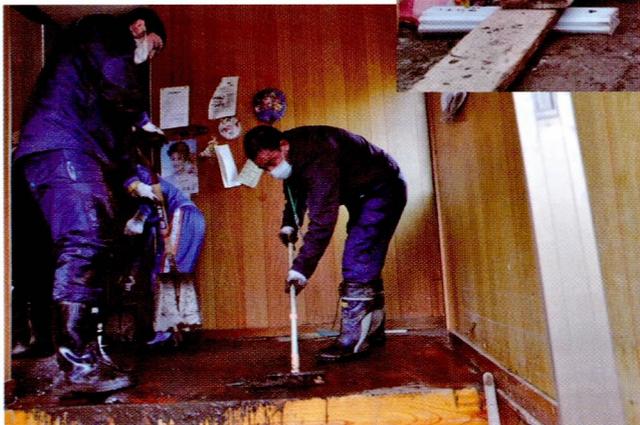


住居内清掃活動



食器、家具等の洗浄作業

ヘドロのかき出し作業



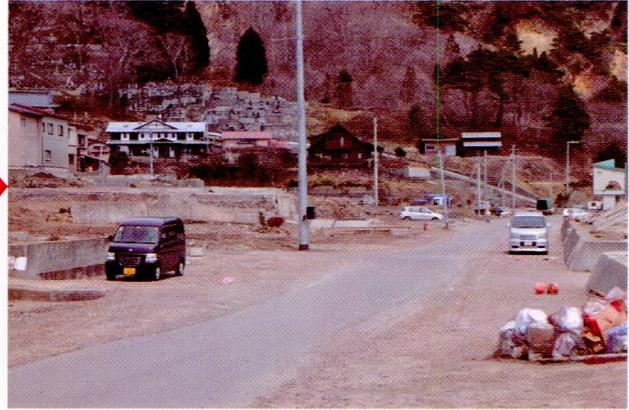
仮設住宅へ引越しの手伝い



活動報告書記載



ガレキ撤去前→撤去後の様子



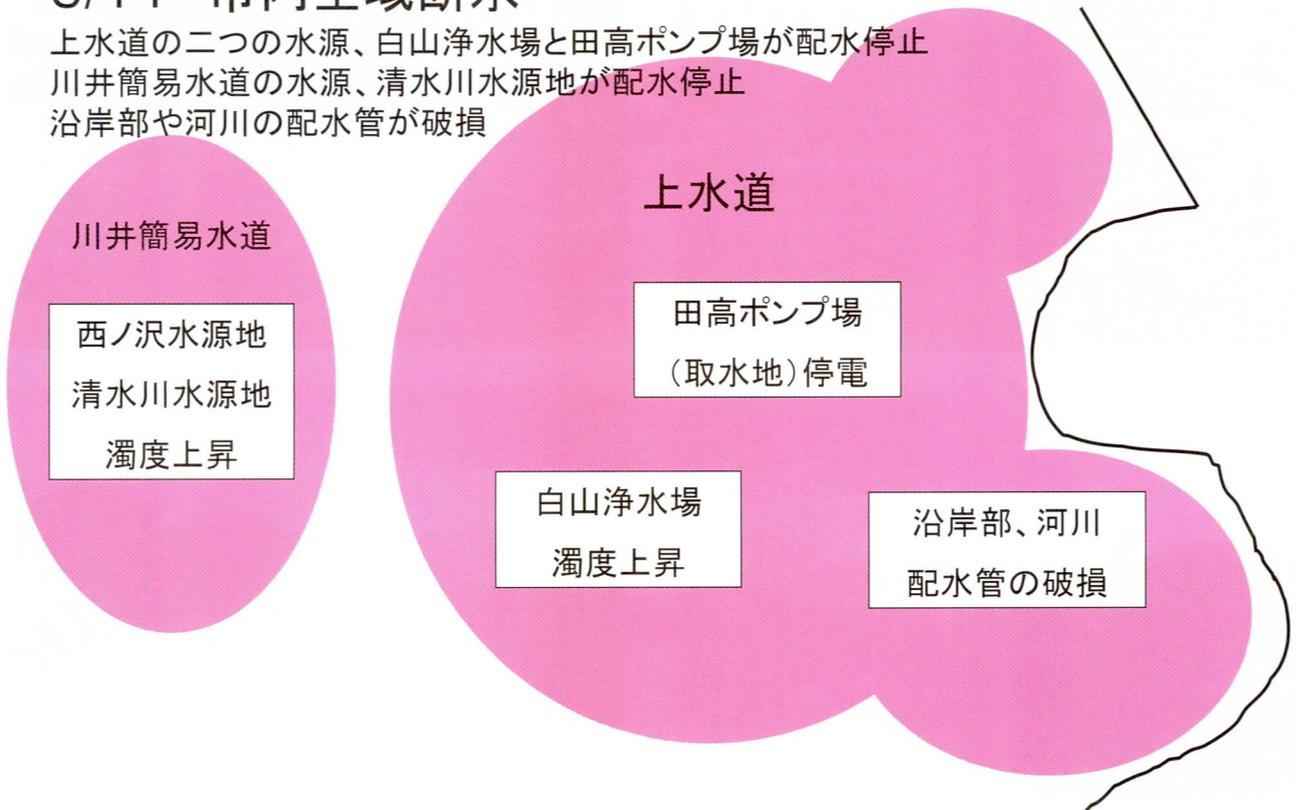
たくさんのエール



3-6 断水・給水等について

3/11 市内全域断水

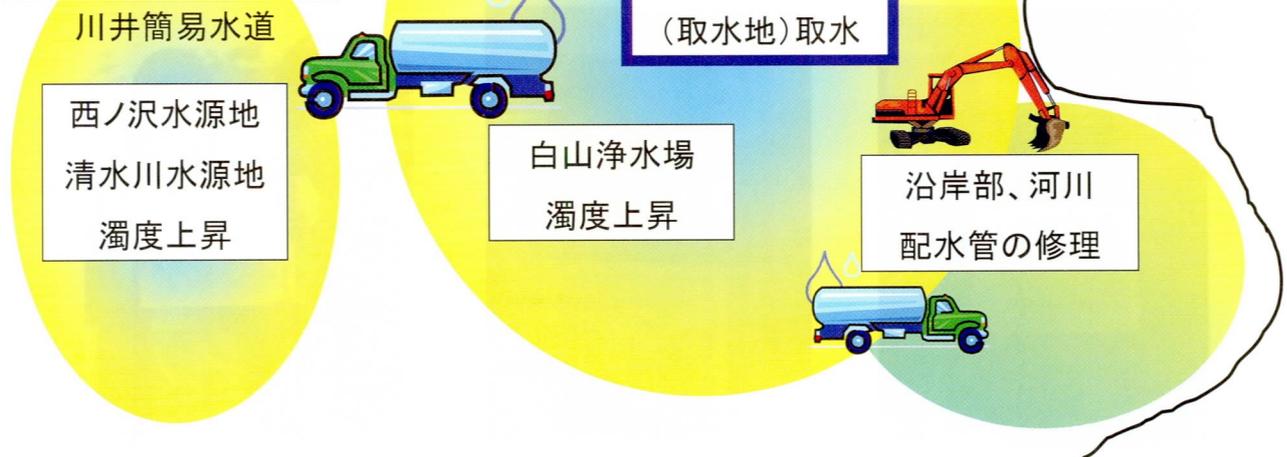
上水道の二つの水源、白山浄水場と田高ポンプ場が配水停止
川井簡易水道の水源、清水川水源地在配水停止
沿岸部や河川の配水管が破損



3/12 応急給水開始、被災調査修理

上水道の二つの水源のうち、田高ポンプ場に発電機を設置し、取水
○田高ポンプ場の水を給水車に載せて給水開始

- ・久慈市(3/12~21)
- ・久慈市管工事業協同組合(3/12~21)
- ・二戸市(3/12)



3/13 田高復旧、応急給水続行

上水道の二つの水源のうち、通電により、田高ポンプ場が送水開始

○応急給水の応援団体到着

- ・日本水道協会-岐阜県各務原市及び中津川市(3/13~15)
- ・北奥羽地区水道事業協議会
 - 八戸圏域水道企業団(3/13~19)
 - 協同組合八戸管工事協会(3/13~17)



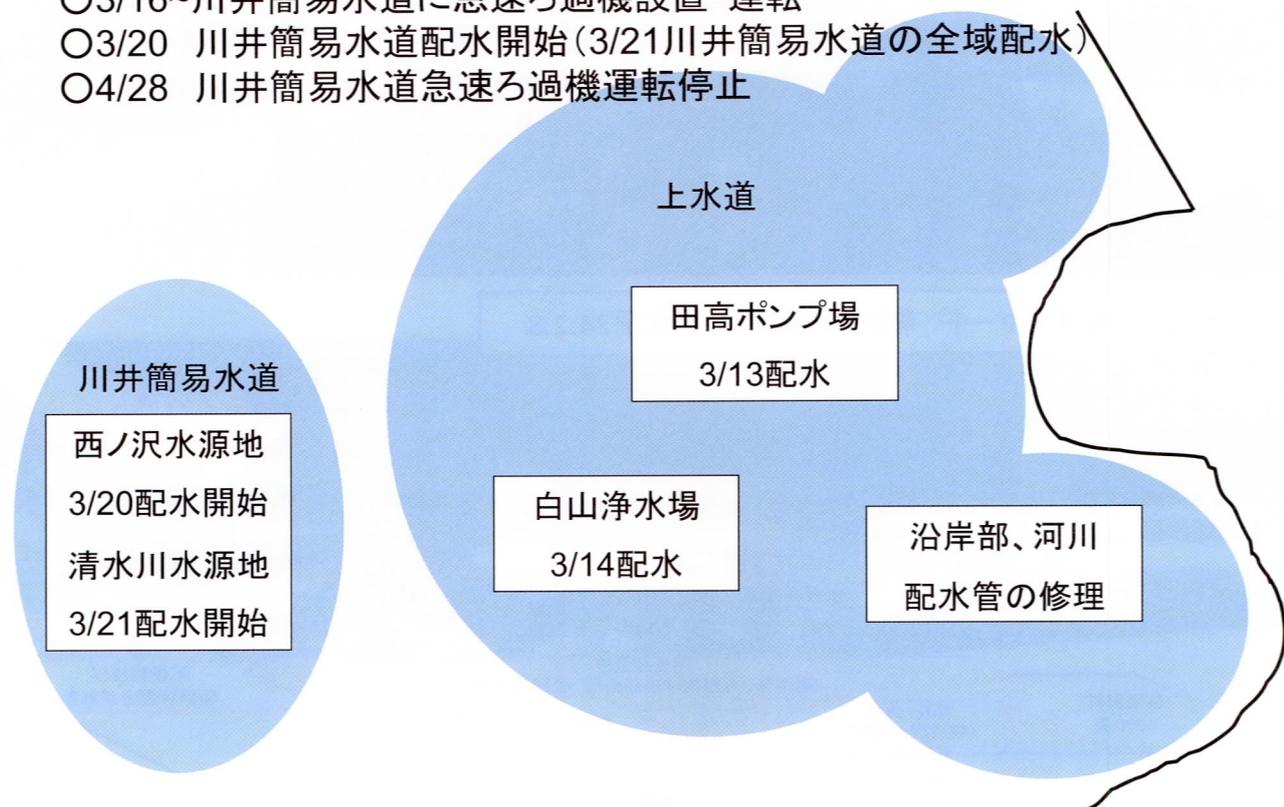
3/14~ 白山復旧、順次配水開始

○3/14 白山浄水場配水開始(3/17上水道の全域配水)

○3/16~川井簡易水道に急速ろ過機設置・運転

○3/20 川井簡易水道配水開始(3/21川井簡易水道の全域配水)

○4/28 川井簡易水道急速ろ過機運転停止



3-7 久慈市災害廃棄物処理状況と方向 (H24.3.26現在)

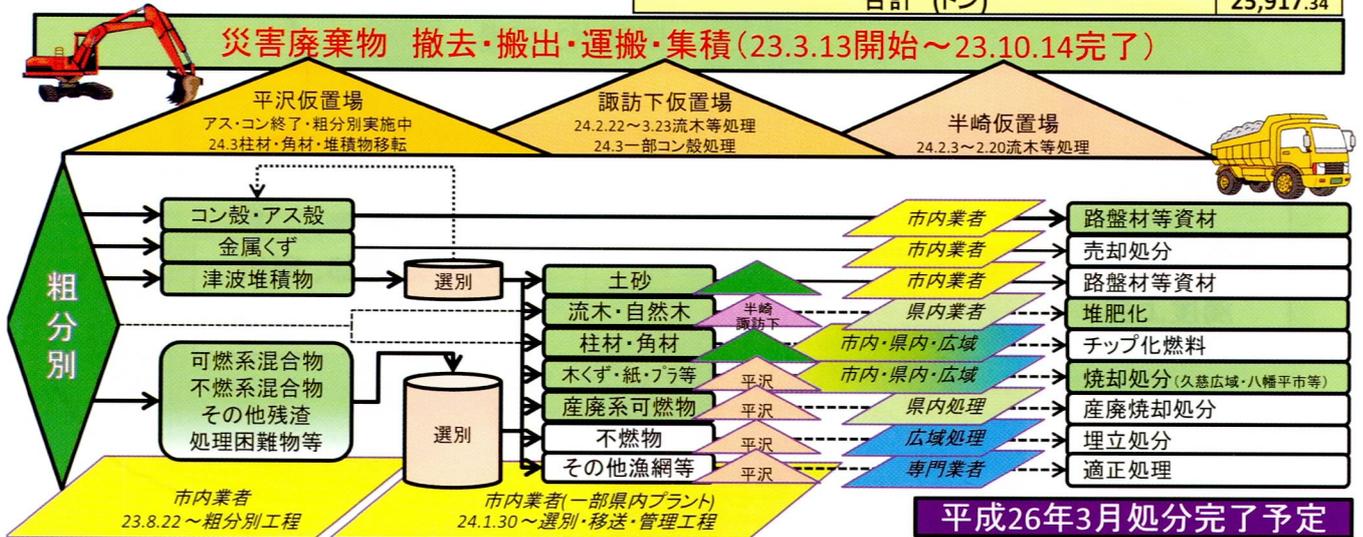
○市内災害廃棄物 (23.8.30県詳細計画より) ＜粗分別後＞

柱材・角材	9,800t	(広域処理)
可燃系混合物	10,600t	(広域&県内処理)
不燃系混合物	300t	(広域&県内処理)
コンクリート	21,000t	(市内処理>業者渡)
金属くず	18,600t	(市内処理>業者渡)
堆積物	33,300t	(市内再利用)
その他	2,500t	(広域処理)
計	96,100t	

○災害廃棄物処理状況(約26,000t 27.0%)

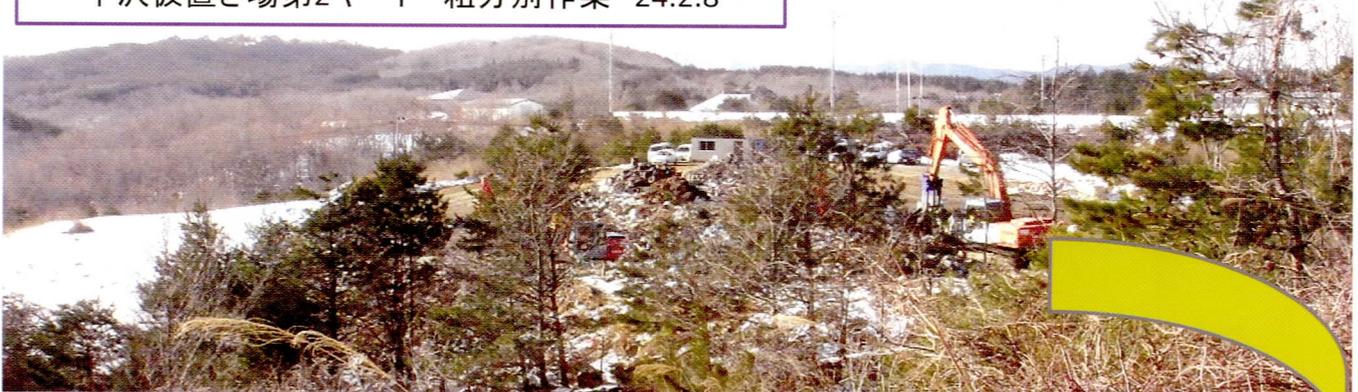
種別	処理方法	処理先	処理量	合計
可燃系 (20,400t)	焼却(可燃物)	久慈広域連合 八幡平市 (広域処理もあり)	159.70	2,082.64
	堆肥化(流木等)	花巻市内業者	1,922.24	
	木質チップ燃料 (柱材・角材)	未定(広域処理)	(6.67)	
不燃系 (2,800t)	埋却	未定 (県内/広域処理)	0.16	0.16
リサイクル系 (72,900t)	コンクリート殻等	市内業者	23,834.54	23,834.54
	金属くず	未定 (業者引渡予定)	0.00	
	津波堆積物	市内業者	0.00	
合計 (トン)				25,917.34

災害廃棄物 撤去・搬出・運搬・集積 (23.3.13開始～23.10.14完了)

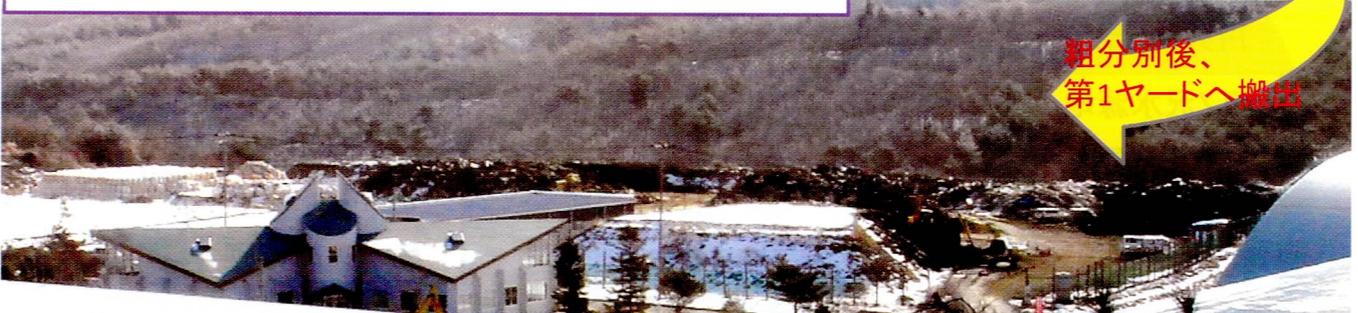


平成26年3月処分完了予定

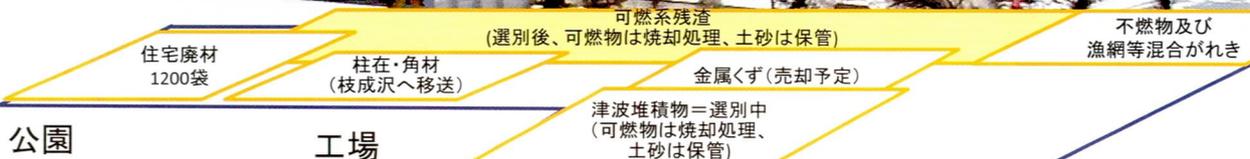
平沢仮置き場第2ヤード 粗分別作業 24.2.8



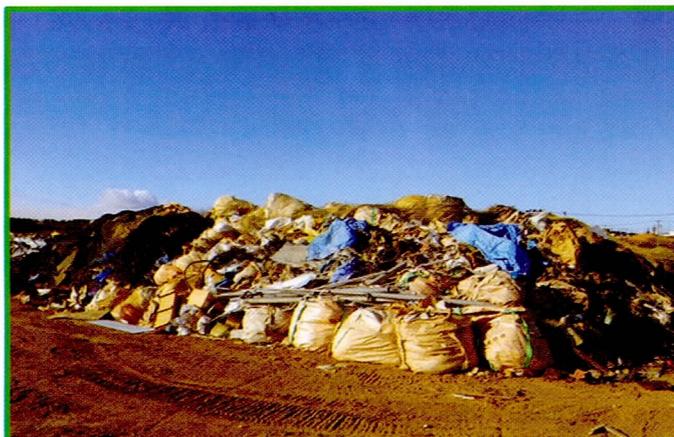
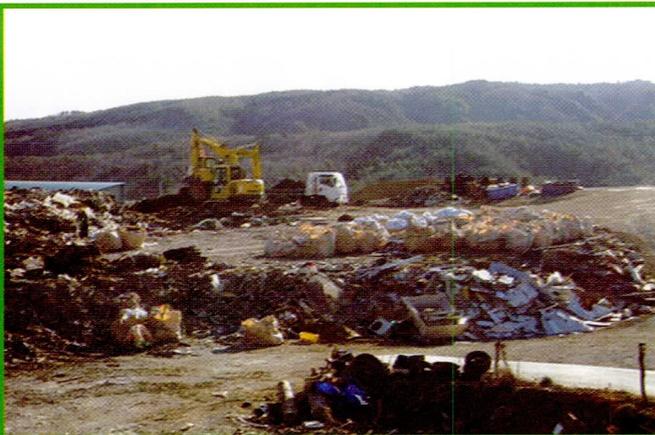
平沢仮置き場第1ヤード 粗分別品目集積状況 24.2.8



粗分別後、
第1ヤードへ搬出



仮置き場の管理と粗分別(その1)



【左上】

無造作に積まれたがれき。堆積圧と発酵による温度上昇を防ぐため、山を崩し粗分別を進める。

【右上】

粗分別後、フレコンバッグに小分けし、がれき種ごとに次の工程を待つ。

【左下】

重機による粗分別も限界があり、特に漁網や住宅廃材等は人手による分別が必要。



H23.12.26 平沢仮置き場 第2ヤード

仮置き場の管理と粗分別(その2)

H23.12.26 平沢仮置き場 第1ヤード



【右上】

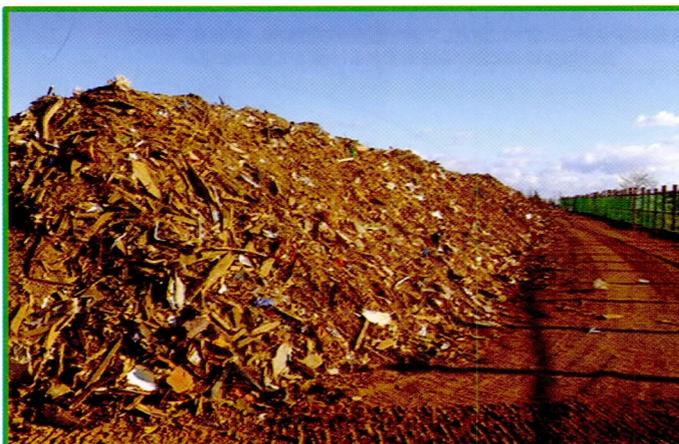
粗分別後の可燃系残渣。今後、土砂・可燃物・不燃物・金属くず等に選別し、最適な処分工程に進む。

【左下】

重機で分別された柱材・角材。燃料チップ化も可能なレベルで、受入先の中間処理等のオーダ一次第で、次の加工に進む。

【右下】

粗分別され、品目ごとに処分が可能になったがれき。左奥は断熱材等住宅廃材、中央は柱材・角材、手前は金属くず。



平沢仮置き場第1ヤード 津波堆積物選別作業 24.2.8

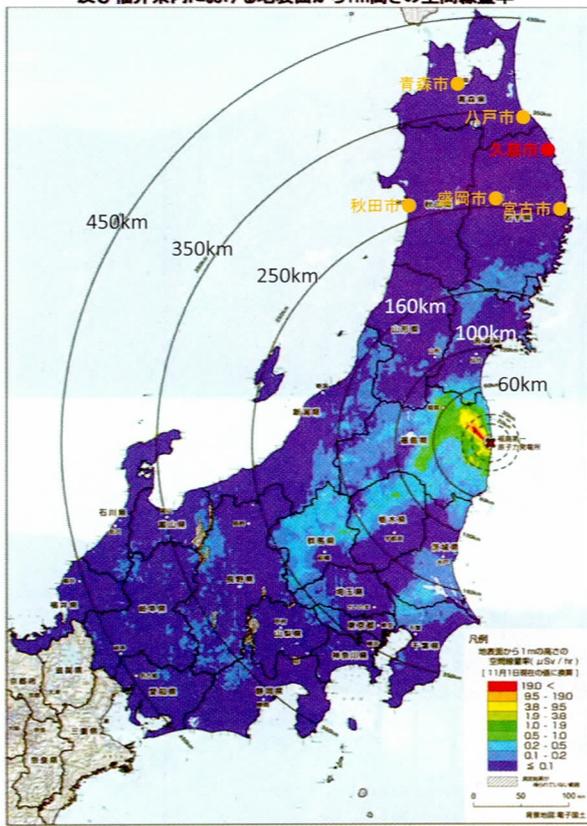


半崎仮置き場 木くず破碎作業 24.2.8



福島第一原子力発電所事故の影響観測状況

文部科学省がこれまでに測定してきた範囲及び愛知県、青森県、石川県、及び福井県内における地表面から1m高さの空間線量率



○久慈市内環境放射線量率

- 23.11月 0.075マイクロシーベルト/時
(市内127地点平均値 地上1m高0.05~0.10μSv/h)
- 23.12月 0.061マイクロシーベルト/時
(市内94地点平均値 地上1m高0.04~0.09μSv/h)
- 24.01月 0.057マイクロシーベルト/時
(市内94地点平均値 地上1m高0.03~0.08μSv/h)
- 24.02月 0.054マイクロシーベルト/時
(市内94地点平均値 地上1m高0.04~0.08μSv/h)
- 24.03月 0.048マイクロシーベルト/時
(市内94地点平均値 地上1m高0.02~0.08μSv/h)

※全ての測定結果<0.23マイクロシーベルト/時

(放射性物質対処特措法に基づく汚染廃棄物対策地域指定要件: 23.12.14環境省)

○災害廃棄物放射能濃度(23.11.21試料採取)

- 134Cs+137Cs=N.D.(検出下限以下)
<100Bq/kg(災害廃棄物再利用基準: 23.11.18環境省)
- 推計最大値: 災害廃棄物全体36.0Bq/kg以下、災害廃棄物可燃物37.8Bq/kg以下

○久慈地区ごみ焼却場の焼却灰放射能濃度

- 23.6.30 134Cs+137Cs: 飛灰604Bq/kg、主灰31Bq/kg <8,000Bq/kg
- 24.3.2 134Cs+137Cs: 飛灰 97Bq/kg、主灰N.D. <8,000Bq/kg
- ※焼却にかかる災害廃棄物混合率は約10%
- (焼却灰埋立基準: 23.6.28環境省)

○岩手県モニタリングシステム環境放射線量率(久慈市)

- 24.3.15~ 24時間観測中(1日平均0.035~0.055μSv/h)
- <http://www1a.biglobe.ne.jp/radiation-monitoring-system/pc/index.html>

【評価】

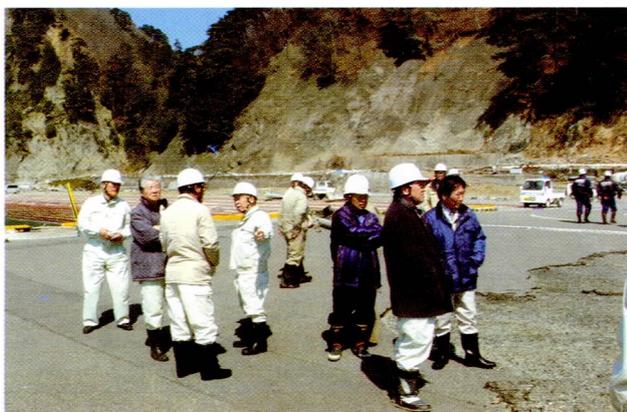
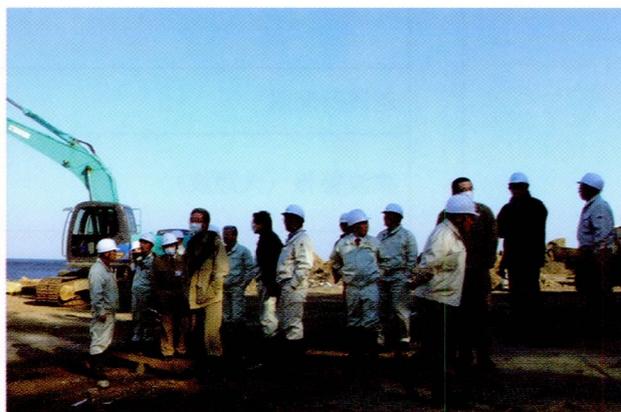
久慈市における環境放射線量率や災害廃棄物の焼却灰に含まれる放射性物質の濃度は、国の定める特別な処理を必要とする基準を大きく下回っています。

※『H23.12【環境省パンフ】津波被害による岩手県・宮城県での災害廃棄物の受け入れについて』などより。

3-8 議会と共に取り組む

久慈市議会東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会

久慈市議会では、平成 23 年 3 月 16 日第 26 回定例会において災害対策特別委員会を設置し、情報を共有し復興・復旧に共に取り組みました。



3-9 復旧・復興への主な取組・動き【一覧表】

月日	曜日	主な取組・動き	主な内容
平成 23 年 3 月 11 日	金	東日本大震災の発生	14:46 三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生 最大震度 震度7 : 宮城県栗原市 震度5弱: 久慈市川崎町、長内町 震度4 : 久慈市山形町 【参考】 気象庁 本震について発表したマグニチュード ・3月11日 14時49分発表 M7.9 (気象庁マグニチュード:速報値) ・3月11日 16時00分発表 M8.4 (気象庁マグニチュード:暫定値) ・3月11日 17時30分発表 M8.8 (モーメントマグニチュード) ・3月13日 12時55分発表 M9.0 (モーメントマグニチュード)
		久慈市災害対策本部設置	14:49 久慈市災害対策本部設置 14:49 気象庁が津波警報(大津波)を発表 避難指示を発令(1,489世帯、4,300人) 【参考】津波予報区:岩手県 ・14時49分 3m ・15時14分 6m ・15時30分 10m以上
		避難所開設	14:49避難指示発令を受け、各被災地対応避難所を開設。最大38か所、2,916人
		津波警報(大津波)	14:52 津波警報(大津波)発表 防災行政無線広報(サイレン吹鳴、水門閉鎖及び避難広報を実施)
		水門、陸閘閉鎖完了	15:02 水門、陸閘閉鎖完了 久慈消防署及び久慈市消防団による水門、陸閘閉鎖完了(久慈湊、諏訪下、小袖、久喜)
		防災行政無線広報	防災行政無線広報実施15:05、15:10、15:15
		防災行政無線広報	防災行政無線広報実施15:20、15:23、15:28 小袖付近の海岸で約1mの引き潮確認
		津波襲来(第1波)	15:30頃 津波襲来(第1波)(資料:広報くじ)
		防災行政無線広報	防災行政無線広報実施15:32 久慈港で津波確認
		防災行政無線広報	15:34~ 防災行政無線広報実施 15時34分から3月12日3時25分まで情報が入り次第、広報を実施
		津波襲来(第2波)	15:36頃 津波襲来(第2波)(資料:広報くじ)
		津波の遡上	15:57 津波の遡上確認 16:20 津波の遡上確認
		非常食の配給	18:04 非常食を災害対策本部へ配給(アルファ米4,750人食)
		陸上自衛隊到着	21:10 陸上自衛隊第9師団第9戦車大隊到着
		避難所等に保健師を配置	10カ所の避難所に24時間態勢で保健師を配置し、避難者の健康管理・健康相談に対応(～3月28日まで)
		発災以降、バス・鉄道全便運休 市役所電子機器の状況確認とシステム停止作業	電算システム機器の状況確認とシステム停止作業
		やませ土風館「風の館」避難住民等受入れ	発電機による点灯、食料品、飲料、毛布等の提供
		道路、河川、橋梁の被害状況確認	市内パトロール開始 被害状況を確認し、浸水及びガレキ等による通行不能区間にバリケード等を設置

	国県道の被害状況、交通制限情報収集	振興局土木部等との連絡調整
	「新街橋」通行止め	橋面陥没、欄干の不安定が見受けられたため、消防団の緊急判断により通行止め措置
	災害協定に基づき、岩手県建設業協会久慈支部による自主パトロール実施	自主判断によりパトロールを実施した2社から3件の結果報告(停電のため結果受信は3月12日、13日)
	久慈浄化センター施設 停電により運転停止 津波により浄化センター敷地内冠水 市内マンホールより溢水	逆流防止のため流入・流出ゲート全閉 作業終了後、管理業者避難
	漁業集落排水処理施設(4箇所) 大川目コミュニティプラント停電により運転停止 津波により久喜地区漁業集落排水処理場被災	漁業集落排水処理施設: 桑畑、外屋敷、横沼・川津内、麦生 久喜地区漁業集落排水処理場に津波直撃(躯体損傷、電気・機械設備被災により運転不可)
	各小・中学校の被害状況取りまとめ	学校施設の被害状況について情報収集。
	被害のあった学校施設への対応開始	断水により水の使えない学校や、学校へ避難している人への不足の見込まれる物資等の情報収集
	学校及び児童生徒の状況確認開始	各学校から電話報告及び職員の直接訪問での確認。負傷者報告0件。保護者へ引き渡しができない児童1名は学校で保護。他は保護者へ引渡し等により下校。保護者からの所在確認等照会 0件。
	学校給食センター保管米の提供	自衛隊による避難所炊き出し用としてセンター保管米約270kg
	給食配送車での避難所への食料配送	配送車6台、運転手6人従事
	学校給食センター食器等避難所へ貸出	ご飯食缶 大50個 小50個 計100個 汁食缶 大50個 小50個 計100個 ごはん椀3千個、汁椀3千個、箸3千膳 ご飯しゃもじ・汁用おたま 各百数個
	14:50 中央公民館、図書館内非常放送及び職員による来館者の避難誘導開始	来館者を3階へ誘導、又避難者の保護にあたった。
	体育施設休館(場)	久慈市民体育館、久慈市第二体育館久慈市民柔剣道場、久慈市民弓道場を休館(場)
	久慈市宮野球場の被災確認、敷地内立入禁止	久慈市宮野球場の被災確認及び敷地内立入禁止措置
	久慈市民体育館を自衛隊の宿营地として提供	3月11日～4月11日
	学校状況確認作業	児童生徒・教職員、学校施設状況等の報告受付、確認。 臨時休校措置、卒業式の実施日程等の確認開始。
	津波襲来状況の記録	大津波警報発表後、直ちに沿岸部に向かい、津波の襲来状況を記録。(担当1人で行動)
	避難所への炊き出し等の食料・物資等の対応	3月11日～3月28日
	野田村への炊き出し(ご飯)の対応	3月11日～4月7日
	「新山根温泉べっぴんの湯」停電により営業停止	3月13日より一部営業再開
3月12日	土	
	緊急消防援助隊到着	13:20 緊急消防援助隊(浜松指揮支援隊先行隊)が久慈消防本部に到着
	津波警報(大津波)から津波警報へ切り替え	20:20 津波警報(大津波)から津波警報へ切り替え(防災行政無線広報)
	市役所電源復旧	市役所電源復旧によりシステムの起動と動作確認開始

		誘致企業等の被害状況調査開始	誘致企業等の被害状況調査開始 (以降、随時調査)
		やませ土風館「土の館」営業一部再開	1店のみ
		久慈浄化センター沈砂地ポンプ棟ポンプ室の浸水を確認 電気・機械設備被災	14:30 応急復旧を開始 海水の排水作業 電気・機械設備の応急復旧作業 ～4月13日
		応急給水開始	16:00 応急給水開始 (3月21日まで。最大15か所)
		浸水区域に居住する児童・生徒の情報把握	学齢簿をもとに被災した児童生徒の抽出
		避難所に避難している児童生徒の安否確認を在籍校へ依頼	保護児童の保護者へ引渡し完了 教職員による家庭訪問、避難所訪問等により全児童生徒の状況把握
		給食配送車で避難所への食料配送	配送車6台、運転手6人
		保護児童引渡し終了	帰宅困難のため保護した児童(長内小学校)の保護者が引き取りに来校。 避難所に避難した児童生徒のいる学校に、各施設に出向き教職員により安否確認を行うよう依頼。
		山根中学校卒業式	当初予定日程で実施(1校のみ)。 久慈中他中学校5校は12日から予定を変更。
		農地・農畜産物・農業施設等の被害調査開始	現地調査及び情報収集開始
		被害状況の記録	3月12日～3月14日 3/12夜明けとともに行動し、沿岸部の被害状況を記録。(安全面を考慮し、基本、総括と担当の2人で行動)
3月13日	日	緊急消防援助隊到着	1:25 栃木県緊急消防援助隊到着 (3月18日～3月19日 行方不明者捜索活動)
		津波警報から津波注意報へ切り替え	7:30 津波警報から津波注意報へ切り替え (防災行政無線広報)
		久慈市消防団野田村へ応援	8:00 久慈市消防団 野田村へ行方不明者捜索活動応援
		防災センター電源復旧	11:37 防災センター電源復旧
		津波注意報解除	17:58 津波注意報解除 (防災行政無線広報) 消防団へ水門開放を指示
		がれき撤去作業開始	3月13日～ 道路上の撤去開始 3月20日～ 民有地の撤去開始 3月29日～ 被災家屋等の解体開始
		市制施行5周年記念式典延期	東日本大震災のため延期決定 (日程未定)
		市役所電子機器システム起動	システムの起動と動作確認終了 インターネット回線接続復旧
		「北三陸くじ冬の市」中止	「北三陸くじ冬の市」の中止決定
		学校給食センターにおいて炊き出し及び配送	炊き出し1,500食分 (ご飯、味噌汁) 調理員23人 避難場所へ食料配送 配送車6台、運転手6人
		大島理森代議士災害情報交換来訪 (市長・両副市長)	
		畑浩治代議士災害情報交換来訪 (市長・両副市長)	
		上野岩手県副知事災害情報交換来訪 (市長・両副市長)	
3月14日	月	緊急消防援助隊到着	5:50 青森県緊急消防援助隊到着 (3月14日～3月16日 行方不明者捜索活動)
		夢ネットケーブル被害状況確認	被災箇所5地区 (諏訪下、玉の脇、大尻、半崎、久喜)を確認
		家屋被害調査開始	迅速に被害認定をし、速やかに罹災証明書を発行するため、被害調査を開始

		消毒用消石灰の配布開始	床上浸水世帯等に462袋（20kg入り）配布（～5月31日まで）
		災害対応に係る雇用促進住宅の使用要請	（独）雇用・能力開発機構理事長あて ⇒3月16日使用許可の連絡有り
		やませ土風館「産食体験館 山海里」営業再開	
		久慈浄化センター手動運転開始	16:00
		各教育施設の施設概要・状況について情報収集	自衛隊等の受け入れ場所として、教育施設の利用を検討するため、各教育施設における収容人数、燃料の残量等の情報を収集。
		児童生徒及び教職員安否確認終了	児童生徒及び教職員の全員無事を確認。
		給食配送車で避難所への食料配送	給食車6台、運転手6人
		小中学校臨時休業措置（～19日）児童生徒安否確認終了	臨時休業措置：19校（旧山形地区、宇部小、山根中は休業なし） 避難所めぐり等により、児童生徒の状況確認。
		山形中学校卒業式	3月12日から変更
		久慈市民体育館を自衛隊の宿営地に提供	久慈市民体育館メインアリーナ内
		久慈市民体育館を自衛隊の宿営地に提供	久慈市民体育館脇駐車場
		東北森林管理署和山署長（外館副市長）	災害に対する見舞
		勤労青少年ホームを各県警等の拠点施設として提供	各県警等の拠点施設として提供 4月6日まで（24日間）延べ261名が拠点施設として利用（埼玉県警察本部関東管区機動隊他9隊）
3月15日	火	久慈市消防団 野田村へ応援	8:00久慈市消防団、野田村へ行方不明者捜索活動応援
		応急仮設住宅建設の協議	県と応急仮設住宅建設の協議
		各教育施設に勤務する職員の通勤状況調査	通勤に使用する車両の燃料が入手困難な状況となり、教育委員会所管の各施設において職員不在の事態を防ぐための検討
		給食配送車で避難所への食料配送	給食車3台、運転手3人
		家屋被害調査	被害認定し、罹災証明書を発行するため、家屋の被害調査を行った。
		元衆議院議員鈴木俊一氏災害情報交換来訪（市長）	
		三陸鉄道柗金野本部長（市長）	久慈-野田間運行に係る報告
		雇用促進住宅の使用可能戸数の確認及び修繕	3月15日～3月30日まで 使用可能戸数 長内宿舎30戸、大川目宿舎22戸を確保 長内宿舎は3月24日、大川目宿舎は4月1日から被災者の入居を開始 野田村分についても一括して対応
		「新山根温泉べっぴんの湯」無料開放	3月15日～3月17日まで 山形町内の断水地区（川井地区・清水川地区）住民を限定した無料開放
		写真資料の調整作業等	3月15日～随時
3月16日	水	第26回久慈市議会定例会において「大津波警報に伴う対応等について」諸般の報告	久慈市議会「東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会」設置
		市民バス一部運行再開	滝線、久慈海岸線除く 15:20以降は運休
		三陸鉄道運行再開	1日3往復 久慈～野田間
		バス大野線休日ダイヤで運行再開	

		東日本大震災久慈市地震災害義援金の受付開始	
		市内道路全線開通	市内ほぼ全域において1車線確保
		久慈市第二体育館を消防援助隊の宿営地に提供	3月16日～21日 長崎県消防隊 3月17日～19日 佐賀県消防隊
		給食配送車で避難所への食料配送	給食車3台、運転手3人
		角柄分校、久慈中、夏井中、宇部中、三崎中卒業式	3月12日を変更(久慈中、夏井中、宇部中) 3月13日を変更(三崎中) 変更なし(角柄)
		葛巻町觸澤副町長(市長)	支援物資持参(牛乳200本)
		東北農政局岩手農政事務所職員来訪(市長)	災害に対する見舞(齋藤地域第4課長・二戸統計情報センター下川原次長)
		市議会3月定例会最終本会議	
		久慈警察署中村署長災害情報交換来訪(市長)	
		津波被災集落、災害時要援護者及びガソリン不足等による交通難民等への食料・支援物資等の対応	3月16日～3月29日
		被害状況等の記録	3月16日～随時 被害状況のほか、小・中学校の卒業式、生活の状況なども記録。(通常体制に。基本、担当1人で行動)
		東北地方太平洋沖地震災害対策対応	3月16日 第26回定例会において発議により特別委員会設置 3月16日 鹿角市議会来庁 3月30日 能代市議会来庁 4月5日 特別委員会現地調査 4月18日 会派代表者協議会において議員行動経費、政務調査費の凍結を決定 4月18日 弟子屈町議会、平泉町議会、盛岡市議会来庁 4月26日 第27回臨時会において議員報酬10%削減する「久慈市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例」議決 5月17日 復興計画に係る協議及び震災対応に係る補正予算専決処分説明の全員協議会 6月3日 軽米町議会来庁 6月7日 岩手県市議会議長会による岩手県知事に対する要望活動 6月28日 第28回定例会において「東日本大震災からの早期復興に向けての支援強化を求める請願」を採択、意見書の提出 6月28日 調査終結により特別委員会消滅
3月17日	木	緊急消防援助隊到着	3:05 長崎県緊急消防援助隊到着 (3月17日 行方不明者搜索活動)
		応急仮設住宅の建設候補地調査	
		被災地の区長・町内会長および被災者から状況調査	
		バス 久慈こはく線、運行再開	通常ダイヤ
		給食配送車で避難所への食料配送	給食車2台、運転手2人
		小国小、繫小、侍浜中卒業式	3月15日を変更(侍浜中) 変更なし(小国小、繫小)
		自衛隊支援隊入れ替え報告(市長)	岩手駐屯地第9特科連隊 ⇒第26普通科連隊平野剛連隊長 (留萌駐屯地)

		北日本造船(株)往訪（被災状況視察） （市長）	久慈工場敷地内にて、被災状況視察及び東社長との懇談
		緊急消防援助隊長・鹿沼消防署副所長報告（市長）	捜索活動状況報告
		応急仮設住宅の建設候補地調査	県建築住宅課・県北広域振興局
		被災地の区長・町内会長および被災者から状況調査	被災者の避難先、仮設住宅の入居希望、その他の要望などを調査
3月18日	金	久慈地区災害ボランティアセンター設置	久慈市社会福祉協議会 高谷敦子副会長を本部長とし、久慈青年会議所、ボランティア連絡協議会、久慈市でボランティアセンターを設置し、ボランティアの募集・受け入れ・派遣を行った。 〈登録者数〉598人。 〈活動内容〉・住居清掃、ごみ出し、がれきの撤去。・物資仕分け・ボランティアセンター運営・給水・引っ越し（仮設住宅、野田村） 〈活動場所等〉・久喜地区（8日間）217人・長内地区（18日間）200人・久慈湊地区（9日間）285人・夏井地区（14日間）83人・野田村（9日間）250人・山形地区（1日）5人・物資受付・仕分け（15日間）197人・ボランティア本部補助（16日間）217人 ※8月以降、活動実績なし
		バス 白樺号、運行再開	1日1往復
		保健師を野田村に派遣	野田村からの要請により、被災者支援のため保健師2名を派遣（～3月21日まで）
		人工透析患者の宿泊受入	県保健福祉部健康国保課及び県立久慈病院からの要請により、通院困難な患者3名を元気の泉内に宿泊受入（～3月21日まで）
		給食配送車で避難所への食料配送	給食車1台、運転手1人
		久慈湊小他小学校16校卒業式	日程変更校なし
		青森県鯉ヶ沢町支援物資持参（外館副市長）	長内副町長来訪
		住宅状況調査と応急仮設住宅希望者の聞き取り調査	住宅状況調査と応急仮設住宅希望者の聞き取り調査（6班対応、3月19日まで）
3月19日	土	市民バス燃料不足により運休（～3/21）	
		市立小中学校臨時休校措置終了	臨時休校措置（3月14日～3月18日）
		久慈市営野球場の復旧開始	土砂・瓦礫撤去、管理棟清掃、芝洗浄作業等（～3月24日）
		久慈小、来内小、長内中卒業式	3月12日を変更（長内中） 変更なし（久慈小、来内小）
		青森県八戸市支援物資持参（市長）	高島総合政策部長来訪
		達増知事来訪（市長・両副市長）	災害状況視察
3月20日	日	久慈港の一部供用が開始される	
		家屋等被害第1次調査終了	国の被害認定基準に基づき被害程度を判定した。判定結果に納得がいかない被災者に対しては、第2次調査を行った。（被害認定件数1,230件）
		市立小中学校卒業式全校終了	3月12日～3月20日 全30校の卒業式終了 （中学校8校が震災により日程変更）
		久喜地区漁業集落排水処理場の応急復旧	～28日（電気・機械設備の応急復旧）
		大川目中学校卒業式	3月13日から変更 市立小中学校卒業式全30校終了
		独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構・現況報告来訪（市長）	新井理事・青山久慈事務所長・本部調査役・日本地下石油備(株)大藤久慈事業所長来訪

		港湾安全会議開催	八戸海上保安部植原部長来訪		
3月21日	月	久慈ライオンズクラブによる河川公園清掃ボランティア			
		米内造園による河川公園清掃ボランティア	3月21日～24日		
		広報紙の編集	3月21日～随時 広報4月1日号の発行が決定。記録等も行いながら、編集作業を進めた。		
		避難所での聞き取り及び被害住宅追加被災者探し（応急仮設住宅希望調査）	3月21日～3月24日		
3月22日	火	バス大野線通常ダイヤにて運行再開			
		市民バス運行再開	久慈海岸線は、久慈－小袖間、久慈－大尻間の2方面で運行		
		罹災証明書発行開始	被害認定に基づき、罹災証明書を発行（罹災証明書発行件数 2,071件）		
		被災車両対応	3月22日 現地状況確認（104台確認） 6月1日 仮置場へ移動（14台）		
		市税納期の延長	広報周知		
		野田村の応急給水応援	野田村の応急給水を応援（3月23日まで）		
		平成二十三年東北地方太平洋沖地震に伴う地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律等の施行			
		平成二十三年東北地方太平洋沖地震に伴う地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律第1条第1項の規定に基づく市町村の指定（第1次指定）	第1次指定 岩手県分 （延期される選挙） 陸前高田市ほか2町3村 ※久慈市は、延期される選挙の第1次指定から漏れる		
		陸上自衛隊第2師団田中敏明師団長表敬訪問（市長）	炊き出しの様子など視察		
		東北地方整備局青森河川国道事務所より、災害対策現地情報連絡員リエゾン派遣来訪	3月22日（第1班）		
		空室であった市営住宅に目的外使用として被災者を受け入れた	みなと団地1戸、宇部町和野平地区住宅2戸		
		3月23日	水	被災地区の家庭訪問を開始	被災家庭（全壊・半壊・床上浸水）336世帯訪問し、心身のケアに対応（うち不在116世帯にメッセージ入りタオルを配布 ～3月29日まで）
		3月24日	木	屋内消毒用薬剤の配布を開始	床上浸水世帯等に968本（オスバン液500ml入り）配布（野田村への500本含む ～5月31日まで）
生活必需品の給与開始	給与件数232件（半壊以上）炊飯器、調理器具、ガステーブル、灯油、暖房器具、洗濯機等（暖房器具、洗濯機は久慈市の独自給与）				
平成二十三年東北地方太平洋沖地震に伴う地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律第1条第1項の規定に基づく市町村の指定（第2次指定）	第2次指定 岩手県分 （延期される選挙） 久慈市ほか2市2町1村				
東北地方整備局青森河川国道事務所より、災害対策現地情報連絡員リエゾン派遣来訪	3月24日（第2班）				
県議会議員齊藤信氏来訪（末崎副市長）	災害状況情報交換・視察				

3月25日	金	久慈市消防団 野田村へ応援	8:00 久慈市消防団 野田村へ行方不明者捜索活動 応援 3月25日～3月28日
		被災者への支援に関する各種制度の周知、対応	被災町内会
		青森港湾事務所木内副所長来訪(市長)	支援物資(スコップ100丁)
		岩手県議会正副議長来訪(市長)	災害状況情報交換・視察
		「新山根温泉べっぴんの湯」無料開放	3月25日～4月28日 被災者及び救援部隊(自衛隊・警察・消防等)に無料開放
3月26日	土	大型浚渫船兼油回収船「白山」が久慈港に入港し、支援物資を輸送	
		河川公園の自衛隊による復旧作業	3月26日～27日 自衛隊員 20～30人程度
		東北地方整備局青森河川国道事務所より、災害対策現地情報連絡員リエゾン派遣来訪	3月26日(第3班)
		独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 渡辺石油備蓄部長来訪(市長)	災害状況報告・情報交換
3月27日	日	階猛代議士来訪(市長)	災害情報交換
3月28日	月	避難所閉鎖(雇用促進住宅等対応)	早期の住宅確保として、雇用促進住宅の空室の活用等を進め、早期の避難所閉鎖
		ごみ収集再開	3月11日～3月26日 ごみ収集休止 3月23日～3月25日 燃えるごみ臨時収集 3月28日～ 通常収集再開
		被災遺族訪問を実施	被災遺族2世帯へこころの支援訪問の実施(～3月29日まで)
		久慈中学校ボランティアによる河川公園清掃	
3月29日	火	第1回岩手県災害廃棄物処理対策協議会(県庁)	当面する災害廃棄物の処理方針を国・県・被災市町村・関係団体等で協議し、方針を決定した。
		久喜地区漁業集落排水処理場の手動運転を開始	
3月30日	水	JR八戸線 代行バスにて運行再開	1日3往復 久慈～鮫間
		函館市へ中古の船外機船の提供依頼	函館市職員が久慈市に支援物資を届けてくれた際、函館市職員に対し函館市内にある使用されていない中古の船外機船を久慈市に提供していただけるよう関係者との調整を依頼
		被災者に対する手数料の減免開始	手数料条例第6条第4項の規定に基づき、被災者が支援、援助、助成等を受けるために必要な証明書の交付手数料を免除
		住宅被災者への一時的な空き家バンク登録物件の紹介	
		久慈湊児童公園の指定管理者の協定書の変更	津波被害により当該公園が使用できなくなったことから、H23.4.1～9.30まで業務停止
		児童生徒被災状況調査	学校を通じ児童生徒の家庭の被災状況等を確認し、必要に応じた対応を検討・実施
		市営魚市場再開	震災後初めてセリが行われた。
		総務省東北総合通信局井澤局長来訪(市長)	災害情報交換
		函館税関救援物資持参(外館副市長)	支援物資持参
		能代市齊藤市長・薩摩副議長来訪(市長)	義援金持参・見舞い
		住宅の応急修理 受付開始	

3月31日	木	久慈川河川公園の指定管理者の協定書の変更	津波被害により当該公園内テニスコートが使用できなくなったことから、業務内容の一部（テニスコート修繕業務）を平成23年度は削除
4月1日	金	三陸鉄道 増便	1日5往復 久慈～野田間
		被災者への支援に関する各種制度の周知、対応	広報で全戸周知
		東日本大震災被災者総合相談所設置	被災者用に総合相談所を設置
		久慈市第二体育館を救援物資置き場として提供	
		「新山根温泉べっぴんの湯」通常営業再開	
		公民館類似施設復旧等支援策の検討開始	公的施設は復旧等支援の対象となっているが公民館類似施設は、民家・非住家の扱いであったため、独自の支援制度が必要となった。
4月2日	土	自民党幹部災害状況視察（市長・両副市長）	大島副総裁・石破政調会長・鈴木自民党岩手県連会長
4月3日	日	津波痕跡調査（現地状況把握）	長岡技術科学大学来庁 津波痕跡調査のため現地状況を把握するため
		金ヶ崎町高橋町長・千田議長来訪（市長）	義援金持参
4月4日	月	雇用促進住宅、仮設住宅、民間アパート訪問を開始	雇用促進住宅・仮設住宅・民間借り上げアパートを定期・随時に訪問
		就学援助事業の認定基準の変更	被災した児童・生徒を就学援助事業の対象とするため、認定基準を変更（被災児童生徒就学援助事業認定者数：89名）
		民主党主演代議士災害情報交換来訪（市長）	
4月5日	火	第1回東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会	久慈市議会
		市民バス久慈海岸線通常路線で運行再開	
		国土交通省東北地方整備局に対する復興に向けた緊急提言	仙台
		県に対し久慈市と久慈市漁協とで要望	東日本大震災に係る久慈市魚市場早期復旧要望
		岩手県立大学中村学長・地域連携本部長来訪（市長）	災害時における大学の支援体制等の説明など
		群馬県議会議員後藤新氏来訪（市長・末崎副市長）	義援金及び支援物資持参
4月6日	水	政府・政党に対する東北市長会緊急要望及び岩手県市長会緊急要望	4月6日～4月7日、東京
		政府・政党に対する東北市長会緊急要望及び岩手県市長会緊急要望	4月6日～4月7日、東京
		JR八戸線 代行バス増便	1日3往復 久慈～階上間
		小中学校始業式及び入学式（全28校）	年間計画通り実施、新学期開始。 4月6日：10校 4月7日：15校 4月8日：2校 始業式のみ1校（4月6日）
		久慈市民弓道場利用開始	
		小中学校入学式・始業式開始	小学校3校、中学校7校 小学校1校始業式
		被災者向け住まいの相談窓口設置	賃貸住宅等への入居や持家の再建、被災住宅点検などを行った。
		岩手県沿岸市町村復興期成同盟会設立総会（釜石市：市長）	会議出席

4月7日	木	小中学校入学式	小学校13校 中学校2校
		宮城県沖を震源とするマグニチュード7.1の地震(余震)発生	23:32 宮城県沖を震源とするマグニチュード7.1の地震(余震)が発生(防災行政無線広報)
		津波注意報発表	23:34 津波注意報発表
		防災行政無線広報	23:35 防災行政無線広報 津波注意報発表に伴い、防災行政無線によりサイレンを吹鳴、水門閉鎖及び海岸付近からの避難広報を実施
		水門、陸閘閉鎖完了	23:50 水門、陸閘閉鎖完了 久慈消防署及び久慈市消防団による水門、陸閘閉鎖完了
4月8日	金	津波注意報解除	0:55 津波注意報解除 防災行政無線で広報 消防団へ水門開放を指示
		災害廃棄物担当者会議(盛岡)	災害廃棄物処理に係る実務について協議
		久慈市学校給食センターへ非常食配給	8:30 久慈市学校給食センターへ非常食配給(乾パン5,200人食)
		給食配送車で学校へ非常食配送	12:00非常食給食の実施(乾パン、牛乳、レンジ)
		防災センター停電復旧	13:26 防災センター停電復旧
		災害弔慰金支給開始	
		道路上のがれき撤去完了	
		旧長内中学校グラウンド応急仮設住宅着工	2棟10戸
		岩手県(平井理事)に対する復興に向けた緊急提言	盛岡
		小学校2校 入学式終了	全小中学校27校で入学式・始業式終了
		岩手県市長会長谷藤盛岡来訪(市長)	災害見舞金持参
佐賀県多久市より支援米が届く(10kg×162袋)	支援物資		
4月9日	土	支援物資配布会	4月9日～4月10日 対象世帯数:231世帯(半壊以上) 受け取り世帯数:196世帯 支給物資:食料品(米、カップ麺、レトルト食品など)、水、タオル、オムツ、生理用品、衣類、毛布、ラジオ、その他生活用品等
4月10日	日	自衛隊部隊移動に係る市長表敬訪問	自衛隊北部方面隊第2師団普通科連隊長、自衛隊名寄駐屯地第2偵察隊第2戦車連隊長
		小宮山厚生労働大臣来訪(市長)	災害情報交換
		自衛隊移動協議(市長・両副市長)	陸自名寄駐屯地第2偵察隊1等陸尉陸尉牛田和之氏・北山氏 第2師団26普通科連隊長平野氏 清水氏
4月11日	月	発災1カ月「黙とう」	発災1カ月「黙とう」 (発災1カ月後の全県での慰霊のための黙とう及び「がんばろう岩手」宣言の発表)
		三陸鉄道 増便	1日6往復 久慈～野田間
		管内被災地支援等終了のため自衛隊移動	3月11日～4月11日(1カ月間)
		鳩山前首相来訪(市長)	災害情報交換・同日久慈市災害対策本部出席
		民間賃貸住宅借り上げによる応急仮設住宅受付開始	
4月12日	火	民主党岩手県連に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会緊急要望	盛岡
4月13日	水	デーリー東北新聞の掲載対応	久慈市の浸水区域図の提供
		久慈市漁業協同組合要望	東日本大震災に係る復旧・復興支援の要望
4月14日	木	山花外務政務官来久	
		山花外務大臣政務官来訪(市長)	災害情報交換

		新潟県小千谷市闘牛会来訪（市長）	義援金持参
		中古漁船提供打合せのため函館市を訪問（1回目）	4月14日～4月15日 打合せのため市及び久慈市漁協が函館市を訪問（1回目）
4月15日	金	復興イベント「がんばろう三陸」開催	4月17日まで 売り上げの一部は義援金へ
		河川のがれき撤去完了	
		久慈市民体育館、久慈市民柔剣道場利用開始	
		③主な訪問者等／岩手県立図書館職員3名	岩手県立図書館から図書館の被災状況確認の視察があった。
4月16日	土	春日野部屋春日野親方・二十山親方来訪（市長）	災害見舞
		参議院議員佐藤信秋代議士来訪（市長）	災害情報交換
4月18日	月	北海道川上郡弟子屈町来久	北海道川上郡弟子屈町、徳永町長、八幡議長及び援農代表の方々来久（義援金の持参、事前に支援物資の提供）
		災害廃棄物処理勉強会（釜石市、末崎副市長ほか）	釜石市において実験的に処理する方法について、環境省他関係機関により意見交換が行われた。
		東日本大震災見舞金（第1次配分）申請受付開始	
		「新街橋」歩行者のみ通行可能	
		児童・生徒の心のケアのための学校訪問	4月18日・19日の2日間訪問 被災児童生徒が在籍する学校を指導課長・指導主事2名で訪問し状況を確認・把握（小学校8校、中学校4校 計12校）
		被災児童生徒在籍学校訪問	大川目小、久慈小、久慈中、久慈湊小、侍浜小、侍浜中6校を指導課長、指導主事2名の3名で訪問し状況を把握。
		平泉町菅原町長・青木議長来訪（市長・宮澤議長）	寄付金持参
		弟子屈町徳永町長・八幡議長来訪（市長・宮澤議長）	義援金持参
		岩手大学堺工学部長来訪	災害情報交換
		支援物資配布会	4月18日～5月16日 対象世帯数：246世帯（半壊以上） 受け取り世帯数：214世帯 支給物資：食料品（米、カップ麺、レトルト食品など）、水、オムツ、生理用品、衣類、毛布、ティッシュペーパー、その他生活用品等
4月19日	火	農山漁村被災者受入れ支援情報システム運用開始（農林水産省）	
		被災児童生徒在籍学校訪問	三崎中、久喜小、山根小、小久慈小、長内中、長内小を訪問。
4月20日	水	JR八戸線 代行バス増便	1日3.5往復 久慈～階上間
4月21日	木	長岡技術科学大学 久慈から宮古方面の津波痕跡調査	5月14日（17日修正あり）調査結果データの提供を受理
4月22日	金	リエゾン支援終了	・リエゾン（国土交通省、災害対策現地情報連絡員）
		政府・政党・県選出国會議員に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会緊急要望	東京
		東北財務局岡部局長来訪（市長）	災害情報交換
4月23日	土	やませ土風館「山海里」において、復興応援メニューの提供開始	売り上げの一部は義援金へ

4月24日	日	盛岡地方法務局二戸支局協議により、特設相談所の設置について協議決定	久慈市総合相談所と連携し実施（4月24日、4月26日、4月28日）→5月日程は毎週木曜日とし、12日、19日、26日
		公明党井上幹事長来訪（市長・外館副市長）	災害情報交換
4月25日	月	全国避難者情報システム受付	全国避難者情報システムへ登録するための、情報提供書面の受付開始。他市町村登録者合わせ25名登録。
4月26日	火	第27回久慈市議会定例会において「東日本大震災に係る対応等について」諸般の報告第2回東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会	
		東日本大震災に伴う市税の納期の特例に関する条例の制定	広報周知 納期の特例を定めることにより、市民の納付の便宜と震災に伴う減免手続きの期限の確保
		市税の納期の延長の期限を定める告示	広報周知 市税に係る申告、申請等の書類の提出又は納付等に係る期限が3月11日から5月30日までに到来ものについて、5月31日とした。
		東日本大震災見舞金（第1次配分）支給開始	
		中古漁船提供打合せのため函館市を訪問（2回目）	4月26日～4月27日 打合せのため市及び久慈市漁協が函館市を訪問（2回目）
4月28日	木	漁船登録の手續期間の短縮に係る要望	県北広域振興局水産部に対し、漁船登録の手續期間の短縮について要望
4月29日	金	東北新幹線全線開通 バス スワロー号、運行再開	東北新幹線 臨時ダイヤ。徐行運転 スワロー号 1日4往復
		久慈・野田津波被害写真展「愛する故郷へ」開催	やませ土風館「土の館」（5月31日まで）
		「復興への願いを空へ バルーンリリース」開催	巽山公園
		久慈市第二体育館利用開始	
5月1日	日	復興イベント「がんばろう三陸」開催（以後、11月まで毎週土日開催）	売り上げの一部は義援金へ（以後、11月まで毎週土日開催）
GW		久慈春まつりの中止	
5月2日	月	久慈市東日本大震災復旧復興本部会議において久慈市復興ビジョンについて協議 久慈市復興ビジョン策定	
		久慈市復興計画策定に係る基礎調査、各課ヒアリング（主要事業調査、事業計画書）	5月2日～6月1日
		岩手大学東日本大震災復興対策本部に対する復興対策研究テーマを要望	8件のテーマを要望し、7件のテーマを研究
		法政大学岡本教授来訪（市長）	災害情報交換
5月5日	木	第1回二子朝市の開催	
		二子朝市開催	震災で全ての施設を失ったが、応急復旧し開催にこぎつけた。
5月9日	月	三陸鉄道 増便	1日8往復 久慈～野田間
		ごみ集積場の復旧事業	ごみ集積場復旧事業実施要領を制定 復旧経費への補助を開始
		保健師を野田村に派遣	久慈保健所からの要請により、被災者支援のため保健師1名を派遣。（～7月1日まで）

5月10日	火	自衛隊支援に係る礼状の発送	陸上自衛隊東北方面隊第9師団師団長及び同師団第9戦車大隊長、陸上自衛隊北部方面隊第2師団師団長及び同師団第26普通科連隊長
		被災地域に居留意向に関するアンケート調査	5月10日～5月16日 対象336世帯に対し309世帯から回答（回収率92.0%）
		久慈浄化センター自動運転を開始	
5月11日	水	内閣府長谷川審議官来久	来訪者：長谷川審議官ほか6人 当方：市長、外館副市長、末崎副市長、総務部長、総合政策部長、総務課長、財政課長
		日本テレビ「ジップ」取材	震災に係る久慈市の現状等
		第1回岩手県被災者台帳システム説明会（岩手県、新潟大学）	システム概要説明
		衆議院総務委員会視察対応（釜石市災害対策本部内）	岩手県沿岸市町村復興期成同盟会首長として出席
		内閣府長谷川審議官来訪（市長・外館副市長）	災害情報交換
5月12日	木	JR八戸線 代行バス増便	1日4.5往復 久慈～階上間（クラブ活動後に乗車可能な久慈駅発19:30新設）
		被災企業への操業再開要請	
		旧長内中学校グラウンド応急仮設住宅完成	2棟10戸
		岩手県市長会寄付採納（外館副市長）	寄付採納
		鹿角市児玉一市長来訪（外館副市長）	寄付採納
5月13日	金	日赤家電6点セット設置開始	設置世帯数：68世帯（仮設住宅及び同扱いアパート） テレビ、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、洗濯機、電気ポット
		ワールドビジョンジャパン生活用品セット設置開始	設置世帯数：66世帯（仮設住宅及び同扱いアパート） 衛生用品、台所用品、掃除洗濯、救急用品、寝具、食器、衣類等
		旧長内中学校グラウンド応急仮設住宅家電搬入	
		久慈市営野球場修繕工事開始	バックネット、フェンス、グラウンド等修繕（～6月30日）
5月14日	土	旧長内中学校グラウンド応急仮設住宅入居	9世帯26人入居
		国土交通省港湾局林田局長来訪（市長）	災害情報交換
5月16日	月	久慈市冷凍水産加工業協同組合要望	東日本大震災に係る復旧・復興支援の要望
		岩手駐屯地小林指令来訪（外館副市長）	災害情報交換
5月17日	火	市議会議員全員協議会において久慈市復興ビジョンの説明	
5月18日		支援物資配布会	5月18日～5月25日 対象世帯数：266世帯（半壊以上） 受け取り世帯数：256世帯 支給物資：食料品（米、レトルト食品、調味料など）、自転車、布団、オムツ、生理用品、衣類、タオル、卓上コンロ、ティッシュペーパー、トイレトペーパー、その他生活用品等

5月19日	木	政府・政党・宮城県選出国會議員に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会及び三陸沿岸都市会議による復興道路整備促進要望	東京
5月20日	金	陸上自衛隊より市の対応についての礼状が届く	陸上自衛隊第26普通科連隊長 平野氏より滞在中の市の対応についての礼状が届く。
		東北地方整備局に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会要望	仙台市
		河川公園のがれき撤去完了	久慈川河川公園（4月29日完了） 諏訪下地区JC公園（5月19日完了）
		旧県立久慈水産高校グラウンド応急仮設住宅着工	1棟5戸
5月22日	日	枝野官房長官岩手沿岸北部視察	国家石油備蓄基地、もぐらんぴあ等視察
		枝野内閣官房長官視察対応（洋野町大野～久慈市内同行説明：市長）	視察対応
5月23日	月	県知事・民主党岩手県連に対する岩手県市長会要望	盛岡市
5月24日	火	久慈市内で津波により被災したカーブミラーについて調査	久慈地区交通安全協会（分会）に被災したカーブミラーを調査依頼 市で修繕すべきカーブミラー6基を確認、9月補正で修繕対応
		東日本大震災の被災者に対する市税の減免に関する規則の制定	被災者の負担の軽減を図るため、新たな減免規則を制定
		東日本大震災の被災者の市税減免申請受付開始	広報周知 被災者の減免申請を受け付け、被害認定区分により減免し、被災者の負担の軽減（減免件数 延1,120件）
5月27日	金	各種がん検診無料化決定	り災者・離職者について、平成23年度、全てのがん検診で無料化を実施。
		平成二十三年東北地方太平洋沖地震に伴う地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律の一部を改正する法律等の施行	法律の題名を「平成二十三年東北地方太平洋沖地震」を「東日本大震災」へ改め、その他、選挙執行関係の整備
5月28日	土	IBC チャリティミュージックソンSP ふるさとには負けない！	あんべ光俊さんがやませ土風館を訪問
5月29日	日	「いーはとーぶツーリング 2011 ネバっギバっ三陸っ！！」開催	参加費等、約12万円は義援金へ
5月30日	月	新潟県小千谷市大塚副市長来訪（外館副市長）	寄付採納
5月31日	火	農林水産省現地支援チームに向けた意見交換、現地調査	相手方：農林水産省東東北農政局岩手農政事務所、統計部長及び地域第4課長 当方：農政課、政策推進課、総務課、JA
6月1日	水	東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会設置	
		被災車両集積完了	津波により被災した車両のうち所有者不明のもの等14台を平沢地区に集積完了した。
6月2日	木	久慈市復興計画第1次原案の作成	6月2日～6月19日
6月5日	日	函館・義援船（中古漁船）の久慈港搬入	6月5日～8日 起重機船により228隻（6月5日：83隻、6月6日：30隻、6月7日：85隻、6月8日：30隻）が函館市から久慈市へ輸送
6月7日	火	政府・政党に対する東北市長会要望及び岩手県市長会要望	東京

		岩手県東日本大震災津波復興委員会現地ヒアリング	漁業関係についてヒアリング（於：久慈市漁協）
6月8日	水	第2回岩手県被災者台帳システム説明会	システム概要説明と久慈市の意向協議
		政党・県選出国會議員に対する岩手県市長会要望	東京
6月10日	金	環境省による現地視察・指導	災害廃棄物の処理に関し、現地指導が行われた。
		第1回東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会開催	東日本大震災見舞金（第2次配分）の検討
		岩手県に対する復興に向けた緊急提言	盛岡
		第1回久慈市立小中学校危機管理マニュアル検討・改善委員会開催	久慈市立小中学校危機管理マニュアル検討・改善委員会設置（7月・8月各月1回、計3回開催）
6月11日	土	第1回久慈市立小中学校危機管理マニュアル検討・改善委員会	海岸部小学校長3、中学校長2、山形地区小中各1、学校指導課長の8名で構成
		東日本大震災3か月目の「黙とう」の実施	防災行政無線により市民に呼びかけ
6月13日	月	国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所に対する復興に向けた緊急提言	釜石
		行方不明者の死亡届受付	法務省通知による行方不明者の死亡手続きの受付。（受付件数 2件）
6月14日	火	平庭闘牛会義援金持参（市長）	義援金持参
6月15日	水	久慈市津波避難訓練	参加人数1,872人（うち住民参加人数1,413人は昨年より587人増）
		函館・義援船の提供及び輸送等の関係機関等に対し礼状の送付	函館・義援船の提供及び輸送等で協力をいただいた機関・団体に対しお礼状（市長・漁協組合長連名）を送付 送付先：函館市、函館市内漁業協同組合長連絡協議会、南かやべ漁協、えさん漁協、函館市漁協、戸井漁協、銭亀沢漁協、(株)菅原組、(株)宏栄建設、久慈港運株
		国土交通省（本省及び東北地方整備局）に対する湾口防波堤整備促進要望及び復興に向けた緊急提言	東京及び仙台
		久慈市津波避難訓練	震災後最初の津波避難訓練を実施。避難場所や避難経路の修正、河川水門の閉鎖、災害時要援護者の安否確認など新たな取り組みも行った。住民参加者も例年より多くあらためて津波災害への備えを確かめた。
6月16日	木	第3回東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会	久慈市議会
		岩手県による空間放射線量率測定	久慈市内で初めて空間放射線量率の測定が行われた。地上高1mで0.09 μ Sv/hを観測
6月17日	金	岩手県議会災害対策特別委員会現地視察	会場：久慈市防災センター 出席者：久慈広域関係、山内市長ほか18人、岩手県議会16人、ほか関係者
		東日本大震災に伴う地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律第1条第8項の規定に基づく特例選挙期日に関する意見回答	市議會議員選挙期日を8月7日（日）に選挙執行希望を県選管（総務省）へ意見回答
		岩手県議会災害対策特別委員会対応（市長、両副市長）	視察対応

		内閣府東副大臣来訪 (市長、両副市长)	災害情報交換
6月20日	月	久慈市東日本大震災復旧復興本部会議において久慈市復興計画第1次原案について協議	
		内閣府小田審議官来訪 (市長、両副市长)	災害情報交換
		第2回岩手県災害廃棄物処理対策協議会(盛岡市)	国のガイドラインに沿い、岩手県災害廃棄物処理実行計画の策定について協議が行われた。
6月21日	火	久慈市復興計画第2次原案作成	6月21日～6月29日
		旧県立久慈水産高校グラウンド 応急仮設住宅完成検査	手直し完成が6月23日 1棟5戸
6月22日	水	被災証明書の交付開始	高速道路無料化に伴う被災証明書を交付。(被災証明書発行件数 11,724件。11月末で終了)
		「週刊金曜日」掲載に係るフリーライタの下平氏(埼玉県在住、久慈市関係者)の取材対応	報道格差解消のため久慈地域の被害状況取材したいとのことから対応したもの。 7月15日発行の「週刊金曜日」に「岩手県北部被災地」の取材記事が掲載された旨の報告と取材対応に係るお礼及びその雑誌の恵与がされた。
6月24日	金	旧県立久慈水産高校グラウンド 応急仮設住宅家電搬入	
6月25日	土	旧県立久慈水産高校グラウンド 応急仮設住宅入居	5世帯13人入居
6月26日	日	久慈市消防団特別点検	参加人数771人(うち消防団542人、婦人消防協力隊115人、車両64台)
		久慈市消防団特別点検	東日本大震災の影響で中止や延期をする市町村が多い中、久慈市消防団、婦人消防協力隊による久慈市消防団特別点検を実施。震災においても、日ごろの訓練の成果を発揮し、被害を最小限に食い止め、わたしたちのまちを守ってくれました。
6月27日	月	市制施行5周年記念市勢功労者表彰授与式	震災後であることから、当初予定規模から縮小し、被表彰者、市議会議員及び市関係者により実施 久慈グランドホテル、授与式及び昼食会
		岩手県宮古市を拠点とした農林水産省東北農政局現地支援チームの立ち上げ及び現地支援相談窓口の設置に係る説明	農政課、林業水産課、総務課出席
6月28日	火	被災した農家に対する罹災証明書の発行	罹災証明発行件数18件(～平成24年2月16日)
6月29日	水	災害査定(漁港・海岸施設 2次査定)	川津内漁港(臨港道路)他8件
		第2次災害査定実施9件	6月29日・30日 川津内漁港3件、横沼漁港2件、白前漁港1件、舟渡漁港1件、小袖漁港2件
		第2次災害査定実施9件	6月29日・30日 川津内漁港3件、横沼漁港2件、白前漁港1件、舟渡漁港1件、小袖漁港2件
6月30日	木	盛岡地方法務局より東日本大震災による倒壊・流出建物の職権滅失登記についての協議があり、現状を報告	盛岡地方法務局より東日本大震災による倒壊・流出建物の職権滅失登記についての協議があり、現状を報告
		久慈市東日本大震災復旧復興本部会議において久慈市復興計画第2次原案について協議	
6月下旬～		函館・義援船の活用	各生産部で、ワカメ・ウニ・アワビ・ホヤ等の漁で使用開始

7月1日	金	政府・政党に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会要望	東京
		被災地区住民の健康チェック開始	被災地区約1,100世帯(約2,500人)に対して「健康状態チェック表」を配布し1,583枚回収 現在の要フォロー者66人。(～3月11日現在)
		北奥羽開発促進協議会総会において、被災児童・生徒の無償による体験活動の受入れを表明	
		学校教職員等の心のケア対策としてアンケート調査実施	岩手医科大学神経精神科学講座の協力によるアンケート調査 結果説明・配付9月14日(379件)。
		久慈市営野球場利用開始	
7月2日	土	久慈市復興計画案について意見募集(パブリックコメント)の実施	7月2日～7月15日
		(財)都市防災研究所会長伊藤滋氏来訪(市長)	災害情報交換
7月5日	火	東日本大震災復興対策本部岩手現地対策本部津川政務官来久	久慈市庁議室
		久慈地区災害廃棄物処理対策協議会	岩手県の災害廃棄物処理方針を受け、久慈地区全体としての対応を協議。
		支援物資配布会	7月5日～7月8日 対象支給世帯数：64世帯(仮設住宅、借り上げアパート入居世帯) 支給物資：扇風機、掃除機、調味料、清涼飲料水、皿、衣類、日用品セット等
7月6日	水	久慈市復興計画策定に係る意見交換会	夏井町大崎地区、久慈市漁協夏井出張所、37人参加
		民主党及び国土交通省に対する復旧・復興に関する要望	東京
		東日本大震災に伴う地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律第1条第1項の特例選挙期日を定める政令の一部を改正する政令の公布	市議会議員選挙の選挙期日を8月7日(日)に定められた。
7月7日	木	管内在住フィリピン人支援巡回医療相談会	保健師2名が医療関係・家族関係・金銭問題等の相談に対応(フィリピン人18人参加、外務省・岩手医科大学主催)
7月9日	土	東日本大震災復興対策担当大臣と市町村との意見交換会	出席者：約86人(メイン26人、その他関係者約15人、県関係者約15人、市町村関係者約15人、報道機関約15人)相手方：平野大臣、津川岩手現地対策本部長、畑衆議院議員(復興特別委員会委員)ほか 会場：山内市長、管内町村長ほか 会場：久慈防災センター 時間：10:00～12:00
		久慈市復興計画策定に係る意見交換会	全地区、市役所、96人参加
		東北新幹線ダイヤ改正	一部区間を除き、通常速度運転開始 増便
7月10日	日	陸上自衛隊へ山形総合支所を宿泊施設提供(後方支援)	陸上自衛隊第9師団司令部の支援物資配布に向けた物資の仕分け作業について、山形総合支所を宿泊施設として提供(後方支援対応)
7月11日	月	東日本大震災見舞金(第2次配分)支給	
		久慈市復興計画策定に係る意見交換会	各種団体等、長内町元木沢・玉の脇地区、防災センター、59人参加
7月12日	火	第1回岩手県被災者台帳システム会議	これまでの経過及び導入に係る課題とその対応について協議

		「陸上自衛隊岩手駐屯地・東日本大震災災害派遣記録誌」刊行にあたり市長の「自衛隊員に送る挨拶」投稿	盛岡タイムス「陸上自衛隊岩手駐屯地・東日本大震災災害派遣記録誌」刊行
		支援物資配布会	7月12日～7月15日 対象支給世帯数：54世帯(仮設・借り上げ入居世帯以外の大規模半壊以上) 支給物資：調味料、清涼飲料水、皿、衣類、日用品セット等
7月13日	水	舟渡海水浴場における空間放射線量率等測定	海水浴場オープンに向け安全性の確認のため空間放射線量率及び海水中の放射性物質濃度の測定を実施。
7月14日	木	久慈市復興計画策定に係る意見交換会	宇部町久喜地区、久喜公民館、35人参加
7月15日	金	久慈市復興計画策定に係る意見交換会	久慈湊地区、中公民館湊分館、32人参加
		第2回東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会開催	東日本大震災見舞金(第3次配分)の検討
7月16日	土	北限の海女、素潜り実演の再開	
7月19日	火	久慈市東日本大震災復旧復興本部会議において久慈市復興計画最終案について協議	
7月20日	水	今後の集落のあり方について意見交換会	玉の脇地区(玉の脇公民館、21人参加)
		国土交通省及び自民党本部に対する湾口防波堤整備促進要望及び復興に向けた緊急提言	東京
		民間賃貸住宅借り上げによる応急仮設住宅 申込み締切	49件 135人
		第2回久慈市立小中学校危機管理マニュアル検討・改善委員会	課題把握、改善の方向性、今後の防災教育、提言内容について検討
7月21日	木	岩手県による久慈市役所・小鳩公園における空間放射線量率測定	全県的な空間放射線量率測定の一環として測定された。市役所地上高1mにおいて0.06 μ Sv/hを観測
7月22日	金	市議会議員全員協議会において久慈市復興計画案を協議 久慈市復興計画策定	
7月23日	土	久慈みなと“福”興祭 in 侍浜の開催	
		大島国交相三鉄被災状況視察(市長対応)	視察対応(野田村)
7月24日	日	久慈みなと“福興”祭 in 舟渡の開催	
7月25日	月	岩手県に対する重点事項要望	市役所
		災害査定(下水道関係)	7月25日～7月26日 久慈浄化センター 査定率99.96%
		第8次災害査定(土木関係)	7月25日～7月27日 15件(市道久喜漁港線ほか) 査定率99.42%
7月26日	火	東北農政協岩手農政事務所、地域課及び統計・情報センターの再編説明	東北農政協岩手農政事務所、地域課及び統計・情報センターの再編について説明が市役所会議室において実施された。
		函館・義援船のお礼訪問	7月26日～7月27日 函館・義援船の提供及び輸送等で協力をいただいた機関・団体を訪問し謝意を伝えた。 ◇訪問者：山内市長、村上部長、清水頭主任、皂組合長、中平副組合長、廻立課長

			◇訪問先：函館市、函館市内漁業協同組合長連絡協議会、南かやべ漁協、えさん漁協、函館市漁協、戸井漁協、銭亀沢漁協、榊菅原組、中村漁場、定置協会 ◇贈呈品 感謝状、記念品、久慈港入港時の集合写真、津波・義援船に係るテレビ報道のDVD
7月29日	金	衛星電話返却	発災直後、NTTよりスムーズな災害対応に資するため、衛星電話が貸与されていた。その後、電話通話等も落ち着いてきたところであり返却
7月31日	日	小袖海女っこ市の開催	
8月1日	月	東日本大震災見舞金（第3次配分）申請受付開始	
		住宅の応急修理 申込み締切	135件
		東日本大震災に伴う公民館類似施設補助金制度決定及び対象施設に通知	被災前の状況に復旧させるための建設・補修等に要する経費の9/10を補助被害施設（3施設）を対象平成25年度までに完了する事業（遡及適用）
		陸上自衛隊撤収報告	陸上自衛隊第9師団第9戦車大隊：7月26日で災害派遣が終了し撤収することを市に報告
8月5日	金	もぐらんぴあ まちなか水族館オープン	
		県内漁協に対する函館・義援船の要望調査	8月5日～9月6日 久慈市漁協で各生産部に義援船を配分した結果、55隻の余剰が発生。この余剰分について県内の各漁協から要望を取りまとめてほしい旨の依頼を市が受けたことから、要望調査を実施した。その結果、7団体から15隻の要望があった。
		東日本大震災に伴う地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律第1条第2項の特例選挙期日を定める政令の一部を改正する政令の公布	県知事選挙及び県議会議員選挙の選挙期日が9月11日（日）に定められた。
8月7日	日	市議会議員選挙の執行	
8月8日	月	第3回岩手県被災者台帳システム説明会及び第2回会議	導入に係る新潟大学との協議
		バス スワロー号、増便。	1日6往復
		JR八戸線 代行バス増便	1日4.5往復 久慈～種市間
8月10日	水	東日本大震災見舞金（第3次配分）支給開始	
8月11日	木・金	「2011・子ども絆キャンプIN平庭高原」開催への協力	8月11日～8月12日 NPO法人琥珀の泉より、「2011・子ども絆キャンプIN平庭高原」開催への協力依頼があり、職員を派遣
8月16日	火	久慈流灯祭・久慈納涼花火大会の開催	
8月17日	水	第3回久慈市立小中学校危機管理マニュアル検討・改善委員会	提言内容の検討
8月18日	木	応急仮設住宅へ静岡県より薄いスタイロ畳（中古）支給品納品	応急仮設住宅へ静岡県より薄いスタイロ畳（中古）支給品納品（旧長内中38枚、旧水産高校28枚、計66枚）
8月19日	金	「三陸鉄道復興応援うたごえ列車」の開催	
8月20日	土	復興を願って、みんなで歌おう！「新宿ともしび出前うたごえ」の開催	
8月22日	月	第3回岩手県被災者台帳システム会議	導入に係る内容とそのスケジュール及び導入決定について→本会議における導入を決定
		岩手県原発放射線影響対策市町村等連絡会議出席	総務部長、生活環境課長出席

		災害査定（漁港・海岸施設 4次査定）	小袖漁港(沖防波堤) 他 7件
		公民館類似被災施設から要望書提出	元木沢公民館（大規模半壊） 夏井駅前大湊公民館（大規模半壊）
		第4次災害査定実施 8件	8月22日～24日 小袖漁港4件、川津名内漁港1件、麦生漁港1件、久慈湊漁港2件
		第4次災害査定実施 8件	8月22日～24日 小袖漁港4件、川津名内漁港1件、麦生漁港1件、久慈湊漁港2件
8月23日	火	東日本大震災に伴う公民館類似施設補助金申請書受理	元木沢公民館
		旧長内中学校グラウンド仮設住宅追加工事とアスファルト舗装工事	8月23日～8月31日
8月25日	木	久慈市による久慈市役所・小鳩公園における空間放射線量率測定	岩手県の観測を引き継ぎ空間放射線量率測定を業務委託で実施。以後、8月25日、9月20日の計3回実施。
8月26日	金	岩手県被災者台帳システム導入について決定	
		岩手沿岸北部現地支援チームの9月からの体制整備についての説明	所在地：宮古、被災地市町村における農村・農地の復旧、営農再開取組支援等
8月28日	日	「久慈市鉄馬六県ロール集会V o 1 . 2」の開催	
8月29日	月	災害廃棄物処理セミナー（釜石）	
8月30日	火	久慈市原発放射線影響対策連絡会議設置要領の制定	座長：外館副市長、副座長：総務部長、ほか関係部長等
		第3回岩手県災害廃棄物処理推進協議会（盛岡）	災害廃棄物処理実行計画詳細計画の策定について協議
		旧県立久慈水産高校応急仮設住宅アスファルト舗装工事	
8月31日	水	民主党岩手県連第2区総支部に対する要望	衆議院議員畑浩治久慈事務所
9月1日	木	被災者支援専門相談員を配置	看護師1名を雇用（緊急雇用創出事業）し被災者の家庭訪問及びサロン活動に従事。（訪問世帯275世帯、サロン従事11カ所延べ39回、～3月11日現在）
9月3日	土	私たちのくらしと放射線セミナー（盛岡市）に参加	国立がん研究センターがん予防検診研究センター津金昌一郎予防研究部長が講演を行い、放射線の基礎知識と健康への影響について学んだ。
9月5日	月	第2回久慈市個人情報保護審査会（岩手県被災者台帳システム導入関係）	原案のとおり答申決定→同日答申を受ける
9月7日	水	第1回久慈市原発放射線影響対策連絡会議	
		支援物資配布会	9月7日～9月9日 対象世帯数：288世帯（半壊以上） ※全国避難者情報システムに登録している市内避難者を含む（4世帯） 受け取り世帯数：176世帯 支給物資：衣類、タオル、布団、毛布、尿取りパッド、オムツ、その他生活用品等
9月8日	木	被災地区サロン活動を開始	被災地区における地域住民同士のつながりの構築及び被災者等の不安軽減・健康保持のためのサロン活動を実施。11地区で延べ39回実施、延べ参加者435名。（社会福祉協議会・こころとからだの相談センター・民生委員・保健推進委員等と連携、～3月11日現在）

9月10日	土	小金井お月見のつどい（東京都）で募金活動を実施	9月10日～9月11日 東京都小金井市で開催された第44回小金井お月見のつどいに出店
9月11日	日	東日本大震災6か月目の「黙とう」の実施 県知事選挙及び県議会議員選挙の執行	防災行政無線により市民に呼びかけ
9月14日	水	「危機管理マニュアル改善・充実に向けた提言」を検討・改善委員会から受ける	メール一斉送信システムの予算化、的確な判断・指示、避難所の設備の充実、市危機管理マニュアルの作成等の提言。
9月16日	金	久慈秋まつりの開催 「稲川淳二の怪談」の開催	9月16日～9月18日まで
9月21日	水	国土交通省及び自民党本部に対する湾口防波堤整備促進要望 参議院議員横山信一代議士 〃 谷合正明代議士 来訪（外館副市長）	東京 災害情報交換
9月22日	木	災害復旧工事（電気設備、建築）契約 災害復旧工事（電気設備）（建築）契約	久慈浄化センター 久慈浄化センター
9月23日	金	東北新幹線 ダイヤ改正 日本新生総合戦略研究所理事長山口敏夫氏（元衆議院議員）来訪（市長）	全区間正常運転。ダイヤ正常化。 災害情報交換
9月24日	土	（財）台湾佛教慈濟基金会による住宅被害見舞金支給	【対象】3月11日時点で久慈市に在住し、かつ住んでいた住宅が全壊・大規模半壊・半壊となった世帯 【支給額】単身世帯 … 3万円
9月24日	土	支援物資配布会	パラグアイ共和国からの支援物資（大豆）を榊平川食品（盛岡市）が豆腐に加工したものを配布 ※（財）台湾佛教慈濟基金会による住宅被害見舞金支給と同時に実施
9月25日	日	「北限の海女 感謝の日」の開催	
9月26日	月	東日本大震災による倒壊・流出建物の職権滅失登記についての協議 民主党、国土交通省及び東日本大震災復興対策本部に対する湾口防波堤整備促進要望	盛岡地方法務局より東日本大震災による倒壊・流出建物の職権滅失登記についての協議 東京
9月27日	火	政府・政党に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会要望	9月27日～9月28日、東京
9月28日	水	第2回久慈市原発放射線影響対策連絡会議	放射線量測定対象施設の決定、岩手県の取り組み方針等の説明
9月29日	木	第2回久慈市議会定例会において「東日本大震災に係る対応等について」諸般の報告 久慈市放射線量測定対象施設の決定 第2回久慈地区災害廃棄物処理推進協議会 宇部地区における野田村がれきの処理方針説明会 久慈湊児童公園の指定管理者の協定書の変更	125施設 岩手県災害廃棄物処理詳細計画に係る久慈地区としての対応を協議 宇部地区に集積している野田村がれきの処理について、県及び野田村から地域住民に説明があった。 津波被害により当該公園を業務停止（平成23年4月1日～9月30日）としていたが、公園復旧が間に合わなかったことから、業務停止期間を延長（～平成24年1月31日）

10月1日	土	久慈市内空間放射線量率予備調査	久慈市内の空間放射線量率の概要把握を行った。(～10月2日)
10月3日	月	被災地支援木造施設等設置事業に係る受贈	大分県森林組合連合会、NOD わんわんベンチ5脚 イベント中町広場設置
		災害査定(漁港・海岸施設 7次査定)	小袖漁港(南防波堤)他1件、久喜地区漁業集落排水処理施設他1件
		大分県被災者支援木材施設等設置事業によるベンチ寄贈	中町イベント広場にベンチを5台設置
		第7次災害査定実施4件	10月3日・4日 小袖漁港2件、小袖集落環境1件、久喜集落環境1件
		衆議院議員畑浩治代議士来訪(市長・副市長)	災害情報交換
10月4日	火	県及び市町村職員のための放射線セミナーに参加(合庁)	
		第16次災害査定(土木関係)	10月4日～10月5日 1件(市道深田長根線) 査定率100%
10月10日	月	東日本大震災復興対策本部岩手現地対策本部津川本部長との意見交換(市長)	災害情報交換
10月11日	火	津島国土交通大臣政務官来訪(市長・両副市長)	災害情報交換
10月14日	金	災害廃棄物の仮置き場集積完了	平沢地区、諏訪下地区、半崎地区の仮置き場に災害廃棄物の集積が完了した。
		災害復旧工事(機械設備)契約	久慈浄化センター
10月15日	土	「DON ALMAS 復興支援ライブ・護身術体験」の開催	
10月21日	金	民主党岩手県総支部連合会に対する岩手県市長会要望	盛岡市
10月24日	月	東日本大震災記録集編集委員会設置要領制定	
10月25日	火	放射線測定機器研修に参加	空間放射線量率の測定に係る必要な知識と技術を学んだ
		被災地復旧・復興を目的に待浜地区での体験学習受入を実施	10月25日～10月26日対象：久慈市立待浜小学校6年生体験フィールドとして整備を進めていた待浜地区での体験学習受入れを実施参加者から体験料を徴収せず、モニターツアーとして実施した
10月26日	水	鬼復興プロジェクト来訪(外館副市長対応)	復興祈願物資持参
10月29日	土	「サーモンフィッシング in 久慈市」の開催	10月30日まで
10月30日	日	「まちなかハロウィン」の開催	
10月31日	月	第1回東日本大震災記録集編集運営委員会開催	市役所庁議室
		原発放射線影響調査(市内127カ所)	県補助を受け市内の教育施設等主要な場所を調査(～11月10日)
		東日本大震災に伴う公民館類似施設補助金交付決定	元木沢公民館
11月1日	火	久慈地区災害廃棄物処理事務調整会議	災害廃棄物の県内施設における処理等のマッチングについて協議
11月3日	木	三陸鉄道 安全祈願祭・復旧工事起工式	
11月4日	金	「新街橋」一般交通解放	
		応急仮設住宅全戸に暖房器具納品	11月4日、11月8日
11月9日	水	第2回岩手県原発放射線影響対策市町村等連絡会議	放射線影響対策に係る県の取り組みについて
11月14日	月	放射性物質汚染対処特別措置法に係る環境省説明会	航空機モニタリング調査結果の説明

		第3回東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会開催	東日本大震災見舞金（第4次配分）の検討
		希望の烽火プロジェクト岡本代表理事来訪（市長）	災害情報交換・表敬訪問
11月15日	火	災害廃棄物処理に係る視察（秋田県大仙市来久）	
11月16日	水	政府・政党に対する岩手県市長会要望	東京
11月17日	木	第3回久慈市原発放射線影響対策連絡会議	久慈市放射線空間線量測定結果の公表について決定、及び久慈市測定方針についても決定、放射性物汚染対処特別措置法に基づく汚染状況重点調査地域の指定を受けないことについてを決定
		旧長内中学校グラウンド応急仮設住宅全戸に消火器設置	旧県立久慈水産高校グラウンド応急仮設住宅には建設当初に設置済み
11月21日	月	大分県被災者支援木材施設等設置事業に東屋設置	巽山公園に設置。 11/21 目録贈呈式を行った。
		「復興に係るまちづくり」についての意見交換会	夏井町大崎地区、大湊駅前公民館、33人参加
		久慈地域消費生活セミナー「食品の安全・放射能は大丈夫？」を開催	内閣府消費者庁消費者政策課政策企画専門官佐藤京子氏による講演を行い、放射能に関する正しい知識を学ぶ機会を設けた。
11月22日	火	「復興に係るまちづくり」についての意見交換会	久慈湊地区、中央公民館湊分館、34人参加
11月23日	水	「第1回北三陸くじ冬の市」の開催	
11月24日	木	政府に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会要望	東京、情報通信関係
		「復興に係るまちづくり」についての意見交換会	長内町元木沢地区、防災センター、20人参加
11月25日	金	東日本大震災に伴う公民館類似施設補助金請求書提出	元木沢公民館（修繕補修）
		「復興に係るまちづくり」についての意見交換会	宇部町久喜地区、久喜公民館、31人参加
11月28日	月	「復興に係るまちづくり」についての意見交換会	長内町玉の脇地区、玉の脇公民館、10人参加
11月29日	火	「復興に係るまちづくり」についての意見交換会	全地区、市役所、57人参加
12月1日	木	久慈市放射線空間線量測定結果公表	広報及びホームページ
12月3日	土	暖房器具支給	対象世帯数：274世帯（半壊以上、応急仮設住宅入居世帯は除く）※久慈市受付の民間借上げ住宅に入居している市外避難者も含む（8世帯） 希望世帯数：251世帯 支給物資：石油ファンヒーター
12月4日	日	「リアス・ハイウェイ早期実現久慈大会」及び「八戸・久慈自動車道整備促進住民大会」開催	三陸沿岸都市会議、八戸・久慈自動車道整備促進住民会議の共催 三陸沿岸道路の早期完成を求め沿岸地域住民が集結 復興局岩手現地対策本部長、三陸沿岸都市会議7首長等によるパネルディスカッションほか 参加者約1,200名
12月6日	火	「復興応援チャリティーライブ」の開催	
12月8日	木	集団移転に関する話し合い	長内町玉の脇地区（玉の脇公民館、7人参加） 宇部町久喜地区（久喜公民館、7人参加）
12月9日	金	東日本大震災見舞金（第4次配分）支給	

		<p>集団移転に関する話し合い</p> <p>夏井町大崎・久慈湊地区（中央公民館湊分館、27人参加） 長内町元木沢地区（元木沢地区公民館、22人参加）</p>	
		<p>市内空間放射線量率調査（94カ所）</p> <p>久慈市導入機器による一斉調査を開始（～12月12日）。以後毎月実施。</p>	
12月15日	木	<p>災害廃棄物処理に係る視察（秋田県及び関係市町村来久）</p>	NHKほかマスコミ各社による取材も行われた。
12月19日	月	<p>災害査定（漁港・海岸施設 14次査定）</p>	久慈湊漁港海岸（防潮堤）
		<p>第14次災害査定実施1件</p>	12月19日・20日 久慈湊漁港（海岸保全施設）1件
12月23日	金	<p>「第2回北三陸くじ冬の市」の開催</p>	
		<p>復興支援プロジェクト「三陸イルミネーション」の開催</p>	<p>主管：久慈青年会議所 会場：巽山公園</p>
12月26日	月	<p>災害査定（漁港・海岸施設 15次査定）</p>	小袖漁港海岸（防潮堤）
		<p>第15次災害査定実施1件</p>	12月26日・27日 小袖漁港（海岸保全施設）1件
		<p>集団移転に関する話し合い</p>	<p>夏井町大崎・久慈湊地区（中央公民館湊分館、17人参加）長内町元木沢地区（防災センター、21人参加）宇部町久喜地区（久喜公民館、6人参加）長内町玉の脇地区（玉の脇公民館、6人参加）</p>
		<p>「街なかXmasイルミネーション」の開催</p>	H24.3.11まで点灯
		<p>東日本大震災復興本部幹事会設置要領制定</p>	
平成24年1月9日	月	<p>久慈市消防出初め式</p>	参加人数712人（うち消防団545人、婦人消防協力隊114人、車両64台）
1月10日	火	<p>久慈市東日本大震災復興祈念式打合せ</p>	市役所庁議室
1月11日	水	<p>災害廃棄物等処理事業に係る災害査定</p>	(～12日)
1月18日	水	<p>東日本大震災記録集編集運営委員会編集班会議開催</p>	市役所庁議室
		<p>支援物資配布</p>	<p>対象世帯数：応急仮設住宅各戸（15戸） 支給物資：除雪用スコップ</p>
1月19日	木	<p>三陸沿岸道路「八戸・久慈自動車道」（侍浜町桑畑地区）関係地権者説明会開催</p>	<p>国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所、岩手県、久慈市の共催 現地測量及び地盤調査に伴う土地立ち入りに係る説明会</p>
1月24日	火	<p>災害廃棄物処理に係る視察（秋田県建設業協議会来久）</p>	
		<p>久慈湊児童公園の指定管理者の協定書の変更</p>	<p>津波被害により当該公園を業務停止（平成23年4月1日～平成24年1月31日）としていたが、公園復旧が一部間に合わなかったことから、業務停止期間を延長（～3月31日）した。ただし、公園内のトイレが復旧したことにより、トイレ清掃業務を平成24年3月1日から再開した。</p>
1月25日	水	<p>災害廃棄物処理に係る視察（秋田県議会来久）</p>	
1月26日	木	<p>支援物資配布</p>	<p>1月26日（木）～27日（金） 配布 対象世帯数：59世帯（応急仮設住宅及び民間借上げ住宅入居世帯）※久慈市受付の民間借上げ住宅に入居している市外避難者も含む（8世帯） 支給方法：戸別配布 支給物資：どんぶく（綿入れはんてん）、生活情報雑誌※生活情報雑誌に関しては、市営住宅及び雇用促進住宅入居者へも支給（6世帯）</p>

1月27日	金	三陸沿岸道路「三陸北縦貫道路」(宇部町から長内町間) 関係地権者説明会開催	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所、岩手県、久慈市の共催 現地測量及び地盤調査に伴う土地立ち入りに係る説明会
1月28日	土	「第3回北三陸くじ冬の市」の開催	
2月3日	金	八幡平市(清掃センター)での災害廃棄物焼却について合意	
2月7日	火	久慈市東日本大震災復興祈念式第1回主任・副主任会議	
2月10日	金	「食品中の放射性物質対策に関する説明会」(盛岡)に参加	主催：厚生労働省、内閣府食品安全委員会
2月15日	水	宇部地区における野田村がれきの処理日程について宇部地区に周知	宇部町に集積している野田村のがれきの処理日程について、住民周知を行った。
		災害等廃棄物処理事業補助金説明会(盛岡)	
2月16日	木	第3回岩手県原発放射線影響対策市町村等連絡会議	岩手県内における原発放射線影響対策の取り組み状況及び方針の改定等について
2月18日	土	「第4回北三陸くじ冬の市」の開催	
2月19日	日	三陸沿岸道路(野田村玉川から久慈市新井田間) 中心杭設置式開催	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所、岩手県、久慈市の共催
2月20日	月	三陸沿岸道路(久慈市侍浜町から洋野町間) 中心杭設置式開催	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所、岩手県、久慈市の共催
2月23日	木	集団移転に関する話し合い	長内町玉の脇地区(玉の脇公民館、5人参加) 宇部町久喜地区(久喜公民館、9人参加)
		支援物資配布	2月23日(木)～24日(金) 配布 対象世帯数：61世帯(応急仮設住宅、民間借上げ住宅、市営住宅、雇用促進住宅入居世帯)※久慈市受付の民間借上げ住宅に入居している市外避難者も含む(7世帯) 支給方法：戸別配布 支給物資：花王生活用品セット
		社会福祉士(内閣府 専門家派遣事業)による被災者支援実施	被災地区サロン(2カ所)、仮設住宅(7世帯)及びハイリスク者(4名)を訪問し、被災者の心のケア活動を実施。(2月23・24・27・29日)
		三閉伊ウォーク交流会	三閉伊ウォーク実行委員会(遠野まごころネット)主催、2月23日～24日久慈市内を通過
2月24日	金	集団移転に関する話し合い	夏井町大崎・久慈湊地区(中央公民館湊分館、18人参加) 長内町元木沢地区(防災センター、16人参加)
		災害廃棄物処理に係る視察(秋田県男鹿市議会来久)	
2月25日	土	被災地域の子どもたちの心のケアを目的に、「平庭高原スノーキャンプ」を1泊2日の行程で実施。	2月25日・26日(土・日) ・久慈広域の小学生が8名参加した。 (内訳：久慈市2名、洋野町6名) ・ふるさと体験学習協会と共催。
2月26日	日	久慈市防災ワークショップ(津波)	沿岸部(町内会長、民生委員、消防団)を対象に、東日本大震災時の避難及び問題点・課題点等についてワークショップを行った。参加者約40人。
2月27日	月	災害廃棄物処理に係る視察(秋田県仙北市来久)	仙北市長・議長ほか当局及び議会の合同視察。山内市長及び八重樫議長が対応。
3月1日	木	東京都小金井市で、被災地復興の応援を目的に開催された被災地産品販売イベント「夜明け市場」に出店	3月1日・2日(木・金) ・(社)久慈市観光物産協会と共同出店した。

3月3日	土	被災地域の子どもたちの心のケアを目的に、「笑顔で滑ろう！子どもスキー&スノーボード体験会」を実施	・久慈広域の小・中学生が51名参加した。 (内訳：久慈市28名、洋野町16名、普代村7名) ・ふるさと体験学習協会と共催。
3月5日	月	久慈市東日本大震災復興祈念式第2回主任・副主任会議	
3月7日	水	災害廃棄物処理に係る視察（住友大阪セメント・八戸セメント来久）	
3月9日	金	NHK・BSプレミアム「きらり！えん旅」布施明ミニコンサートの開催	
3月11日	日	久慈市東日本大震災復興祈念式	会場：久慈市漁業協同組合 参加者数：350人
3月12日	月	久慈地区災害廃棄物処理推進協議会	広域処理に係る進捗説明及び今後の対応について協議
		八幡平市（清掃センター）での災害廃棄物焼却を開始	
3月24日	土	国と岩手県との意見交換会	会場：岩手復興局 岩手県、洋野町、久慈市、野田村、普代村、田野畑村、岩泉町の首長と平野復興大臣との意見交換（まちづくりの現状と課題について） 外館副市長出席
3月28日	水	災害廃棄物処理に係る視察（能代市議会来久）	
随時		税務署と連携した被災者への税の震災特例措置等に係る情報の提供及び雑損控除等の相談受付の実施	広報周知 ちらし配布 個別相談の実施

4 久慈市災害対策本部、復旧復興本部の状況

14:46 発生の東北地方太平洋沖地震に伴って 14:49 大津波警報が発令され、同時刻に久慈市災害対策本部を設置し、即座に避難指示を発令しました。

停電や電話の混乱などにより情報が交錯する中、様々な情報収集に努め、情報共有をしてその対応に奔走しました。

平成 24 年 3 月 12 日までに 213 回の対策本部会議を実施し、復旧活動と復興に向けた取り組みについて対策を講じてきました。



① 4:46 地震発生
 14:47 大津波警報
 宮城県栗原市震度7
 北津中津 震度6強
 消防団水戸町 住民護衛中 (14:55)
 石巻市 50cm 大船渡市 20cm
 14:57 避難指示 海岸域全体 (4300人)
 15:02 水門閉鎖完了
 15:05 避難
 15:25 現在 柏崎2号・2号機別運転
 15:28 小浜引潮14確認
 15:30 玉腸へ戻り工事再開
 15:38 久慈港船渠復旧完了

15:40 石巻港船渠から流出
 15:40 玉の膳着3波
 15:42 魚市場前引潮
 半崎地区も同様、水につかえたい施設見えた。
 15:46 第2回合球
 かせんのポンプ場へ出動 (建設印札)
 玉の膳 13分竹向から、30分2号の放水
 元気の島中福祉の村へ行く
 北津 15:10 玉の膳
 秋土の引潮 15:10 玉の膳
 谷津津津がとどく
 3.2リリと来た子
 けいけい船内へ2Fへ玉の膳
 もどらんて玉の膳完了
 15:40 高台へ玉の膳し
 15:52 谷津津津の引潮、玉の膳は具足保
 写真の記録をのこすようにする

② 15:54 夏井 好 沖浪
 17分
 40'以上、玉の膳は悪い。
 15:55 橋の石崩れ止む。
 15:55 夏井 床下し水 (ケイカリ)
 16:30 第3回用進取
 15:58 県内全域停電 (津波)
 15:56 久慈川水位上昇中、復旧予定なし。
 相馬港 15:50 7m 30cm
 釜石港 15:21 4m 30cm
 宮古港 15:21 4m 以上
 八戸港 15:21 2m 30cm
 16:00 野田分署浸水
 大津波警報 10m 以上
 16:00 余り最神社 (100人以上の大人がいず)
 消防団員も何人かいる。津地区の水は来た引いていず
 (中国体育団 20人が1号地区の警備あり) (25526) 1号機
 16:07 (消防隊員) 22人が来て
 工業高校入口付近 (70分) 状況悪く思われる
 45号バス、夏井コンビニ→長田バス
 395号、9分、津波。半崎 10m 情報 16日見 (25526)
 16:10 桑田漁港 車2人のうち一人死亡 (男性)
 17才の女子は腹痛、10人走中。
 16:07 半崎で引いて津波確認 (2号機) (25526)
 16:20 河川の混雑は逆流中。
 16:22 洋野町自衛隊門付近要請。
 16:15 柳田町津波、工業高校入口まで
 下田部、水門外側2棟津波
 16:00 久慈 10m 津波 し水し水屋裏
 16:15 395号 津波が押し寄せ
 16:30 各地の記録 2回印刷

災害対策本部会議等の概要

3月11日（金）14:49 第1回対策本部会議

- 14:46 東北地方太平洋沖地震発生
- ・宮城県栗原市震度7
 - ・宮城県北部・中部震度6強
- 14:49 大津波警報発令
- 14:49 久慈市災害対策本部設置
- 14:49 避難指示発令
- ・海岸域全体, 1,489世帯 4,300人
- 14:55 消防団水門閉鎖住民誘導中
- ・石巻市50cm、大船渡市20cm
- 15:02 水門閉鎖完了
- 15:19 宮古市2m80cm
- 15:15 大船渡市3m30cm
- 15:20 石巻市3m30cm
- 15:20 小袖引潮確認
- 15:21 釜石市4m20cm
- 15:25 防災センター28人避難
- 15:30 玉の脇波が上がってきている。
- 15:35 久慈港防潮堤を越えそう
- 15:40 石油備蓄基地ほとんど流出
- 15:40 玉の脇第3波
- 15:44 魚市場前引潮
- 半崎地区も同様、浸水施設見えてきた。

3月11日（金）15:46 第2回対策本部会議

- 建設部長：河川ポンプ場閉鎖に出動済み
- 市民生活部長：避難所13か所に職員派遣済み、30分ごとに報告指示
- 健康福祉部長：元気の泉から福祉の村へ向かった。
- 産業開発担当部長：15:10北日本造船避難済み、北上ソウイング避難済み。
- 教育次長：学校連絡取れない。
- ・踏切止まった状態である。
 - ・信号停止、車渋滞、恵愛病院2階へ移動
- 産業振興部長：もぐらんぴあ避難完了
- 消防防災課長 15:40 高台へ避難指示
- 市長：食料、飲み物、避難用具確保指示、写真等記録をできるだけ残すよう指示
- 消防防災課長 15:54 夏井駅前、女子（17歳）津波に流されたが救出された。怪我なし。意識ある。
- 建設部長：15:55 橋梁の確認作業指示
- 警察：15:55 夏井地区床下浸水確認報告あり。
- 〔第3回会議は16:30開催と決定〕
- 15:58 岩手県内全域停電（ラジオ情報）
- 15:56 久慈川水位上昇中、堤防まであと1m
- 相馬港 15:50 7m30cm

釜石港 15:21 4 m30 cm
宮古港 15:21 4 m以上
八戸港 15:21 2 m30 cm

16:00 野田分署浸水

16:00 金刀比羅神社 100 人以上避難している。消防団も何人かいる。湊地区の水はまだ退いていない。

・湊保育園長より園児 20 人を帰宅させたい旨要請あり。

16:07 半崎で引潮確認（消防署情報）

16:10 桑畑漁港で車に 2 人乗車していて 1 人死亡（男性）17 歳女性は県病へ搬送中。

16:20 河川を津波逆流中

16:22 洋野町自衛隊派遣要請

16:15 野田分署浸水、久慈工業高校入り口まで、太田名部、水門外側 2 棟浸水

16:00 久喜 10m津波、浸水家屋あり

16:15 湊地区国道 395 号津波が押し寄せている。

16:30 茅森線土砂崩れ

3月11日（金）16:30 第3回災害対策本部会議

産業開発担当部長：北日本造船の工場の壁、事務所及びドック全滅

市民生活部長：避難所設営済み。それぞれ市民避難している。金刀比羅神社では約 1,000 人となり、福祉の村に移送している。

避難所状況は、半崎 29 人、諏訪 28 人、サンスポ 300 人、車避難 180 台、福祉の村 200 人、防災センター 28 人、サンエール 26 人ほか約 1,000 人である。

健康福祉部長：毛布、救急セットなどの物資を避難所に搬送中、保健師配置した。

建設部長：湊市営住宅全員避難済みである。山形、ポンプ場停止。濁水している。新街橋通行止めである。

教育次長：湊小学校 40 人、長内中学校下校済み、久喜小学校下校済みである。大川目中学校 27 人生徒が残っている。小久慈小学校調査中である。

市長：死亡者の確認を急ぐこと。

自衛隊派遣要請すること。（振興局を通じて準備を行うこと。）

市制施行 5 周年記念式典は延期とする。

北三陸冬の市は中止とする。

消防防災課長：一人の死亡が確認された（警察が確認したもの）

建設部長：河川の情報調査中、水門 3 カ所を閉鎖した。

消防防災課長：

16:24 ホーマック前津波来た。

16:25 湊郵便局前浸水 50 cm

16:32 久慈中学校付近久慈川を津波遡上、河川公園で 30 cm の浸水であった。

・県道野田長内線については大尻付近工事中であり、館石経由が迂回路である。

・大尻地区で小屋が流出（未確認情報）

健康福祉部長：食料 2,000 食手配済み⇒3,000 食用意するよう指示あり。

17:00 の情報で 3 時間後に自衛隊約 50 人平沢に到着予定

17:00 ハチカンの 1 階が浸水、屋根で助けを求めている人（1 人）がいるとのこと。

⇒17:16 対応が難しいとの状況（消防防災課）

17:05 水門閉鎖⇒河川水門、9 分団、1 2 分団小袖、久喜、門前から大川目以外確認した。（消防防災課）

- 17:05 福祉の村の避難状況について、ぎんたらず久慈の施設長から情報提供があり、避難者多数であり、溢れそうであるとのこと。
17:15 久慈湊保育園 11 人⇒福祉の村へ避難済（消防防災課）
17:25 久慈川左岸（田屋）で堤防まで後 10 cm まで迫っているとのこと。

3月11日 17:25 第4回災害対策本部会議

16:30 マルサ嵯峨商店ほか浸水

16:24 ホーマック浸水

17:30 自衛隊 50 人平沢に到着予定

17:05 二戸消防出発

DMAT 出動した。

建設部長：水道管について、久慈橋敷設の水道管が破裂（150 ミリ）、キング薬局付近 300 mm の水道管破裂、17:00 白山浄水場、濁度 100 を超えたことから、送水停止した。各ポンプ場自動停止したことに伴い、防災無線で節水要請するよう指示した。給水作業について、盛岡、八戸に要請予定である。

農林水産部長：16:50 の情報であるが、久慈地方森林組合事務所については浸水等不明である。

教育次長：教育施設の避難状況は、長内小学校：児童 41 人、高齢者 10 人、先生等 20 人、長内中学校：生徒 70 人、先生 20 人、小久慈小学校：先生のみ 23 人、久慈中学校：生徒 22 人、先生 48 人

市民生活部長：避難状況は、大会議室 66 人、山根公民館 1 人、夏井公民館 3 人、半崎集会場 46 人、若宮八幡宮 40 人、諏訪 60 人、サンスポーツランド 300 人、旧水産高校 47 人、福祉の村 200 人、久喜保育園 35 人、防災センター 28 人、サンエール 14 人⇒合計 1,859 人

岩手県：17:15 現在、合同庁舎 6 階大会議室にも 20 人の避難者あり。

広域連合事務局長：火葬場被害なし。し尿処理場は職員 7 人駐留、戻れない状況

17:40 湊市営住宅付近床下浸水、佐々木ふとん店付近（湊町裏通り）30 cm 浸水

17:15 合同庁舎、岩手県対策本部との連絡取れず。

17:55 ハチカンでは自力で避難済み。

緊急消防援助隊要請中（到着時間未定）

18:00 防波堤は大きな被害あり。

18:15 白前漁港での死亡者一人について地元情報あり。

自衛隊：17:00 に 50 人出発した 20:00 平沢に到着予定である。洋野町では食事の要請を受けている。

警察：国道 45 号冠水により通行止めとした。

・旧水産高校より久慈会館に避難者が移動（2 次避難）した。（民間協力）

17:43 夏井川、国道 395 号から国坂まで被害なし。久慈川、川崎大橋から三日町まで被害なし。

・金比羅神社、道路側、防潮堤付近 1 階天井まで浸水

3月11日（金）18:15 第5回災害対策本部会議

東北電力：宮城県以北電力復旧目途がたたない。（発電所からの送電がストップ）

健康福祉部長：17:45 乾パン配布のため避難所へ出発。保健師 13 カ所の避難所の巡回を実施している。

市民生活部長：避難所に市役所分庁舎（２人）及び中央公民館（２０人）を追加した。

福祉の村及びサンエールには給湯施設は完備されている。

建設部長：県立病院は断水中であり、その対策について協議中である。

久慈市全域断水である。

日水協に出動要請を行った。

秋田県、山形県も被害膨大であるとの情報あり。

浄化センター、久喜を除いて異常なし。

白山浄水場の滝湧水が白濁であり、その濁度は100を超えている。

停電のためポンプがストップしている状態である。

東北電力：高压電源車１台があり協力する。（容量：200K～最大400K、取り付け、取り外しに２時間を要する）⇒依頼することとした。福祉の村を第１候補とした。

消防防災課長：二戸市から消防隊が到着した。

17:15 元木沢５人避難、救出済み（消防防災センターに一次避難）

遺体一次収容場所を検討することとなった⇒アンバーホール裏の第２体育館と決定した。

燃料は久慈石油に要請中である。

17:15 白前漁港で１名死亡、１名行方不明である。

建設部長：久慈橋送水管破裂、２度目の地震で落下。

自衛隊：50人から38人に変更し、20:00に岩手駐屯地から追加で来る予定。

3月11日（金）19:10 第6回災害対策本部会議

18:40 岩手駐屯地 103人総合運動公園を出発した。（炊事車3台、水トレーラー1台3台）21:00到着予定

- ・県北広域振興局に仮設住宅交渉開始した。
- ・備蓄は地上タンク等は壊滅した。燃料の流出はない。
- ・北日本造船被害甚大、岩手モリヤの寮が1m以上の浸水。

市民生活部長：避難所の状況は、福祉の村800人、合同庁舎70人ほか2,916人である。

健康福祉部長：アルファ米1,800食、水6割が150本入った。

農林水産部長：水産関係で玉の脇地区加工場全損、支所半壊。

産業振興部長：小袖海女センター流出、荷捌き場鉄骨のみ存在。汚水処理場2階ドア損壊。

- ・侍浜町桑畑、川津内、横沼で船が流出。

市長：避難状況、人数等を把握すること⇒食料確保のこと。

東北電力：東北3県送電ストップ、復旧には24時間以上必要

自衛隊：海上自衛隊出発した。

- ・第2体育館を死体安置所とする。

東北電力：福祉の村150KW、既に稼働している。

健康福祉部長：ユニバース20、3,000本移送中。自衛隊2,000食作成に1時間程度必要である。

健康福祉部長：支援物資等の置き場所を本庁車庫とする。

自衛隊：自衛隊の先発隊33人は現在葛巻を通過した。

消防防災課長：県立病院では救急患者を受け入れない状況である。重病患者対応は二戸病院へ移送で対応する。

緊急援助隊（消防）は体育館を待機場所とした。

市長：2,000食の米を確保のこと。

避難者への配慮、連携をして仮設住宅等の手配を行うこと。

19:45 三船記念館 40 台避難している方あり⇒避難所として設置要請⇒開設予定

3月11日（金）20:10 第7回災害対策本部会議

建設部長：仮設住宅要請済み。

総務部長：衛星電話使用のこと（県からの情報）

産業開発担当部長：石油備蓄の被害状況確認できない状況、事務所は残っている。

市民生活部長：避難状況は久慈東高校 60 人、三船記念館 40 人、巽山公園 26 人など
合計 2,385 人

健康福祉部長：夕食を避難所へ配布作業中である。

アルファ米 3,000 食の在庫があり今晚は充足している。

朝食は 2,000 食を自衛隊が炊き出し予定である。賄作業場所は東側車庫前に設置。原材料は発注済みである。学校給食センターにも要請予定である。

建設部長：小野寺耳鼻科付近道路で 10 cm 浸水、低いところで 30 cm、長内小学校交差点付近通行規制中。茅森線通行止め。

教育次長：長内小学校 2 人避難中。

自衛隊：20:18 に自衛隊先発隊到着済み、本体は山形道の駅まで来た。一度に 1,000 食準備できる。

・県立病院受入体制整う、臨時救護室確保済み。

消防防災課長：二戸緊急援助隊（消防）待機済みである。夏井駅前の 1 名行方不明者捜索中。

健康福祉部長：避難所への食料等の搬送は 4 班編成で対応している。

福祉の村は送電完了。

市民生活部長：避難所では氏名等を記録し対応させることとする。

本部長：当面避難所の環境整備に努められたい。

消防防災課長：

20:30 断水に係る防災無線の要請あり

20:30 死者 1 人、行方不明者 6 人、うち長内 3 人、夏井 2 人、侍浜 1 人（白前）

3月11日（金）21:10 第8回災害対策本部会議

東北電力：電力復旧目途なし。

市民生活部長：県立病院の避難者を久慈東高校に移動させる。湊公民館の避難者 5 人を防災センターに移動中。福祉の村 1,000 人ほか避難者合計 2,488 人

県北広域振興局から県立病院の水不足の補給対応要請あり（消防防災課で対応）

建設部長：水の確保課題である。400 ボルト電源（確認必要）⇒田高水源は 7,000 世帯分のみ

健康福祉部長：食事 3 時間 1,000 食できる⇒調理器具もう少しで確保可能である。

消防防災課長：湊小学校から先が通行できない。

市民生活部長：福祉の村には 1,000 人の避難者がおり、久慈東高校に 3 次移動が必要である。

3月11日（金）22:10 第9回災害対策本部会議

建設部長：分庁舎消火栓から取水する。（2,000 t 残っている）

本部長：県立病院で何 t 必要か後で県北振興局において確認することとする。

市民生活部長：久慈高校に20人避難済み。合計で2,529人が避難している。

本部長：朝食用の食材、米2,000食分足りるか確認する必要がある。

健康福祉部長：3,000食を確保済みである。

ホッカイロは10時までに納入予定である。

2ℓ 3,000本、6ℓ 1,000個確保済み

ユニバース川崎からタンク協力の申込み、野菜等

10 kg×15袋=150 kg程度確保済み

電気使えない。（ストーブ(反射式)を探すこと。)

健康福祉部長：県立病院の水の手配は分庁舎を利用して手配(消防と協力)

消防防災課長：新規死亡が確認された。

水の運搬、県立病院事務局長が消防署と連絡を取っている。最低限の数値が欲しい。消防車10トン車で対応

総合政策部長：県立病院からぎんたらずへ1人移送⇒久慈東高校へは確認中である。

東北電力：電気の復旧状況は明日の予定であったが、明日も困難であること。二戸からの応援で設備の点検が入る。送電車の配置は回せる状況にない

教育次長：市民体育館には1,000人収容可能であり、面積は3,000㎡である。自家発電設備はあるが既に切れている。暖房設備の燃料は軽油である。軽油の確保が必要である。時間当たりの消費量は後で確認する。

自家発電施設がある施設は、アンバーホール、体育館、元気の泉、山形分署、中央公民館である。

岩手県：合同庁舎6階に現在74人の避難者があり、食糧の備蓄がないことから提供願う。米があれば明日の朝食の対応はできる。(100人おにぎり1個換算で20kgの提供でどうか。⇒福祉対応とすることとした。玉ねぎ、にんじん、大根も含め対応することとなった。)

総合政策部長：県立病院にいる8人を防災センターへ移送、1人はぎんたらずへ移送。

海上保安庁：まぶち船は沖合に出ており連絡が困難である。

自衛隊：炊き出しは、3時、4時、5時で1,000食ずつ対応できる。

教育次長：配送は給食センターの車両で行う。

本部長：駐屯地からの軽油追送は可能か。海保の燃料は確認する。

総務部長：22:10時点で、第一石油は軽油2,000ℓ(体育館へは130ℓ依頼済み)、灯油もある。近場、調達可能、ガソリンは不可能

3月11日（金）23:10 第10回災害対策本部会議

総合政策部長：県立病院の数名は移送のみ。

市民生活部長：避難所状況は、湊公民館25人は防災センター移送済み。久慈東高校は54人であるが、あと30人で合計80人から90人の収容が可能(暖房あり)であり、3月20日まで解放できると伺っている。

また、福祉の村は160人収容可能である。

合同庁舎の炊き出しは100人のごはんのみ市で対応。(停電であり、反射ストーブを確保されたい。)

建設部長：水道について、分庁舎消火栓は濁っており使用不可能である。

第2配水池については確認中である。

教育次長：体育館収容人数 496 人、暖房設備なし(確認中)、中央公民館 94 人、暖房未確認、アンバーホール 300 人、暖房未確認である。

健康福祉部長：福祉の村は暖房使用可能である。160 人収容可能である。確認したところ暖房なしとのことであった。毛布の配送は合同庁舎以外完了済みである。

建設部長：軽油 5 缶(100ℓ)確保済みである。

総務部長：第一石油では、軽油 2,000ℓ配送車に入っている分配送するとのことであり寝ないで対応とのことである。

消防防災課長：新たな行方不明者がいるとの情報があった。
死者 2 人、行方不明者 7 人である。
県立病院の給水は明日の夕方を予定している(130 m³必要、期間の確認必要)

建設部長：田高ポンプ場の水が濁っていることを確認した。

自衛隊：給水について、他地区からの輸送支援は可能である。1 トンの車両が 2 台あるが水源の確保が必要である。

東北電力：電力の復旧の目途はたっていない。

自衛隊：軽油は 200ℓであれば対応可能である。
燃料について、軽油 880ℓ、灯油 1,200ℓ、ガソリン 200ℓは用意できる。
炊き出し車両 3 台配備している。

産業振興部長：雇用促進住宅大川目宿舎は 70 戸である。(技術的に可能か確認することとなった。)

本部長：長期戦となることから対応を考えること。

3月12日(土) 0:15 第11回災害対策本部会議

健康福祉部長：ホッカイロについて、ある分をユニバースから確保した。
久慈東高校暖房があることを確認した。発電機及びガソリンが必要である。
福祉の村の暖房は在庫燃料で後 2 日間は持つ予定である。

市民生活部長：避難者数は 2,395 人であり、ピーク時より減少した。次の報告は 5:30 である。

建設部長：巽山配水池及び第 2 配水池の水は安全であることを確認したので、消防車タンクに給水することとし、取水場所は土風館前とすることとした。

本部長：日量何 t 使用するのか。残量を確認しておくこと。

教育次長：体育館の自家発電での暖房はできない。
アンバーホールの暖房は入らない。(A 重油)

市民生活部長：避難所での名簿作成は指示済みである。

消防防災課長：県立病院の希望給水量は 130 m³/日であり、明日夕方までに必要との要請であった。
行方不明者 1 名は発見された。
死亡者 2 人、行方不明者 12 人

産業振興部長：雇用促進住宅大川目宿舎の管理者を確認することとする。

自衛隊：炊き出し終了した。朝から被害調査を行う。

山形総合支所長：山形総合支所には応援体制を取るよう連絡済みである。

産業振興部長：雇用促進住宅大川目宿舎 80 戸のうち 4 戸が入居中である。空きは 76 戸である。

本部長：管理人に連絡を取ること。
現場のローテーションを考えて対応を考えること。

3月12日(土) 1:15 第12回災害対策本部会議

消防防災課長：半崎での行方不明者については、現在、名簿確認中である。

市長：若宮八幡宮など避難所を確認すること。

教育次長：アンバーホールはA重油であり暖房は使用できない状況である。

農林水産部長：朝 5:30 から被害状況調査を開始する予定である。

消防防災課長：5:00 から捜索開始予定である。

自衛隊：2,000 人分の朝食用意完了した。

海上保安庁：「まべち」10 カイリのところに停泊中、「つがる」からへりで早朝から被害調査を予定している。

消防防災課長：消防からは避難所に人を出すことは困難である。

市民生活部長：避難者の多いところには 2 人を配置している。朝 5:30 に連絡がある予定である。

3月12日（土）3:00 第13回災害対策本部会議

健康福祉部長：避難者用朝食は自衛隊に作っていただいております、6:00 に配送予定である。

福祉施設の被害は現在ない状況である。

建設部長：白岩小児科付近市道（三鉄下）は 10 cm の水位がある。

警察：6:00 から管内の捜索を開始する。

本部長：防災無線は変調があった時とする。又は、GPS 等の情報を確認の時などとし、定時放送はしないこととする。

消防長：昨日 17:10 現地調査による状況報告をする。

北日本造船は高さ 6 m の外壁鉄板が剥がされている。船体ブロックは道路に流されていた。半崎地区の民家が山側に押されている状況である。国道 395 号と久慈道路交差点不二タイヤから下手に浸水状況があった。

3月12日（土）5:15 第14回災害対策本部会議

・ボランティア受入は総合政策部であることを確認

健康福祉部：自衛隊で現在、朝食の準備中である。（27 か所を 6 チーム）

自衛隊：給水車を 6:00 に車庫前に準備する。

建設部長：白岩小児科付近の市道（アンダー）の水はポンプにより吸い上げが完了した。

消防防災課長：5:30 から消防署において行方不明者の捜索及び被害調査を実施する。

野田村の被害甚大である。二戸 8 人、山形分署 7 人、自衛隊 25 人が野田へ応援する。

警察：二次災害を起こさないよう通行止め等の規制中である。

〔腕章をつけて活動することを確認した。〕

市長：避難指示があった地域での調査、支援活動等は危険を伴うので注意してあたること。

〔山形総合支所職員の応援協力体制については総務部を通じて調整することとなった。〕

自衛隊：4:25 炊き出し完了済みである。洋野町から普代村までを対応している。

土の館で給水をしたい。（水道事業所給水車が庁舎に来るのでその給水車が案内することとなった。）

海保：「つがる」は気仙沼の捜索に向かうこととなった。八戸駐屯地から 5:10 出発予定である。「まべち」は久慈沖に停泊、漂流物が多数ある状況である。

「出羽」は 12:00 ごろ到着予定である。

警 察：長野県から部隊が久慈市に到着予定である。
 市 長：調査に行くときは帰庁予定を含めて本部に知らせること。
 岩手県：避難所の設営していることから合同庁舎に対する給水をお願いしたい。
 健康福祉部長：朝食と一緒に1人1ℓを7:00前に配布する。

8:00頃 野田村より食料の要請あり、久慈市からパン、おにぎり1,000食を提供することとなった。

消防防災課長：行方不明者4名である。

※ 震災発生から明朝までの災害対策本部の動き等について、混乱の中にもありながらも、関係機関等と連携し、避難者対応をまず、最優先に取り組みました。
 以下、主な内容について記載しました。

【災害対策本部、復旧復興本部会議の主な内容】

年月日	曜日	時間	回数	備 考
			災対本部	
H23.3.11	金	14:49	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ○14:49 東北地方太平洋沖地震発生 ○14:49 大津波警報発令 ○14:49 久慈市災害対策本部設置 ○震源地：三陸沖(牡鹿半島の東南東 130 km付近) ○震源の深さ：約 24.0 km ○地震の規模(マグニチュード)：9.0 ○震度：川崎町・長内町5弱
			第2回	○本部長より食料、飲料水、避難用具の確保指示あり、写真等記録をできるだけ残すよう指示あり。
			第3回	<ul style="list-style-type: none"> ○毛布、救急セット等救援物資を避難所へ搬送中 ○本部長より自衛隊派遣要請指示、市制施行5周年記念式典延期決定、北三陸冬の市中止決定。 ○本部長より食料を2,000食から3,000食準備するよう指示あり。
			第4回	<ul style="list-style-type: none"> ○状況報告 ○自衛隊、消防協力隊等への協力要請状況及び到着予定等の情報共有
			第5回	<ul style="list-style-type: none"> ○宮城県以北電力復旧目途立たない。(発電所からの送電ストップ) ○市内全域断水 ○東北電力高圧電源車協力の申出 ○二戸市から消防隊到着

		19:10	第 6 回	<ul style="list-style-type: none"> ○アルファーマ 1,800 食、水 6ℓ、150 本の物資到着 ○県北広域振興局に仮設住宅の交渉開始した。 ○本部長から避難状況、人数等を把握し、食料確保するよう指示
		20:10	第 7 回	<ul style="list-style-type: none"> ○仮設住宅要請済み。 ○避難所のための夕食準備中 ○20:18 自衛隊先発隊久慈市へ到着、本体は山形町道の駅まで来た。 ○本部長より、当面避難所の環境整備に努めるよう指示
		21:10	第 8 回	<ul style="list-style-type: none"> ○避難、被害状況等報告、電力復旧目途がたたない、水の確保課題
		22:10	第 9 回	<ul style="list-style-type: none"> ○避難、被害状況等報告 ○3,000 食の食料確保、ホッカイロ 10:00 納入予定、飲料水 2ℓ 3,000 本、6ℓ1,000 本確保済み ○燃料等の確保について検討、確認
		23:10	第 10 回	<ul style="list-style-type: none"> ○避難、被害状況等報告
H23.3.12	土	0:15	第 11 回	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所 2,395 人であり、ピーク時より減少した。 ○巽山配水池及び第 2 配水池の水安全確認済→給水可能 ○仮設住宅代替として雇用促進住宅の活用のため管理人の確認をすることとした。 ○本部長より雇用促進住宅の管理人と連絡を取るよう指示あり。
		1:15	第 12 回	<ul style="list-style-type: none"> ○朝 5:30 から被害状況調査を開始する予定 ○朝 5:00 から捜索開始予定
		3:00	第 13 回	<ul style="list-style-type: none"> ○避難者用朝食は自衛隊準備中であり、6:00 に配送予定 ○本部長より、停電中であり防災行政無線のバッテリーも限りがあることから変調があった時使用するよう工夫して対応するよう指示
		5:15	第 14 回	<ul style="list-style-type: none"> ○二次災害防止のため通行止め等の規制実施 ○5:30 から行方不明者の捜索を実施することとした。 ○4:25 炊き出し完了。 ○本部長より調査に出動する際は帰庁予定を含め本部に連絡し二次災害防止にも配慮するよう指示あり。 ○病院等から給水要請があり、極力対応するよう努力することを確認。 ○野田村より食料配給の要請がありパン、おにぎり 1,000 食を提供することとした。

8:00	第 15 回	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所、被害等状況報告 ○海女センター全部流出 ○8:00 現在の避難所の避難者数は 2,536 人である。 ○魚市場壊滅状態 ○湊町では人的被害なし。
9:30	第 16 回	<ul style="list-style-type: none"> ○避難、被害状況等報告 ○本部長より発電機を借り上げるよう指示あり。
12:00	第 17 回	<ul style="list-style-type: none"> ○避難、被害状況等報告 ○備蓄の原油流出なし。職員全員無事を確認 ○避難者数 1,414 人 ○水道施設電源確保済み、給水計画策定中 ○下水道施設終末処理場浸水あり⇒くみ上げ作業中 ○ガソリンが不足している。 ○仮設トイレ 17 基確保済み。 ○本部長より岩手県に救援物資等を要請する旨指示あり。 ○岩手県より米 90 袋受領
15:00	第 18 回	<ul style="list-style-type: none"> ○避難、被害状況等報告 ○ごみ、粗大ごみ、し尿処理場は停電のため休止中 ○火葬場はガソリン、重油が確保できない状況 ○医師会長と協議し県立病院に応援体制を取った。 ○市内各所で給水を開始した。 ○燃油の要請を岩手県に依頼した。また、市内の給油所等にも協力要請した。
17:00	第 19 回	<ul style="list-style-type: none"> ○避難、被害状況等報告 ○医師会が各避難所を巡回している。 ○二戸市から水道の応援が来た。 ○自衛隊約 200 人到着する。市民体育館を確保した。
19:30	第 20 回	<ul style="list-style-type: none"> ○避難、被害状況等報告 ○避難者数は 1,369 人 ○岩手県から米 10 kg × 270 袋提供。その他毛布等追加調達し、各避難所に配布済み。 ○浜松、石川、栃木の緊急消防救助隊ほか二戸市、盛岡市、自衛隊、警察等の協力を得て野田、普代の捜索にあたる。
21:00	第 21 回	<ul style="list-style-type: none"> ○21:48 市役所停電復旧(田屋、川崎町) ○21:30 県立病院停電復旧 ○20:20 津波警報に切替

H23.3.13	日	5:30	第 22 回	<ul style="list-style-type: none"> ○給食センターでの昼食調理体制できた。 ○搜索を、緊急救助隊等の協力のもと6時に開始する。 ○本部長より仮設住宅の需要が多くなると思われることから、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構を確認し雇用促進住宅の開放について対応するよう指示あり。 ○消石灰 400 袋確保済み。防災行政無線をして衛生班長に呼びかけ配布することとした。 ○ボランティアの受け入れについて準備中。 ○本部長より被災状況を住宅地図等を活用して情報を共有するよう指示あり。
		9:00	第 23 回	<ul style="list-style-type: none"> ○7:30 津波注意報に切替、災害対策本部を継続することを確認 ○ごみ集積場所を平沢工業団地及び宮城球場とすることになった。 ○滋賀県及び名古屋市から警察の応援が派遣される。 ○自衛隊において北海道から 250 人の応援が入る旨の報告がある。 ○市内の通電率は 46%の旨報告があった。 ○八戸海上保安部において巡視船等により引き続き搜索している旨の報告があった。 ○3/13(日)11:37 防災センター停電復旧
		12:30	第 24 回	<ul style="list-style-type: none"> ○平沢工業団地のゴミ集積所としての使用について岩手県より了解を得た。 ○久喜へ仮設トイレを搬送した。 ○給水車の応援が八戸市から 14 台到着した。 ○本部長から副知事が午後來久することから写真など被災状況の資料を用意するよう指示あり。
		15:30	第 25 回	<ul style="list-style-type: none"> ○岩手県に災害支援車両の燃料を依頼のため、各部の必要量の報告依頼があった。 ○八戸水道局ほかの応援のもと市内 18 台 14 力所で給水作業を実施している。 ○その他、避難、被害状況報告ほか、支援実施状況の報告があった。
		19:30	第 26 回	<ul style="list-style-type: none"> ○家屋調査を 3 月 14 日実施する旨の計画が報告された。 ○17:58 津波注意報解除 ○市民ホールに情報発信のための掲示板を設置した旨の報告があった。 ○岩手県から応援隊が 16:55 到着。(2 泊 3 日、県との連絡調整にあたる)
		21:00	第 27 回	<ul style="list-style-type: none"> ○市民バスについて燃料確保困難。運行復旧の目途立たない。 ○追加応援の自衛隊が市民体育館に到着した。
H23.3.14	月	7:00	第 28 回	<ul style="list-style-type: none"> ○東北電力の応援隊が久慈入りした。 ○その他避難、災害情報報告及び即時対応状況等の報告があった。

		11:00	第 29 回	<ul style="list-style-type: none"> ○滝湧水の濁度が落ち着き白山浄水場の送水中。 ○消防協力隊の青森県隊の宿泊施設を旧長内中学校校庭とした。 ○副本部長から被災者の仮入居について旅館組合と協議するよう指示あり。 ○自衛隊の部隊入替について報告があった。 ○旧水産高校及び久慈高校長内校校庭をヘリポートとして活用するとのこと。
		15:00	第 30 回	<ul style="list-style-type: none"> ○GPS波浪計、検潮所は被災し使用不能。 ○区長配布の延期→緊急連絡は防災無線とする。 ○住宅ニーズ調査を実施するため準備中である。 ○給水復旧状況について報告あり(徐々に復旧) ○そのほか避難、被災状況の報告及び即時対応状況等の報告があった。
		19:00	第 31 回	<ul style="list-style-type: none"> ○防災行政無線のバッテリー交換を行う。 ○その他避難、災害情報報告及び即時対応状況等の報告があった。
H23.3.15	火	7:00	第 32 回	<ul style="list-style-type: none"> ○岩手県から救援物資が到着 ○小中学校の卒業式は予定どおり実施する方向 ○火葬場が昨日稼働再開した。 ○その他避難、災害情報報告及び即時対応状況等の報告があった。
		11:00	第 33 回	<ul style="list-style-type: none"> ○久慈市ホームページに災害情報を立ち上げる。 ○義援金の振込手数料無料の口座を立ちあげる。 ○川井地区の無料入浴について、しらかばの湯、べっぴんの湯を3月15日から16日までとした。
		15:00	第 34 回	<ul style="list-style-type: none"> ○市民バスを3月16日から18日まで運行する。 ○ごみの集積場所を検討中 ○早期断水復旧のため緊急濾過装置を借用することとした。
		18:00	第 35 回	<ul style="list-style-type: none"> ○三陸鉄道では、3月16日から22日まで久慈・野田間を無料運行する。 ○避難所の仮設住宅需要調査の報告 ○し尿処理場は通電により稼働を再開 ○県道野田長内線は諏訪下小袖間が緊急車両のみ通行可能となった。
H23.3.16	水	8:00	第 36 回	<ul style="list-style-type: none"> ○昨日、宇部地区の通水を開始(被災地を除く全地区通水)
		11:00	第 37 回	<ul style="list-style-type: none"> ○葛巻副町長来久(お見舞いと救援物資提供) ○議会において災害対策特別委員会を開催することした旨の報告あり

		16:00	第 38 回	○しらかばの湯、べっぴんの湯の無料開放を 4 月 17 日まで延長 (時間帯、被災者対応) ○その他避難、災害情報報告及び即時対応状況等の報告があった。
H23.3.17	木	8:00	第 39 回	○物資輸送の動向見えず。 ○ガソリン等燃料不足で渋滞発生。 ○火葬 5 件体制でフル稼働も燃料不足の状況
		13:30	第 40 回	○国道 45 号八戸大船渡間、緊急車両のみ通行可能
		17:00	第 41 回	○明日から JR バス「しらかば号」1 往復運行再開。 ○救援物資船明日久慈港寄港予定
H23.3.18	金	8:00	第 42 回	○雇用促進住宅入居準備中 ○仮設住宅入居調査実施する。
		13:30	第 43 回	○本部長より発災から 1 週間目となることから黙祷呼掛けの提案 があり実施することとなった。 ○災害ボランティアセンター本日立上げの報告があった。
		17:00	第 44 回	○市民バス 3/22-24 運行予定 ○下長内旭町線通行開始。
H23.3.19	土	8:30	第 45 回	○久喜、川井地区に給水開始。 ○避難所のゴミ受入再開、し尿処理場を稼働。
		10:05	第 46 回	○岩手県知事来久、対策本部においてあいさつ。 ○本部長、知事に被災状況説明及び各種支援要請を行った。
		16:00	第 47 回	
H23.3.20	日	9:00	第 48 回	○断水は川井地区の 300 戸まで減少した。 ○可燃ごみの自主搬入を再開した。
		16:00	第 49 回	○三鉄、久慈野田間無料運行中。
H23.3.21	月	9:00	第 50 回	○緊急濾過器設置により午後給水開始。 ○企業の物流回復のため高速道路の使用を県と一体となって要 望することとした。
		16:00	第 51 回	○燃料の目途が立ったことから市民バスを運行することを決め た。
H23.3.22	火	9:00	第 52 回	○医師会の協力により避難所の巡回診療を実施した。
		16:00	第 53 回	○本日、野田村に給水を行うこととしている。 ○本部長より、被災自動車の撤去について十分に留意のうえ対 応するよう指示があった。
H23.3.23	水	9:00	第 54 回	○本部長より、もぐらんぴあ、海女センター等の復旧計画を検討 するよう指示があった。 ○雇用促進住宅の清掃が終了したことにより、明日から順次入居 を進めることとした。 ○瓦礫撤去の進捗状況は全体で 30%程度である。

		16:00	第 55 回	○山根地区の可燃ごみ収集が終了し全ての収集が完了した。
H23.3.24	木	9:00	第 56 回	○瓦礫撤去を 6 地区で実施中である。
		16:30	第 57 回	○物資要望に対し、3 月 26 日に「白山」が入港予定である。
H23.3.25	金	9:00	第 58 回	○本日から 4 日間、職員 4 人、保健師 2 人を野田村に派遣する。 ○被災者支援制度について区長配布により市民周知する。
		16:00	第 59 回	○久慈市の災害廃棄物処理方針を定めた。(国の方針が決定するまでの間) ○本部長より救援物資船「白山」の対応について到着時間の確認があった。
H23.3.26	土	9:00	第 60 回	○本部長は救援物資船「白山」入港対応のため欠席。 ○雇用促進住宅入居計画について 14 世帯 36 名を予定に事務を進めている。 ○道路等の瓦礫撤去は半分弱まで進んでいる。
		16:00	第 61 回	○救援物資船「白山」が予定どおり入港し、物資の提供を受けた旨の報告があった。
H23.3.27	日	9:00	第 62 回	○港の異物調査を実施中である。
		16:00	第 63 回	○雇用促進住宅入居者は 22 世帯 51 人で決定した。
H23.3.28	月	9:00	第 64 回	○可燃、不燃、資源ごみについて本日から通常収集となる。
		16:00	第 65 回	○避難所昨日で全て閉鎖した。
H23.3.29	火	9:00	第 66 回	○長内の雇用促進住宅に予定の最後の世帯が入居した。 ○三鉄について 4 月 1 日から 3 往復から 5 往復に増便する。
		16:00	第 67 回	○被災に係る相談がこれまでに 180 件あった。救援物資は 230 件、義援金は 158 件であった。
H23.3.30	水	9:00	第 68 回	○本部長より、国の動向に注視し、迅速な対応に心がけるよう指示があった。
		16:00	第 69 回	○明日から諏訪下から夏井町大崎まで、被災住宅調査を 30 人体制で行う。

※H23.3.31に久慈市東日本大震災復旧復興本部第会議第 1 回を災害対策本部会議と同時開催

※H23.4.1 に久慈市総合相談所を開設

※この後も様々な対策について話し合われましたが、以下内容は省略いたします。

年月日	曜日	時間	回数	
			災对本部	復興本部
H23.3.31	木	9:00	第70回	第1回
		15:00	第71回	第2回
H23.4.1	金	8:45	第72回	第3回
		16:00	第73回	第4回
H23.4.2	土	9:30	第74回	第5回
		16:00	第75回	第6回
H23.4.3	日	9:00	第76回	第7回
H23.4.4	月	9:00	第77回	第8回
		16:00	第78回	第9回
H23.4.5	火	8:45	第79回	第10回
		15:30	第80回	第11回
H23.4.6	水	9:00	第81回	第12回
		16:00	第82回	第13回
H23.4.7	木	9:00	第83回	第14回
		16:00	第84回	第15回
H23.4.8	金	0:50	第85回	第16回
		1:30	第86回	第17回
		9:00	第87回	第18回
		16:00	第88回	第19回
H23.4.9	土	9:00	第89回	第20回
H23.4.10	日	9:00	第90回	第21回
H23.4.11	月	9:00	第91回	第22回
		13:10	第92回	第23回
		16:00	第93回	第24回
H23.4.12	火	9:00	第94回	第25回
H23.4.13	水	9:00	第95回	第26回
H23.4.14	木	9:00	第96回	第27回
H23.4.15	金	9:00	第97回	第28回
H23.4.16	土	9:00	第98回	第29回
H23.4.17	日	9:00	第99回	第30回
H23.4.18	月	9:00	第100回	第31回
H23.4.19	火	9:00	第101回	第32回
H23.4.20	水	9:30	第102回	第33回
H23.4.21	木	9:00	第103回	第34回
H23.4.22	金	9:00	第104回	第35回
H23.4.23	土	9:00	第105回	第36回
H23.4.24	日	9:00	第106回	第37回
H23.4.25	月	9:00	第107回	第38回
H23.4.26	火	9:00	第108回	第39回
H23.4.27	水	9:00	第109回	第40回

H23.4.28	木	9:00	第110回	第41回
H23.4.29	金	9:00	第111回	第42回
H23.4.30	土	9:00	第112回	第43回
H23.5.1	日	9:00	第113回	第44回
H23.5.2	月	9:00	第114回	第45回
H23.5.3	火	9:00	第115回	第46回
H23.5.4	水	9:00	第116回	第47回
H23.5.5	木	9:00	第117回	第48回
H23.5.6	金	9:00	第118回	第49回
H23.5.7	土	9:00	第119回	第50回
H23.5.8	日	9:00	第120回	第51回
H23.5.9	月	9:00	第121回	第52回
H23.5.10	火	9:00	第122回	第53回
H23.5.11	水	9:00	第123回	第54回
H23.5.12	木	9:00	第124回	第55回
H23.5.13	金	9:00	第125回	第56回
H23.5.16	月	9:00	第126回	第57回
H23.5.17	火	9:00	第127回	第58回
H23.5.18	水	9:00	第128回	第59回
H23.5.19	木	9:00	第129回	第60回
H23.5.20	金	9:00	第130回	第61回
H23.5.23	月	9:00	第131回	第62回
H23.5.24	火	9:00	第132回	第63回
H23.5.25	水	9:00	第133回	第64回
H23.5.26	木	9:00	第134回	第65回
H23.5.27	金	9:00	第135回	第66回
H23.5.30	月	9:00	第136回	第67回
H23.5.31	火	9:00	第137回	第68回
H23.6.1	水	9:00	第138回	第69回
H23.6.2	木	9:00	第139回	第70回
H23.6.3	金	9:00	第140回	第71回
H23.6.6	月	9:00	第141回	第72回
H23.6.7	火	9:00	第142回	第73回
H23.6.8	水	9:00	第143回	第74回
H23.6.9	木	9:00	第144回	第75回
H23.6.10	金	9:00	第145回	第76回
H23.6.13	月	9:00	第146回	第77回
H23.6.16	木	9:00	第147回	第78回
H23.6.20	月	9:00	第148回	第79回
H23.6.23	木	7:35	第149回	第80回
H23.6.23	木	9:00	第150回	第81回
H23.6.27	月	9:00	第151回	第82回

H23.6.30	木	9:00	第 152 回	第 83 回
H23.7.4	月	9:00	第 153 回	第 84 回
H23.7.7	木	9:00	第 154 回	第 85 回
H23.7.10	日	10:17	第 155 回	第 86 回
H23.7.10	日	12:15	第 156 回	第 87 回
H23.7.11	月	9:00	第 157 回	第 88 回
H23.7.14	木	9:00	第 158 回	第 89 回
H23.7.19	月	9:00	第 159 回	第 90 回
H23.7.21	木	9:00	第 160 回	第 91 回
H23.7.25	月	9:00	第 161 回	第 92 回
H23.7.28	木	9:00	第 162 回	第 93 回
H23.8.1	月	9:00	第 163 回	第 94 回
H23.8.4	木	9:00	第 164 回	第 95 回
H23.8.8	月	9:00	第 165 回	第 96 回
H23.8.11	木	9:00	第 166 回	第 97 回
H23.8.18	木	9:00	第 167 回	第 98 回
H23.8.22	月	9:00	第 168 回	第 99 回
H23.8.25	木	9:00	第 169 回	第 100 回
H23.9.1	木	9:00	第 170 回	第 101 回
H23.9.5	月	9:00	第 171 回	第 102 回
H23.9.8	木	9:00	第 172 回	第 103 回
H23.9.12	月	9:00	第 173 回	第 104 回
H23.9.15	木	9:00	第 174 回	第 105 回
H23.9.20	火	9:00	第 175 回	第 106 回
H23.9.22	木	9:00	第 176 回	第 107 回
H23.9.26	月	9:00	第 177 回	第 108 回
H23.9.29	木	9:00	第 178 回	第 109 回
H23.10.3	月	9:00	第 179 回	第 110 回
H23.10.6	木	9:00	第 180 回	第 111 回
H23.10.11	火	9:00	第 181 回	第 112 回
H23.10.13	木	9:00	第 182 回	第 113 回
H23.10.17	月	9:00	第 183 回	第 114 回
H23.10.20	木	9:00	第 184 回	第 115 回
H23.10.24	月	9:00	第 185 回	第 116 回

H23.10.27	木	9:00	第 186 回	第 117 回
H23.10.31	月	9:00	第 187 回	第 118 回
H23.11.7	月	9:00	第 188 回	第 119 回
H23.11.10	木	9:00	第 189 回	第 120 回
H23.11.14	月	9:00	第 190 回	第 121 回
H23.11.17	木	9:00	第 191 回	第 122 回
H23.11.21	月	9:00	第 192 回	第 123 回
H23.11.24	木	9:00	第 193 回	第 124 回
H23.11.28	月	9:00	第 194 回	第 125 回
H23.12.1	木	9:00	第 195 回	第 126 回
H23.12.5	月	9:00	第 196 回	第 127 回
H23.12.8	木	9:00	第 197 回	第 128 回
H23.12.12	月	9:00	第 198 回	第 129 回
H23.12.15	木	9:00	第 199 回	第 130 回
H23.12.19	月	9:00	第 200 回	第 131 回
H23.12.22	木	9:00	第 201 回	第 132 回
H23.12.26	月	9:00	第 202 回	第 133 回
H24.1.5	木	9:00	第 203 回	第 134 回
H24.1.10	火	9:00	第 204 回	第 135 回
H24.1.16	月	9:00	第 205 回	第 136 回
H24.1.23	月	9:00	第 206 回	第 137 回
H24.1.30	月	9:00	第 207 回	第 138 回
H24.2.6	月	9:00	第 208 回	第 139 回
H24.2.13	月	9:00	第 209 回	第 140 回
H24.2.20	月	9:00	第 210 回	第 141 回
H24.2.27	月	9:00	第 211 回	第 142 回
H24.3.5	月	9:00	第 212 回	第 143 回
H24.3.12	月	9:00	第 213 回	第 144 回

※災害対策本部は H24.3.12 第 213 回で廃止。

※復旧復興本部会議はこの後も継続開催。

5 東日本大震災に係る久慈市の対応について

平成 24 年 1 月 31 日 17 時現在
久慈市災害対策本部

1 地震の震源、規模等（気象庁発表）

- (1) 日時 平成 23 年 3 月 11 日（金） 14 時 46 分頃
- (2) 震源地 三陸沖（牡鹿半島の東南東 130km 付近）
- (3) 震源の深さ 約 24.0km
- (4) 地震の規模（マグニチュード） 9.0
- (5) 震度 川崎町・長内町 5 弱

2 津波の概況

- (1) 津波の高さ〔久慈港〕 8.6m （気象庁発表）
- (2) 遡上高 〔久喜漁港〕 27m 程度（久慈市調査）

3 気象情報

- 3 月 11 日（金） 14 時 49 分 岩手県〔発表〕大津波警報
- 3 月 12 日（土） 20 時 20 分 岩手県〔切替〕津波警報
- 3 月 13 日（日） 7 時 30 分 岩手県〔切替〕津波注意報
17 時 58 分 岩手県〔解除〕津波注意報

4 本部員会議等の状況

- (1) 久慈市災害対策本部
平成 23 年 3 月 11 日 第 1 回本部員会議開催（延べ 207 回開催）
- (2) 久慈市東日本大震災復旧復興本部
平成 23 年 3 月 31 日 第 1 回本部会議開催（延べ 138 回開催）

5 被害状況

(1) 人的被害

死者	4 人(1 人)
行方不明者	2 人
重傷者	2 人
軽傷者	8 人

※（ ）は久慈市外で被災した者の内数である。

(2) 住家被害・非住家被害

	住家	非住家
全壊	65 棟	290 棟
大規模半壊	32 棟	57 棟
半壊	180 棟	230 棟
一部損壊	291 棟	103 棟
計	568 棟	680 棟

(3) 被害額

区分	数量	被害額 (千円)	主な被害等
住家・非住家被害	1248 棟	4,214,383	全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊
社会福祉施設被害	3 施設	610	デイサービスセンター器具破損等 保育園外壁一部破損
医療衛生施設被害	上水道	14 箇所	配水管破損, 送水管破損, 川井簡易水道水源水質汚濁(急速ろ過機設置)等
	衛生施設	2 棟	し尿処理施設取水ポンプ配線破損、 資機材置場建屋破損等
	小計		73,807
消防施設被害	1 式	74,300	資機材倉庫全壊、防災行政無線屋外拡声 子局倒壊、看板全損、屯所全壊等
観光施設被害	8 箇所	898,978	地下水族科学館・小袖海女センター 全壊、さわやかトイレ全壊・半壊等
商工関係被害	商業関係	57 社	建物全壊・半壊・一部損壊等 備品・商品全損等
	工業関係	49 社	建物全壊・半壊・一部損壊等、機械 設備全損等
	小計		14,952,671
農業関係被害	施設等	2 棟	産地形成促進施設全壊 交流促進センター損壊
	農作物等	4 箇所	菌床しいたけ被害等
	家畜等	1 式	停電及び集乳施設休業のため生乳廃 棄(216t)、鶏死亡(45,357羽)
	農地農業 用施設	60a	田・畑土砂堆積
	小計		149,471
林業関係被害	民間施設	4 箇所	413,000 林業施設全壊・一部損壊等
水産関係被害	公共施設	8 箇所	680,003 市営魚市場(第1・第2卸売場)、公 害防止施設機能全壊等
	民間施設	217 箇所	3,208,063 久慈市漁協食品加工場・冷凍工場機 能全壊、捲き揚げ機・小屋流失等

	漁船	575 隻	1,617,300	漁船流失、一部損傷
	漁具・漁網	1 式	3,112,114	定置網流失・全損(23 式)、磯建網(28 式)流出、漁具流失(500 人分)
	養殖施設	344 台	32,899	養殖施設流失(コンブ 295 台、ワカメ 45 台、ホタテ等 4 式)
	水産物	1 式	292,440	冷凍品等冠水被害
	小計		8,942,819	
漁港施設等被害		13 箇所	1,064,500	汚水処理場損壊、臨港道路破損、消波ブロック飛散等
土木施設関係等被害	道路	15 路線	94,872	舗装損傷、防護柵破損等
	河川	1 箇所	4,109	護岸崩壊
	橋梁	2 橋	8,178	横木等破損、床版破損
	公園	3 箇所	52,554	久慈川河川公園テニスコート、遊具、トイレ等
	市営住宅	3 戸	214	みなと団地半壊(1 戸)、侍浜団地一部損壊(2 戸)
	下水道	3 箇所	94,200	公共下水道汚水処理場機械・電気設備機能停止、雨水排水路防護柵破損等
	小計		254,127	
学校被害		6 校	603	小中学校一部破損等
社会教育・文化施設・体育施設被害		2 箇所	19,361	市営野球場浸水、バックネット全壊等、施設給水管破損
通信関係被害		7 箇所	26,260	夢ネット設備及び光ケーブル断線等
防犯・交通安全設備、衛生関係被害		40 箇所	5,260	防犯灯、カーブミラー、ゴミステーション破損等
合計			31,090,150	

6 対応状況

(1) インフラ及びライフラインの状況

ア 国道、県道及び市道の通行止め

- ・ 国道 45 号（長内～夏井）⇒通行可
- ・ 国道 395 号（新井田～夏井）⇒通行可
- ・ 一般県道野田長内線（大尻～小袖）⇒通行可
- ・ 市道新街橋通り線（新街橋）⇒通行可

イ 電気

久慈市内全域停電 ⇒ 復旧

ウ 電話

久慈市内一部不通 ⇒ 復旧

エ 上水道

久慈市内全域断水（一部を除く） ⇒ 復旧（一部被災地を除く）

オ 下水道

久慈市浄化センター浸水のため機能停止 ⇒ 仮復旧

久喜地区漁業集落排水処理場損壊のため機能停止 ⇒ 仮復旧

(2) 避難所の設置状況

ア 避難所数及び避難者数（最大値）

開設避難所数 38 箇所、避難者数 2,916 人

イ 避難所における避難状況の推移

日時	避難施設数	避難者数
3月11日(金) 19:00	26 施設	2,916 人
12日(土) 20:00	26 施設	1,240 人
13日(日) 20:00	11 施設	423 人
14日(月) 18:00	6 施設	195 人
15日(火) 18:00	4 施設	113 人
16日(水) 18:00	4 施設	73 人
17日(木) 18:00	4 施設	63 人
18日(金) 18:00	4 施設	50 人
19日(土) 18:00	4 施設	60 人
20日(日) 18:00	4 施設	45 人
21日(月) 18:00	3 施設	39 人
22日(火) 18:00	3 施設	35 人
23日(水) 18:00	3 施設	30 人
24日(木) 18:00	3 施設	24 人
25日(金) 18:00	3 施設	22 人
26日(土) 18:00	3 施設	15 人
27日(日) 18:00	2 施設	8 人
28日(月) 18:00	閉鎖	0 人

(3) 後方支援関係

応援部隊名		活動日	主な活動内容等
陸上自衛隊	東北方面隊第9師団第9戦車大隊	3月11日～14日	延べ車両24台・72人、給水・炊出し
	北部方面隊第2師団第26普通科連隊	3月14日～ 4月11日	延べ車両212台・676人、給水・炊出し、連絡調整等
	北部方面隊第2師団多目的支援隊	4月12日～ 5月17日	延べ車両34台・34人、連絡調整等
	岩手駐屯地第9特科連隊第2大隊	5月18日～ 7月12日	延べ車両40台・40人、連絡調整等
緊急消防援助隊	浜松指揮支援隊	3月14日	延べ車両1台・7人、行方不明者捜索活動指揮
	栃木県隊	3月18日～19日	延べ車両33台・155人、行方不明者捜索活動
	青森県隊	3月14日～16日	延べ車両78台・285人、行方不明者捜索活動
	長崎県隊	3月17日	延べ車両13台・57人、行方不明者捜索活動
久慈消防署		3月11日～23日	延べ車両137台・340人、水門閉鎖、避難広報、捜索活動
久慈市消防団		3月11日～20日 22日～23日 4月7日	延べ車両324台・2,046人、水門閉鎖、避難広報、捜索活動
警察	中国管区機動隊	3月26日 28日～29日	延べ46人、行方不明者捜索活動
	山形県警	3月31日～4月1日、5日	延べ55人、行方不明者捜索活動
	神奈川県警、秋田県警、石川県警、青森県警	3月25日～4月5日 4月7日～12日 4月16日 ～8月12日	延べ車両444台・1,194人警ら
八戸海上保安部		平成23年3月11日～平成24年1月31日(延べ189日)	延べ船艇204隻・ヘリ8機・4,470人、行方不明者捜索活動、漂流船捜索等
医療	岩手医大DMAT(災害派遣医療チーム)	3月12日～13日	延べ12人、災害医療活動
	二戸病院DMAT(災害派遣医療チーム)	3月12日～13日	延べ10人、災害医療活動

	久慈医師会	3月12日～13日	延べ10人、医療相談活動
	葛巻町	3月13日～14日	延べ8人、保健相談活動
	軽米町	3月13日～15日	延べ3人、保健相談活動
東北地方整備局 青森河川国道事務所 (災害対策現地情報連絡員[リゾン])		3月22日～ 4月22日	延べ車両32台・64人、国土交通省による災害関係情報収集、所管事業に関する支援物資等の調達・支援等
下水道	地方共同法人日本下水道事業団	3月20日	延べ車両2台・5人、浄化センター被害調査
	名古屋市、川崎市、北海道庁、旭川市、江別市、函館市、石狩市、小樽市、室蘭市	3月21日、23日 3月26日～29日	延べ車両26台・107人、管路被害調査
上水道	日本水道協会各務原市	3月13日～15日	延べ車両3台・9人、給水活動
	日本水道協会中津川市	3月13日～15日	延べ車両3台・6人、給水活動
	北奥羽地区水道事業協議会八戸圏域水道企業団	3月13日～19日	延べ車両9台・18人、給水活動
	北奥羽地区水道事業協議会協同組合八戸管工事協会	3月13日～17日	延べ車両38台・38人、給水活動
	久慈市管工事業協同組合	3月12日～21日	延べ車両36台・64人、給水活動
	二戸市	3月12日	延べ車両1台・2人、給水活動
東北電力	秋田市	3月14日～16日	延べ210人、停電復旧
	二戸市	3月16日～22日	延べ198人、停電復旧
青森市		平成23年5月13日～平成24年1月31日	技師2人、被災公共施設再建業務(職員派遣予定H24.3.31まで)

(4) 久慈市職員の支援状況（野田村へ派遣）

活動日	支援人数	主な活動内容
3月18日(金)	10人	物資仕分け、瓦礫撤去、巡回保健指導等
19日(土)	7人	物資仕分け、瓦礫撤去、巡回保健指導等
20日(日)	7人	物資仕分け、瓦礫撤去、巡回保健指導等
21日(月)	7人	物資仕分け、瓦礫撤去、巡回保健指導等
22日(火)	11人	物資仕分け、瓦礫撤去、給水広報(広報車1台)等
23日(水)	2人	給水作業(給水車1台)
25日(金)	6人	巡回保健指導、窓口支援等
28日(月)	6人	巡回保健指導、窓口支援等
29日(火)	6人	巡回保健指導、窓口支援等
30日(水)	6人	巡回保健指導、窓口支援等
5月9日(月)～ 7月1日(金)	40人 (各日1人)	巡回保健指導(平日のみ派遣、延べ40日)
計	延べ108人	(延べ50日)

(5) 久慈地区災害ボランティアセンターの活動状況

活動日	活動人数	主な活動内容
3月19日(土)	84人	物資仕分け、瓦礫撤去等
20日(日)	162人	物資仕分け、瓦礫撤去、野田村派遣等
21日(月)	151人	物資仕分け、瓦礫撤去、野田村派遣等
22日(火)	98人	物資仕分け、瓦礫撤去、野田村派遣等
23日(水)	78人	瓦礫撤去、野田村派遣等
24日(木)	118人	物資仕分け、瓦礫撤去、野田村派遣等
25日(金)	126人	物資仕分け、瓦礫撤去、野田村派遣等
26日(土)	25人	物資仕分け
27日(日)	10人	物資仕分け
28日(月)	100人	物資仕分け、瓦礫撤去等、野田村派遣等
29日(火)	73人	物資仕分け、瓦礫撤去等、野田村派遣等
30日(水)	87人	物資仕分け、瓦礫撤去等
31日(木)	107人	物資仕分け、瓦礫撤去等、野田村派遣等
4月1日(金)	52人	瓦礫撤去等
2日(土)	55人	物資仕分け、瓦礫撤去等
3日(日)	47人	瓦礫撤去等
12日(火)	2人	瓦礫撤去等
5月1日(日)	2人	住宅清掃
2日(月)	2人	住宅清掃
14日(土)	13人	仮設住宅引越し作業
15日(日)	5人	仮設住宅引越し作業

6月7日(火)	6人	瓦礫撤去(庭)
10日(金)	7人	瓦礫撤去(庭)、物置清掃
14日(火)	4人	瓦礫撤去(庭)
15日(水)	5人	住宅周り砂利敷き
21日(火)	2人	瓦礫撤去(庭)
25日(土)	10人	住宅清掃、仮設住宅引越し作業
26日(日)	12人	仮設住宅引越し作業
7月8日(金)	4人	庭の片付け、整地
9日(土)	7人	雇用促進住宅引越し作業
計	延べ1,454人	(延べ30日)

(6) 義援金等の受入れ状況

ア 義援金	969件	80,914,707円
イ 復興に係る寄付金	158件	103,906,892円

(7) 救援物資の受入れ状況

寄付者	品名
農林水産省	カップ麺、缶詰、レトルト食品
経済産業省	電池、懐中電灯、ろうそく
国土交通省	一輪車、スパナ、スコップ、カセットコンロ・ボンベ、テント、保安帽、懐中電灯等
岩手県	食料品、飲料水、衣類、寝具、日用品、消毒液、ストーブ等
静岡県	畳
和歌山県	紀州南高梅、みかん
福岡県	寝具
北海道函館市	紙おむつ、トイレットペーパー、米、水、漁船
北海道上川郡弟子屈町	水、米、トイレットペーパー、箱ティッシュ、紙おむつ、レトルトご飯
青森県八戸市	ウェットティッシュ、ジュース、レトルト食品
青森県鯉ヶ沢町	水
秋田県鹿角市	食品
群馬県前橋市	炊飯器
長野県須坂市	食料品、毛布、タオル、軍手、マスク、カイロ、石鹸、紙おむつ、電池
香川県丸亀市	うちわ
佐賀県多久市	米
沖縄県名護市	ブルーシート
盛岡市	食料品、ラジオ
葛巻町	牛乳
軽米町	毛布、ジュース
企業・団体	197件
個人	227件

(8) 被災者総合相談所の状況

ア 開設日 平成23年4月1日

イ 相談者数 1,447人

ウ 相談件数及び相談内容等

項目	件数	主な相談内容	
相談件数	1,825件	1,105件	被災者支援制度相談
		91件	住宅の応急修理相談
		34件	応急住宅相談
		9件	中小企業経営者からの経営相談
		9件	漁業に関する相談
		13件	市税に関する問合せ
		10件	住宅の解体に関する相談
		554件	その他

(9) 応急仮設住宅及び宿舎等への入居状況

名称	戸数	入居世帯数・人数
応急仮設住宅（旧長内中学校） 久慈市文化財保管施設前グラウンド	9戸	9世帯・23人
応急仮設住宅（旧久慈水産高校） 久慈東高等学校長内校舎グラウンド	5戸	5世帯・14人
民間賃貸住宅借上げ	36戸	36世帯・99人
雇用促進住宅長内宿舎	3戸	2世帯・5人（久慈市） 1世帯・2人（野田村）
雇用促進住宅大川目宿舎	4戸	2世帯・4人（久慈市） 2世帯・4人（野田村）

(10) 国及び県等への応急対策及び復旧・復興支援要望状況

月日	内容
4月6・7日	政府・政党に対する東北市長会緊急要望及び岩手県市長会緊急要望
12日	民主党岩手県連に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会緊急要望
22日	政府・政党・県選出国會議員に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会緊急要望
5月19日	政府・政党・宮城県選出国會議員に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会及び三陸沿岸都市会議による復興道路整備促進要望
20日	東北地方整備局に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会要望
23日	県知事・民主党岩手県連に対する岩手県市長会要望
6月7日	政府・政党に対する東北市長会要望及び岩手県市長会要望

8日	政党・県選出国會議員に対する岩手県市長会要望
7月1日	政府・政党に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会要望
25日	岩手県に対する重点事項要望
8月31日	民主党岩手県連第2区総支部に対する要望
9月21日	政党・県選出国會議員に対する要望
26日	政府・政党・県選出国會議員に対する要望
27・28日	政府・政党に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会要望
10月21日	民主党岩手県総支部連合会に対する岩手県市長会要望
11月16日	政府・政党に対する岩手県市長会要望
24日	政府に対する岩手県沿岸市町村復興期成同盟会要望（情報通信関係）

7 国・県・久慈広域連合等の対応状況

(1) 国及び県

- ・国土交通省による災害関係情報の収集及び所管事業に関する資機材等支援物資の調達・支援
- ・陸上自衛隊による被災者への炊出し支援、行方不明者捜索及び瓦礫等撤去
- ・緊急消防援助隊による行方不明者捜索活動
- ・海上保安部による海上行方不明者捜索活動
- ・警察広域緊急援助隊による行方不明者捜索活動及び遺体搬送等
- ・岩手県による支援物資等の調達支援及び国等との連絡調整
- ・久慈市災害対策本部員会議への出席による連絡調整及び迅速な災害応急対策、復旧・復興支援

(2) 久慈広域連合の対応状況

- ・火葬場
 - 3月14日 復旧確認
 - 3月15日 焼却体制変更で稼動
 - 4月1日 通常業務へ移行
- ・ごみ焼却場
 - 3月14日 復旧確認
 - 3月20日 可燃ごみの自主搬入開始
 - 4月1日 通常業務へ移行
- ・粗大・最終・資源化処理場
 - 3月15日 復旧確認
 - 3月23日 不燃・資源物自主搬入開始
 - 3月28日 通常業務へ移行
- ・し尿処理場
 - 3月15日 復旧確認
 - 3月17日 台数制限で受入処理開始
 - 3月24日 通常業務へ移行

- 8 復旧、被災者支援に係る国・県・市等の措置（法適用・通知・通達等）
- ・平成 23 年東北地方太平洋沖地震による災害についての激甚災害及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令を閣議決定
（平成 23 年 3 月 13 日公布）
 - ・関係市町村に対して災害救助法を適用することについて
（平成 23 年 3 月 11 日地福第 969 号 岩手県知事）
 - ・被災者生活再建支援法の対象となる災害について
（平成 23 年 3 月 12 日地福第 971 号 岩手県知事）
 - ・平成 23 年東北地方太平洋沖地震に係る災害救助法の弾力運用について
 - ・被災者への支援に関する各種制度について
（平成 23 年 3 月 25 日 被災町内会に周知、4 月 1 日 市広報で全戸周知）
 - ・被災者生活再建支援制度（被災者生活再建支援法）
 - ・災害援護資金（災害弔慰金の支給等に関する法律）
 - ・住宅の応急修理（災害救助法）
 - ・生活必需品の給与（災害救助法）
 - ・生活福祉資金制度による貸与
 - ・応急生活貸付資金による貸付
 - ・防災関係機関との密接な連携による災害情報の収集及び伝達による災害応急対策
 - ・食料及び支援物資等の供給並びに保健師等の配置
 - ・上水道断水地域（医療機関、福祉施設を含む）における給水活動
 - ・被災地域における瓦礫撤去活動
 - ・被災地域における消毒用消石灰及び床上浸水家屋等の屋内消毒液の配布
 - ・ごみの臨時収集及び自己搬入受入れ
 - ・被災家屋調査の実施及びり災証明書の発行
 - ・陸上自衛隊、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊等への活動拠点施設の提供
 - ・義援金の受付及び配分
 - ・被災者への入浴施設の無料開放
 - ・被災者への雇用促進住宅の入居支援（仮設住宅が完成するまでの期間）
 - ・久慈地区災害ボランティアセンターの設置・運営支援
 - ・防災行政無線放送による災害情報及びお知らせ提供
 - ・久慈市ホームページによる被害情報の提供
 - ・久慈市東日本大震災復旧復興本部の設置
 - ・東日本大震災被災者総合相談所の設置
 - ・東日本大震災災害復興支援ガイドブックの配布
 - ・被災者（他市町村からの避難者含む）の介護保険施設等への定員超過受入支援
 - ・介護保険者との連携による被災介護サービス利用者の管内事業所への入所調整
 - ・帰宅困難な介護サービス利用者を受け入れた事業所への福祉避難所指定の適用

9 今後の取り組み

- ・被災者への生活再建支援
- ・被災者への義援金の配分
- ・被災者等への健康相談の実施
- ・商工業の復興に関する支援
- ・農林水産業の復興に関する支援
- ・土木関係施設、上水道施設及び下水道施設等の災害復旧等
- ・津波対策施設の復旧及び早期整備要望

6 義援金等支援者名簿

この度の震災に係り、市内はもとより全国、海外からの多くの方々から様々な支援を頂きました。

この心遣いを糧に復旧・復興そして飛躍に役立てます。

6-1 義援金寄付者名簿

【※あいうえお順、敬称略】

平成24年3月11日現在

アイタ カツヒコ
間 キヨ
藍野学院短期大学
藍野学院短期大学専攻科
アウトドアライフグリーンハウス
青森つばめプロパン販売(株)
青柳 静子
青山 聖樹
秋山 信行
(株) A k I 設計社
(株) 秋田情報センター
アサイ マミ
朝岡 清吉
アサヌマ セイコ
旭町老人クラブ長寿会
アサヒナ ヒトシ
アサミズ サオリ
アサワ マサオ
鱒ヶ沢町議会
鱒ヶ沢町職員一同
アッシュウェブ
アビル トヨノ
アベ モリオ
アベ セツコ
新谷 秋雄
財団法人アリオン音楽財団
アリカワ ケイコ
アレン記念教会
アンドウ ヤスタカ
アンバーホール 館長 長峰 高志
アンバーホールチケットセンター募金箱
(株) イーシステム
(株) イーシステム代表取締役 諸橋英孝

イイダ ヒデアキ
井内 テイ
イエダ ヒサコ
イオハラ エツコ
井口 瑛
池野 健
イシイタケヒコ
イシウ ミツト
(株) 石川建設
イシカワ チヒロ
イシカワ マサヒコ
(有) イシザカ
石田弘信・洋子
イシハラ タケシ
泉 マサ子
税理士法人 市川会計
イチムラ トシアキ
市川 雅典
五日市 征和
五日市兄弟一同
イトウ イサム
イトウ キヨシ
伊藤 多喜雄
イトウ ユキコ
糸坪 フミ子
イノウ ヨシオ
イマムラ ジュン
今井 康邦
イワサワ ナオ
イワタ ヤユミ
岩城ゆめの 岩城さくら
岩手銀行久慈青経会
岩手競馬・楽天競馬
岩手県観光職員互助会
岩手県看護連盟県北支部
協同組合 岩手県資産評価システムセンター理事長
尾形 善美
岩手県獣医師会久慈支会
岩手県母親大会連絡会

岩手県立久慈高校長内校
岩手県立久慈高等学校同窓会会長 見嶽重光
いわて平庭高原闘牛会
岩手北部農業共済組合 建物共済2000万円以上親睦会
岩淵 正勝
岩本歯科医院
ウエノ フクイチ
ウガジン ミユキ
ウチウミ カズコ
内山 直哉
ウノ カズシ
宇部 一敬
宇部小学校6年PTA
宇部町北の越町内会
宇部町滝の沢部落会
宇部町日向町内会
宇部町本町町内会
宇部保育園 保護者会
(株)ウラタ代表取締役会長 浦田崧
ウラベ ユウコ
(株)エイエスシステム代表取締役 小林宗介
エース警備(株)
枝成沢町内会
榎本 良子
エノモト ツカコ
江本 英二
エルコリーヌ
遠藤 匡俊
オйкаワ ジロ
オйкаワ セイジ
追久保 昌一郎
生出町町内会
奥州市職員 タイシ
大芦しゃくし舞保存会

大鹿糠倉松 BS久慈第一 団
株大金ゴルフ倶楽部
大川目町新丁・千草町内会
大川目町民の一人として
オオクボ カツヨシ
大崎町内会
オオサワ ヒロキ
大下 千枝子
大下鉄雄 タキ
オオゼキ ノリコ
大館市交通指導隊
大槻 静子
大槻石材店
オオノ テルヨシ
大橋場 由雄
(有)大畑建機
大林 修子
大平納税貯蓄組合
オオホリ マキコ
オオマ エイコ
オオミナミ サキコ
大宮 恒雄
オオモリ ヨウエツ
大渡 長吉
オカノ ヒロタミ
オカモト ソウ
オガワ カツノリ
荻野 由美子
オク シュンスケ
オクセ ケンスケ
奥田 広一
オクダ ユカ
小国自治会
オクムラ カツア
オグラ カズヤ
オグラ ミドリ
長内 治夫
長内組 組頭 浜欠 明宏
長内中学校生徒会
小田 清綱
(有)小田スチール工業 代表取締役 小田憲一
オチアイ タケシ
小千谷市民義援金
小千谷闘牛振興協議会
帯の会 代表深村圭子
降旗 貴雄
音楽でまちづくり協議会
カープラザ久慈 代表 嘉 藤英紀

介護老人保健施設リハビリ タウンくじ職員一同
カイゾウイン
カクノ ヒサオ
カケハシ ヒロユキ
鹿児島県徳之島町役場内徳 之島闘牛連合会
加差野 誠
カジハタ ミツアキ
梶谷 幸則
カシワギ ヒデフミ
加瀬 美咲
カタオカ カホコ
片岡 美智子
ガタゴン山形会(有)ガタ ゴン企画役職者一同
片山
勝股 恵美子
桂の水車ふる里まつり実行 委員会
カトレア会長 古山 敬
カナザワ イサミ
カヌカ エツオ
鹿糠 好一
鹿糠 満里子・みち恵
カヌカ ミノル
カネオカ メグミ
兼田 博光
カネタブツリュウ
(株)カネトモ代表取締役 社長 金子豊
カバサワ アツコ
上長内町内会婦人部
上柏木親交会
カミカワラマナブ カミカ ワ
カミコウジ カツヨシ
カラオケ笑福亭クレヨン駅 前店
軽米町議会
カワイ スミコ
川代地区振興会
川鉄久慈会 会長 杉本 義美
川端 裕子
川辺 みどり
カワムラ ナオヤス
株神成電気商会
神成 隆一
神林 洋行
キクチ サチエ

キクチ ヒデキ
ぎじろくセンター 関係者 一同
北野町内会 会長 菅原 忠信
北見東京電波株従業員一同
北村映画社
北村 美和
木地谷 シキ
キベ タケシ
キムラ エミ
木本 道子
キヤ ミワコ
協和自動車輸送(有)川越 センター
協和自動車輸送(有)朝霞 センター
キヨカワ コウコ
Kiyoko Holmes
協同組合 久慈銀座商店会
(株)久慈グランドホテル 役員社員一同
久慈恵愛病院
久慈 幸太郎
(有)久慈工務店
久慈琥珀 社員一同
久慈歯科医師会
久慈市街地区町内会(会長 大澤 正夫)
久慈市学校給食職員組合 代表 藤 志都
久慈市家庭婦人バレーボー ル連盟
(社)久慈市観光物産協会
久慈市金融団 当番幹事北 日本銀行久慈支店 支店長 阿部 啓行
久慈市地震災害義援金チャ リティーバザー収益金
くじ地酒愛好会
社会福祉法人久慈市社会福 祉協議会職員一同
久慈市小中学校校長会
久慈市小中学校副校長会
(社)久慈市シルバー人材セン ター
久慈市総合福祉センター募 金箱
久慈市体育指導委員協議会
久慈市婦人消防協力隊連合 会

久慈市保健推進委員連絡協議会 会長 西美代子
協同組合 久慈市民市場
久慈市役所職員一同
久慈商工会議所
久慈商工会議所青年部
久慈消防団第8分団分団長 駒澤 雪男
久慈市立 宇部中学校生徒会一同
久慈市立侍浜中学校生徒会
久慈市立三崎中学校生徒会・NPOさいたまユネスコ協会
久慈青年の船の会
久慈第一ホテル
久慈大正琴の会 代表 畠山 タイ子
久慈拓陽支援学校 P T A 一同
クジチクコオコオトウキョウ
久慈調停協会
久慈南部八三人会 会長小泉寅男
久慈農業改良普及センター親睦会一同
久慈東高等学校生徒会
久慈 秀幸
久慈 博文
社会福祉法人久慈福松会 役員一同
(株)久慈物産市場
久慈保育園父母の会
(株)久慈ミルクセンター
久慈ライフセイビングクラブ赤十字奉仕団
久慈ローターアクトクラブ 代表 播磨豊和
クドウ アヤコ
クドウ カズキ
クドウ ハルカ
クドウ ヨシヒロ
くにさか町内会
(有)九戸印刷
九戸印刷 友の会
クボタ カナコ
窪田 浩一郎
栗田 信三
黒沼 忠雄
クワシマ シゲスミ

桑畑町内会
ケヌカ ミチオ
元気アップ体操 OB 会代表 山田 ヒサ子
(有) 源
高校生ボランティアグループ グリーンピース S E E D 中学生ボランティアグループ ドリームズブロッコリー
国際ソロプチミスト会長寺下和江会員一同
小久慈町大沢田町内会
小久慈町琥珀町内会
小久慈まちづくり協議会女性部
小久慈老人クラブ
小倉山駒形神社祭典実行委員会
国立 真司
コサカ ジュンヤ
コサカ テツオ
コサカ ユウジ
小菅 和子
コスギ タカシ
(株)コスモリサーチ東北支店 代表大崎 智
小袖部落会
後藤新連合後援会
後藤 英理子
ゴトウ ダイ
後藤 祐治
こはくのまちの保健室一同 (代表 大橋 泰子)
コバヤシ ショウコ
コバヤシ マサシ
コマクラ フミオ
コマツバラ サチコ
五味 秀春
(有)小向工務店
小向 昭二
コムカイ ミキ
コムカイ ヨシアキ
コヤチ ユウジ
コンドウ ユウコ
在京ふるさと会
西郷 征弘
さいたま ARTS21 菊地 順子
齋藤純・美穂
サイトウ スミコ

サイトウ タダシ
斉藤 千恵子
サイトウ ユキ
NPO法人在日外国人情報センター
幸町町内会 会長八重樫護
幸町保育園職員一同
幸町保育園父母の会
酒井 敏彦
榊原 伸代
坂口 弦太郎
嵯峨 實
坂本 一彦
サカモト ヒデトシ
坂元 浩伸
嵯峨 康佐多
サキヤマ アヤコ
櫻井 直貴
笹木 一義
ササキ キヨフミ
ササキ クミ
佐々木辰徳・寛子
ササキ トシミ
佐々木 則男
ササキ ヒロミ
佐々木 雄悦
ササキ ヨシヒロ
笹原 益子
サダカネ ダイスケ
サタケ ヤスアキ
(株)薩摩恵比寿堂
サトウ アツコ
サトウ キヨ
サトウ タキコ
サトウ ノリオ
サトウ ハジメ
サトウ ヒサコ
サトウ ヒロシ
サトウ マサオ
佐藤 正文
佐藤 美紗子
佐藤 幸男
サノ ヨウコ
侍浜地区区長会
侍浜町婦人団体協議会 越戸千江
侍浜町本町町内会
侍浜町本波町内会
侍浜町向町町内会 会長 谷崎修一郎
沢井 京子

サワグチ トヨコ
サワサト シンイチロウ
澤田 優子
(株)サンエイアルミ 代表取締役 遠藤芳夫
サンエイ(株) 西川 忠山海里
(福)産経新聞厚生文化事業団
サンヨーホーム(株)代表取締役 金本正人
(株)CVSベイエリア
シオザワ コウイチ
シオミ テルヤ
シカノ アキコ
重岡 菜穂子
シゲノ ヨウコ
慈光寺萬遍念佛講
シタミチ ヨウコ
柴田 修佑
シバタ ヨシコ
四百刈 敦子
シブヤクハヤシダヒロシ
シマモリ ヨシオ
清水 将夫
シミズ ユウコ
シミズバタ ヨウイチ
下長内老人クラブ
下柏木婦人部
シモカワ ユカ
下館 宏治
下館 フミ
シモダテ ヤスノリ
シモノ ケイコ
下野 聡子
霜畑自治会
下畑 孝志 下畑 美世
シモムカイ シュウキ
写経の友橋 榊原 タカ子
JAPAN AMERICA SOCIETY OF INDIANA
社民党久慈総支部
(株)ジュークス従業員一同
十八日町二十八日町子供会
正路 文七
城内 秀藏
(株)昭和土木設計
JOHNSON COUNTY COMMUNITY FOUNDATION
白井 啓也・及川 佳代子・三船久蔵十段親戚御一同

白石 健二
シラハタ ヒトシ
白山浄水場管理者
新岩手農協山形支所 農業まつり実行委員会
新岩手農業協同組合
シンギヨウチ ヒロユキ
シングンマノカイ ゴトウ
(株)新田組
新田自治会
新日本設計(株)東北支社
新町町内会
新明和工業(株)東北支店
社団法人 水産土木建設技術センター
Cugy, Vaud Switzerland (スイス クジ町)
スイミング友の会
スガワラ シノ
スガワラ シホコ
スガワラ ミホ
スガワラ ヨシミ
杉野 眞紀子
スギモト ヨシミ
杉本 義美
スギヤマ ユウコ
スズキ アイ
鈴木 和子
鈴木 サカエ
鈴木 優子
砂子町内会
砂子 秀男
スナザワ トメ
砂沢 ヨシノ
清和貿易(株)
関口 清
関口 英行
関自治会
0194 エリア女性支援ネットワーク
全国市議会議長会
全国市長会水産都市協議会 会長氷見市長 堂故 茂
曹洞宗岩手県宗務所
壮瞥町
添田 寛
添田 義彦
ソトノ ノボル
外屋敷町内会
ソメヤ トシエ
ソメヤ ヒロシ

第一教区時宗寺庭婦人会
代表 佐々木澄子
第一石油(株)
ダイスキナクジシヘ
ダイハツ工業(株)
台丸谷 尚文
(株)タウンクライヤー
高橋 功
タカハシカズコ ジュン
高橋 信作
高橋 拓也
高橋治巳税理士事務所
高橋 秀明
タカハシヒデユキ
高橋 富士雄
タカハシ マコト
タカヤマ コウジ
瀧本 康子
竹内清四郎 タチエ
タケシタ サユリ
竹下産婦人科医院職員一同
タケダ ミツコ
タケダ ユミコ
タケヒサ ミキ
田高 京子
タコウラ ユウコ
タザワ ヒカル
田島 明
田代 好
田代 利男
ダスキン久慈 (有)栄光商会
ダスキン久慈 ふれあいくらぶ一同
ダテ ナオト
タテハタ ユリ
タナカ ケイコ
タナカ ヒロコ
タナカ フカシ
ダナスプランニング
棚橋 恭子
タニフジ タケシ
タノクラ アケミ
タハラ ダイスケ
田保 蓉子
タムラ アキコ
(有)田村牧場 たむら屋
田屋町ふくしサロンほっこり 代表 高橋 きち
デドリヤ
中尊寺

チョウスケザワ ユキオ
チリ タエコ
ツイヒヂ ミヨコ
ツカノ ナオミ
ツカハラ マコト
ツシマ エミ
津田 和宏
土の館テナント会
繋自治会
ツナムラ ヒサ
角柄町内会
有限会社 テクノシール
照井 善耕
天神堂町内会
東京奄美会有志一同
東京絵手紙おびの会午前組 代表渡辺みつる
東京電波(株)
トウキョウミヤコドウキョウ
東京武蔵野絵手紙教室 代 表 小池恭子
銅銀 久弥
(株)東山堂
匿名希望者(複数)
外里 文人
戸田 千和
外館 吉右衛門
トダテ サトル
外館 友治
外館 正勝
外館 三男
外館工務店
トチギ ユウキ
飛澤 浩人
トマト衣料館 久慈店
トミザワ ナオシ
トミモト アキヒロ
鳥谷峯 敏雄
トライアンド
内藤 徳道
ナカムラ シュウ
ナガイ ヒデユキ
ナカウエ レイコ
ナカクボ ユウイチ
ナカザト メグミ
中島 とよ子
ナガシマ マサヒロ
長島百萌
中田 タカ子
ナカダテ タカシ

中西 里美
ナカニシ ヨウスケ
ナガネ ユウイチ
中野 京子
中野 禎悦
ナカノ ヒロシ
永峰 高志
ナカムラ アヤミ
ナカムラ トモヒサ
ナカムラ チエ
中村芳治 中村ハナエ
ナカムラ クミコ
ナカムラ ゲンジ
中山 亜津紗
梨子木 輝夫
ナス アキラ
夏井音頭太鼓の会
夏井小学校PTA 会長三 上 秀一
夏井中学校生徒会
夏井町野中町内会
夏井俊勝
なべくぼ ひろし
ナリタケンジ
ナリタマサコ
新井田恵比寿会会員一同
新井田町内会
荷軽部自治会
西 正
ニシダテ マサコ
西の沢町内会
ニシムラ タカミツ
ニシムラ トシエ
ニシムラ ヒロコ
二十八日町町内会
ニシワキ モトコ
ニタナイ サヤカ
ニチジュウケンセツ(株) カ) ニツク
日軽建材工業労働組合
日本共産党中央委員会
日本自治体労働組合総連合
日本郵便市原支店 郵便課 伝送有志
日本ユーラシア協会岩手県 連合会
葦山 定志
布谷 文明
沼宮内公民館成人学級
ネコ アキオ
野井 和光

一般社団法人農家の売り子 プロジェクト
農業委員会 会長 荒澤光 一
ノグチ キョウイチ
野田 義悦
ノナカ カズタミ
野中 一民
野場 賢一
ノバタ シゲカズ
ハグラ トシヒコ
ハシバ ケンジ
PACIFIC COLLEGIATE SCHOOL
橋本 好司
ハシモト タケヒコ
八工大一星雲の会 久慈支 部
ハナリ ジュン ハヤシシ オ
ババ エツコ
ハマダ マスミ
ハヤシ ケイコ
林 弘子
ハラダ イツミ
ハラダ カズヨシ
播磨 政征
東日本大震災復興イースタ ーコンサートアレン記念教 会
東山 加奈子
(株)ヒカリ総合交通従業員一 同
樋口 一男
樋口石材店
ヒゴ タカシ
日高 剛
ヒナタ キヨシ
日野沢自治会
ひまわりバドミントンクラ ブ 玉沢佐和子
NPO法人ひまわり
ビューティーサロンチカコ 友の会
兵藤 成美
日吉町町内会
ヒライ アツコ
平庭市友の会
平庭観光開発(株)
平庭山荘募金箱
平向 美紀子

ヒラヤマ ナオジ
ヒロセ ヒデタカ
株廣瀬産業海事工業所 代表取締役 山下豊
ヒロツジ マサト
ファン・バリュー(株)
深村 圭子
深山 美子
ふくしサロン あじさいの会
フクシマ ミチコ
フクダ タツシ
福原 久之
藤正亭
藤森 正芳
藤原 スミ
フジワラ ハルミ
藤原 由美子
藤原 良太郎
船木 陽子
船場 佐紀子
フラワーアレンジメントサークル
古舘 雄吉
フルダテ ヨウコ
フレンチフレンチジムキヨ
平成23年度ふれあい福祉まつり実行委員会
(有)ヘイハン印刷
(株)北星社 白木 愛
細谷地 茂陽
細谷地 真生
細谷地 真里
細谷地 亮介
細谷地 留美子
保土沢町内会 会長越戸千江
ボランティアサークル ホットタウン(代表 水上敏枝)
堀井 精一
堀切町内会
ホリコシ マサヒコ
ホンダ カズヒコ
ホンダ ケンジ
本波 壽仁
馬内実 砂子達男
前田 美幸
マキ タカシ
牧 弘子
牧 貞夫

Masako Rehm
マサキ アキオ
マザワ ケンイチ
マザワ トモヒロ
マスダ ミチコ
増田 美千子
マスモリ ノボル
俣野 賢仁
まちなかアツビバ
(株)街の駅・久慈
松山 勇
マツウラ ユキジ
松澤 東子
松永 操
マツムラ ヒロコ
松村 又蔵
松山 暢子
三上 勝男
三上 尚子
三上 真紀子
三上 光明
ミカミ ユミコ
(株)ミゾタ
湊小学校前町内会
三橋 トシ
ミムラ フミオ
宮城建設(株)従業員一同
宮道 有子
ミヤモト トシアキ
ミヤヤマ ヒロシ
ミヨシ トシロウ
ミワ フユミ
向屋敷自治会
武蔵野工業(株)
武蔵野工業(株)みどり会
牟田 潤
牟田 真理子
ムライ カズコ
村井 将
ムラカミ アキラ
ムラタ カツミ ムラタカス
ムラタ ヒロユキ
ムラタ ユキオ
ムラタ ハシメ ホンニン
ムラタ ヨウコ
ムロガ ヒロコ
メイサンスイミングクラブフィットネススクエア
87-56 会員一同
森岩 忠吉

盛岡市議会議員一同
盛岡大学短期大学部
モリカワ ヨシツグ
モリタ レイノスケ
門前保育園 職員一同
八木巻 二郎
矢崎 幸男
ヤザワ ユウイチ
やすみ りえ
ヤチ エイジ
ヤチ コウイチ
ヤチムカイ メグミ
矢津 将也
ヤハタ ヨシハル
山形町同郷会 代表 小向鉄男
山形町婦人団体連絡協議会
山形町更生保護女性の会
特定非営利活動法人やまがた文化・スポーツNPO役職員一同
ヤマグチ チエミ
山口工業(有)
山口真空(株)
山口八幡宮
山崎 慶子
ヤマサキ ヒデオ
ヤマシタ ミツコ
山田 和美
ヤマダ タカシ
ヤマダ トモミ
山田 直子
山館 健太
山中 直海
山根地区民生児童委員協議会
ヤマモト ミユキ
ヤマモト リョウ
ヤングボランティア SEED
(有) ゆう
ユートピア白滝 グループ
ホーム満天 慈恵会指定居宅介護支援事業所職員一同
(株)ユニバース代表取締役 三浦紘一
(株)ユニバース本部役職者一同
八日町秋葉会
養老乃瀧久慈駅前店
Yoga Be Happy 日影美紀
横合町内会

ヨコシマ ツカサ
横須賀市立久里浜中学校
横沼町内会 会長 大向達夫
横浜 片山
ヨコミチ カズユキ
横山 茂
ヨシダ アキコ
吉田歯科・矯正歯科医院
吉田 省三
吉田 健
ヨシダ ミスズ
よつばシステム代表取締役 馬内 朋明
四役 徹
四役 義一
ヨナイ ノブコ
ヨネイ ユカコ
ラーメン ダイスケ
らーめん千草募金箱
ラーメン亭大介お客様一同
ライアン ジュンコ
来内自治会 会長小田勝正
理水化学(株)
(株)流通技研土日ジャンボ市
理容 カヌカ
(株)レーベルホーム
RED CHILI
六戸 善竣
有限会社ワイアンドケイ
ワキタ ヨウイチ
和光 新二
和光苑職員一同
ワタナベ エミコ
渡辺 孝子
ワタナベ ヒロコ
ワタナベ マサシ
渡邊 光男
亘 佳子

東日本大震災久慈市地震災害義援金の経過について

1 東日本大震災久慈市地震災害義援金の経過について

日時	内 容
3月11日	東日本大震災発生
3月16日	東日本大震災久慈市地震災害義援金の受付開始
4月18日	東日本大震災見舞金（第1次配分）申請受付開始
4月26日	東日本大震災見舞金（第1次配分）支給開始
6月1日	東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会設置
6月10日	第1回東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会開催 東日本大震災見舞金（第2次配分）の検討
6月27日	久慈市漁業協同組合各生産部長へ東日本大震災見舞金（第2次配分）説明会を実施
7月11日	久慈市漁業協同組合各生産部長へ東日本大震災見舞金（第2次配分）交付式を開催
7月15日	第2回東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会開催 東日本大震災見舞金（第3次配分）の検討
8月1日	東日本大震災見舞金（第3次配分）申請受付開始
8月10日	東日本大震災見舞金（第3次配分）支給開始
9月30日	東日本大震災久慈市地震災害義援金の受付期間を 平成23年9月30日から平成24年3月31日まで延長
11月14日	第3回東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会開催 東日本大震災見舞金（第4次配分）の検討
12月9日	東日本大震災見舞金（第4次配分）支給開始

2 東日本大震災久慈市地震災害義援金の入金状況

80,914,707円 969件 平成24年1月31日

3 東日本大震災久慈市地震災害義援金（第1次配分）の支給状況

※ 第1次配分については、早急に支給する必要があったことから市長決裁により配分を行ったものである。

基準としては被災者生活再建支援金、平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波義援金（日本赤十字社・中央共同募金会・岩手県義援金）に準じたものであるが、市独自として重傷者に対しても配分の対象としたものである。

(1) 人的被害

対象	見舞金の額	対象者数	対象金額
人的被害（死亡）	100,000円	4名	400,000円
人的被害（行方不明者）	100,000円	2名	200,000円
人的被害（重傷者）	50,000円	2名	100,000円

(2) 住宅被害（居住者）

対象	見舞金の額	対象者数	対象金額
住宅被害（全壊）	100,000円	69名	6,900,000円
住宅被害（大規模半壊）	70,000円	31名	2,170,000円
住宅被害（半壊）	50,000円	178名	8,900,000円

(3) 合計

対象者数	金額
286名	18,670,000円

4 東日本大震災久慈市地震災害義援金（第2次配分）の支給状況

漁業被害

漁業者に対しては、見舞金を一律2万円、組合員組織である久慈市漁業協同組合の生産部に対して支給を行った。

(1,010人×2万円＝2020万円)

生産部名	組合員数	支給金額
久喜漁業生産部	202名	4,040,000円
小袖漁業生産部	168名	3,360,000円
大尻漁業生産部	84名	1,680,000円
二子漁業生産部	49名	980,000円
久慈浜漁業生産部	94名	1,880,000円
夏井漁業生産部	91名	1,820,000円
南侍浜漁業生産部	108名	2,160,000円
侍浜漁業生産部	214名	4,280,000円
合計	1,010名	20,200,000円

5 東日本大震災久慈市地震災害義援金（第3次配分）の支給状況

対象	見舞金の額	対象者数	対象金額
出稼ぎ者等住宅所有者被害（全壊）	100,000円	1名	100,000円
出稼ぎ者等住宅所有者被害（大規模半壊）	70,000円	1名	70,000円
出稼ぎ者等住宅所有者被害（半壊）	50,000円	9名	450,000円
津波による農業・林業被害	20,000円	6名	120,000円
店舗・アパート等被害（個人事業主）	20,000円	46名	920,000円
合計	—	63名	1,660,000円

6 東日本大震災久慈市地震災害義援金（第4次配分）の支給状況

(1) 住宅被災者への灯油等暖房費の追加交付

東日本大震災見舞金（第1次配分）支給要領に基づき、住宅被害により見舞金の交付を受けた被災者に対して、家計負担の軽減を図るため灯油等暖房費の追加交付を行う。

対象	追加交付の額	対象者数	追加交付額
住宅被災者 ※ 出稼ぎ者等住宅所有者被害を除く。	10,000円	278名	2,780,000円

(2) 個人事業主への追加交付

東日本大震災見舞金（第2～3次配分）支給要領に基づき、個人事業被害（漁業被害、津波による農業・林業被害、店舗・アパート等被害）により見舞金の交付を受けた者に対して追加交付を行う。

対象	追加交付の額	対象者数	追加交付額
個人事業主	30,000円	1,062名	31,860,000円

3 合計

対象者数	金額
1340名	34,640,000円

参考

事項	金額	配分額累計	配分後残額
義援金入金合計	80,914,707		
第1次配分額	18,670,000	18,670,000	62,244,707
第2次配分額	20,200,000	38,770,000	42,044,707
第3次配分額	1,660,000	40,530,000	40,384,707
第4次配分額	34,640,000	75,170,000	5,744,707

6-2 寄付金寄付者名簿

【あいうえお順、敬称略】

※ 久慈市が行う復旧・復興事業に役立っています。

平成 24 年 3 月 11 日現在

寄付者、団体名
株式会社アイシーエス
秋田県鹿角市
秋田県能代市
秋田県能代市議会
アクティオグループ
A s i A j p
市川貴弘
伊藤ありす
伊藤幹翁・寿和子
岩手県金ヶ崎町
社団法人岩手県建築士会久慈支部
岩手県自動車整備振興会久慈支部青年部
社団法人岩手県測量設計業協会
財団法人岩手県対ガン協会
岩手県八幡平市
岩手県平泉町
歌の会なかま
荏原環境プラント株式会社
株式会社大紀ニプロジェクト
株式会社大畑建築設計
大森良三
奥本満
春日野部屋
企業組合かぶあがり

川井自治会
川代愛実
川代萌々香
川代百合子
菊原光治
株式会社キッチンスタジオ
木村一夫
久慈市管工事業協同組合青年部
久慈市ゴルフ協会
久慈商工会議所青年部
株式会社久慈設計久慈
株式会社久慈中央商事
久慈ユネスコ協会
久慈ライオンズクラブ
久慈ロータリークラブ
小金井市観光協会第 44 回お月見のつどい実行委員会
国際ソロプチミスト協会久慈
小久慈町岩瀬張町内会
児玉純一
有限会社嵯峨自動車商会
坂田西ソフトボール
茶道小堀遠州流松籟会岩手支部
佐藤雅一
J F E ミネラル株式会社
シダックス株式会社
有限会社信濃レジン
有限会社信濃レジン 2 3 0 安全衛生協議会

下館建設株式会社
生田育男
新岩手農業協同組合
新岩手農業協同組合産直ショップ花野果
新日本婦人の会
水 i n g 株式会社
株式会社関・空間設計
全国市議会議長会
社団法人全国信用金庫協会
速應榮子
速應謙太郎
社団法人大日本水産会
大林寺
田中久
株式会社タムラ
垂柳敦志
丹野綾子
辻元瞳
寺里町内会
東亜道路工業株式会社
東京書籍株式会社
東北港湾空港会
夏井こめ子クラブ
夏の会
新潟県小千谷市
二交会
二戸ガス株式会社
日本国土開発株式会社

社団法人日本補償コンサルタント協会東北支部
日本郵政募金会
はまなすの会
株式会社はるやまチェーン
北星鉱業株式会社
株式会社細谷地
北海道弟子屈町
まめぶの家
みちのく銀行グループ
三船毅
宮城建設株式会社
株式会社宮商
武蔵野工業株式会社
村井智全
村上均
公益財団法人モラロジー研究所
株式会社ヤマイチ
山内英世
山口建設株式会社
山口靖
有限会社やました
山田和美
株式会社山武ビルシステムカンパニー東北支店
株式会社ヤマノ機工
やまびこの里・沢里
ライオンズクラブ国際協会 332- B 地区
リトアニア共和国・クライペダ市

匿名 11 団体、21 個人

6-3 救援物資寄付者名簿【あいうえお順、敬称略】 平成24年3月11日現在

寄 付 者
(株)アーテック
あいおいニッセイ同和損保保険(株)
(株)アイケイコーポレーション
I D Oフーズ(株)
秋山園
(株)朝日 ジャムフレンド
鱒ヶ沢町長
味の素(株)
(株)アスク
アディダス・ジャパン(株)
(株)アドリベラル
阿部 昭浩
鮎川 奈津子
アングルインドレストラン
イエス・キリスト教会
池田 岩夫
池野 史子
池野 正志
石田 けい子
石野
泉沢 久枝
泉沢 良子
磯澤 弘子
一沢 隆行
伊藤 定男
糸坪フミ子
岩手県
岩手県読書推進協議会
いわて美しき陸中海岸写真集制作委員会
岩手銀行久慈中央支店
岩手県曹洞宗青年会
岩手県災害対策本部(出光興産株)
岩手県獣医師会
(社)岩手県トラック協会
(社)岩手県薬剤師会
岩手トヨタ自動車株

岩手北部農業共済組合
岩手読売会
岩谷 あやみ
宇賀 綾子
内山 初昭
(有)宇宙センター
宇部 凡夫
宇部 トヨ子
宇部煎餅店
宇部 ミエ子
宇部 祐子
a p b a n k 運営事務局 「贈る図書館」プロジェクト 一同
江川 福子
(株)エヌ・ティ・ティドコ モ東北支社 岩手支店
NP 岩手
榎木 純好
追久保 リン子
大久保商店
大久保 成子
大倉 千尋
大澤 一嘉
大清水 紀子
大尻 勇
大角 幸子
太田 健
大塚製薬(株)仙台支店ニュー トラシューティカルズ事業 部盛岡出張所
大塚製薬(株)盛岡出張所
おおのミルク工房
大橋 義平
大橋 哲夫
大畑 朋洋
大船渡ユネスコ協会 岩手県ユネスコ協会連盟
おおみ屋
大家 賢次郎

オーランドオプチカル(眼鏡 市場 久慈店)
大渡 洋子
小笠原 栄吾
岡田 敏照
沖縄県名護市
小倉 由美恵
奥寺 晴夫
長内 治夫
小田 聡子
音代漁業(株)
小野寺 英徳
織茂 平
花王(株)
柿木興業株
梶谷 裕子
春日野部屋
ガスト久慈店
株カタログハウス
(株)学研ホールディングス
鹿角市議会
鹿角市議会 鹿真会
かっぱ寿司久慈店
勝田 明美
勝又 久枝
カトリック水沢協会
鹿糠 孝子
鹿糠 良平
株カネトモ
蒲田 良
蒲野 喜悦
カラオケくれよん久慈店
軽米町長
川崎北ロータリークラブ
川代 琴
川戸 典子
川戸 ミツ
川貫保育園職員一同
川端 武男
(株)かんだ
関東地方郵便局長会

菊地 ミツ子
(有)北三陸天然市場
北日本造船株
共栄海運(株)
久慈 日光
久慈衣料
久慈警察署
久慈広告社
久慈琥珀(株)
久慈市食生活改善推進員連絡協議会
久慈商工会議所 青年部
久慈青年会議所
久慈物産市場
久慈まめぶ部屋
久慈ロータリークラブ
葛巻町長
(合)クックコーポレーション
(株)工藤組
九戸オートサービス
久保 せい子
久保田 英子
窪田 隆
黒畑 幸男
桑田 育男
桑田 正七
桑畑 佳代
学校法人 啓明宮城小学校
(株)ケーズホールディングス
健栄製菓株式会社
小池 恭子
(株)孝賛
向洋電気(株)久慈営業所
株恒和薬品 岩手北出張所営業課
国際児童基金
国際ソロプチミスト久慈
公益財団法人 国際開発救援財団
国土交通省

株式会社 越戸商店
コスモ石油株
後藤新連合後援会
紳士服コナカ久慈店
小向 寅雄
小向 秀子
(株)小彌田
小山商店
斉藤 千恵子
坂
嵯峨 節子
嵯峨 藤弥
嵯峨 瑞季
嵯峨 康佐多
佐幸本店
佐々川 明久
佐々木 隆彦
佐々木 邦子
佐々木 八彌
佐藤 實三
株式会社 サナ
サラダ館九戸店
沢菊
(株)CVSベイエリア
自衛隊八戸駐屯地
静岡県
下畑孝志・美世
七良川 ケイ子
嶋野義晃
シミズオクト
下平 ヒロ子
下嶽 智美
下館 宗七
下日吉町町内会
下山 桂代子
(株)ジャストシステム
シャルレ特約店 保坂晶子
シューズセンターたかぎ
株十文字チキンカンパニー
ショーワグローブ(株)東京本社
食生活改善推進協議会

新毛 郁子
新宏堂
一般財団法人神城文化の森藤田財団
スギホールディングス(株)
須坂市長
鈴木 軍二郎
砂子 紀子
(有)スリーエス
SAVE IWATE
瀬尾 ゆかり
関上拓男・ユリ子
セコム株 久慈事務所
セコム株式会社
全国菓子工業組合連合会青年部岩手県菓子工業組合青年連合会
全国食生活改善推進員団体連絡協議会
(有)総合農舎山形村
添田 奈津美
第一ライフトラスト
第一法規(株)
大地を守る会
田表 永七
高橋 奈津子
高橋 宏幸
高根 俊秋
高谷 泰道
高屋敷 徳光
高屋敷 真喜子
高山 賢一
高山 忍
多久市
田口病院従業員一同
竹内 稔枝
田高 恵子
田高良 郁
田代 好
瀧山順子、タキ子・中嶋フヨ
館畑 健
田中 美子

田中館 和昭
田名部 文彦
(株)タニタ秋田
玉澤 幸枝
田村 タキ
田村牧場
たむら屋
千葉運動具店
蔦温泉旅館
塘 春美
ツルハドラッグ久慈荒町店
弟子屈町
弟子屈町議会
(株)デュラセル社
(株)電通東日本
樋口 ミネ子
東京電波(株)久慈工場
東京農業大学
東新電話(株)
一般社団法人東北漁業再開支援基金・希望の烽火
東北電力(株)秋田支店
遠山 正子
ドコモ
内閣府NPO 特定非営利法人 やすらぎ福祉会
鳥居 勝子
中川原 洋介
(株)中合 三春屋店
中崎 美由紀
中田
中田 大
中務 稔
中塚 モト
長根商店
中野 ゆう子
中野 禎悦
中村 弘子
中村 美也子
中村 弥文
中目 長次郎
中森

中森 ツヤ
名古屋市
特定非営利活動法人 難民を助ける会
新井田 明夫
西 正恵
西 陽子
西前 年
日宝建設工業(株)
二戸市職員有志一同
二橋 謙太
日本中華總商会
日本赤十字社
(財)日本出版クラブ
日本電動式遊技機工業(協)
回胴式遊技機商業(協)
(社)日本図書館協会東日本大震災対策委員会
(社)日本図書教材協会一般社団法人全国図書教材協議会
日本郵便郵便事業(株)久慈支店
公益法人日本ユネスコ協会連盟
ネットトヨタ岩手(株)久慈店
野月平 正信
バイクオフ
函館市長
南かやべ漁協
えさん漁協
函館市漁協
戸井漁協
銭亀沢漁協
橋市米穀店
畑中 昌子
畑中 真美子
畑村 由夫
ハチカン
八戸市
八戸大学
花立 清
ピー・シー・エス(株)

東日本大震災岩手県被災地域インフルエンザ対策マスクを寄贈する会
被災地へピアノをとどける会
日沢 陽介
日立造船(株)
日向 武雄
日野自動車(株)
ピュアフードスタッフ
ビリーブ
ふうせんバレーボール振興委員会
(株)フォスター・プラス
深村 圭子
深山 美子
福岡県
ふくしサロンあじさいの会
福島 久美子
福島工業株式会社
(株)福島製作所
福見産業東京支店
ふじの歯科医院
藤森 洋子
富士薬品八戸営業所
富良野地区農業共済組合
プランタンいずみ
ブリッグス・アンド・ストラットン・ジャパン(株)
古館 民雄
ふれあいサロン 秋葉会
ふれあいサロン かたくりの会
ペナント(株)
(株) ホウトク薬品産業
ホームック(株)
(有)北桜堂新社
保坂 晶子
ホソタ薬局
(株)細谷地 ドコモショップ 久慈店
ほっかほっか亭川貫店
堀澤光儀

本波 茂男・八須子
米田 祐子
前田 亜里沙
前橋市
舛森 悦子
松川 綾子
末崎 とき
(株)マックハウス久慈店 スタッフ一同
まめぶの家
丸亀市
(有)マルカワ渋川せんべい
まるこ川貫店
廻立 信子
(株)萬野畜産
三重県遠洋船船員組合
三上 昌子
三上 律子
三河菓子店
水上敏枝
みずき園
みちのくココ・コーラボトリ ング(株)
三井
三井 栄子
三部 知二
(株)都設計工業代表取締役
宮下 亮平
宮田 明子
宮田 敬
(株) 宮文
麦生町内会
(株)明文堂プランナー
(株)メカウイングス
メラルーカ・ジャパン
森岩 遼
盛岡ロータリークラブ・久慈 ロータリークラブ
盛岡東京電波(株)久慈工場
盛岡市議会
盛岡市
盛岡保護観察所

森田 礼子
八重樫 範通
矢島 明美
NPOやすらぎ福祉会
谷地林業(有)
柳幸 勉
山根町端神べっぴん村
ヤマハ発動機(株)
山本 泰子
洋服のはるやまチェーン 職 員一同
横川 義治
横倉 長代
読売新聞久慈専売所
読売新聞社本社
ライオンズクラブ国際協会 キャビネット事務局
(社)リース事業協会
(株)りんざい
リンナイ(株)
ロイヤルパークカワサキ
ローソン長内店
和歌山県
和田ゴム販売(株)

6-4 協力団体等名簿【あいうえお順、敬称略】

平成 24 年 3 月 11 日現在

協力団体等
青森市
岩手医科大学災害派遣医療チーム
岩手行政評価事務所
(社)岩手県建築士会久慈支部女性委員会
(社)岩手県建築士事務所協会久慈支部
岩手県県北広域振興局経営企画部県税室
岩手県石油商業協同組合久慈支部
(社)岩手県建設業協会久慈支部支部長 税田英敏
(社)岩手県宅地建物取引業協会久慈支部
岩手司法書士会
いわて平庭闘牛会
岩手復興局
岩手弁護士会
大分県森林組合連合会
小千谷闘牛振興協議会
学校法人学習院
春日野部屋
軽米町
北奥羽地区水道事業協議会八戸圏域水道企業団
北奥羽地区水道事業協議会八戸管工事協会
久慈港運(株)
久慈市管工事業協同組合
久慈市漁業協同組合
久慈医師会
久慈市社会福祉協議会

久慈市食生活改善推進員協議会
久慈市婦人消防協力隊連合会
久慈市保健推進委員連絡協議会
久慈税務署
久慈ひまわり基金法律事務所
久慈ライオンズクラブ
葛巻町
九戸木材協同組合理事長 岡野利雄
県北広域振興局
県立久慈東高校
県立二戸病院災害派遣医療チーム
小金井市観光協会第 44 回お月見のつどい実行委員会
さかなクン
浜っこなかよしクラブ(侍浜小学校児童 50 名)
大東木材青壮年会
二戸市
日本水道協会各務原市
日本水道協会中津川市
南かやべ漁協、えさん漁協、函館市漁協、戸井漁協、銭亀沢漁協
(株)菅原組、中村漁場、定置協会
(株)菅原組、(株)宏栄建設
函館市
平庭観光開発株式会社
ふるさと体験学習協会

北海道庁、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、江別市、石狩市、名古屋市、川崎市
久慈まめぶ部屋
まめぶの家
盛岡地方法務局二戸支局
米内造園

7 「広報くじ」ダイジェスト

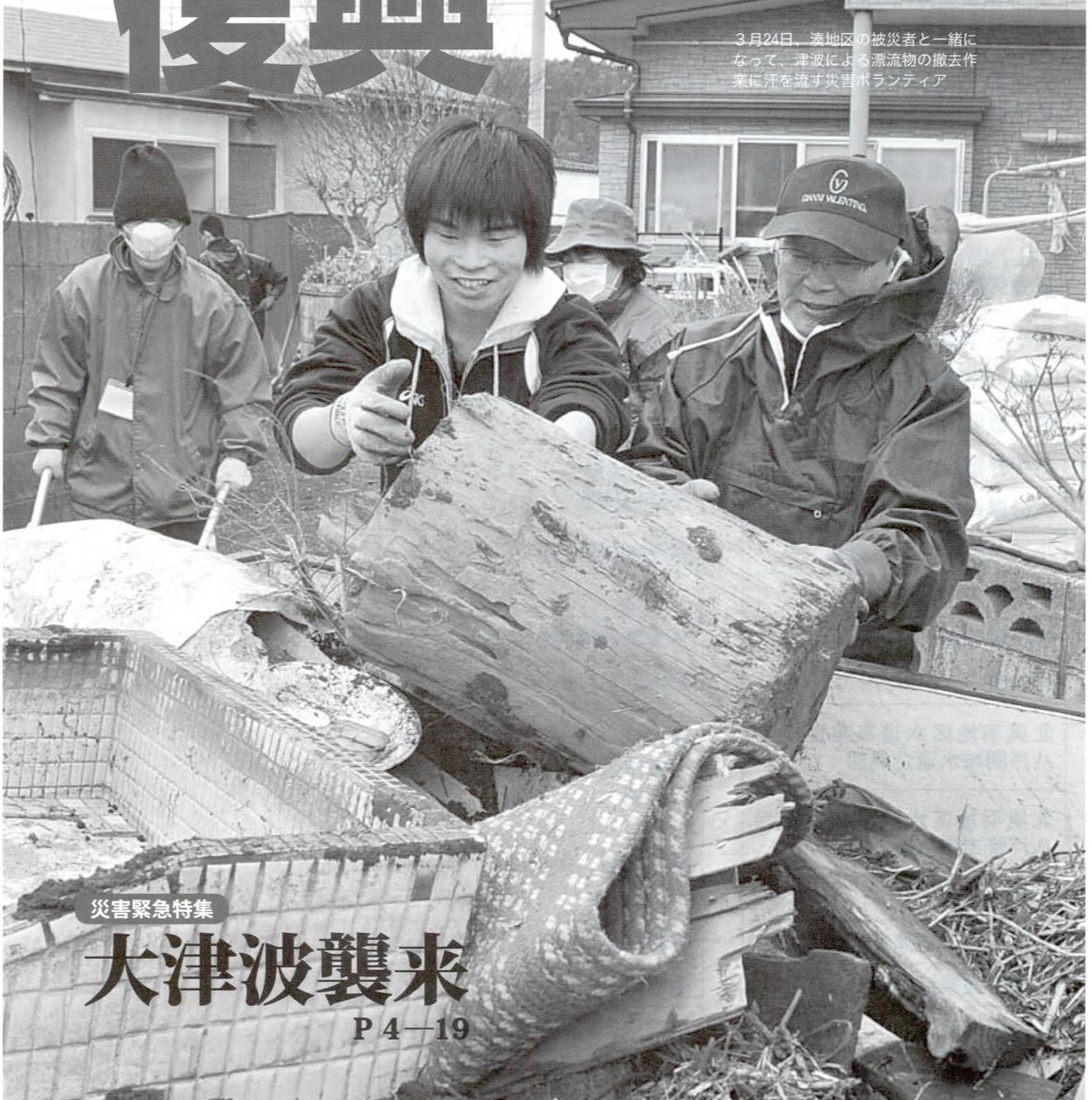
震災に係る被災直後の様子と被災の現状、そして、復旧・復興に市民一丸となって取り組んでいる様子を掲載しています。

広報くじ

4 2011
月1日号
No.122

復興力を合わせて

3月24日、湊地区の被災者と一緒になって、津波による漂流物の撤去作業に汗を流す災害ボランティア



災害緊急特集

大津波襲来

P 4-19

平成 23 年度岩手県市町村広報コンクール広報紙の部第 2 位

広報3月15日号

被害の影響から、本来の配布日である3月15日には、広報などの配布を停止。今回、広報4月1日号と合わせて広報3月15日号も配布させていただきました。
3月15日号の掲載内容は3月7日現在のものです。災害の影響で編集当時と状況が変わっている情報もありますので、ご了承ください。

広報4月1日号

広報4月1日号は当初の予定を大幅に変更し、今回の大災害に特化した紙面になっています。

被災した方にとっては見たくもない写真などが多数含まれていると思いますが、全市民に被害状況を知っていただき、復興に向け気持ちを一つにしてほしいと考えました。どうかご理解をいただきますようお願い申し上げます。

なお、掲載を予定していた記事については、広報4月15日号以降に掲載させていただきます。



市民体育館の駐車場に並ぶ多くの消防車両や自衛隊車両。全国から駆けつけた自衛隊、消防、警察が久慈市を拠点として、久慈地区の応急対策に取り組みました。



野田村の支援にもあつた援助隊。市も職員を派遣し野田村を支援しました。



市役所前にも給水車を配置

等、生活に欠かすことができないライフラインも寸断されました。さらには津波により、尊い命までも奪われたことは残念でなりません。

津波襲来後、市は直ちに被害状況の把握、行方不明者の捜索活動、障害物の除去活動、ライフライン施設の早期復旧などの災害応急対策に取り組みました。野田村等の支援についても、路上自衛隊、緊急消防援助隊などの関係機関と連携し、全力をあげて取り組んできたところです。

また水道が復旧するまでの間、市内各地区で給水車を配置したほか、避難者と高齢者等要援護者に向けた物資搬送や炊き出しなどを行い、市民生活への影響と、被災者の不安を少しでも軽減しようと努めてまいりました。

久慈市長 山内 隆文

市長メッセージ
東北地方太平洋沖地震と津波襲来にあたり

市民の皆様へ

去る3月11日（金）14時46分ごろ、三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生し、久慈市では震度5弱を観測しました。

この地震により太平洋沿岸を中心に非常に大きな津波が襲来し、甚大な被害をもたらしたところであります。

このたびの災害により、被災されました方々に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。
市は14時46分に東北地方太平洋沿岸に大津波警報が発表



懸命に避難を呼び掛ける消防団

庁から発表されたことに伴い、同時に久慈市災害対策本部を設置し、久慈消防署および久慈市消防団をはじめとする関係機関と連携して、久慈湾、諏訪下、小袖、久慈地区の海岸水門の閉鎖、避難誘導、海面の監視など、その対応に努めたところであります。

また到達する津波の高さが3メートルを超えていたところから、ただちに沿岸地区住民1489世帯、4300人

に避難指示を発令し、避難場所に呼び掛けました。避難場所には、建物や道路、水道、通信

は2916人が避難したところであり、

今回の災害では、建物や道路などの損壊、漁船の流出などに加え、電気、水道、通信



災害緊急特集

大津波襲来

無情な津波

大津波警報発表後、すぐに広報担当は海に向かいました。地震発生後のまじと、久慈浜地区の金刀比羅神社から見た津波の状況を、ありのままにお伝えします。

14:46〜 世界最大級の地震 大津波警報発表

3月11日（金）14時46分ごろ、三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生。地震のエネルギーを表すマグニチュードは世界最大級の9.0を記録しました。

地震発生時、わたしは市役所3階にいました。はじめ静かに感じられた揺れは、どんどん大きくなり、立つていることも困難に、あわて階段の手すりにしがみつきました。がやむやみない地震に階段が落ちるか、と恐怖を感じ、手を伸ばして今までの壁に揺れが弱まったあと、おびえ



信号が停止し、交差点は大混乱



港前には大型車がいちり立ち

ながら2階の執務室に戻ると、顔をこわばらせた他の職員が立ちすくんでいました。余震を恐れて市役所の外に飛び出したときでした。防災行政無線から、けたたましいサイレン音とともに「大津波警報」の声を急いで港前に戻って上層とカメラを手にし、自家用車で諏訪下地区の水門に向かいました。

水門の上から港を見ると、急いで沖に向かう漁船の姿が見えました。車を進め、諏訪緑地まで行くと、消防団員など数人が潮位を監視していました。

「ほれ、来たぞ！」大きな声で飛び交い、避難者が一斉に海を指差しました。大気方面で、波が岩にぶつかっているのが見えたのです。大地震発生と同時に警報、注意報が発せられたときにも見た光景でした。ここまでは、

「不安な表情をしていますが、ここまでは大地震発生と同時に警報、注意報が発せられたときにも見た光景でした。ここまでは、

15:10〜 混雑し進まない車 走って避難所へ

直感的に嫌な感じがしたわたしは、そのまま久慈浜地区津波避難所の金刀比羅神社に向かいました。市役所前を通り港橋をわたって久慈浜地区に、台風の先頭国道395号は市役所を出たところよりも混雑していました。特に市街地に向かう車線は大



大渋滞で避難もままならず

面に向かう車線も思うように進まず、わたしは車道脇に車を止め、そこから金刀比羅神社に向かう走り始めました。

道路沿いに目をやると地震で戸が倒れ、ガラスが割れた民家が、山手に進むとリニアクを背負って避難しようとする子どもも高齢者の姿も見え

ました。不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

久慈浜保育園の園児と関係者のほか、数人しか避難していません。3月9日の津波注意報発表時とは大違い。この日の金刀比羅神社は、異様な緊張感に包まれています。

わたしは津波記の隣近くの鳥居をくぐり、階段登って高台へ、海を見わたる場所へと降りてきました。水手線に、今までなかったような変化が起きたのです。

「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。



社務所への階段まで避難者が、甚、不安な表情を浮かべていました

「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

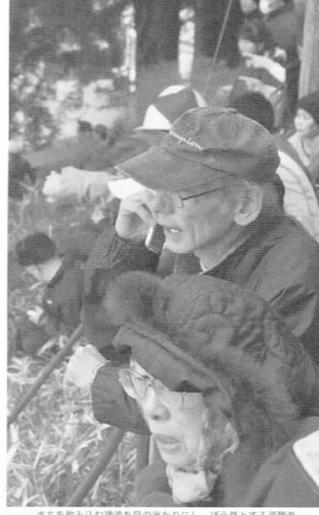
「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

「不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあせする人、みんしに話を寄せて警戒する人、初めて見る光景でした。

「ああ、もうだめだ」



まちを飲み込む津波を目の当たりにし、ぼう然とする避難者

15:30〜 海面の異様な変化 まるで盾越え

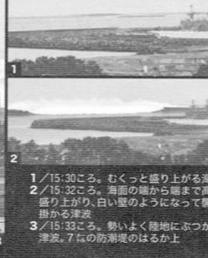
「ほれ、来たぞ！」大きな声で飛び交い、避難者が一斉に海を指差しました。大気方面で、波が岩にぶつかっているのが見えたのです。大地震発生と同時に警報、注意報が発せられたときにも見た光景でした。ここまでは、

15:35〜 間髪入れずに津波 想像を超える圧力

波は引かず、防壁あたりまで上がったまま海面、第2波は、その上から間髪入れずに襲いかかってきました。電柱や防樹林をなぎ倒し、すでに浸水した工場や民家の上に容赦なく覆いかぶさる津波。ドボン！メキメキ！恐ろしい衝撃音と破壊音は金刀比羅神社まで聞こえてき

15:53〜 引き波で海底が さらに3波が襲う

第2波の後、海は再び異様な変化を見せました。信じられないほど引き、海底がむき出しになったのです。川や陸地からいったん波が引き、変わり果てたまちが



1 15:30ころ。わくわくと盛り上がる海面

2 15:32ころ。海面の崖から痛まで高く盛り上がり、白い壁のようになって襲いかかる津波

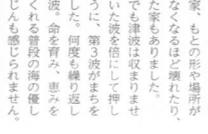
3 15:33ころ。勢いよく陸地にぶつかる津波。7段の防波堤のはるか上



4 15:34ころ。防波堤を越え、木々をなぎ倒し、マンションの屋根にまで到達し、指がかる津波。この瞬間には緊急警報が

5 15:36ころ。第2波襲来。海面は上昇し、見えるはずの防波堤は見えない

6 15:09ころ。引き波で海底があらわに



浸水し、更にもみれた国道395号



津波が押し上り、決壊寸前となった久慈川



1 15:30ころ。わくわくと盛り上がる海面

2 15:32ころ。海面の崖から痛まで高く盛り上がり、白い壁のようになって襲いかかる津波

3 15:33ころ。勢いよく陸地にぶつかる津波。7段の防波堤のはるか上



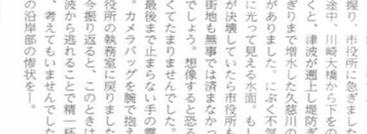
4 15:34ころ。防波堤を越え、木々をなぎ倒し、マンションの屋根にまで到達し、指がかる津波。この瞬間には緊急警報が

5 15:36ころ。第2波襲来。海面は上昇し、見えるはずの防波堤は見えない

6 15:09ころ。引き波で海底があらわに



浸水し、更にもみれた国道395号



津波が押し上り、決壊寸前となった久慈川

惨状と混乱



津波によって、水門の上や外に漁船が打ち上げられた久慈港臨海地区。工場など、周囲一帯が、がれきの山と化してしまいました

世界最大級の地震が引き起こした津波のすさまじい威力。沿岸部には惨状が広がり、停電、断水、物資不足などによって全市民の生活が大混乱に陥りました。

壊滅的被害 尊い命も

3月11日14時46分ごろ発生した東北地方太平洋沖地震。久慈市では震度5強を観測し、14時49分、大津波警報が発表されると同時に、市は災害対策本部を設置し、沿岸部に住む149の世帯、4300人に避難を指示。消防職員、消防団員などは久慈漁業協同組合、小池、久喜4カ所の水門を15時まで閉鎖し、懸命に避難を指示して回りました。

しかし、マグニチュード9.1の世界最大級の地震が引き起こした津波の威力はすさまじく、沿岸地区に惨状が広がりました。すべての漁港施設が損壊や



地上施設がほぼ全壊した国家石油備蓄基地。ほり一面ががれきの山と化してしまいました

ライフラインも断絶

想像を絶する甚大な被害に加え、停電と断水、電話も一部不通。さらには大きな余震が続いた影響で、11日の避難者は全体で約3000人。市が指定する避難所だけでは



すべての座が空になった市内スポーツのクラブチームの避難所



11日夜、1300人近くが避難した福祉の社。入り切らず、車内一晩を過ごす人も出ました

流出などで大打撃を受けたほか、漁船は全体の9割以上となる572隻(※)が被害に。家屋など建物への被害も大きく、非住家含みで全壊が218棟、半壊は86棟にものぼりました(※)。

このほか久慈港沿岸地区では、久慈国家石油備蓄基地の地上施設がほぼ全壊。北日本造船久慈工場も壊滅的被害を受けました。また市の施設である地下水族科学館もくぐり、あもぐらんぴあ、久慈市立図書館も全壊。昨年8月に開所したばかりの海女センターは、施設すべてが流出し、跡形もなくなってしまいました。

カッターリメンなどの保存食は滞り切れに。電化や医薬品なども、物資の不足が続き、電気・水道・通信事業者などが不眠不休で必死に復旧作業を進めたことにより、電気や水、電話などが徐々に回復すると、今度はガソリンや灯油などの燃料不足が顕著に。地震直後は、公共交通機関もストップしていたため、ガソリンスタンドでは、燃料を求める車が、以上をわたり、渋滞するといった異常事態が毎日のように発生しました。

あまりに深い爪痕

東北地方太平洋沖地震という未曾有の大災害は、すさまじい惨状、生活の大混乱を引き起こしました。強い揺れが終わらない、大津波でも終わらない。すべての人の生活に暗黒の影を及ぼした今回の災害の爪痕は、あまりにも深く、大きいものでした。

次のページでは、津波による主な被害状況を写真でお伝えします。

※被害の数はすべて3月26日現在のものです



悪夢のような沿岸の惨状



1/久慈地区、10年の防備を越えて壊れた津波。1階がない家、屋根だけ残った家、すべてが流された家...、変わり果てた惨状が広がりました
2/久慈港地区、舟がひっくり返った漁船。中はがれきと土砂で埋め尽くされた
3/半島地区。原形をとどめないほどに破壊された車
4/半島地区、多くの民家が犠牲になり、道路の両側はがれきの山
5/久慈港地区、これが製材所の木材か、建物の破片が見分けてもつかないほどの被害

被害を知りえない人へ
今回の津波で、沿岸地区は壊滅的被害を受けました。一階部分がこぼり無くなった家、だまらまのしりょうに屋根だけが残った家、すべてが流された家も無くなってしまいました。生と家族の拠点を失った人がいます。家を無事でも、漁船や車庫に被害を受け、生活の術を失った人もいます。また、さらにも失った人もいます。
記録写真を集めるため、被災地を回っていましたが、いろいろな声を聞きました。
「命は助かった。これで良かった。助かったばかり、これからだ」と。
「命は助かった。これで良かった。助かったばかり、これからだ」と。
「命は助かった。これで良かった。助かったばかり、これからだ」と。
「命は助かった。これで良かった。助かったばかり、これからだ」と。

漁港施設 漁船の積載や流出だけでなく、漁港施設までもが大打撃を受けました

横濱漁港 年々増える低気圧による被害が収まる前に津波の追い打ち。漁港施設がさらに大きく損壊しました	久慈港(諏訪下) 打ち上げられた漁船が流れ込んだ。施設も破壊され、大きな打撃を受けました	小池漁港 北限の海女で全国に知られる小池地区。漁港施設、舟がひっくり返るほか、トイレなども全壊しました	久喜漁港 漁港施設が全壊。漁業関係者施設やトイレ、漁港と集まるつなぐ棟までもが破壊されました
-------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

産業施設 沿岸部に立地する工場など産業施設。壊滅的な被害を受けました

久慈国家石油備蓄基地 一部に広がる惨状。すべての屋外タンクが破壊され、地上施設は壊滅的な被害を受けました	北日本造船久慈工場 雇用の拠点の一つとなっていた北日本造船久慈工場。高層は大きく取られ、屋内設備も損壊しました	久慈市冷凍水産加工業協同組合 一部ががれきの山。その工場だけでなく、隣接する地区に立地する多くの事業所も被害を受けました	マルサ農機商店久慈工場 平成19年に建設した新工場。建設したものの、開業の工場で同時に大きな被害を受けました
----------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------

観光施設など 市内外の人に親しまれた観光施設など。変わり果てた姿となってしまいました

もぐらんぴあ 本市の代表的な観光施設もぐらんぴあも全壊。島のしんすたショップは、屋根が壊れたのみでした	漁協施設(二子) 二子郷市が倒れていた出張所など漁協施設も全壊。周辺の民家なども大きな被害を受けました	舟渡海水浴場 市内唯一の海水浴場として親しまれた舟渡海水浴場。シャワーなどのほかにレストハウスも全壊しました	海女センター 昨年8月1日に開所したばかりの海女センター。津波によって壊滅され、流出しました
---------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

- 被害状況**
- 【人的被害】
 - 死者：3人
 - 行方不明者：2人
 - 【建物被害】
 - 全壊：18棟
 - 半壊：86棟
 - 床上浸水：3036棟
 - 床上浸水：1132棟
 - 床上浸水：722棟
 - 【その他】
 - 火災：1件
- ※すべて3月26日現在

力合わせて



今こそ
気持ちを一つにするとき

今こそ
力を合わせるとき

これまでも、これからも
災害はきつと乗り越えられる

この大災害。全市民で
乗り越えていきましょう

ボランティア活動初日の3月19日、土曜とばかりが舞う中、被災者と共に必死に頑張って働くボランティア

言葉も出ない

これが久慈か。津波襲来後、被害状況を記録するために沿岸地区を回る。目を疑う光景が飛び込んできました。信じられないほどにさまざまの被害。小さいご家族でドラップに行っていた海、友達と遊んだ海水浴場、自分も仕事したイベントの会場、取材で行った漁港も観光施設。どの場所に行っても、そのときの姿かたちにはまったく残っていませんでした。

ぼう然として、言葉も出ません。かわりに涙が流れました。

今こそ

悲しすぎる現実。そこに住み、働き、被害にあった人たちは、どんなにつらく悲しいのだろう。想像する、話を聞くことさえもためらわれ、今はまだ、話をしたくない、思い出したくない、考えたくない人もいます。わたしは被害にあった人に今の気持ちを聞くかわりに、今の状況を写真で残そうと決めました。惨状を切り取った写真が、たとえすべてはなくても、つらく悲しい被災者の気持ちをまねば伝えてくれると信じています。

頭を下げ、一枚。また一枚。何枚も何枚も写真を撮りためました。

上がろうとしているのです。必死に活動する災害ボランティアの人が言いました。「親友も被害を受けました。自分も何とかして被災者の助けになりたくて」。非常事態。大きな困難に直面した今こそ、全市民が気持ちを一つにして、力を合わせ、助け合おうとすべきではないでしょうか。

これまでも久慈市は津波などの災害を何度も乗り越えてきました。全市民の気持ちと力を合わせれば、今回の大災害も乗り越えられるはず。記録的な被害の次は復興の記録を。全市民一丸となって、この大災害を乗り越えていきましょう。

Information

被災者への支援制度 資金の貸付 など

はじめに 支援を受けるには「り災証明書」が必要です

被災者が、資金の貸付や給付、現物支給などの支援を受ける手順は次のようになります。

- 「り災証明書」の発行を受ける
住宅の被害状況を確認するための証明書です。窓口は市役所1階市民課（☎52-2117）になります。印鑑をお持ちください。
- り災証明書の「建物被害」欄を確認
被害状況に応じて、「○印」が付いた支援が受けられます。区分は右表を、制度の内容は下記をご覧ください。

	全壊 (流出)	大規模半壊	半壊	一部破損 床上浸水	その他
①被災者生活再建支援制度	○				
②災害援護資金の貸付	○	○	○		
③住宅の応急修理 ※応急仮設住宅などに 入居していない方	○	○	○		
④生活必需品の給付	○	○	○	○	○
⑤生活福祉資金制度 の貸付 (福祉費)	○	○	○	○	○

1 被災者生活再建支援制度

☎社会福祉課 ☎52-2119

内容…支援金

被災した世帯に支援金を支給します。支給額は次の2つの合計額になります。
※世帯人数が1人の場合は、3/4の金額になります

■基礎支援金 (住宅の被害程度に応じて支給)
支給額…①全壊など 100万円
②大規模半壊 50万円

■加算支援金 (住宅の再建方法に応じて支給)
支給額…①建設・購入 200万円
②補修 100万円
③賃貸 (公営住宅を除く) 50万円

【例】全壊し、新たに住宅を建設・購入する場合は300万円を支給 (基礎100万円+加算200万円=300万円)

【活用できる人】
全壊 (流出) | 大規模半壊 | 半壊 | 一部破損・床上浸水 | その他

【申請期間】
支援金の種類によって異なります。2つの支援金を受けるには、①の期間で申請ください。
①基礎支援金…被災後1年1か月以内
②加算支援金…被災後3年1か月以内

2 災害援護資金

☎社会福祉課 ☎52-2119

内容…資金貸付

生活の再建に必要な資金を貸し付けます。

■世帯主に1か月以上の負債がある場合
①負債のみ 150万円
②家財の1/3以上の損害 250万円
③住居の半壊 270万円
④住居の全壊 350万円

■世帯主に1か月以上の負債がない場合
①家財の1/3以上の損害 150万円
②住居の半壊 170万円
③住居の全壊 (④を除く) 250万円
④住居全体の滅失、流出 350万円

【活用できる人】
全壊 (流出) | 大規模半壊 | 半壊 | 一部破損・床上浸水 | その他

※ただし所得制限があります。金額は市民税における平成21年の総所得金額です ◆世帯員1人…220万円 ◆世帯員2人…430万円 ◆世帯員3人…620万円 ◆世帯員4人…730万円 ◆世帯員5人以上…5人目から1人30万円を加算。ただし住居が滅失した場合は1,270万円

【申請期間】
6月30日 (木) まで

3 住宅の応急修理

☎社会福祉課 ☎52-2119

内容…修理代行

自ら修理するのが困難な世帯に対して、被災した住宅の居室、台所、トイレなど日常生活に必要な最小限の部分を応急的に修理します。修理は、久慈市が業者に委託して実施します。

■修理限度額
1世帯あたり52万円
※同じ住宅に2以上の世帯が同居している場合でも1世帯とみなされます

【活用できる人】
全壊 (流出) | 大規模半壊 | 半壊 | 一部破損・床上浸水 | その他

※ただし応急仮設住宅などに入居していない方

【申請期間】
被災後1か月以内。予定のある方は速やかにお問い合わせください。

4 生活必需品の給付

☎社会福祉課 ☎52-2119

内容…現物支給

住宅の損壊、浸水など、災害で生活上必要な衣類、寝具、その他日用品などを失ったり、損害を受けた場合に、日常生活を営むのに最小限必要なものを給与します。

【例】対象となる物…衣類、布団、調理器具、炊飯器、食器、暖房器具など

ただし、災害により失った物の補償や、見舞品という性格のものではありません。住宅被害の要件を満たしていても、別に保管したものがあつたり、寄贈を受けたらつていなければ給付対象外となります。

【活用できる人】
全壊 (流出) | 大規模半壊 | 半壊 | 一部破損・床上浸水 | その他

5 生活福祉資金制度の貸付 (福祉費)

☎久慈市社会福祉協議会 ☎53-3880

内容…資金貸付

被災したことで、臨時に必要となった費用を貸し付けます。

■福祉費の限度額など

限度額	利率	据置期間	償還期間
150万円	保証人あり…無利子 保証人なし…年1.5%	6か月以内	7年以内 (目安)

【活用できる人】
全壊 (流出) | 大規模半壊 | 半壊 | 一部破損・床上浸水 | その他

「り災証明書」がなくても利用できる貸付制度

■緊急小口資金 (特例貸付制度)
災害などで、緊急かつ一時的に生計が困難な場合に貸し付けます。 ※左の生活福祉資金制度の一部です。同制度には通常の貸し付けもあります

限度額	利率	据置期間	償還期間
10万円	無利子	1年以内	2年以内

☎久慈市社会福祉協議会 ☎53-3880

■応急生活貸付資金の貸付 ※保証人が必要
応急的に生活資金が必要な世帯に貸し付けます。

限度額	利率	据置期間	償還期間
5万円	無利子	1年以内	2か月以内

☎社会福祉課 ☎52-2119

平成23年東北地方太平洋沖地震久慈市地震災害義援金

義援金募集

皆さんの支援を!!

市では、市内の被災者を支援するための義援金を募集しています。市役所では現金による義援金も受け付けています。皆さん、ご協力をよろしくお願いいたします。

☎社会福祉課 ☎52-2119

■振込先…岩手銀行久慈中央支店 / 普通預金2057188
■口座名義…久慈市地震災害義援金 ■受付期間…9月30日 (金) まで
※備考欄に納入者名を記入。礼状発送のため入金前に社会福祉課へご連絡願います

被災者への 支援制度

税金の減免など

1 市税の軽減・減免と納付猶予

☎税務課 ☎52-2114・収納対策課 ☎52-2368

■市税の軽減・減免

災害による税金の軽減・減免があります。住宅や家財、事業用の資産（船、小屋など）に損害を受けた場合は、税務課までご相談ください。

■市税の納付

災害により、納付を猶予する場合があります。収納対策課までご相談ください。

3 国民年金保険料の免除

☎二戸年金事務所 ☎0185-23-4111

今回の災害によって住宅、家財、その他の財産について、おおむね1/2以上の損害を受けた人は、申請により国民年金保険料が全額免除になります。

7月末日までに、二戸年金事務所か、市民課（☎52-2118）で免除申請の手続きをしてください。※対象や手続き内容など、詳しくはお問い合わせください

【口座振替の利用者へ】

保険料の口座振替を利用している人で、被災により今後の納付が困難な方は、口座振替の停止手続きが必要です。速やかに二戸年金事務所にご相談ください。

2 軽自動車税の取り消し

☎税務課 ☎52-2114

今回の災害によって使用不能になった軽自動車に限り、申し出により平成23年度軽自動車税の課税を取り消します。印鑑を持参し、税務課に申し出てください。ただし、修理をして今後使用する車両は対象外です。

■対象車両

- ①久慈市の標識交付を受けた原動機付自転車、小型特殊自動車など
- ②久慈市に登録のある四輪の軽自動車、125ccを超えるバイクなど

■必要なもの

印鑑、申出書（税務課にあります）
※納付書発送後に申し出る場合は納付書も持参

4 保育料の減免

☎子育て支援課 ☎52-2169

災害により被害を受けた人を対象に、保育料を減免する制度があります。詳しくはお問い合わせください。

災害の生活トラブルQ&A

久慈のみわり基金法律事務所 峯田幹大弁護士

同法律事務所では自分の関、債務整理などすべての相談を無料で行います。相談予約は同事務所（☎51-1818）へ。

Q. 車、車両保険で直せる？

津波で自動車か動かない状態になってしまいました。車両保険で直してもらうことはできるでしょうか？

A. 特約があれば適用される場合も

通常の車両保険には、地震（津波含む）の場合の免責が定められています。ただし特約がつけられていた場合には車両保険が適用される場合もあります。詳しくは加入している保険会社にお問い合わせください。

Q. 自宅の修理。支援はないの？

津波で自宅の大規模修繕が必要になってしまいました。住み続けたいのですが、今の住宅ローンに加えて修理代金の負担は困難です。どうにかならないでしょうか？

A. 特約があれば適用される場合も

たとえ建物か全壊しても住宅ローンの支払い義務はなくなりません。ただし住宅金融支援機構などは被災者への特約を発表しており、ローンの負担を軽くすることができるとあります。詳しくは住宅ローン会社にお問い合わせください。

また大規模修繕が必要な場合の修理代金は、支援金を受給できる場合もあります。（21号支援制度の1を参照）

編集 後記

▶想像を超える被害の影響で広報3月15日号は配布延期。広報4月1日号発行が決まったのは3月21日。全市民に状況を知らせてほしい。再発を防止したいと強く願いました。被災者の思い、支援者の熱意。すべてを伝えたいと思いましたが、少しでも感じ取ってもらえ

ることを願います。▶自らが被災しながらも災害対応に力を注いだ市の職員も多数。皆が必死です。▶「次は復旧の記録を」。2年以降の復旧した些事草の消滅記録から無いためです。助け合い力を合わせ、これから復旧の記録を、みんなで作っていきましょう！（八重桜）

災害の影響で、内容が変更になったものなどをお知らせします

延期

選挙

4月10日執行予定の岩手県知事選挙・岩手県議会議員選挙と4月24日執行予定の久慈市議会議員選挙は、延期となります。
☎選挙管理委員会 ☎52-2111内線472

施設

3月25日開設を予定していた消費生活センターの利用を延期します。同センターの電話（☎54-8004）も使用できません。

なお、消費生活相談は平日9時～16時まで、市役所1階・生活環境課で行っていますので、気軽にご相談ください。

同センターで行う予定だった4月の無料相談（法律・人権・行政・くらしとお金・多重債務）は、会場を変更して行います。詳しくはお問い合わせください。

☎生活環境課 ☎54-8003

延長など

市税

税の申告受付期間と納期限は、当面の間、延長になりました。

☎税務課 ☎52-2114・収納対策課 ☎52-2368

入札

次の平成23・24年度入札参加資格審査申請書の提出期限を延長します。

申請書は市役所2階・財政課、山形総合支所ふるさと振興課で配布するほか、市ホームページにも掲載しています。

■市営建設工事・建設関連業務…4月28日（木）

■物品の買入れ等…4月15日（金）

※物品の買入れ等は、入札参加資格者名簿の有効期間を「平成23年5月1日～平成25年3月31日まで」に変更します

☎財政課 ☎52-2113

中止

公演

アンバーホールでは、3月20日の「小谷口直子クラリネットリサイタル」と3月27日の永峰高志芸術監督就任記念コンサート「N響メンバーと仲間たちによるアンバーホール音楽の贈り物」を中止しました。

チケットの払い戻しは、5月30日（月）まで、アンバーホール窓口で行います。チケットを持参の上、お越しください。

☎アンバーホール ☎52-2700

津波で全壊した、もぐらんぴあ、もぐらんぴあレストショップは営業を停止します。

4月開館予定の、あーとびる産生は開館を延期します。施設に被害はありません。



被災者へのエール

全国から駆けつけた自衛隊、消防、警察そして市内の災害ボランティアからー。

広報くじ

4
15号

平成 23 年 (2011 年) No.123
〔ホームページアドレス〕
<http://www.city.kuji.iwate.jp/>

主な内容

P 2 - 3
全国から熱い支援
P 8 - 11
日野沢小・繋小が閉校

〔月・水・金は住まいの相談〕
4月29日(金)までの毎週
月・水・金曜日13時～16時に、

▼設置期間：当分の間
▼開設時間：9時～17時
市は4月1日、東日本大震災の被災者を支援するため、総合相談所を市役所東側の久慈市・久慈広域消費生活センター内に設置しました。相談所には、市職員のほか災害復興支援相談員も配置。被災者支援の総合窓口として、生活再建に向けた貸し付けなどの各種支援制度の説明をはじめ、災害に関するさまざまな相談を受け付けています。どうぞご利用ください。

相談所内で「被災者向け住まいの相談窓口」を開設します。家の修理や建て替えなど、住まいに関することなら何でも結構です。どうぞご利用ください。



相談者に応対する職員

東日本大震災被災者総合相談所 ☎52-2111
内線259・296

支援に向け 総合窓口設置



久慈市・久慈広域
消費生活センター

東日本大震災
被災者総合相談所

Information

固定資産税のお知らせ

1 納税通知書の送付を延期

平成23年度の固定資産税の納税通知書は、4月中旬に送付予定でしたが、震災の影響で延期します。(5月中旬に送付予定) 土地・家屋価格等縦覧帳簿についても、縦覧開始を延期します。

3 避難先をお知らせください

納税通知書は例年、郵送や納税貯蓄組合を通じて各納税者にお届けしていますが、被災して親類宅などに避難した人については送付先が見つからないことがあります。納税通知書が届かなくて納付が滞った場合、督促手数料などが発生することもありますので、避難されている人は、避難先をお知らせください。

2 被災した土地・家屋など減免

被災した土地や家屋、償却資産の固定資産税については、申請することによって減免になる場合があります。納税通知書が届いたら、第1期納期の7日前までに減免の申請をしてください。

4 決定までは22年の価格証明

固定資産税の評価額などの証明は、通常、平成23年1月1日現在の価格で発行することになっていますが、現時点で価格を決定していないため、平成22年1月1日現在の価格で発行しています。ご迷惑をお掛けしますが、ご了承くださいますようお願いいたします。決定次第、平成23年1月1日現在の価格で発行します。

税務課
☎52-2114

全国から熱い支援

東日本大震災で大きな被害を受けた本市。被災者の生活や、まちの復興を支援しよう、多くの救済支援物資や義援金、市への寄付金が、全国各地から寄せられました。3月31日までの支援者は次のとおりです。（敬称略）このほかにも、たくさんのお申し出がありました。熱い支援ありがとうございます。

※4月以降の提供者は、後日発行する広報でお知らせします



救済支援物資

【北海道】函館市、函館税関
▼岩手県 岩手県赤十字社、岩手県赤十字社
▼岩手県 岩手県赤十字社、岩手県赤十字社
▼岩手県 岩手県赤十字社、岩手県赤十字社

【岩手県】岩手県赤十字社、岩手県赤十字社
▼岩手県 岩手県赤十字社、岩手県赤十字社
▼岩手県 岩手県赤十字社、岩手県赤十字社

【北海道】石川建設（青森県）
▼北海道 石川建設（青森県）
▼北海道 石川建設（青森県）

寄付金



寄付金

【北海道】石川建設（青森県）
▼北海道 石川建設（青森県）
▼北海道 石川建設（青森県）

※可能な限り、支援者からの申し出などに基づいて掲載しましたが、名称などに間違いがあることも考えられます。申し訳ございませんが、ご了承くださいませようお願いします

たか〜くめがな〜
いっせー!

厚生労働省から贈られた真新しい
こいのぼりを見上げ、目を輝かせ
る久喜保育園の園児（4月21日・
関連記事 15 ページ）

心の交流で全国最高賞
P 12



4.11 14:46
発生から1カ月
黙とう
で祈りさげ

東日本大震災の発生から1カ月がたった4月11日。地震発生時刻の14時46分、市内各地で1分間の黙とうがさげられました。

児童約20人が被災し、教室にも被害を受けた長内小学校（沢里優子校長・児童272人）。6年2組の教室では、はじめに菊池梢先生が「悲しいことに津波で亡くなった人がたくさんいます。命がある幸せを忘れずに1分1秒を、そして家族や友達のことを大切にしてください」と、語り掛けました。

じっと前を見て話に聞き入る子どもたち。防災行政無線が14時46分を告げると、外を向いて目を閉じ、静かに祈りをささげました。

橋本菜都さん（6年）は「今、普通に生活できていることが本当に幸せなことだと思います」と真剣な表情。菊池先生（同）は「自分の家も流されるかと思いました。避難して自分たちは助かったけど、まだ学校にも行っていない人もいます。わたしたちは幸せだと思います」と津波を振り返り、「普通」である幸せを実感していました。

4月20日現在、東日本大震災による全国の死者・行方不明者は2万7817人。13万人以上が避難所生活を強いられています。

震災被害額 (4月18日現在)

区分	被害額	備考
社会福祉施設	91万円	保育園、デイサービスセンター
衛生施設	1億円	水道、し尿処理施設など
消防施設	7,430万円	防炎行政無線、屯所など
観光施設	8億9,898万円	もぐらひなど
工関係	94億9,572万円	事業所、工場など
農業関係	1億5,547万円	レストランなど
林業関係	4億1,300万円	林業施設
水産関係	88億3,567万円	魚市場、加工場、漁船など
漁港施設等	10億6,450万円	汚水処理場など
土木施設	7億2,874万円	道路、公園、下水道など
学校施設	60万円	小・中学校
教育関係	5,211万円	体育・文化施設など
通信関係	2,626万円	ネットワーク設備など
計	218億4,626万円	

※金額は1万円未満を四捨五入しています

被害額は年間予算以上

3月11日14時46分に発生した東日本大震災。発生から1カ月がたち、被害の甚大さが数字にも表れてきました。

4月18日現在で市がまとめた被害額は218億円以上。内訳をみると、沿岸部に立地する事業所や工場など、商工関係の被害額が最も大きく、約94億円。魚市場や加工場、漁船・漁具なども含む水産関係の被害額は約88億円となっています。

復旧復興全力尽くす

3月11日、市は震災後直ちに災害対策本部を設置し、被害状況の把握と応急対策に奔走してきました。

3月30日には、震災からの復旧と復興の速やかに、適切に進めていくため、復旧復興本部を設置。災害対策本部も継続し、被害状況の取りまとめなどを続けながら、被災地の復旧に向けて懸命に取り組んでいます。

4月1日には、被災者を支援するための総合相談所を復興所内に設置。8日には、被災者への支援情報を中心とした災害復興支援ガイドブックも発行しました。

未曾有の大震災から一歩一歩前に、一日も早い復興を目指し、市は今後も全力を尽くします。



復旧・復興に前進

被害額は218億円超

東日本大震災

3月11日に発生した東日本大震災から1カ月半。被害額は4月18日現在で218億円を超えました。そんな中、津波で甚大な被害を受けた沿岸部では、がれきの撤去など復旧作業が行われ、被災者用の仮設住宅の建設も進められています。復旧・復興に向けて一歩一歩前に進む久慈市。今回は、復旧作業の状況などをお知らせします。(9分まで)



NEWS
活気づく港
宮古・釜石が久慈で水揚げ

4月5日、宮古市と釜石市のトロール船（底引き網船）9隻が久慈港に入港し、スケトウダラ約20トンとマダラ約5トンなどを水揚げ。威勢のよい漁業者の音が飛び交い、港が活気づきました。

震災後、他地区の船が久慈港で水揚げするのは初めて。津波により大きな被害を受けた久慈港ですが、応急作業などにより、かろうじて機能を確保。他の港に比べて条件が整っていたことから、宮古、釜石からの船を受け入れることができました。

工藤善さん（宮古市）は「久慈なら船が着けられるということで入港しました。ありがたいことです。この船にも家をなくした仲間がいます。普段に比べれば魚の量も買もありよくありませんが、稼いでいれば嫌なこと、つらいことも忘れられます。黙っているよりはいいですね」と、顔の汗をぬくつていました。

水産業被害の内訳 (4月18日現在)

区分	概要
公共施設	市営魚市場など8施設
民間施設	市漁協食品加工場など559施設
船	流出、損傷など575隻
漁具・魚網	漁具約500人分、定置網23式ほか
漁港施設等	桑畑漁港ほか計13施設

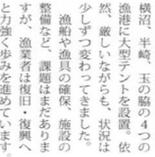


港湾機能は早期回復

津波による被害は陸上だけでなく、海中にも及ぼされました。船や土砂を陸地に押し上げただけでなく、自動車や重機などを海へと引き込んだ大津波。震災後、海中の状況は激変し、堆積物は航行の大きな障害となっていました。

港湾を管理する限は、久慈港の機能を回復させるため、海中に堆積した異物の撤去作業を直ちに開始。3月25日には、大型船が入港できるまで復旧しました。

26日には、救援物資を積んだ国土交通省の大型しゅうせつ油回収船「白山」が久慈港に到着しました。



意欲を燃やす漁業者

甚大な被害に直面する中、漁業者も復興に向けて意欲を燃やしています。「水産業被害の概要は」として、津波で失った分の漁船を少しでも回復するため、久慈市漁業協同組合（自衛一部部長）は震災直後の3月13日に120名を募集。一日でも早く復旧したいという思いから、3月30日には魚市場の観りも再開し、浜に活気を呼び込みました。

現在、進められている漁村集落の復旧作業を支援するため、東北地方整備局は桑畑、横濱、玉の島の4つの漁港に大型ポンプを設置。依然厳しいながらも、状況は少しずつ変わってきました。

漁船や漁具の確保、施設の整備など、課題はまだありますが、漁業者は復旧・復興へと力強く歩を進めています。



産業

つらさ、
悲しみ、
こらえて前に一

再開に向けて 力強く

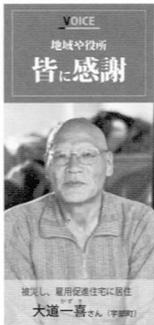
被災後、特に大きな被害を受けたのは、商工関係と水産関係でした。大津波により、沿岸部に立地する事業所や工場などは、全壊や損壊などの被害が多数。水産関係は漁港や作業場などの施設だけでなく、船や漁具も流され、大きな打撃を受けました。

商工関係への被害の内訳は、商業関係が5社、工業関係が48社（4月18日現在）。なかには、稼働開始から数年しか経過していない工場などもありました。

そんな中、早くも再開に向けて動き出している企業もあります。平成18年6月に本格操業を開始し、雇用の一つの拠点を果たしている企業は、拠点となった北日本造船㈱久慈工場では、がれきの撤去や仮設の応急・復旧作業をいち早くスタート。事業の早期再開に向けて、懸命に取り組んでいます。

再開を目指す企業はほかにも、大震災に見舞われ、とてつもなく厳しい状況に陥る中、何とか活動を再開すると各企業が奮闘しています。

港に入港し、震災後初となる大型船の入港は、少しずつ復旧が進んでいることを印象づけました。現在も久慈港には、堆積物の撤去作業が進められています。



皆に感謝

東日本大震災が発生した3月11日、わたしは自宅にいました。地震の後、すぐに避難したおかげで無事でしたが、自宅はすべて流されてしまいました。
久喜保育園での避難所生活では、たくさんの人に本当にお世話になりました。市職員には昼夜交代ですつと避難所についてもらい、生活を支えてもらいました。
消防団や女性部など、地元の人たちは食事の準備や物の手配など、何から何まで温かく扱ってくれました。船を流されるなど自分も大変なのに、避難したわたしたちを助けてくれました。ありがとうございました。

てありがたくて涙が出る思いです。住宅の手配など、市役所の対応も早く感謝しています。今回の震災で初めて市役所の必要性と、人間は一人で生きていけないことを強く感じました。
元の生活に戻るまで、何年かかるかわかりませんが、頑張るしかないですね。皆さんに感謝しながら、一日一日を大切にしていきたいです。

「市役所になった人にならなくていいかな」と思いました。感謝の気持ちをつづけていきます。

被災し、雇用促進住宅に居住
大道一喜さん（宇都宮）

拠点づくり 着々とー



旧長内小学校敷地内で建設が進められる仮設住宅（4月7日）

被災者の生活拠点 確保へ

がれき撤去 急ピッチ
大震災により大きな被害を受けた沿岸部などの家庭。その数は4月19日現在で973棟にのぼっています（左表）

地区名	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	計
久慈	1 (0)	0 (0)	1 (0)	15 (14)	17 (14)
小久慈	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)
梅郷	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
豊井・轟	115 (26)	41 (22)	109 (55)	130 (99)	395 (202)
長内	112 (17)	30 (4)	250 (94)	80 (46)	472 (161)
宇都	56 (12)	14 (8)	11 (4)	5 (4)	86 (28)
計	286 (55)	85 (34)	371 (153)	231 (164)	973 (406)

※棟数は住家・非住家の合計。○内は住家のみの棟数

最も被害が多い地区は長内地区で、全壊が12棟、大規模半壊30棟、半壊250棟、一部損壊67棟の計477棟となっています。また住家では豊井・久慈浜地区が202棟で、最も被害を受けています（左表）

震災直後の被災地には、さまざまなのがれきや漂流物が散乱。車の通行にも支障をきたすほどでした。市は直ちに、がれきなどの撤去作業に着手。地域や事業者と連携し、急ピッチで作業を進めました（がれきなどの撤去の状況は下の写真をご覧ください）
撤去も、はじめは地区ごと設置していましたが、作業の進行に合わせて徐々に集約。現在は平沢地区の仮置き場を拠点に作業を進めています。

仮設住宅の建設進む

震災直後、避難者は最大で2916人。電気や水道などが復旧するにつれて避難所は統合。避難者も自宅などに戻りましたが、家を流されるなどした人は、その後避難所での生活を強いられました（市内の避難所は3月28日すべて閉鎖済み）
市は、市内に2つある雇用促進住宅を避難者の当面の生活拠点とするため、利用可能な空き部屋の改修を行い、3月24日から避難者の受け入れを始めました。

雇用促進住宅の利用状況（4月19日現在）

雇用促進住宅 大川目宿舎	雇用促進住宅 長内宿舎
久慈市利用 6	久慈市利用 23
野田村利用 14	野田村利用 7
利用数計 20	利用数計 30

中心部が壊滅的な被害を受けた野田村の避難者にも同様の住宅を提供。4月19日現在、同市長内宿舎、大川目宿舎には計30世帯が同居しています（左表）
また被災者用の仮設住宅の建設も進められています。仮設住宅は旧長内小学校敷地内に10戸、旧県立久慈水産高校敷地内に5戸を予定。4月中旬から作業が始まった旧長内宿舎は、5月中旬に完成する見込みとなっています。
5月からは順次、仮設住宅へ、少しでも早く被災者の生活拠点を確保するため、懸命な作業が進められています。



希望のカメ

地下水族科学館もぐらんぴあで、アオウミガメ1匹、カブトガメ6匹のほか小さい魚やエビなどの生存が確認され、4月7日、八戸市水産科学館マリエントに引き渡されました。
もぐらんぴあは津波で全壊。地下の水族館部分も奥までがれきが流れ込み、生き物の生存は絶望視されていました。しかし3月13日、もぐらんぴあの職員がウミガメなどの生存を確認。交流があったマリエントでは、受け入れを快く承諾しました。
マリエントの吉井と美穂長は「涙が出る思いです。職員全員で大事にします。いつか、あずかった生き物たちを返せる日が来ることを願っています」と涙ながらに話していました。
過酷な状況下で、奇跡的に生き延びたウミガメたち。その強い生命力は、もぐらんぴあの関係者に希望を与えました。



もぐらんぴあ内部の様子
1/生き物がなくなっていたアオウミガメ
2/仮設の奥までがれきが落ちて、奥まで流れ込んだガレキや定などの撤去作業



児童からの質問にも優しく応対

「毎年会えるのを楽しみにしている久慈市の皆さんや、もぐらんぴあ関係者で会いに来ました。今日は久慈市で出かけたの絵を描きました。あ、いさつ、絶対なトクで笑いを誘いながら、メダルやカレンダーなどの絵を描き、子どもたちにプレゼントしました。」
さかなクンが、夢中になる子どもたちと交流。笑顔で、元気に楽しんでいる様子を見ることができた。3月11日のことは忘れ、元気に楽しむ時間を楽しんだ。3月11日のことは忘れ、元気に楽しむ時間を楽しんだ。3月11日のことは忘れ、元気に楽しむ時間を楽しんだ。



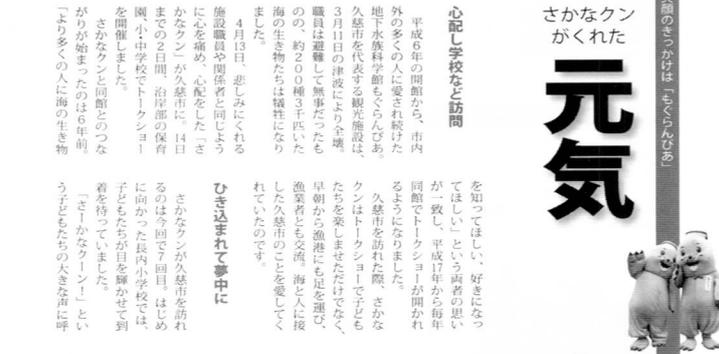
心を込めてお礼をした裕穂さん

今改めて感じたい
子どもたちを元気づけたさかなクン。もぐらんぴあでのつながりが生んだ訪ねてきた仲間を管理していた、あくあかん（？）の半井修二さんは、「震災当日、さかなクンから電話がありました。被災者にあつたが、改めて、もぐらんぴあに感謝しています。思いを強く感じています。本当にありがとうございました。思いを強く感じています。思いを強く感じています。思いを強く感じています。」
心配してくれてうれしい
四役真理恵さん（長内4年）
もぐらんぴあがなくなってさみしいです。でも、さかなクンが久慈市を心配してくれたのがうれしい。今日はたくさん来てくれて元気になりました。また来てほしいです。



「久慈市の皆さんやもぐらんぴあが心配で会いにきました」

長内小学校の児童は、元気な声で語りかけるさかなクン



元氣

心配し学校など訪問
平成6年の開校以来、市内外の多くの人に愛され続けた地下水族科学館もぐらんぴあ。久慈市を代表する観光施設は、3月11日の津波により全壊。職員は避難し、無事だったものの、約200種3千匹以上の海の生き物たちは犠牲になりました。
4月13日、悲しみにくれる施設職員や関係者と同じように心を痛め、心配をした「さかなクン」が久慈市に、14日までの2日間、沿岸部の保育園、小中学校でトクショーを開演しました。
さかなクンと同僚とのつながりがおぼろげながら6年間、「りりり」の歌に海の生き物を知ってほしい、好きになってほしい」という両者の思いが一致し、平成17年から毎年開催でトクショーが開かれるようになっていました。
さかなクンが久慈市を訪れるのは今回が初めて。はじめに向かった長内小学校では、子どもたちが目を輝かせて到着を待っていました。
「さかなクン」という子どもたちへの大きな存在に呼ばれ、姿を見せたさかなクンは「毎年会えるのを楽しみにしている久慈市の皆さんや、もぐらんぴあ関係者で会いに来ました。今日は久慈市で出かけたの絵を描きました。あ、いさつ、絶対なトクで笑いを誘いながら、メダルやカレンダーなどの絵を描き、子どもたちにプレゼントしました。」
さかなクンが、夢中になる子どもたちと交流。笑顔で、元気に楽しんでいる様子を見ることができた。3月11日のことは忘れ、元気に楽しむ時間を楽しんだ。3月11日のことは忘れ、元気に楽しむ時間を楽しんだ。3月11日のことは忘れ、元気に楽しむ時間を楽しんだ。



Q&A

久慈ひまわり基金 法律事務所 ☎61-1818 冨田幹大弁護士

Q. 借家の場合の支援制度は?

津波で借家が被害を受けました。被災者生活再建支援制度は、持ち家ではない場合も利用できるのでしょうか?

A. 借家でも支援が受けられます

被災者生活再建支援制度による支援金は、住宅が被害を受けた世帯に支給されます。住宅が「借家」であっても対象です。

例えば津波で借家が全壊した場合には、基礎支援金100万円の支給が受けられます。

Q. 住宅が半壊の場合の支援は?

津波で住宅が被害を受けましたが、防災証明書では半壊の認定でした。この場合、被災者生活再建支援制度は利用できるのでしょうか?

A. 半壊でも支援が受けられる場合も

半壊でも被災者生活再建支援制度を利用できる場合があります。周囲への危険を避けるためにやむを得ず解体した場合や、補修費が高額となるためやむを得ず解体した場合などです。

申請するには、住宅建物の滅失登録などが必要になります。

INFO

申込みなど ☎福祉や障がいに関する相談 社会福祉課 ☎52-2119
ご相談 ☎体とこころの相談 保健推進課 ☎61-3315
ください ☎介護保険や高齢者に関する相談 介護支援課 ☎61-1112
地域包括支援センター ☎61-1557

久慈市災害見舞金 申請は5月16日(月)まで

Table with 3 columns: 給付の対象 (対象), 金額 (金額), 申請の有無 (申請の有無). Rows include 死亡, 行方不明, 重傷, 全壊, 大規模半壊, 半壊解体, 半壊.

申請に必要なもの
①印鑑 (認め印)
②世帯主名義の預金通帳
申請受付期間
5月16日(月)までの平日9時~17時
申請受付場所
東日本大震災被災者総合相談所 (市役所東側)

国保・窓口負担を免除

次のいずれかに該当する人は、その旨を医療機関の窓口で申し出ると、窓口での一部負担金の支払いが免除されます。(期間…平成24年3月まで ※詳細は後日お知らせします)

- 1 住家の全半壊、全半壊またはこれに準ずる被害を受けた人
2 主たる生計維持者が次のいずれかの状況になった場合
3 原子力災害対策特別措置法の規定による避難などをした人

久慈市に避難してきた人に情報をお届けします

久慈市役所に氏名などの情報を提供いただければ、避難前にお住まいの県や市町村からのお知らせをお届けできるようになります。

被災者への救援支援物資、義援金、市への寄付金

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、多くの救援支援物資や義援金、市への寄付金が、全国各地から寄せられました。4月1日~10日の受付分は次のとおりです。(敬称略) 熱い支援ありがとうございます。

熱い支援に感謝

- 義援金
【北海道】
【岩手県】
【秋田県】
【山形県】
【福島県】
【宮城県】
【千葉県】
【東京都】
【神奈川県】
【新潟県】
【富山県】
【石川県】
【福井県】
【岐阜県】
【静岡県】
【愛知県】
【三重県】
【滋賀県】
【京都府】
【大阪府】
【兵庫県】
【奈良県】
【和歌山県】
【徳島県】
【香川県】
【愛媛県】
【高知県】
【福岡県】
【佐賀県】
【長門県】
【熊本県】
【大分県】
【鹿児島県】
【沖縄県】

- 【北海道】
【岩手県】
【秋田県】
【山形県】
【福島県】
【宮城県】
【千葉県】
【東京都】
【神奈川県】
【新潟県】
【富山県】
【石川県】
【福井県】
【岐阜県】
【静岡県】
【愛知県】
【三重県】
【滋賀県】
【京都府】
【大阪府】
【兵庫県】
【奈良県】
【和歌山県】
【徳島県】
【香川県】
【愛媛県】
【高知県】
【福岡県】
【佐賀県】
【長門県】
【熊本県】
【大分県】
【鹿児島県】
【沖縄県】

- 【北海道】
【岩手県】
【秋田県】
【山形県】
【福島県】
【宮城県】
【千葉県】
【東京都】
【神奈川県】
【新潟県】
【富山県】
【石川県】
【福井県】
【岐阜県】
【静岡県】
【愛知県】
【三重県】
【滋賀県】
【京都府】
【大阪府】
【兵庫県】
【奈良県】
【和歌山県】
【徳島県】
【香川県】
【愛媛県】
【高知県】
【福岡県】
【佐賀県】
【長門県】
【熊本県】
【大分県】
【鹿児島県】
【沖縄県】

- 【おわびと訂正】
【お風呂】
【寄付金】

※可能な限り、支援者からの申し出などに基づいて掲載しましたが、名称などに間違いがあることも考えられます。申し訳ございませんが、ご了承くださいませようお願いいたします

5
15号

広報くじ

平成 23 年 (2011 年) No. 125

(ホームページアドレス)

<http://www.city.kuji.iwate.jp/>

みんなで応援！ 巽山公園で 1,000 個のバルーンリリース

復興の願いを空へ

復興への願い、被災地を応援する参加者の気持ちをのせて、空にはなれた風船



土風館で津波写真展



4月29日から5月15日まで、久慈・野田津波被害写真展「愛する故郷へ」が、やませ土風館で開かれました。

久慈市と野田村の被害状況や復旧作業などの写真約400点を展示したほか、応援メッセージも受け付け。見学者は被害の悲惨さを目に焼きつけ故郷への思いを強くしていました。

見学者から寄せられたメッセージ↓

きれいな風景が... 残念です。一日も早く元の生活に戻れますように応援します。アイト!

復興の願いを込めた千個の風船を空に飛ばす「バルーンリリース(街の駅・久慈主催)」が4月29日、巽山公園で開かれました。
復旧・復興に向けた動きを後押しするかのうちに、この日の天気は晴れ。少しでも被災地にエールを送りたいと、市内外から200人以上が参加しました。
参加者は「早く元気になって」「みんな応援しています」「みんなで頑張ろう！」などの応援メッセージを風船に記入。まだ字が書けない小さな子どもも、かわいらしい絵や記号などを一生懸命に描いていました。
風船を握り締め、沿岸方面を見つめる参加者。一斉に手

をはなすと赤、青、黄色などの風船は空へと舞い上がり、風に乗って沿岸方面に飛んでいきました。
一戸町から帰省し、巧瑛くん(4歳)と采花ちゃん(1歳)を連れて参加した日澤千賀子さんは「津波の映像を見ると子どもたちも悲しそうです。みんなが早く元気になればいいですね」と、1日も早い復興を祈っていました。



風船一つ一つに願いを込めました

Information



永峰高志 芸術監督
Photo:Naoko Nagasawa

東日本大震災復興支援プロジェクト

N響メンバーと仲間たちによるアンバーホール音楽の贈り物

アンバーホール復興支援コンサート第1弾。同館芸術監督の永峰高志氏のほかN響メンバーなど約20人による室内楽コンサートです。(震災で中止になった公演です) 出演料の一部を復興支援に充てるほか、施設を訪問しての演奏会も開催する予定です。

▶日時…8月9日(火)18時30分～
▶会場…アンバーホール
▶前売り券…全席指定500円 ※当日は700円

前売り券発売日 6月5日(日)9時～
※友の会先行発売6月4日(土)9時～
問 アンバーホール ☎ 52 - 2700

5月23日、市宮魚市場にカレイやタコなど約5トンが水揚げされました。船が少ない中での水揚げは漁業者の意欲の証し。競りでは威勢の良い声が飛び交い、市場が活気づきました



に
漁
丸

二子の気概

P 2—5

予算・復旧復興に10億円増

P 8—9

心の交流に感動

P 12—13

折れない心
朝市で
復興ののろし

二子の復興旗



5月5日、震災から2カ月足らずで二子朝市を開催した市漁協・二子漁業生産部。困難な状況の中、同生産部を突き動かしたのは、津波にも負けない復興への意欲と、お客さんの期待に応えたいという熱い思いでした。(S17まで)

津波襲来 結路に立つ

東日本大震災により、甚大な被害を受けた沿岸部。海を生き残った漁業者の多くは、津波によって船や漁具などの財産を失い、収入を得る手段を失っていました。長内町の玉の塩漬港を拠点とする二子漁業生産部(中平武雄部長)もまた、被害を被ることはできませんでした。

津波直後の玉の塩漬港

二子漁業生産部はここから全員で立ち上がりました。
1 津波は全てを破壊
2 復興はカシラの山
3 防波堤も被害、打ち上げられた漁船も

決断 全員復興を目指す

同生産部は3月19日と21日、2日間という短い日程で開催を聞ききました。初日は「この先どうするか、各自の考えをどうするか」と投げかけて解散。2日後、出た結論は「全員で復興を続ける」ということ。誰もが苦しみ、考え込んだはず、それでも「めあては一つだ」と話す生産部長は一人として

できること、自分たちで

津波に必要となるトイレは、二子漁業生産部が自ら整備しました。
1 力を合わせて作業
2 完成した立派なトイレ

朝市待つ人のために

津波直後の状況は、復旧に向けての強い思いと生産部の深いつながりが、復興を目標とする決断につながりました。津波直後の状況は、復旧に向けての強い思いと生産部の深いつながりが、復興を目標とする決断につながりました。

5月5日、玉の塩漬港で開催された二子朝市。気候も涼やかなように、会場にはたくさんの大勢が訪れました。

満員御礼 届いた思い



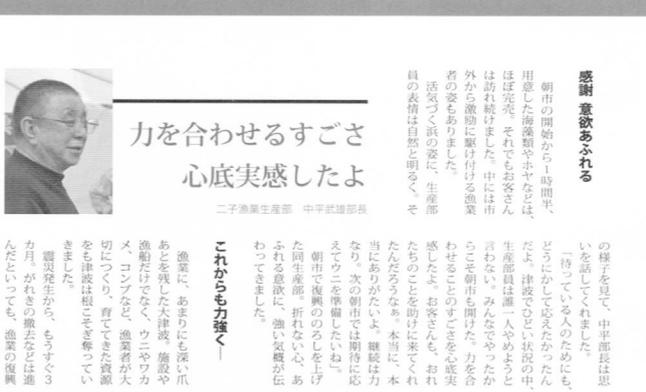
大漁旗のもとに大勢

思い思いはお客さんに届きました。迎えた5月5日、厚い雲が空を覆うあじきく天気ながらも、多くの大漁旗が掲げられた会場には、早くから大勢の人が集まりました。会場側のテントの中で販売前の最終確認中、中平部長は「お客さんが来てくれたぞっ! みんな喜んでもらって、いいですね」と笑顔で話していました。



響く声前より大きく

家族3人で訪れた中平さん(夏井町)は「再開しようとする気持ちで本当に素晴らしい、周りの被害を見るのが涙が出るくらいです。頑張ってください」と、感謝の言葉を述べた。朝市に集ったのは、前日、津波で壊れたワカメやマツモなどの海産物とホヤです。これからは応援します。中平さんもお客さんには「お返しをアヒルとしま」とお返しを渡りました。津波で壊れてしまった海産物も、まだ立派な漁船もありませんが、響きわたるお客さんの声は、震災前よりも大きくなりました。



力を合わせるすごさ 心底実感したよ

感謝意欲あふれる 朝市の開始から1時間半、用意した海産物やホヤなどは、津波によって壊れた船や漁具を修理、壊れた網や木材を利用して、たもを作ったほか、自分たちでトイレを整備しました。作業中に東北地方整備局が設置した大型アンテナも自分たちで補強し、さらに、行政に頼むこともなく、復興に向けた意欲が、お客さんの期待に応えたいという、強く、熱い思いでした。

二子朝市 次回6月19日(日) 9時~ ※12月までの毎月第3日曜日 9時から開催する予定です



5月18日、朝市でワカメ作りを行った二子漁業生産部のメンバー。これからもカネーと新しい取り組みをすすめていきます。

Q&A

久慈むまわり基金
法律事務所 ☎61-1818
冨田幹大弁護士

Q. 借家の修繕は誰がするの？

地震によって借家の壁の表面が、一部はかれてしまいました。
住むには問題ないのですが、修繕は自分でしなければならないのでしょうか？

A. 修繕義務は借家の貸主です

賃貸借契約の原則では、借家の修繕は貸主の義務になります。
はがれた壁の修繕など、大規模な修繕ならば、なおさらです。まずは大家さんと話し合いをしてみましょ。

Q. 借家が流されても家賃は支払うの？

津波で借家が流されてしまいました。この場合でも家賃を支払う義務はあるのでしょうか？

A. 家賃を支払う義務はありません

借家が流されたということは、賃貸借の目的物がなくなったことですので、借家の賃貸借契約は終了します。
よって家賃を支払う義務はありません。

【おわびと訂正】

広報4月15日号に掲載した義理金の受渡者名に誤りがありました。おわびして訂正します。
正 ぎじろくセンター関係者一同
誤 義理金センター関係者一同



4月12日、山形県出身の二十山親方(右)小堀・船乃花、幸名・各地(左)が在籍する春日野郡から寄付金を、4月16日には、野田町で炊き出しなども行いました

【おわびと訂正】
春日野郡から寄付金を、4月16日には、野田町で炊き出しなども行いました

【おわびと訂正】
春日野郡から寄付金を、4月16日には、野田町で炊き出しなども行いました

*可能な限り、支援者からの申し出などに基づいて掲載しましたが、名称などに間違いがあることも考えられます。申し訳ございませんが、ご了承くださいませようお願いします

熱い支援に感謝

被災者への救援支援物資、義理金、市への寄付金

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、多くの救援支援物資や義理金、市への寄付金が、全国各地から寄せられました。4月11日～5月10日まで受け付けられた分は次のとおりです。(敬称略) 熱い支援ありがとうございます。

救援支援物資

- 東北
【北海道】(株) 工務店 〓 弟千太郎 〓 弟千太郎 〓 弟千太郎
- 【山形県】(株) 〓 〓 〓
- 【秋田県】(株) 〓 〓 〓
- 【岩手県】(株) 〓 〓 〓
- 【宮城県】(株) 〓 〓 〓
- 【福島県】(株) 〓 〓 〓
- 【茨城県】(株) 〓 〓 〓
- 【栃木県】(株) 〓 〓 〓
- 【群馬県】(株) 〓 〓 〓
- 【埼玉県】(株) 〓 〓 〓
- 【千葉県】(株) 〓 〓 〓
- 【東京都】(株) 〓 〓 〓
- 【神奈川県】(株) 〓 〓 〓
- 【静岡県】(株) 〓 〓 〓
- 【愛知県】(株) 〓 〓 〓
- 【岐阜県】(株) 〓 〓 〓
- 【富山県】(株) 〓 〓 〓
- 【石川県】(株) 〓 〓 〓
- 【福井県】(株) 〓 〓 〓
- 【滋賀県】(株) 〓 〓 〓
- 【京都府】(株) 〓 〓 〓
- 【大阪府】(株) 〓 〓 〓
- 【兵庫県】(株) 〓 〓 〓
- 【奈良県】(株) 〓 〓 〓
- 【和歌山県】(株) 〓 〓 〓
- 【徳島県】(株) 〓 〓 〓
- 【香川県】(株) 〓 〓 〓
- 【愛媛県】(株) 〓 〓 〓
- 【高知県】(株) 〓 〓 〓
- 【福岡県】(株) 〓 〓 〓
- 【佐賀県】(株) 〓 〓 〓
- 【長門県】(株) 〓 〓 〓
- 【大分県】(株) 〓 〓 〓
- 【熊本県】(株) 〓 〓 〓
- 【鹿児島県】(株) 〓 〓 〓
- 【沖縄県】(株) 〓 〓 〓

義理金

- 【振込】
若手銀行久慈中央支店
普通預金 2057188
久慈市地震災害救援基金
※入金前に下記までご連絡をお願いします
社会福祉課 ☎32-2119
- 【現金】
市役所で受け付け
- 【北海道】(株) 〓 〓 〓
- 【岩手県】(株) 〓 〓 〓
- 【宮城県】(株) 〓 〓 〓
- 【福島県】(株) 〓 〓 〓
- 【茨城県】(株) 〓 〓 〓
- 【栃木県】(株) 〓 〓 〓
- 【群馬県】(株) 〓 〓 〓
- 【埼玉県】(株) 〓 〓 〓
- 【千葉県】(株) 〓 〓 〓
- 【東京都】(株) 〓 〓 〓
- 【神奈川県】(株) 〓 〓 〓
- 【静岡県】(株) 〓 〓 〓
- 【愛知県】(株) 〓 〓 〓
- 【岐阜県】(株) 〓 〓 〓
- 【富山県】(株) 〓 〓 〓
- 【石川県】(株) 〓 〓 〓
- 【福井県】(株) 〓 〓 〓
- 【滋賀県】(株) 〓 〓 〓
- 【京都府】(株) 〓 〓 〓
- 【大阪府】(株) 〓 〓 〓
- 【兵庫県】(株) 〓 〓 〓
- 【奈良県】(株) 〓 〓 〓
- 【和歌山県】(株) 〓 〓 〓
- 【徳島県】(株) 〓 〓 〓
- 【香川県】(株) 〓 〓 〓
- 【愛媛県】(株) 〓 〓 〓
- 【高知県】(株) 〓 〓 〓
- 【福岡県】(株) 〓 〓 〓
- 【佐賀県】(株) 〓 〓 〓
- 【長門県】(株) 〓 〓 〓
- 【大分県】(株) 〓 〓 〓
- 【熊本県】(株) 〓 〓 〓
- 【鹿児島県】(株) 〓 〓 〓
- 【沖縄県】(株) 〓 〓 〓

寄付金

- 【北海道】(株) 〓 〓 〓
- 【岩手県】(株) 〓 〓 〓
- 【宮城県】(株) 〓 〓 〓
- 【福島県】(株) 〓 〓 〓
- 【茨城県】(株) 〓 〓 〓
- 【栃木県】(株) 〓 〓 〓
- 【群馬県】(株) 〓 〓 〓
- 【埼玉県】(株) 〓 〓 〓
- 【千葉県】(株) 〓 〓 〓
- 【東京都】(株) 〓 〓 〓
- 【神奈川県】(株) 〓 〓 〓
- 【静岡県】(株) 〓 〓 〓
- 【愛知県】(株) 〓 〓 〓
- 【岐阜県】(株) 〓 〓 〓
- 【富山県】(株) 〓 〓 〓
- 【石川県】(株) 〓 〓 〓
- 【福井県】(株) 〓 〓 〓
- 【滋賀県】(株) 〓 〓 〓
- 【京都府】(株) 〓 〓 〓
- 【大阪府】(株) 〓 〓 〓
- 【兵庫県】(株) 〓 〓 〓
- 【奈良県】(株) 〓 〓 〓
- 【和歌山県】(株) 〓 〓 〓
- 【徳島県】(株) 〓 〓 〓
- 【香川県】(株) 〓 〓 〓
- 【愛媛県】(株) 〓 〓 〓
- 【高知県】(株) 〓 〓 〓
- 【福岡県】(株) 〓 〓 〓
- 【佐賀県】(株) 〓 〓 〓
- 【長門県】(株) 〓 〓 〓
- 【大分県】(株) 〓 〓 〓
- 【熊本県】(株) 〓 〓 〓
- 【鹿児島県】(株) 〓 〓 〓
- 【沖縄県】(株) 〓 〓 〓

6
15号

広報くじ

平成 23 年 (2011 年) No.127
〔ホームページアドレス〕
<http://www.city.kuji.iwate.jp/>



津波襲来時の写真・動画



津波直後や浸水時の写真・動画



震災前の風景 (町並みなど)

募集

今後の災害対策に生かすため

津波などの写真・動画 提供をお願いします

東日本大震災による甚大な被害を今後の災害対策に生かし、自然災害の恐ろしさを後世に伝えていくために、皆さんが撮影した津波襲来時の写真や動画を募集します。

これからの防災と、将来の久慈市のために、皆さんのご協力をお願いします。

■募集内容

- ① 津波が襲来したときの沿岸部や河川などの写真・動画
- ② 津波が襲来した直後や浸水時の写真・動画
- ③ 沿岸部の町並みや風景など、震災前の写真

■写真・動画の使用用途

提供いただいた写真・動画は、市が所有する資料として保存・管理します。

また、広報など市が発行する印刷物や、災害の検証・研

究資料として、提供者に許可を得ることなく使用させていただきます。

■受付場所・方法

写真・動画は、まちづくり振興課で、持参、郵送、メールにて受け付けるほか、事前にご連絡いただければ受け取りに伺います。

またプリント写真や写真・動画の記録メディア(CD・DVD・フラッシュメモリーなど)を提供いただいた場合は、後日、提供者に返却します。

まちづくり振興課
☎ 52 - 2116

【郵送】

〒028-8030 久慈市川崎町 1-1

【メール】

kuji@city.kuji.iwate.jp

※郵送・メールの場合は氏名、住所、連絡先を明記ください

Information

地域を守る
熱意にエールを

市消防団 特別点検 6.26日

市消防団特別点検を開催。分列行進や放水訓練などを行います。震災時には水門閉鎖、避難誘導、地域の支援などに奔走した消防団員。地域を守る熱意に、皆さんのエールをお願いします。
▶期日…6月26日(日)
9時30分～

▶会場…①式典など/久慈高校長内校②分列行進/市街地③放水訓練など/久慈川上の橋上流
＜市街地で交通規制＞
分列行進(10時25分～11時予定)では市街地で交通規制を行います。皆さんのご協力をお願いします。
消防防災課 ☎ 52 - 2173





初採りに 手ぶえ

函館義援船を利用した初の漁。6月23日、久喜漁業生産部（坂本訓一部長）は資源調査を兼ねたアワビの共同採捕を行いました（関連記事2～5頁）

浜に追い風

P 2—5

命を守る避難力

P 8—13

やります！市政改革

P 16—17



船内に破壊された船。津波は多くの船を漁業から奪い去った。(3月14日、函館下地区)

77年前の支援で光明

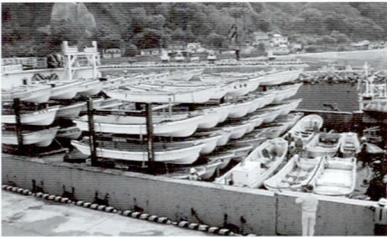
そんな中、一層の光明がさした。3月30日、救援支援物資を届ける市役所を訪れた北海道函館市に、山内隆文市長が御状を伝え、船の支援を要請。函館市は、船の被害がきっかけとなる「緑」



4月14日、一堂に会した函館市の関係者。厳しい現状への理解と支援を訴えました

仲間の思いが形に

久慈市市漁協(自健一朗組合長)の職員や漁業者は4月14日から15日にかけて、函館市を訪問。直接、厳しい現状を訴え、支援を求めました。熱意は伝わり、函館市は、漁業者の思いが形に。漁業者の思いが形に。漁業者の思いが形に。



6月3日、第1便の積み込みが完了。丁寧に積み上げられた船1隻1隻に、支援者の思いが込められています



義援船の船出 アワビ採り

- 1/ダイバーがアワビを船に採り、採れたアワビはすししり、くわごとを込めて運搬船に積み替えます
- 2/船上でアワビを受け取った後は、すくさま出船に向けた漁獲作業。手際よく作業を進めます
- 3/船上でアワビを調理し、すししり、くわごとを込めて運搬船に積み替えます



喜び 活気戻る浜

24日は、子漁業生産部(中平武雄部長)でも義援船の活用。漁業者の思いが形に。漁業者の思いが形に。漁業者の思いが形に。



154

浜に追いつく風

函館から善意の結晶 228隻の助け船

東日本大震災で失われた市内の船575隻、厳しい状況に陥った久慈市の漁業者を支援しよう。函館市から磯船つる3隻が無償で提供されました。函館からの温かい支援と善意の結晶。船は漁業者に大きな希望を与えてくれました。(5/16まで)



6月5日、義援船を積み込んで久慈市に入港した任務を終えた船。船内には「がんばれ東北!! がんばれ久慈!!」の応援メッセージが貼られていました

2011.7.1号 2



初の漁に意気揚々

函館市からの義援船は、市漁協から各漁業生産部や希望者に分配。船外機が取り付けられた義援船から順次、漁に出るために必要な準備を進めました。

届けられた船と希望

6月5日8時、磯船を積み込んだ台船は「がんばれ東北!!」の横断幕を掲げて久慈市に入港しました。岸壁には、山内市長や自組会長など約60人、函館市の熱い熱い支援によって実現した待望の船の到着に目撃を熱くしました。

待望の船久慈に

つり上げて慎重に港へ。降ろされた磯船には函館市の市章をあしらった。函館市漁協のスタッフが一列に並びました。漁業者は、磯船に歩み寄り、明るい表情をみせ、自然と希望と復興へのさらなる意欲を与えてくれました。

一日も早い本格再開を

函館市漁業協同組合長 藤田光夫 会長

漁業には欠かせません。大変な状況に陥った漁業者の仲間のために、善い協力をお願いします。行政や企業なども思いは同じです。一日も早く漁業が本格的に再開されることを祈っています。

元の海に戻ってほしい

函館市農水部長 山田潤一 部長

228隻は善意が積み上がった結果。漁業者、企業、行政、どれか一つでも協力が欠けていたら実現できなかったと思います。一日も早く帰業し、元の海に戻ってほしい。久慈市の復興を願っています。

2011.7.1号 4

生活トラブル

Q&A

久慈ひまわり基金 法律事務所 (☎61-1818) 葦田幹大弁護士

Q. 亡き父の借金は どうすれば?

津波で亡くなった父には借金がありました。この借金は返さないといけないのでしょうか?

A. 相続放棄をした方が いい場合も

プラスの遺産(不動産など)と同様に、マイナスの遺産(借金)も相続されるのが原則です。しかしプラスの遺産よりもマイナスの遺産が多い場合は、相続放棄を放棄した方がいいかもしれません。

相続放棄は、相続が開始されることを知ったときから3か月以内(ただし、この期間を延ばす法律が国会で審議中)に裁判所で手続きをとる必要があります。

なお「相続開始を知ったとき」とは、「借金があることを知ったとき」という解釈も可能ですが、必ずしも津波の被害にあった3月11日には限りません。

Table with columns: 日時, 会場, 対象地区. Includes dates like 7/6 (水) 18:30~ and locations like 漁協夏井出張所.

市復興計画の策定に向けてご意見を



市は現在、「久慈市復興計画」の策定に向けて準備を進めています。この計画は、復興を計画的に進め、市の皆さまや事業者が希望するようにするためのものです。

被災住宅の補修・再建 低金利で融資

住宅金融支援機構 ☎0120-086-353 平日9時～9時～12時

高速道路は被災者無料

NEXCO 東日本 ☎0570-024-024 24時間受付センター ☎03-5338-7524

被災者に自動車1台 無償借り

社会福祉課 ☎52-2119

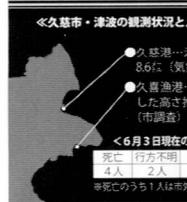
被災住宅の補修・再建には、住宅金融支援機構から低金利で融資を受けることができます。また、被災者が希望するよう、事業費が希望するよう、計画的に進め、市の皆さまや事業者が希望するようにするためのものです。

被災者を支援するための高速道路無料化を実施中です。被災者が、東北地方発着の高速道路を利用する場合は、次より無料になります。

被災者に自動車1台無償借り。対象：自動車被災した人。対象期間：7月20日(水)～8月31日(水)。

三角点を再測量

国土交通省国土院では、東日本大震災によって変動した三角点・水準点の再測量を8月中旬まで行います。



久慈市・津波の観測状況と人的被害。久慈港…津波の高さ8.6m(気象庁観測)。久慈漁港…津波が遡上した高さ推定27m(市調査)。

分析 東日本大震災にみる避難の状況

津波は同等と推定。12都道府県で計7万8千人以上の死者・行方不明者を出した東日本大震災。想像を絶する大災害は、久慈市にも深く大きな爪痕を残しました。

久慈市・津波の観測状況と人的被害。久慈港…津波の高さ8.6m(気象庁観測)。久慈漁港…津波が遡上した高さ推定27m(市調査)。

津波は同等と推定。12都道府県で計7万8千人以上の死者・行方不明者を出した東日本大震災。想像を絶する大災害は、久慈市にも深く大きな爪痕を残しました。



現場証言 逃げなかった人 高台なければ被害に。久慈消防署 宮澤憲光 消防士長。久慈消防署 佐々木昭二 消防司令員。



見たことない早。大震災発生した3月11日、大津波警報と同時に沿岸地区1489世帯43000人に避難指示。消防職員と消防団員は、直ちに水門閉鎖と避難誘導に向かいました。

被災者への救援支援物資、義援金、市への寄付金 熱い支援に感謝

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、多くの救援支援物資や義援金、市への寄付金が、全国各地から寄せられました。5月11日～6月10日まで受け付けた分は次のとおりです。(敬称略) 熱い支援ありがとうございます。

- 救援支援物資: 岩手銀行久慈中央支店 普通預金 2057188. 久慈市地震災害義援金. 義援金: 岩手銀行久慈中央支店 普通預金 2057188. 久慈市地震災害義援金. 寄付金: 企業・団体・個人からの寄付金リスト.

※可能な限り、支援者からの申し出などに基づいて掲載しましたが、名称などに間違いがあることも考えられます。申し訳ございませんが、ご了承くださいませようお願いいたします。



命を守る 避難力. 災害時、わたしたちの生死を分ける「避難」。全国で多くの尊い命が犠牲になった東日本大震災を機に、まち全体の防災意識が高まっています。意識が変われば行動も変わります。いざというときのための避難力を、さらに高めましょう。(1)まで



避難場所のま刀江神社に向かう住民

変化

津波避難訓練に表れた意識

1.7倍意識が数字に

悲しい犠牲を一人として出さないために、

市は明治三陸地震津波（1896年）が発生した6月15日、大津波警報を想定した津波避難訓練を沿岸地区の住民を対象に実施しました。

訓練では、昨年度開催した東日本大震災での被害状況を踏まえ、避難場所と避難経路を修正し、今回、津波が川



300人以上が参加した釜川北福祉センター

幅広い世代に浸透

釜川北福祉センターを避難場所とする津波避難訓練では、市消防団第2分団と久慈湾地区自主防災会が協力しながら、熱心な訓練を展開。防災行政無線から津波警報の発表を知らせるなど、地域の人々には真剣な表情で次々と避難場所に向かいました。

例年と比べ、特に目立ったのは小・中学生。避難者数は約4割増しと、避難訓練の重要性が浸透していることがうかがえます。



犠牲者にとらわれず生きる中学生

助け合いが絶対的必要

市消防団第2分団 中平高男 団長

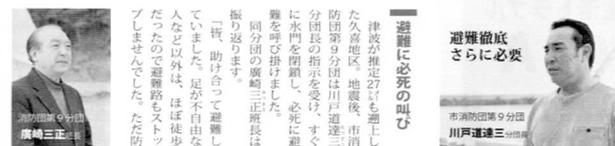
震災時の避難が早く、人的被害がなかった久慈湾地区。今回の訓練で、さらに意識の高まりを感じました。ただ災害時にはどんな状況で起きるか分かりません。避難時、助け合いが絶対的必要です。



いづれるか分からない

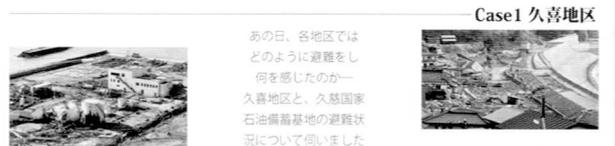


東日本大震災で津波による被害を教訓として対策を講じてきたのは久慈市だけではありません。今回の訓練で、さらに意識の高まりを感じました。



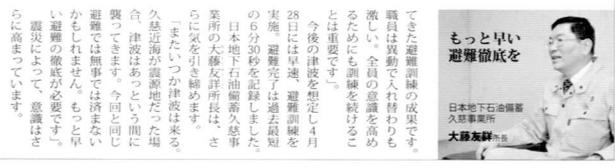
避難に必死の叫び

津波が押し寄せた瞬間、避難に必死の叫びが聞こえてきた。津波が押し寄せた瞬間、避難に必死の叫びが聞こえてきた。津波が押し寄せた瞬間、避難に必死の叫びが聞こえてきた。



直ちに指示・避難

管理棟を除く全ての地上施設が津波で破壊された久慈国家石油備蓄基地。津波が押し寄せた瞬間、避難に必死の叫びが聞こえてきた。津波が押し寄せた瞬間、避難に必死の叫びが聞こえてきた。



もっと早い避難徹底

日本地下石油備蓄基地事務所 大藤友幸 所長

津波が押し寄せた瞬間、避難に必死の叫びが聞こえてきた。津波が押し寄せた瞬間、避難に必死の叫びが聞こえてきた。

津波避難の鉄則を再確認

- 原則、徒歩で**
自動車での避難は、津波で津波に巻き込まれる危険があるため、原則として避けたい。助け合いが絶対的必要。
- 隣近所に声掛けを**
お互いに声を掛け合い、助け合いが絶対的必要。
- 海岸や河川には近づかない**
津波が押し寄せてくるため、海岸や河川には近づかない。
- 遠くより高い場所へ**
津波は平地であれば速くまで上ることができます。より高い場所に避難しましょう。

油断はできない

東日本大震災で津波による被害を教訓として対策を講じてきたのは久慈市だけではありません。今回の訓練で、さらに意識の高まりを感じました。

助け合いが絶対的必要

市消防団第2分団 中平高男 団長

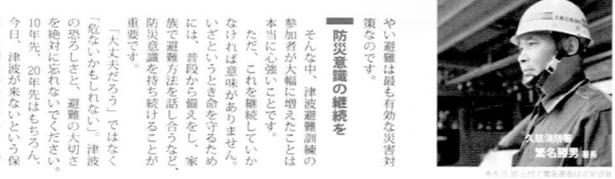
震災時の避難が早く、人的被害がなかった久慈湾地区。今回の訓練で、さらに意識の高まりを感じました。ただ災害時にはどんな状況で起きるか分かりません。避難時、助け合いが絶対的必要です。

訴え

避難の準備を早く

緊急要員 藤原浩典

津波が押し寄せた瞬間、避難に必死の叫びが聞こえてきた。津波が押し寄せた瞬間、避難に必死の叫びが聞こえてきた。



- ### 非常持出品
- 携帯ラジオ
 - 懐中電灯
 - 非常食（缶詰など）
 - 飲料水
 - ろうそく
 - ライター、マッチ
 - ティッシュペーパー
 - タオル
 - ビニール袋
 - ビニールシート
 - 着替え
 - 軍手
 - カッパ
 - 救急セット
 - 常備薬
 - 現金・貴重品
- ### 非常備用品
- 今日の大震災のように、災害時は準備ができていないと大変です。教員は各自でできるような準備をお願いします。
 - 食品（缶詰、インスタント食品など）
 - 水（1人1日あたり3リットル）
 - 卓上コンロ
 - やかん
 - 燃料（ガスボンベなど）
 - トイレ、アルミホイル
 - 紙皿、紙コップなど
 - 毛布、寝袋
 - 使い捨てカイロ
 - ウェットティッシュ
 - 洗面用具
 - バケツ
 - 簡易トイレ
 - 工具箱
 - 自転車
- ### 訓練で防災学べます
- 消防防災センター2階の防災訓練センターでは、災害が発生する仕組みや対策を、体験型の展示などで分かりやすく紹介しています。
- 皆さんも防災について学んでください。
- 消防防災センター 〒52-2173
1. タッチパネルで防災訓練をチェック 2. パンフレットや教員用テキストを配布



山内市長の説明に真剣に聞き入る出席者

復興願う声多数

市復興計画の策定に向けて意見交換会を開催

東日本大震災からの復興と、新たなまちづくりを進めるための久慈市復興計画。市は同計画策定に向けた意見交換会を7月6日から開始しました。初日は、夏井地区を対象に市漁協夏井出張所で開催。復興を願う声を届けようと、会場には約40人が集まりました。はじめに山内隆文市長が「これから、まちの復興、飛躍に向けた取り組みを進めていかなければなりません。食料やエネルギーの供給など、他の地域にも久慈市が貢献できるようなまちづくりを進めていきたいと考えています」とあいさつ。続いて市側が同計画の概要を説明しました。その後の意見交換では、出席者から今後の復旧作業や生活再建に関する意見などが多数。今後の災害に備えるための防災施設や避難所などの整備を願う声も寄せられました。最後に山内市長は「災害から集落、財産、安全を守ることは重要です。皆さんの声を聞き、しっかりと応えていきたいと思えます」と力を込めた言葉で締めくくりました。意見交換会は15日までの日程で計6回開催。市は、寄せられた意見を踏まえて同計画の内容を調整し、8月上旬の策定を目指します。

市復興計画の概要

■役割など■

一日も早い復興の実現に向けた指針となる計画です。

市民の皆さんや事業者が希望を持てるようにするため、生活再建や水産業の復興、防災関係など、各事業を盛り込みます。

■計画期間■

平成23年度～平成32年度までの10カ年計画です。期間を復旧、復興、飛躍の3段階に分けて着実に取り組みを進めます。

※詳しい内容は策定後、市ホームページや広報などでお知らせします

Information

選挙の
入場券 **変** わります!!



8月7日(日)執行予定の久慈市議会議員選挙から、投票所入場券が変わります。

今回から、世帯ごとに有権者4人までを1枚にまとめた入場券ハガキをお送りします。(世帯の有権者が5人以上の場合は複数枚お送りします)

三つ折りの圧着ハガキで、内側が氏名を記載した入場券になっています。ハガキを丁寧に開き、自分の入場券をミシン目に沿って切り離して投票所にお持ちください。

市選挙管理委員会事務局
☎ 52 - 2111 内線 472

広報 くじ

8

2011
月1日号
No.130

7月10日10時、岩手県沿岸に津波注意報が発表。危険が迫る中、長内町諏訪下地区に急行し、水門を閉鎖する消防団員（関連記事2～5頁）

被害は許さない

地域を守る **消防団**

P 2—5

まちなか水族館 OPEN

P 8—9

市勢功労者表彰授与式

P 10—11

岩手で躍動 **いざ全国へ**

P 14—17



市消防団特別点検
守り続ける 意気込みを示す

市消防団特別点検は6月26日、久慈高校長内校などで開かれました。東日本大震災の影響で中止や延期をする市町村が多い中、市消防団、個人消防協力隊など771人が参加。団員らは、例年以上に気合の入った訓練を展開し、大震災にも屈せず、まちを守り続けるという意気込みを示しました。

同日、統監の山内隆文市長らなどから表彰を受けた人は次のとおりです。表彰対象、氏名前の数字は分団名

市長表彰
 【感謝状】○古屋野園男○中里三二○山田茂○岡田良也○木村和也○浅水康男○中村清治○新井谷幸夫○坂

庭武彦○市産業協同組合○小田勝正
 【内助功労】○杜紀ヤス子○本波さつ子○大久保とも○山内真奈子○砂川直由

消防協会久慈地区支部長表彰
 【優良車庫級】○第8分団（駒澤青年分団長）○第19分団（長坂俊一分団長）
 【功労賞】○菅原英夫○中塚金蔵○畑田孝文○近藤茂明○山内智之○澤口敬志○下川原達也○下館晴
 【功績賞】○津口博美○坂本秀則○向井弘○杜紀おさむ○坂下広美○中澤保男○亀田豊秋○本波克日○村塚益雄○野木正巳○大倉博美○島山一弘○若井豊○船越一明○大谷地和弘○下館達洋山藤一



表2 / 平成22年度・市消防団の活動実績

区分	件数	人数
火災	15件	759人
風水害等	8件	552人
警戒	51件	878人
訓練	51件	6,839人
その他	52件	2,026人
計	177件	11,054人

多岐にわたる活動
 明治15年に私設消防隊（久慈火消組）を組織したことから始まった市消防団の歴史。昭和38年4月27日に発生した久慈大火や地震、津波、風水害など、消防団は、これまで幾多の災害に立ち向かってきました。「火消し」から始まった消防ですが、その活動は多岐にわたります。訓練を重ね、火災や地震、風水害など発生時に活動が求められるほか、河川が増水したときには出動し、警戒態勢をとりまします。さらには、火災不明者の捜索や、イベント時の特別警戒、火災を予防するための啓発活動なども実施。平成22年度の活動実績は177件、出動した団員数は11,054人です。

地域への思い
 「火消し」から始まった消防ですが、その活動は多岐にわたります。訓練を重ね、火災や地震、風水害など発生時に活動が求められるほか、河川が増水したときには出動し、警戒態勢をとりまします。さらには、火災不明者の捜索や、イベント時の特別警戒、火災を予防するための啓発活動なども実施。平成22年度の活動実績は177件、出動した団員数は11,054人です。

表1 / 各分団の主な担当地区

分団	担当地区	分団	担当地区
第1分団	市街地	第11分団	新郷、川崎町
第2分団	久慈東地区	第12分団	門前、天神堂、栄町ほか
第3分団	長内地区	第13分団	山形町山井地区
第4分団	宇部地区	第14分団	山形町鶴巻地区
第5分団	小久慈地区	第15分団	山形町小里地区
第6分団	大川目地区	第16分団	山形町日野沢地区
第7分団	豊井地区	第17分団	山形町柳野地区
第8分団	崎野地区	第18分団	山形町茶内地区
第9分団	久慈・小池地区	第19分団	山形町日吉地区
第10分団	山根地区	第20分団	山形町鶯地区

震災時迅速対応
 消防団の力は東日本大震災でも最大限発揮されました。3月11日14時49分の大津波警報発令後、消防団員は沿岸部に急行して水門を閉鎖。わずか約10分後の15時51分には全水門の閉鎖を完了しました。その後も住民の避難誘導に奔走し、津波が去った後も救助や避難所の支援活動、行方

地域の知識習得
 活動実績の数字が裏付けるように、消防団は市の防災上なくてはならない存在です。消防団は各分団に分けて組織され、その地域で暮らす団員が在籍しています。そのため非常時には、いち早く現場に駆けつけ、地域に対する知識と経験を武器に、地域に密着した活動が展開できます。また、消防団員は10倍以上の2821人。大災害など大人数が必要ならば、大人数が動員できる組織力も備えています。

募集中
 消防団員には、事業所などに勤めている人も多数含まれているため、迅速な活動には事業所の協力が必要不可欠です。市は消防団活動に積極的に協力している事業所などを募集し、認定しています。消防団へのご理解とご協力をお願いします。消防防災課 ☎52-2173

消防団の強みと力が必要不可欠
 消防団には地域に精通する強みと力があります。小規模火災では、団の迅速な活動により、消防署員が到着したときには消火済みというケースも。大人数の団員が可能な組織力を持つ消防団は市の防災にとって必要不可欠な存在です。

市消防防災課 多喜代吉博 課長

守る意識は不変
 過去の災害でも、今回の東日本大震災でも、今日の訓練の成果を評価し、わたしたちは、まちを守るために力を尽くします。消防団だからできる役割と存在の大きさは、大震災を機に改めて強く示されています。消防団は1799人も、消防団の迅速な活動に貢献していること、消防団が身をまわすこと、消防団は身を守つてくれたのです。

受け継ぐ 意識 広がり期待
 女性5人が入団するなど、この数年、団員数は増加傾向にあります。ところが平均年齢は4月1日現在で47・6歳と上昇中（左上表）。組織と防災機能を保つため、特に若者の入団が求められています。

担う世代も懸命
 そんな中、先輩団員とともに将来を担う世代も懸命な活動を続けています。東日本大震災では、団員が取組む前に仲間の団員と水門閉鎖に向かい、その後救助要請、逃げ遅れた人の避難誘導、必死に活動し続けました。

気概と地域への思いを持って
 消防団員は、地域に精通する強みと力があります。小規模火災では、団の迅速な活動により、消防署員が到着したときには消火済みというケースも。大人数の団員が可能な組織力を持つ消防団は市の防災にとって必要不可欠な存在です。

市消防団員 門澤正浪 団長

皆で支え地域を守る
 地域に根付き、地域を知る団員は、身近な地域の守り人。しかし、身を呈して奮闘している団員は、同じ地域の住民でもあります。消防団の活動には、その家族はもとより、地域の理解と協力、そして住民の参加も必要です。わたしたちは同じ地域に住むものとして、地域を守るために休む暇もないほどに感謝の心を持ち、活動に支えたい。くべきでないでしょうか。また任せきりにするのは、自分自身も防災意識を持ち、災害に備えていくべきではないでしょうか。

求められる若者
 長い歴史の中で在籍する団員は入れ替わりながらも、まちを守るという強い意識を持っています。今年、事業所から伝統は、先輩から後輩へ継ぐと受け継がれてきました。

入団で地域の力に
 年末年始の大変、高波などの防災圧力を受け、そして未曾有の大震災となった東日本大震災。立て続けに自然が猛威を振る中、これからは、地域を5つの分団に計9人が入団しました。

守る意識は不変
 過去の災害でも、今回の東日本大震災でも、今日の訓練の成果を評価し、わたしたちは、まちを守るために力を尽くします。消防団だからできる役割と存在の大きさは、大震災を機に改めて強く示されています。消防団は1799人も、消防団の迅速な活動に貢献していること、消防団が身をまわすこと、消防団は身を守つてくれたのです。

皆で支え地域を守る
 地域に根付き、地域を知る団員は、身近な地域の守り人。しかし、身を呈して奮闘している団員は、同じ地域の住民でもあります。消防団の活動には、その家族はもとより、地域の理解と協力、そして住民の参加も必要です。わたしたちは同じ地域に住むものとして、地域を守るために休む暇もないほどに感謝の心を持ち、活動に支えたい。くべきでないでしょうか。また任せきりにするのは、自分自身も防災意識を持ち、災害に備えていくべきではないでしょうか。

守ってくれる存在
 家族や組織にも団員がいます。責任感を持ち、大変な場所にも出動する消防団は地域を守ってくれる存在です。地域でも動かっています。気をつけながら務めてほしいですね。

消防団にゴール
 消防団に入っているおじいちゃん、震災の犠牲者でも出動してました。人の命を助けるために頑張っているのはすごい。自分の命も大切に、気をつけながら頑張ってください。

坂本清子さん（入団7・4年・女）

皆で支え地域を守る
 地域に根付き、地域を知る団員は、身近な地域の守り人。しかし、身を呈して奮闘している団員は、同じ地域の住民でもあります。消防団の活動には、その家族はもとより、地域の理解と協力、そして住民の参加も必要です。わたしたちは同じ地域に住むものとして、地域を守るために休む暇もないほどに感謝の心を持ち、活動に支えたい。くべきでないでしょうか。また任せきりにするのは、自分自身も防災意識を持ち、災害に備えていくべきではないでしょうか。

皆で支え地域を守る
 地域に根付き、地域を知る団員は、身近な地域の守り人。しかし、身を呈して奮闘している団員は、同じ地域の住民でもあります。消防団の活動には、その家族はもとより、地域の理解と協力、そして住民の参加も必要です。わたしたちは同じ地域に住むものとして、地域を守るために休む暇もないほどに感謝の心を持ち、活動に支えたい。くべきでないでしょうか。また任せきりにするのは、自分自身も防災意識を持ち、災害に備えていくべきではないでしょうか。

守ってくれる存在
 家族や組織にも団員がいます。責任感を持ち、大変な場所にも出動する消防団は地域を守ってくれる存在です。地域でも動かっています。気をつけながら務めてほしいですね。

消防団にゴール
 消防団に入っているおじいちゃん、震災の犠牲者でも出動してました。人の命を助けるために頑張っているのはすごい。自分の命も大切に、気をつけながら頑張ってください。

坂本清子さん（入団7・4年・女）

皆で支え地域を守る
 地域に根付き、地域を知る団員は、身近な地域の守り人。しかし、身を呈して奮闘している団員は、同じ地域の住民でもあります。消防団の活動には、その家族はもとより、地域の理解と協力、そして住民の参加も必要です。わたしたちは同じ地域に住むものとして、地域を守るために休む暇もないほどに感謝の心を持ち、活動に支えたい。くべきでないでしょうか。また任せきりにするのは、自分自身も防災意識を持ち、災害に備えていくべきではないでしょうか。

皆で支え地域を守る
 地域に根付き、地域を知る団員は、身近な地域の守り人。しかし、身を呈して奮闘している団員は、同じ地域の住民でもあります。消防団の活動には、その家族はもとより、地域の理解と協力、そして住民の参加も必要です。わたしたちは同じ地域に住むものとして、地域を守るために休む暇もないほどに感謝の心を持ち、活動に支えたい。くべきでないでしょうか。また任せきりにするのは、自分自身も防災意識を持ち、災害に備えていくべきではないでしょうか。



守ってくれる存在
 家族や組織にも団員がいます。責任感を持ち、大変な場所にも出動する消防団は地域を守ってくれる存在です。地域でも動かっています。気をつけながら務めてほしいですね。

消防団にゴール
 消防団に入っているおじいちゃん、震災の犠牲者でも出動してました。人の命を助けるために頑張っているのはすごい。自分の命も大切に、気をつけながら頑張ってください。

坂本清子さん（入団7・4年・女）

叙勲

東日本大震災の影響で発表が延期されていた春の叙勲が、このほど発表され、本市からは次の方々が受賞しました。

旭日双光章

瑞宝単光章



石川正英さん (小久慈町)



久慈義雄さん (待浜町)

元典・市議会議員、医療・福祉の充実など活動として地方自治の発展に尽力

元市消防団副団長。40年以上にわたる消防団員として防火活動に尽力

「支えに感謝」

周囲に感謝。私を支えてくれたみんなが受賞したのだと考えています。議員在籍時は、暮らしをよりよくするために、医療・福祉関係に特に力を入れて活動しました。誰もが一生進むものが医療と福祉です。みんなが、より安心して暮らせるまちをつくってほしいですね。

「協力のおかげ」

思いがけない受賞。少しばかり役に立てたのか、という思いです。長い消防活動の中では、深夜に出動したことや、危険な目にあったことも何度もありました。活動が続けられたのは、周りの皆さんが協力してくれたのおかげです。現在の消防団員の皆さんにも頑張ってほしいですね。

更生保護 犯罪や非行からの立ち直り変えて 法務大臣感謝状



小田 謙子さん (寺里)

家族の大切さを執筆 第6回岩手日報新聞賞 最優秀賞



太田 謙 (待浜町)

立ち直りには、相手を信じ、愛情を持って支えることが大切だと考え、私も夢中に活動してきました。活動を続けられたのは、家族や周りの理解と支えがあったからです。皆さんに感謝します。

大震災で家族の大切さを改めて感じ、亡くなった父をテーマとした「父の行状表」を書きました。言葉には「力」があると思います。今後もいるようなジャンルに挑戦していきたいです。

特別表彰

- 菊地文一** (宇部町) 元市議会議長。円滑な議会運営に努めたほか、市政運営に尽力し、市勢発展に多大な貢献をした
- 越後力雄** (山形町) 元市議会議長、山形村議会議長。円滑な議会運営に努め、村勢・市勢発展に多大な貢献をした
- 岩城紀一** (川崎町) 前市教委委員長。歯科保健の向上に努めたほか教育行政の振興に尽力し、市勢発展に多大な貢献をした

一般表彰

- 砂子友男** (大川町) 地域ぐるみの農業振興に尽力
- 久世隆三** (宇部町) 農業振興、福祉の向上に尽力
- 榊野定一** (小久慈町) 児童福祉の向上に尽力
- 中野信男** (寺里) 障がい者福祉の向上に尽力
- 高谷淳子** (大川町) 社会医療、教育行政に尽力
- 鳥谷泰正** (十八日町) 地域医療、健康増進に尽力
- 吉田阿子** (本町) 歯科保健の向上に尽力
- 金子信雄** (長内町) 歯科保健の向上に尽力
- 小柳壽美子** (八日町) 歯科保健の向上に尽力
- 堀畑アサ** (田原町) 健康づくりの推進に尽力
- 小田せつ子** (長内町) 健康づくりの推進に尽力
- 金子秀子** (山形町) 健康づくりの推進に尽力
- 西美代子** (長内町) 健康づくりの推進に尽力
- 上神田正巳** (長内町) 地域防災の推進に尽力
- 外藤 博** (荒町) 防火意識の高揚に尽力
- 吉田 章** (中町) 防火意識の高揚に尽力
- 嶋守 博** (宇部町) 防火意識の高揚に尽力
- 大倉健正** (畑田) 防火意識の高揚に尽力
- 廣崎康一** (宇部町) 防火意識の高揚に尽力
- 伊道 操** (長内町) 防火意識の高揚に尽力
- 馬場ヒサ** (待浜町) 消防隊員の援助、育成に尽力
- 大向さみ子** (宇部町) 消防隊員の援助、育成に尽力
- 北川桂造** (川貴) 市政推進と地区組織を強化充実
- 浜坂四夫** (待浜町) 市政推進と地区組織を強化充実
- 森森武雄** (大川町) 市政推進と地区組織を強化充実
- 新屋清満** (川崎町) 市政推進、林業振興に尽力
- 角谷雄雄** (小久慈町) 市政推進、市有林の保護看守に尽力
- 吉山宗司** (宇部町) 市政推進、市有林の保護看守に尽力
- 藤 茂哉** (門前) 市政推進と地区組織を強化充実
- 高山修郎** (山形町) 市政推進、社会福祉向上に尽力
- 竹中瑞幸** (八日町) 市政推進と地区組織を強化充実
- 久慈ロータリークラブ** 社会福祉、国際交流活動に尽力
- 久慈ライオンズクラブ** 社会福祉活動に尽力
- 社団法人久慈青年会議所** 地域づくり、国際交流活動に尽力



久慈市市政施行5周年記念 市勢功労者表彰授与式

多大な功労に 敬意と感謝

市制施行5周年記念「市勢功労者表彰授与式」は6月27日、市内各所で開かれ、各分野で市勢の発展に力を尽くした34人・3団体(左表)を表彰し、その多大な功労に敬意と感謝を表しました。授与式には受賞者、市関係者、市議会議長など約150人が出席。東日本大震災の犠牲者に黙とうをさげた後、授与式が行われました。はじめに山内隆文市長が「受賞者の皆さん、多大な功労を認めたいと思います。市制施行5周年、そして東日本大震災を機に、さらさら市勢発展に努めてまいります。あいさつ、次に宮澤憲司市議会議長がお祝い述べた後、山内市長が受賞者一人一人に賞状と記念品を贈りました。受賞者を代表し、前市教育委員会委員の岩城紀一氏が「感謝ひとこと。受賞は長年にわたる関係者の皆さまの温かいご厚情のおかげと感謝いたします。本日、受賞に尽力してまいりました。お言葉を述べました。授与式は6月13日の市制施行5周年記念式典の中で行う予定でしたが、大震災の影響で延期。式典の規模を縮小し、今回、授与式のみを行いました。」



1/ 肩から背袋の中、詰められた授与式 2/ 賞状に賞状を受け取った、特別表彰受賞者の菊地文一氏。受賞者は、感謝状の表彰を受けています。 3/ 代表して謝辞を述べた、岩城紀一氏

琥珀の大?!展 9月4日(日)まで

琥珀と恐竜が一度に楽しめる体感型企画展。ぜひご来場ください。

久慈琥珀博物館 TEL 59-3831

ADVANCE 生産拡大へ移転を決定

各種モーター用部品などを製造する室電子工業株式会社と、長谷川川原川崎市、室至正社が、生産拡大と安全確保に向け、夏井町の岩手工場を長内町の久慈地区工業団地に新築移転することを決定。6月24日、移転と市による工場立地協定書調印式が行われ、関係者で記念撮影。

久慈地区振興局の立ち上げの下、市役所で開かれた協定書への調印後、室社長は「小さな開発に目を向けてもらい、大きな発展を感じています。責任を持ち、地域発展の一助として応援いたします」と意気込み、山内市長は「工業団地の立地は、地域にとって、この上ない喜びです。必ずや会社の成長に貢献できると確信しています」と立地決定に感謝しています。平成4年に操業開始した同社岩手工場は、東日本大震災の津波で被災、休業は早期に再開しましたが、より安全を確保するため、移転を決定しました。新工場は現在より規模を拡大、操業開始時(12月)目標として雇用人数を28人から28人に増やす予定です。

NPO サロン「たくきり」をNPOに認証 心身の健康づくりに意欲

平成18年6月から心身の健康づくりに取り組んできたボランティアチーム「たくきり」が法人格取得に向けて、新たにサロン「たくきり」(関合世代表)を本年1月10日に設立。申請を受けた市は「同団体を市内1番目の特定非営利活動法人(NPO)法人に認証することを決定し、7月11日、市役所で認証書交付式を行いました。」

関合世代表は「一人を助けるのは、人気がよく盛り合うことが、目標です。仲間がいてほしいです。会員同志の意思疎通を高め、これから活動を発展させていきたいです」と意欲を述べました。積極的に関わり、同団体の活動のさらなる活性化が期待されます。

PICKUP NEWS

REVIVE 復興対策担当大臣などと意見交換 声を大に支援訴え 三位一体で復興を

平野復興対策担当大臣と久慈市長、4市町議長との意見交換会は7月9日、市防災センターで開かれ、山内隆文市長などは、東日本大震災で大きな被害を受けた被災地の現状を訴え、復興・復興支援を国に強く要望しました。平野大臣は7月5日の大臣視察後、初の被災地訪問。津川祥吉市長、待浜町長、川崎町長のほか、各分野の職も訪れ、要望内容を聞き取りました。平野大臣は「被災地の声や声、被災地を復興させるために、力を尽くして、一日も早く復興を目指し、地域も、国、三位一体となって取り組んでまいります」とあいさつ。続いて、市町村長の要望と意見交換に移りました。

EXCHANGE 被災した仙台の中学校が教育旅行で久慈に 自然と人にふれ、心を元気に

仙台市の七田中学校(小川洋一校長・生徒595人)の2年生約200人は7月5日から7日まで、教育旅行で山形県を訪れました。当初、同校の教育旅行は5月の予定でしたが、7月11日の大地震で校舎が被害を受けたため来訪が延期されました。ため来訪した内坪博人(山形町)の学校教員を訪問し、授業をするという大変な状況の中、久慈を訪れてくれました。初日はスタアウォーキング。2日目はシラワワークインングを自然体験を行い、夜は民泊。最終日はバスで久慈市まで移動し、生体は自然や人の関わり方を学びました。2日目にシラワウォーキングを体験した早坂洋貴くん

「自然の遊びは初めて。楽しい。少し元気になった感じがします」と笑顔、内坪博人(山形町)の学校教員を訪問し、授業をするという大変な状況の中、久慈を訪れてくれました。初日はスタアウォーキング。2日目はシラワワークインングを自然体験を行い、夜は民泊。最終日はバスで久慈市まで移動し、生体は自然や人の関わり方を学びました。2日目にシラワウォーキングを体験した早坂洋貴くん

楽しみ体験 完成うれしい

取材の大変さ、写真撮影の楽しさと、たくさん学びました。楽しい体験でした!

主な内容

- P1-3 久慈市復興計画を策定
- P4-5 大盛況 久慈みなと福興祭

久慈市復興計画を策定

前進していくための羅針盤

新たな視点による 新たなまちづくりを進めます

市は7月22日、東日本大震災からの復興を進めていくための「久慈市復興計画」を策定しました。未曾有の大災害を乗り越えていくため、新たな視点に立ち、新たなまちづくりを進めていきます。今回は、復興を実現するための取り組みを盛り込んだ同計画の概要をお知らせします。(3頁まで)

図政策推進課 ☎ 52-2115

目標は新たな視点 新たなまちづくり

沿岸部を中心に甚大な被害を及ぼした東日本大震災。市は被災者を対象とした意向調査、意見交換会などを経て、7月22日、「久慈市復興計画」を策定しました。

復興計画は、壊滅的な被害から一日も早く立ち直り、希望を失わずに前進していくための、まちの羅針盤となるものです。単に被災前の状況を取り戻すのではなく、これまで以上の久慈市を築き上げるため、「新たな視点による新たなまちづくり」を目標に設定しました。

自由な発想と視点を持ち、被災者の生活や被災企業の再建支援、水産業の復興、防災面の強化などの取り組みを進

めます。また自然エネルギーやリサイクルエネルギーなども積極的に研究し、他地域にも貢献できるようなエネルギーの活用・供給拠点を目指していきます。

計画期間は10力年 段階に分け着実に

復興計画の期間は本年度から平成32年度までの10力年で、各種事業を段階的に着実に進めていくため、生活基盤の再生に取り組む「復旧期」、復興に取り組む「復興期」、新たな魅力と活力に満ちたまちを目指す「飛躍期」の3段階に分けました。(下図)

この復興計画を久慈市総合計画、国や県が策定する復興計画と連動させながら、復興の実現に向けて各種事業を推進していきます。

図 復興計画の期間と段階区分

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
段階	復旧期		復興期				飛躍期			

project 2 水産業を復興する

主な取り組み

- ① 水産施設等の再建
水産市場の早期復旧により、魚介類の流通体制の確保などを図ります。
- ② 漁船、漁具等の整備
漁船や漁具の早急な整備を支援。他市町村にも支援を働きかけます。
- ③ つくり育てる漁業の推進
養殖施設の復旧・整備のほか、就労漁業施設などの整備を支援します。
- ④ 漁港等の整備
漁港施設を早期に復旧し、安全で効率的な港湾に。再建を支援します。
- ⑤ 農林業の振興
新たな基幹作物の選定・振興のほか、大規模園芸団地等の整備を図ります。

project 1 生活を再建する

主な取り組み

- ① 生活支援の充実
各種被災世帯への意向調査の結果などを基に設定。同じ場所を基本とし、ハード対策とソフト対策を組み合わせ「多重防災型のまちづくり」を進めます。
- ② 雇用機会の創出と就業支援
国の事業を活用し就職機会を創出するほか、工場新設などを支援します。
- ③ 企業等への再建支援
被災した事業所や工場の再建投資や修繕などの支援をします。
- ④ 内発型産業の振興
地域資源を活用した起業や商品開発などで、内発型産業の創出を図ります。
- ⑤ 保健、医療、福祉の充実
相談や定期的な訪問で、被災者のほか、児童などの心身ケアをします。

まちづくりの土地利用方針

基本的な方向

- ① 震災前と同じ場所が基本
被災世帯への意向調査の結果などを基に設定。同じ場所を基本とし、ハード対策とソフト対策を組み合わせ「多重防災型のまちづくり」を進めます。
- ② 津波防災施設の整備を進める
施設整備を早急に進め、安全・安心なまちづくりを進めます。
- ③ ソフト対策を進める
防災教育や津波避難訓練など、ソフト面の充実を計ります。
- ④ 住宅再建への支援
被災住宅の再建を、各種支援制度と連携を図りながら支援していきます。

土地利用方針とプロジェクトの概要

project 5 再生可能エネルギー等に取り組み

主な取り組み

- ① 再生可能エネルギー等活用への取り組み
独立電源として有効な太陽光発電の設置を支援します。太陽光発電や洋上風力発電のほか、森林資源などを排出される廃棄物を利用したバイオマス発電などの導入も検討します。
- ② 啓発事業の推進
EV車や充電施設の普及促進のほか、再生可能エネルギー推進に対する意識啓発に努めます。
- ③ 研究機関等の連携
大規模な基礎施設の誘致等による電力供給拠点の形成や、新しいエネルギーについても検討します。

project 4 災害に強いまちづくりを進める

主な取り組み

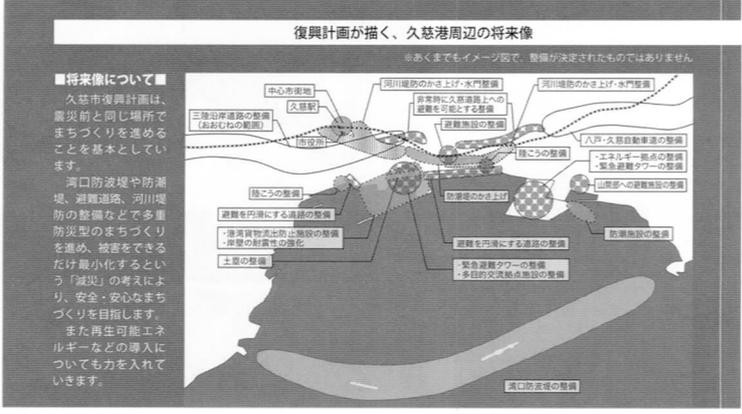
- ① 復興道路等の整備
小戸・久慈自動車道、三陸北縦貫道路などの駅前地区を早急に再建します。
- ② 港口防波堤の整備
早期完成を国や県に要望します。
- ③ 防波堤、水門等の整備
早期に復旧し、防波堤のかさ上げや水門の遠隔操作化なども推進します。
- ④ 河川防波堤の整備
- ⑤ 防災施設の整備
- ⑥ 久慈港の整備
- ⑦ 道路網の整備
- ⑧ 地域住民意識の向上
- ⑨ 防災教育等のソフト面の充実
- ⑩ 災害記録の保存・検証・継承

project 3 交流人口を拡大する

主な取り組み

- ① 生産者と消費者との交流促進
消費者に安全・安心な食材をPRします。生活体験や交流の機会を提供し、移住・定住を促進します。
- ② 体験型教育旅行等の推進
豊かな地域資源を活用した自然体験により、首都圏などからの教育旅行等を誘致し、交流人口の拡大に努めます。
- ③ 観光産業の振興
地下水族科学館などの観光施設の整備に努めます。町内観光と連携し積極的にPRを図るほか、復興の動きと連動して観光客の誘致に努めます。

3 | 広報くじNo131



復興へ5プロジェクト 多重防災型のまち目指す

復興計画の体系

久慈市総合計画 → 調整 → 久慈市復興計画

【目標】新たな視点による新たなまちづくり

5つのプロジェクトで事業を推進

1. 生活を再建する
2. 水産業を復興する
3. 交流人口を拡大する
4. 災害に強いまちづくりを進める
5. 再生可能エネルギー等に取り組み

復興計画の推進に全力で

「復興への重点設定」

また復興計画では、生活の再建や水産業復興など、まの復興実現に向けた5つのプロジェクトを設定。今後、重点的に推進することになり、重点的取り組みを整理しました。

市は国や県に要望や要請もしながら、事業の推進に全力を尽くしてまいります。

市全体の力で復興と飛躍を実現するため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

復興への重点設定

また復興計画では、生活の再建や水産業復興など、まの復興実現に向けた5つのプロジェクトを設定。今後、重点的に推進することになり、重点的取り組みを整理しました。

市は国や県に要望や要請もしながら、事業の推進に全力を尽くしてまいります。

市全体の力で復興と飛躍を実現するため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

3 | 広報くじNo131

皆さんの意見聞かせてください

市長への手紙

市は、まちづくりに対する皆さんの意見を聞き、市の仕事に生かしていくため「市長への手紙」を行っています。

皆さんから寄せいただいた手紙は、市長が直接開封した後、市役所の各担当課で調査、検討してご本人に回答します。市役所への意見や疑問を聞かせてください。皆さんからの手紙をお待ちしています。

▶ 用紙：本号にはさみこんである用紙をお使いください。用紙は市役所、山形総合支所、各支所にもあります

▶ 記入内容：市の仕事に対する意見や疑問など、回答に必要ですので、住所、氏名、電話番号も記入ください

▶ 投書方法：①郵送（切手は不要）②投書箱（市役所、山形総合支所、各支所に備付けてあります）

☎まちづくり振興課 ☎ 52 - 2116

福興祭

7/24 in 舟渡海水浴場

7/23 in 北待浜野営場・待浜海水浴プール

久慈市と福興祭「久慈みなど」夏まつり実行委員会主催。7月23日と24日、待浜野営場を会場に開催。海に向かう来場者全員で熱く盛り上げた後、7月24日は「海が大好きです」をテーマに開催されました。日本海震災を被災した山形、宮城、福島、秋田、岩手、青森の5県と、同日、多くの来場者と報道陣が訪れました。

23日は、海水プールに隣接する北待浜野営場を会場に開催。海に向かう来場者全員で熱く盛り上げた後、7月24日は「海が大好きです」をテーマに開催されました。日本海震災を被災した山形、宮城、福島、秋田、岩手、青森の5県と、同日、多くの来場者と報道陣が訪れました。

「福興祭」は、市民の絆を深め、復興を祈る場として、毎年開催されています。今年も多くの来場者で賑わいました。

8/21 整理券配布開始

（公社）落語芸術協会と市教委の主催で、東日本大震災復興支援「芸協前奇席」を開催します。入場は無料ですが整理券が必要です。

▶ 日時：10月3日（月）14時30分開演

▶ 会場：アンバーホール

▶ 出演者：芸協会長・桂歌丸（写真）、桂小文治（八戸市出身）、嘩ナナ（一関市出身）、桂枝太郎（旧衣川村出身）ほか

▶ 整理券：8月21日（日）から、アンバーホール、おらーるなどで配布します

☎アンバーホール ☎ 52 - 2700

海が大好きです！

釣りもできるし、泳いだりして遊べるし、海が大好きです！今日は波が高く泳げなかったけど、海水は冷たく気持ちよかったです！今度来たときは本気で泳ぎたいです！

● 舟渡海水浴場で INTERVIEW ●

● 待浜海水浴プールで INTERVIEW ●

やっぱり海がいい！

ちょっと寒くて、水も冷たかったけど、みんなで遊べて超楽しいです！海水プールは学校のプールよりも広くて思い切り遊べます！やっぱり海がいいなあ！

5 | 広報くじNo131

163



【募集】 市長への手紙

皆さんの意見聞かせてください

市は、まちづくりに対する皆さんの意見を聞き、市の仕事に生かしていくため「市長への手紙」を行っています。

皆さんからお寄せいただいた手紙は、市長が直接開封した後、市役所の各担当課で調査、検討してご本人に回答します。市役所への意見や疑問を聞かせてください。皆さんからの手紙をお待ちしています。

▶用紙…本号にはさみこんである用紙をお使いください。用紙は市役所、山形総合支所、各支所にもあります

▶記入内容…市の仕事に対する意見や疑問など。回答する際に必要ですので、住所、氏名、電話番号も記入ください

▶投書方法…①郵送（切手は不要）②投書箱（市役所、山形総合支所、各支所に備えてあります）

☎まちづくり振興課 ☎52-2116

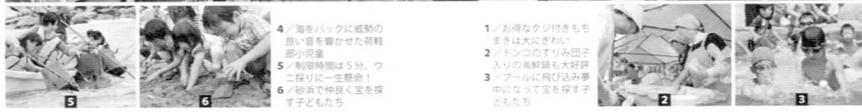
【開催】 復興支援「芸協出前寄席」

8/21 整理券配布開始



（公社）落語芸術協会と市教委の主催で、東日本大震災復興支援「芸協出前寄席」を開催します。入場は無料ですが整理券が必要です。

▶日時…10月3日（月）14時30分開演
▶会場…アンバーホール
▶出演者…芸協会長・桂歌丸（写真）、桂小文治（八戸市出身）、職ナナ（一関市出身）、桂枝太郎（旧衣川村出身）ほか
▶整理券…8月21日（日）から、アンバーホール、おらほーるなどで配布します
☎アンバーホール ☎52-2700



7/24 in 舟渡海水浴場

7/23 in 北待浜野営場・待浜岩場海水プール

とあいさつ。続いて祭開催に全面的に協力した北待浜野営場管理組合の船渡博組合長が「津波で甚大な被害を受けましたが、みんなでやれば何でもできる」と確信しました。今日はゆつくり楽しんでもいい」と来場者を歓迎しました。その後は、待浜小学校児童によるよさこいソーランや、くじ付きのもちまき、海水プールでの宝探しほかミニ競り市なども実施。待浜漁業生産部もホヤなどを販売し、祭を盛り上げました。

部小学校児童が荷軽部太鼓、久慈小学校児童がよさこいソーランを披露。砂浜では宝探しと潮干狩り、海水浴場の横では、もちまきの特典「ウツノ探り」も行われ、にぎやかな歓声がこぼれました。また二子町の特別出店や、久慈まめ汁などB級ご当地グルメの販売も、盛り空というあいにくの天気ながら、最後までにぎわいが続きました。震災で大打撃を受けた浜に、祭が呼び込んだ活気と賑やかな賑しさを海がもたらした。来場者は海が大好きだと喜びを改めて実感し、復興を願う気持ちを強くしていました。

●舟渡海水浴場で INTERVIEW ●

海が大好きです！

釣りもできるし、泳いだりして遊べるし、海が大好きです！今日は波が高くて泳げなかったけど、海水は冷たくて気持ちよかったです！今度来たときは本気で泳ぎたいです！



船渡海水浴場。船渡小学校の児童たち。左から、船渡小学校の児童たち。左から、船渡小学校の児童たち。

久慈市と福興祭（久慈市など・夏まつり実行委員会主催）は7月23日と24日、待浜岩場海水プールと舟渡海水浴場の海開きに合わせて開催。今年、海開きを遅えたのは東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島のみならず、多くの来場者と報道陣が訪れました。

23日は、海水プールに隣接する北待浜野営場を主会場に開催。海に向かって来場者全員で黙とうをささげた後に七レモニーが聞かれました。はじめに同実行委の細田稔男会長は「久慈市の海は安全・安心です。海を楽しみ、にぎわいをつくるのが復興につながると思います」

●待浜岩場海水プールで INTERVIEW ●

やっぱり海がいい！

ちょっと寒くて、水温も冷たかったけど、みんなで遊べて超楽しいです！海水プールは学校のプールよりも広くて思い切り遊べます！ やっぱり海がいいなあ！



待浜岩場海水プール。待浜岩場海水プールの児童たち。左から、待浜岩場海水プールの児童たち。

大盛況
久慈市など
福興祭



広報

くじ

9

2011
月1日号
No.132

復興祈る まちに響く

復興への祈りを込めたヤマセあきんど祭り第20回記念太鼓フェスティバルは8月6日、中心市街地で開催。大津波で太鼓などの保管場所兼稽古場が流された久慈備前太鼓も出演し、威勢よく太鼓を響かせ、復興に向けた意気込みを表しました(関連記事28)

再起への夏

P 3-9

久慈とまめぶ全国に発信!!

P 12-13

市議選 市民の代表 24人が決定

P 18-19



1/稽古は真剣勝負。力あふれる力士たちは見学者の指導をきき付けに
2/訪問に大喜び。力士の姿が見えたとたん、真・明るい表情に
3/ちゃんと教室ではゲームも。遊んで笑って大盛り上がり

1/心を込めて奏でられる美しい音色に、聴衆は大きな拍手
2/公演を待ちに待った多くの人が館内から溢れました
3/勝利を収めた総出演コンサート。空がやすみらいえん

N響 復興支援コンサート

復興願って演奏 皆の思いが共鳴

東日本大震災の影響で延期されていた「N響メンバート」のコンサート「N響アンバーホール音楽の贈物」は8月9日、アンバーホールで開かれました。市文化会館の永峰高志芸術監督・館長（N響K&A交響楽団第2ヴァイオリン主奏者）は、同コンサートの目的を復興支援に位置づけ、出演料の一部を義援金に充てたほか、やませ上風船と野田村で訪問コンサートも実施。音楽でまことに元気を送りました。

やませ上風船では、川柳作家のやすみりえさんが約20人に川柳を指導。パゾオルガンの演奏も行い、音楽と川柳による癒やしの時を提供しました。県内外から約600人が訪れたコンサート本番では、永峰芸術監督など20人の一流演奏家が美しい旋律を披露。まことの復興を願う音色が何度もホールに響きわたりました。最後は楽団の演奏に合わせて場内全員で「ふるさと」を合唱。皆で復興を願い、ふるさとへの思いを共鳴させ、コンサートは思いを閉じました。

久慈が実家のお母さんと楽壇。迫力があって、素敵な演奏でした。楽器の説明も楽しかったです。来て良かったです。

若林 蓮（小、津南町）

久慈が実家のお母さんと楽壇。迫力があって、素敵な演奏でした。楽器の説明も楽しかったです。来て良かったです。

若林 蓮（小、津南町）

大相撲春日野部屋夏合宿 交流で寄り添い 相撲で元気を

山形町出身の二十山親方（本名・各地）が所属する春日野部屋は、山形町を拠点に8月15日から22日までの日程で夏合宿を行いました。15日には、地域コミュニティ支援事業を活用して合宿受け入れを進めた実行委員会から山形老人福祉センターで歓迎交流会を開催。春日野親方は「日本の伝統文化である相撲を通して皆さんを元気づけられるような一生涯命取り組みませ」と力を込めました。

その言葉通り同部屋の力士たちは、16日早朝から気合いの入った稽古を行い、一般に公開。18日は久慈川河川敷。20日は野田村でも稽古をし、力強くたくましい姿を見せて見学者を元気づけました。稽古終了後は連日、市内や野田町、野田村などの福祉施設を訪問。19日は高齢者対象に「あちんこ教室」も開催。21日は半開眼牛大会と方子ごんまつりにも参加するなど、積極的な交流で、住民の心寄り添い続けました。

山形を体にし、力士たちは相撲を通して、まことに元気を与えてくれました。

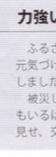
力と優しさ 私まで元気

力士と交流。重宝ぶれて感じて力強さを優しさを感じたよ。本当に楽しい時間。何だか元気になった気がするね。

刈森 龍男（小、津南町）

稽古を見学。大きな体と熱い様子にうきうきする力強さを優しさを感じました。私まで元気をもらった気がします。

十門 地由 貴志（小、津南町）



力強い姿と交流で元気づけたい 二十山親方（本名・各地、山形町出身）

ふるさとの復興を支援し、皆さんを元気づけたいという一心で今回も訪問しました。被災した人の中には相撲が好きなお人もいます。稽古で力士の力強い姿を見せ、交流し、元気づけることが私たちにできることだと思っています。また皆さんとふれあう中で、部屋の力士たちも多くの学びを感じたと思います。これからも機会をみて訪問し、皆さんに力士たちの元気で力強い姿をお見せしたいと思っています。

音楽の効果で「元気の連鎖」を 永峰高志 市文化会館芸術監督・館長

大津波による被害の大きさを実感し、私もメンバートも声を失いました。音楽には勇気や元気を与え、人を癒やす効果があると思っています。直接、被災していない人でも音楽を聴いて元気になってくれれば、周りの人に元気を与えることができそうです。「元気の連鎖」が広がっていくことを祈っています。今後、芸術監督として、皆さんが楽しめる本当に良い音楽の提供を目指します。久慈市を、良い音楽が楽しめる文化が豊かなまちにしていきたいです。



東日本大震災犠牲者追悼供養 供養と再起の火 思いはせ、祈りささぐ

忘れはならない

あの日、5月12日。あの恐ろしい大震災から約5か月。このまちは少しづつ確実に、復興への道を進んでいます。しかし、どんなに復興が進んでも大きな犠牲があったことを忘れてはなりません。全国を2万人もの死者・行方不明者が出る中、助かったわたしたちは、震災を忘れて、これからどうやって前に進むべきではないでしょうか。そして、もう犠牲を出さなくて済むように、災害に備え続けるべきではないでしょうか。被災後、初めて迎えた夏に「供養と再起の火」と題して、思いを込めて、祈りを込めて、天に向かっ

火は、天へと高く
迎えた精霊を送り出す「送り火」。久慈市灯祭、久慈納涼花火大会が開かれた8月16日、久慈川河口では東日本大震災犠牲者追悼供養が行われました。

主催したのは同実行委員会「一部実行委員、大震災で犠牲になった人や、その遺族のために」と、実行委員である有志者が中心となって準備を進めました。

久慈市と犠牲者の輪の間に、開くべき深き溝を、会場は海軍基地に最近、鎮魂、送り火、迎えるべの3つの意味を込めて火を入る。高さ4.5メートル、大小3つのやぐらを立てました。

日が暮れ、辺りが暗くなるにつれて、会場には花などが飾られた人形が、午後7時、遺族など約80人が集い、追悼供養が始まりました。

祝詞とともに手を合わせ、静かに祈りをささげる参加者。その後、日當委員長は中央に配置された大きなやぐらに火を入れました。

燃え盛るやぐらを前に、日當委員長は「この追悼供養は犠牲者の冥福とともに、復興への祈りをささげるためです。犠牲になられた人々のために、手を合わせてほしいと思います」と思いを述べました。

それを見守り、祈りをささげる火を見守り、祈りをささげる参加者。犠牲者追悼供養、遺族や被災者、そしてまちの再立ちに向けた火は、天へと高く燃え上がりました。

天に向かっ

追悼供養で、天に向かっ

手を合わせ祈りをささげる参加者 やぐらに火を入れた日當委員長 海に向かうように立てられたやぐら

Q&A

久慈ひまわり基金 法律事務所 011-1818 岩手県大判士

Q. 甲斐金が差し押さえられる可能性は?

震災で父親を亡くし、災害甲斐金を申請し、しばらくしたら入金されることになっていきます。しかし父親には借金がありました。借金も相続されると聞きましたが、父親の債権者に災害甲斐金を差し押さえられたりしないでしょうか。

A. 甲斐金や義理金は差押禁止の財産です

東日本大震災に伴って支給された災害甲斐金や被災者生活再建支援金、義理金は差押禁止にする内容の法律が成立しました。これにより債権者が甲斐金などを差し押さえることはできなくなります。

また、その他の財産についても、一定の文言が記された公正証書や、裁判所で作成された判決、和解調書などがなければ差し押さえることはできません。お父様の債権者から請求が来たときは、集らずに専門家に相談してください。本当に自分が支払わなければならない借金なのかどうか、相続放棄(※)や法的債務整理などの手段がとれないかどうか、いろいろと考えてみましょう。

※相続放棄の受付期間は11月まで延長されています

TOPICS 熱い支援に感謝です



岩手で花を受け取る山田市長(左)と感謝状を贈呈する山内市長(右)

【自衛隊に感謝の花束】 陸上自衛隊岩手駐屯地の第9戦車大隊・山田大(大佐)は8月1日、防衛省へ感謝状を送り、7月26日災害派遣が終了したことに伴って、感謝状と花束を山内市長に贈呈した。

【函館市などに感謝状】 久慈市の企業に大きな希望を与えた2.8の函館港開港150周年を記念して、函館市や同市の企業などに感謝の気持ちを伝えるため、山内隆文市長と市議協の幹部(副議長など)6人が7月25日、2日の日

程で函館市を訪問しました。函館市役所や市内にある5つの漁協など8ヶ所を訪ね、近況を報告やお礼のあいさつ、函館市の支援者や企業、函館市と市議協の代表、山内市長と市議協の幹部(副議長など)6人が7月25日、2日の日

程で函館市を訪問しました。函館市役所や市内にある5つの漁協など8ヶ所を訪ね、近況を報告やお礼のあいさつ、函館市の支援者や企業、函館市と市議協の代表、山内市長と市議協の幹部(副議長など)6人が7月25日、2日の日

INFORMATION

被災した労働者に労災保険を給付します

東日本大震災で、仕事中や仕事の手続きなどで被害にあった場合、被災した労働者本人が遺族は、労災保険による給付を受けることができます。申請方法など、詳しくはお問い合わせください。

法務局などで無料電話相談を実施中

■法務局の無料電話相談 ☎0120-227-746 ▶内容: 権利証や印鑑の紛失、建物の倒壊、戸籍関係など ▶受付時間: ①平日8時30分～17時15分 ②土日祝日9時～16時

見舞金の申請は9月中に忘れずに

8月10日現在、久慈市に寄せられた見舞金77万4千円、706万9千750円。市は、この見舞金を見舞金として(久慈市災害見舞金)を被災者に支給しています。

元氣ステッカーで支援

久慈商工会議所青年部(田中幹也会長)は8月3日、復興支援ステッカー「元氣を三陸に!」の売上金30万円を義理金として市に寄付。山内隆文市長に目録を手渡した田中会長は「被災者を継続的に支援していく活動が広がってほ

被災者への救援支援物資、義理金、市への寄付金

熱い支援に感謝

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、多くの救援支援物資や義理金、市への寄付金が、全国各地から寄せられました。7月11日～8月10日までに受け付けた分は次のとおりです。(敬称略) 熱い支援ありがとうございます。

- 【義理金】 岩手銀行久慈中央支店 普通預金 2057188 久慈市地震災害義理金 入金金額に下記まで連絡をお願いします 社会福祉課 ☎52-2119 【現金】 市役所で受け付け中

- 【企業・団体】 ヴェルコリーヌ 【個人】 ヴェルコリーヌ 【企業・団体】 ヴェルコリーヌ 【個人】 ヴェルコリーヌ 【企業・団体】 ヴェルコリーヌ 【個人】 ヴェルコリーヌ



山内市長に目録を手渡す田中会長(右)

しいです」と思いを込めました。同団体は被災者支援の輪を広げようとステッカー(1枚300円)を作成し、6月から販売。7月までに千枚を売り上げ、現在は増刷分を久慈商工会議所で販売しています。販売期間は10月まで。購入希望者は久慈商工会議所 ☎52-1000) にお問い合わせください。



復興と被災者支援の思いが込められたステッカー

やっぱり海が好き! 舟渡に歓声



舟渡に歓声

東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島3県で唯一開設した舟渡海水浴場。震災の影響で利用者が中心に親子などが訪れ、今年も賑わいをみせました。



行政相談委員 大沢リツ子さん 岩手事務所から感謝状

行政相談委員の大沢リツ子さん(写真)が8月5日、岩手行政評価事務所長感謝状を受賞。大沢さんは「今後も最前線から感謝状を届けていきます」と、活動に意欲をみせています。

第3回久慈復興会議で方針を策定 一体となり復興目指す



東日本大震災から復興した久慈港の復旧・復興に向け、話し合う第3回久慈復興会議は8月4日、市役所で開催。県、市と連携を深め、復興の方向性を確認し合う出席者

大森氏と東高生が水族館の壁画制作 海描いて雰囲気明るく



大川町出身の洋画家、大森良一さん(写真)と久慈東高美術部は、8月1日から制作がスタートしました。20日は開校式で、左側に飾る横5.5m、縦3.1mの壁画を制作。美術部員は大森さんの指導を受けながら、魚や海の生き物を描きました。

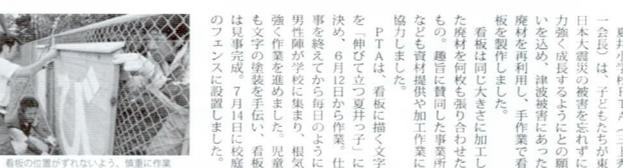
PICKUP NEWS

平成24年度に向けた県への重点事項要望 復興支援など17項目 実現へ訴え



市と市議協は7月25日、市の重要施策の実現と課題解決に向けて、県に対する平成24年度重点事項要望を市役所で開きました。

SCHOOL 夏井小P.T.A.が津波被害の廃材利用し看板製作 大きくたくましく 成長の願い込め



夏井小学校P.T.A.(三上秀一会長)は、子どもたちが東日本大震災の被害を忘れずに、力強い成長を遂げようという願いを込め、津波被害にあった廃材を再利用し、手作りで看板を製作しました。

忘れずに申請ください

9
15号

広報 くじ

平成 23 年 (2011 年) No. 133
(ホームページアドレス)
http://www.city.kuji.iwate.jp/

久慈市 災害見舞金

期限間近!
9月中旬に申請を

社会福祉課
☎ 52 - 2119

久慈市災害見舞金の申請期限は9月30日(金)までです。10月以降は受け付けできませんので、忘れずに申請してください。

※9月末までに申請した人を対象に、久慈市に寄せられた義援金を精算して見舞金を配分します

▼申請受付日時：9月30日(金)までの平日9時～17時

▼申請受付場所：東日本大震災被災者総合相談所(市役所東側)

▼申請に必要なもの：①印鑑(認め印) ②預金通帳 ③証明書類(被害内容によって異なります。詳しくはお問い合わせください)

住宅被害 見舞金

9月24日(土)
午前中に受付

社会福祉課
☎ 52 - 2119

(財)台湾仏教慈濟基金会では、次の被害世帯を対象に見舞金を支給します。

▼支給受付日時：9月24日(土) 9時～12時

▼受付場所：東日本大震災被災者総合相談所(市役所東側)

▼対象：3月11日時点で久慈市に在住し、住んでいた住宅が全壊・大規模半壊・半壊となった世帯

▼支給額：①1人世帯3万円 ②2～3人世帯5万円 ③4人以上世帯7万円

▼申請に必要なもの：①り災証明書 ②身分証明書 ③印鑑 ※ご家族(一親等)以外の方が申請する場合は、委任状が必要です

地震及び 津波義援金

交付対象が
拡大されました

社会福祉課
☎ 52 - 2119

日本赤十字社や県などに寄せられた義援金を基に配分している「東北地方太平洋沖地震及び津波義援金」の交付対象が拡大。住宅被害については配分金額も加算されました。今回、新たに対象になった人や第1次配分金の交付申請をしていない人は東日本大震災被災者総合相談所(市役所東側)で申請してください。

※すでに交付を受けている人は申請不要です

▼交付対象と配分金額：下表のとおり。今回、次の人が交付対象に追加されました

①被害住宅・複数の世帯主
同じ住宅に複数世帯が住民登録していた場合は、各世帯主に義援金を交付します(これまで代表の1世帯主のみ、義援金を交付していました)

②入所している社会福祉施設などが被害を受けた人

義援金の交付対象	第1次配分金額	第2次配分金額	合計額
死亡または行方不明	1人あたり 50万円	1人あたり 94万7千円 ※今回の追加交付13万2千円	1人あたり 144万7千円
【複数世帯も対象】 居住している住宅が全壊または全焼	1戸あたり 50万円	1戸あたり 94万7千円 ※今回の追加交付13万2千円	1戸あたり 144万7千円
【複数世帯も対象】 居住している住宅が大規模半壊、半壊または半焼	1戸あたり 25万円	1戸あたり 60万円 ※今回の追加交付6万6千円	1戸あたり 85万円
【新規対象】 入所している社会福祉施設などが全壊または全焼	1人あたり 35万円	1人あたり 69万4千円	1人あたり 104万4千円
【新規対象】 入所している社会福祉施設などが半壊または半焼	1人あたり 18万円	1人あたり 34万7千円	1人あたり 52万7千円

広報くじ 10

2011
1月号
No.134

あふれる情熱 熱気で包む これが久慈の底力

9月15日の前夜祭から18日までの4日間、復興を祈って盛り上げ、皆に元気をと盛大に開かれた久慈秋まつり。関係者のあふれる情熱と、熱気に包まれたまち。その姿から感じられたのは、震災にも屈しない久慈の底力でした（関連記事2～5頁）

久慈秋まつり

P 2—5

地デジ化期限は来年3月!!

P 16—17

向き合ってくつなぐ

P 18—21



久慈秋まつり
底力

大きな被害を受けた久慈郡
被災した本宅のまちなかにも
あふれる笑顔を見せました

もって元氣と盛り上げを。まち
と観客をたいに湧かせたみこし組

中日の観衆を大パレードでは美し踊りや太鼓の音色が、まちを彩りました

大人も子どももみんな
あついで、まちを盛り上げました

山車小屋の被災を乗り越え、見事な山車を披露した「に組」。打ち鳴らす太鼓の音は天にこだました

治療部を中心に、被災後被害をばし倍日本大震災、まちも人も、苦しむ大変化してきたからと、まつり後に立ち上がりました。

久慈秋まつりは9月15日から18日までの4日間、中心市街地で開催。震災直後は開催が中止かできず、元氣をばし、まちを盛り上げ、元氣をばしえるために、最終的に開催が決定しました。

復興への祈りを込め、三陸に元氣を！をテーマに製作された8名の勇壮な山車。威勢のいい掛け声とともに、まちを練り歩いたみこし組。流し踊りや太鼓の音色でもちを移した幸三太鼓パレード。関係する全の人が情熱にあふれ、生き生きとした表情で、まちを盛り上げました。

山車小屋が被災した「に組」、震災で大変被害を受けた久慈海岸のみこし組「源宝心色」も参加し、しさを印象づけ、見る人に勇氣と感動を与えました。

17日の中日と、18日のお祭り出陣にもかわらず、最後まで盛り上がり続けた秋まつりは庄巻。そこから感じられたのは、震災にも屈しない久慈の底力でした。

治療部を中心に、被災後被害をばし倍日本大震災、まちも人も、苦しむ大変化してきたからと、まつり後に立ち上がりました。

久慈秋まつりは9月15日から18日までの4日間、中心市街地で開催。震災直後は開催が中止かできず、元氣をばし、まちを盛り上げ、元氣をばしえるために、最終的に開催が決定しました。

見事な山車が勢ぞろいした前夜祭。夜空に映える山車の美しさに、まつり関係者も観客も歓喜しました

平成 23 年度岩手県市町村広報コンクール写真部組写真第3位



この元氣と笑顔があれば
きっと、久慈は大丈夫
苦しく厳しい状況も
きっと、みんな
乗り越えられる！



まことに、人に、
元氣を与えた秋まつり



特に、「に組」は山車小屋が被災し、被災した本宅のまちなかにもあふれる笑顔を見せました

盛り上げに一致団結
開催が中止か。
東日本大震災で大きく揺らいた久慈秋まつり、治療部を中心に、大津波により被災した爪あしが残る中、震災直後は開催が中止かできず、元氣をばし、まちを盛り上げ、元氣をばしえるために、最終的に開催が決定しました。

「に組」に元氣を！を統一テーマに掲げ、一致団結し、製作に取り掛かりました。

だからこそ、まちを盛り上げ、元氣をばし、まちを盛り上げるために、最終的に開催が決定しました。各山車組では三陸に元氣を！を統一テーマに掲げ、一致団結し、製作に取り掛かりました。

久慈秋まつり、治療部を中心に、大津波により被災した爪あしが残る中、震災直後は開催が中止かできず、元氣をばし、まちを盛り上げ、元氣をばしえるために、最終的に開催が決定しました。

「に組」に元氣を！を統一テーマに掲げ、一致団結し、製作に取り掛かりました。





理解深め 避難賢う

9月13日、長内小学校で津波防災出前講座を開催。東北広域振興局の職員がスライドを使い、津波の威力や避難方法などを説明しました。受講した4年生は皆、真剣な表情。津波の特徴と幸さに理解を深め、「すぐに避難」を誓っていました。



明るい未来と夢を

パナソニックキッズスクール被災地支援プロジェクト「きつとわらえる2011」は9月13日、久慈小学校で開催されました。児童は明るい未来を想像しながらメッセージ映像を作成。同日は滝川クリステルさんも訪れ、夢の大切さを児童に優しく語りました。



迫力の試合に興奮!

復興支援プロジェクト「みちのくプロレス」は9月13日、久慈小学校で開催。児童はプロレス教室などで選手と大いにふれあいました。待望の試合が始まると児童の興奮は最高潮。間近で繰り広げられる迫力の肉弾戦に大きな声援を送っていました。



**被災者に
支援物資を
配布します**

10/9(日)配布

県では下記より、全国各
地から届けられた支援物資の
配布を行います。

配布対象は、震災当日に久
慈市で被災した人です。希望
する人は各自、物資を持ち帰
るための袋を持参して、
ご来場ください。

※配布当日の会場は、大変
混雑することが予想されま
す。自家用でお越しの際は
は、会場付近の交通の妨げ
にならないよう、ご注意く
ださい。

▼**配布日時**
10月9日(日)
11時～15時

※雨天決行

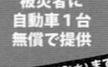
※物資がなくなり次第終了
します。

▼**配布場所**
市役所正面駐車場

▼**配布対象**
震災当日、久慈市で被災
した人(被災の程度は問
いません)

▼**支給する品**
水、毛布、衣類、日用品
雑貨など

☎県民くらしの安全課
☎019-629-5322



**被災者に
自動車1台
無償で提供**

10/12(水)まで

次の人を対象に、自動車1
台を無償で提供します。応募
多数の場合は、抽選で提供者
を決定します。

▼**対象**
自動車被災した人のうち、
自動車はまだ購入していな
い1人暮らしの方

▼**申込方法**
10月12日(水)までに、
申込書を社会福祉課(市
役所1階)に提出してく
ださい。

▼**申込書**
申込書は社会福祉課の窓
口に備え付けてあります。
希望者には郵送で書類を
お送りしますので、ご連
絡ください。

☎社会福祉課
☎52-2119



**被災者は
印紙税が
無料に**

10/12(水)まで

東日本大震災で被害を受
けた人が作成する次の契約
書については、特例で印紙
税が非課税になる場合があ
ります。

また、誤って印紙を貼つ
た場合でも還付できること
がありますので、詳しくは
お問い合わせください。

▼**対象となる契約書の種類**
①消費貸借に関するもの
(金銭借付書など)

②不動産譲渡に関するもの

③建設工事の請負に関する
もの

☎久慈税務署
☎53-4161

8月11日～9月10日受付分

被災者への救援支援物資、義援金、市への寄付金

熱い支援感謝

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、多くの救援支援物資や義援金、市への寄付金が、全国各地から寄せられました。8月11日～9月10日まで受け付けた分は次のとおりです。(敬称略) 熱い支援ありがとうございます。

義援金

【振込】
若手銀行久慈中央支店
普通預金 2057188
久慈市地震災害義援金
※入金前記下記まで
連絡をお願いします
社会福祉課 ☎52-2119

【現金】
市役所で受け付け中

救援支援物資

【東京都】▼(株)花王/保阪
【千葉県】▼静岡県(和歌
山県)▼和歌山県

【北海道】▼国立真司(札幌
市)▼ななくぼろし(札幌
市)▼日本自治体労働組合連
合▼アンバーホール館長・水崎
高志▼五丁目兄弟一同▼五味秀
春▼佐々木辰雄・寛子▼四角剛
敏子(神奈川県)▼神林洋行新
潟県)▼坂本一彦(愛知県)
山田厚子(大阪府)▼田保孝子
【その他】▼匿名2件

【企業・団体】▼エルゴリス
▼協同組合久慈組産店(株)▼
地酒愛好会▼久慈市体育指導
委員協議会▼久慈市改良普及
センター親睦会一同▼若井小学

校が1人一同▼長土沢町内会
【その他】▼匿名5件(市内外)

【海外】
▼Cuba, Vaud Swi
tzerland(スイス、ク
ジ町)

▼口座等

▼ウガシ・ミユキ・オミナ
ミ・サキコ▼オダ・ユカ▼カ
ノ・ヒサオ▼キフキ▼キヨ
カワ▼コウ▼ササキ▼シバ
バ▼ヨウイチ▼シンゴ▼シバ
ヒロキ▼タテハタ▼ユリ▼タ
ナカ▼ケイ▼チバケン▼イシ
イ▼タケヒコ▼ナガサマ▼マ
ヒロ▼ハナリ▼シユン、ハヤシ
シオ▼前田美幸▼マワ▼ケン
イチ▼ムラタ▼ヨウコ▼モリ
タ▼レイノスケ

【その他】▼匿名1件

▼千葉県▼大会良三▼はまな
ずの会▼村上均(東京都)▼
【株】タムラ▼シダックス(株)
【神奈川県】▼川代百合子(長
野県)▼(有)信濃レジン▼長
野県レジン230安全衛生協
会(和歌山県)▼生田勇男(大
阪府)▼辻本晴

【市災害義援金に
皆さんのご協力を

市では、久慈市地震災害
義援金を募集しています。
この義援金は、東日本大
震災で被災した久慈市の皆
さんに分配されます。ご協
力をお願いします。

▼**受付期間**
平成24年3月31日まで

▼**受付場所(現金)**
①社会福祉課(市役所1階)
②山形総合支所

③各支所(平部、伊波山、山
形)

④現金預入：宛先はこちら
〒028-8030
久慈市川崎町1番1号
久慈市役所社会福祉課

※表に「救助用郵便」と明記
された郵便振込(金融機関名や
口座番号などは、上の枠
「義援金」のとおりです。
※9月10日現在、久慈市に寄
せられた義援金は824件、
735万9976.3円です。
☎社会福祉課 ☎52-2119

全国の仲間とクワガタで支援



仕事の傍らオオクワガタを飼育してい
る吉田成希さん(大川目町)は全国の飼
育仲間と協力し、もくろんが、まちな
か水族館でオオクワガタなどを販売。9
月8日、東京都から駆けつけた飼育仲間
の伊勢山和良さん家族とともに、クワガ
タの売上全額を同様に寄付しました。
吉田さんは「全国の仲間が久慈市を心
配し、協力してくれました。人と人のつ
ながりを改めて感じます」と感謝。伊勢
山さんは「震災後、ずっと久慈市のこと
を心配していました。もくろんが本の本
当の復活も祈り、これからは協力をして
いきたいです」と思いを込めていました。

吉田さん(前列左)と伊勢山さん一家

10
15号

広報 くじ

平成 23 年 (2011 年) No.135

【ホームページアドレス】

<http://www.city.kuji.iwate.jp/>

濁流 地盤削り取る

降り続いた雨で濁流と化した久慈溪流。濁流は地盤を容赦なく削り取り、戸呂町口付近の国道 281 号は大きく欠損。生活、流通など大きな役割を担う幹線道路が一時通行止めになりました。(9月22日9時7分)



台風15号

各地で猛威

強い勢力を保ったまま9月21日から22日にかけて東日本を縦断した台風15号。その威力はすさまじく、人的被害は全国で死者13人、行方不明者3人、負傷者約300人に及びました。(9月26日現在)

直撃は免れたものの台風15号は市内各地でも猛威を振るいました。9月21日10時33分、久慈市に大雨警報が発表され、14時45分には洪水、暴風、波浪の3つの警報が追加。時間の経過とともに雨風の勢いは増し、18時10分には土砂災害警戒情報も発表されました。降り続いた雨で河川の水位

は上昇し、22日1時5分には夏井町住吉・鼻館・閉伊口地区と、長内町新長内地区の計127世帯310人に避難勧告が発令。各地で浸水や土砂崩れが発生し、通行止めになる箇所が続出しました。

床上浸水などの被害に遭った建物は非住家含みで246棟。市の被害額は、道路や河川などの土木施設を中心に2億8014万円にのぼりました。(9月27日現在)

東日本大震災から半年あまり。牙をむいた台風15号は、災害に対する備えの必要性を改めて感じさせました。

被害などの概要

市内の最大観測値など

■総降水量

255.0^{mm} (下戸鎖)
※9月21日5時~翌日6時

■1時間最大降水量

26.5^{mm} (下戸鎖)
※9月21日24時

■河川の水位

4.22^m (久慈川八日町)
※9月22日3時10分

■避難勧告 127世帯310人

〔内訳〕夏井町住吉・鼻館・閉伊口地区113世帯282人/長内町新長内地区14世帯28人

被害概要 (9月27日現在)

■人的被害 なし

■建物被害 246棟 (非住家含む)

〔内訳〕一部損壊2棟/床上浸水105棟/床下浸水139棟

■被害額 2億8,014万円

〔内訳〕土木施設2億607万円/農地農業用施設3,530万円/林業関係2,148万円 ほか

防災に役立つ一冊

「ハザードマップ」作成!

市は、風水害の危険箇所や避難場所、防災情報などをまとめた「久慈市総合防災ハザードマップ洪水・土砂災害編」を作成。11月1日付けの区長配布で全戸配布します。ぜひご活用ください。



土砂 各地で土砂崩れ。土砂崩れて一時通行止めになった国道45号長内トンネル付近(9月22日10時)



浸水 市街地など各地で浸水。床上浸水など建物への被害も多数発生(久慈駅付近・9月22日3時16分)



増水 降り続いた大雨で河川は増水。127世帯に避難勧告も発令(久慈川中の橋付近・9月22日3時32分)

よいしょ

第42回久慈地方産業まつり復興感謝祭は10月15日と16日、アンバーホール周辺で開催。子どももちつき大会では「よいしょー!」と、力を合わせてもちをつく、親子の元気な声が響きわたりました(関連記事 18頁)

浜 勝負どころ

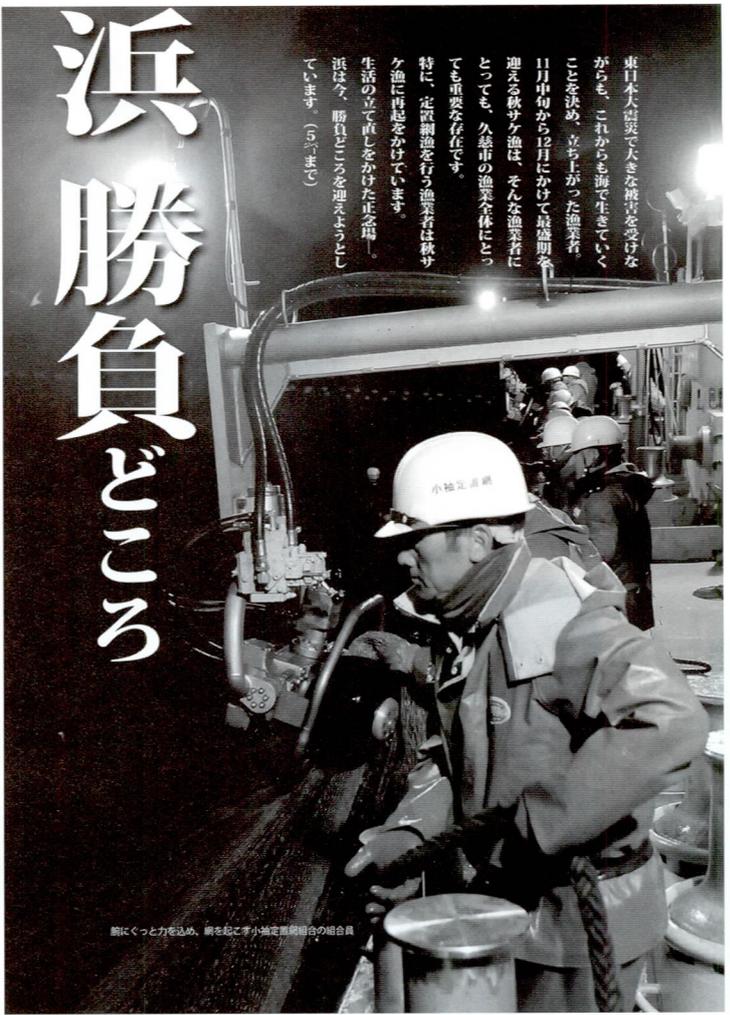
P 2—5

ごみ事情、切迫

P 12—15

平成22年度決算

P 16—17



浜勝負どころ

東日本大震災で大きな被害を受けたが、これもこれも海で生きていくことを決め、立ち上がった漁業者。11月中旬から12月にかけては最盛期を迎える秋サケ漁は、そんな漁業者にとって、大切な存在です。特に、定置網を行う漁業者は秋サケ漁に再起をかけています。生活の立て直しをかけた浜勝負。浜は今、勝負どころを迎えています。(5ヶ条)

近づく最盛期 誰もが必死

最盛期が近づく秋サケ漁。久慈市の漁業にとって重要な時期を迎え、獲る人は誰もが必死になっています。

9月末現在、市営魚市場の本年度水揚げ量は5,296トンで、前年同期と比べて112.2%と増えています。東日本大震災で大打撃を受けたが、水揚げ量が増えた一帯の漁業は夏イカの豊漁、製氷工場と給油船を早期に復旧できたため、多くの外來船を受け入れることができ、イ

カの水揚げは3,753トン、前年度比176.5%に上っています。震災前617隻あった漁船は9割以上が破産、漁船修理船などにより登録数は約250隻まで増加しています。1/魚市場に水揚げされた大量の夏イカ 2/船に氷を積む。製氷工場などの復旧が再開され、外來船の受け入れが再開された。

魚種	水揚げ量	割合
イカ	6,878.3	56.8%
サケ・マス	1,488.7	12.3%
サンマ	978.0	8.1%
イワシ	628.9	5.2%
サバ	420.9	3.5%
その他	1,714.7	14.1%
合計	1万2,109.5	100.0%

※0.1%未満は四捨五入しています

鍵となる定置網漁
定置網とは、魚を捕るための網を網や海底に設置した固定式の漁具の一つ。魚を網の中へと誘い込むような構造になっていて、中に入った魚を網を巻き上げることで一挙に捕獲します。

北道・東北地方秋サケ漁はこの定置網漁が中心です。昨年、市内でも定置網漁が設置され、盛んに漁が行われていました。大震災で漁網は大きな被害を受けましたが、漁業者の熱意と努力により、10月中旬までに9カ所で回復しています。久慈市漁業協同組合の経験豊富な松野正事は、定置網漁と秋サケ漁の重要性を語ります。

確保のため放流も
11月と12月の勝負どころを迎えるのは、稚魚の放流です。向けたサケの確保も同じです。サケは約4年かけて生まれるため、将来の水揚げ確保のためにも、稚魚を放流する必要があります。久慈市漁業協同組合では、年2〜30万尾の稚魚を放流してきましたが、大震災で久慈川河口にあった採捕場は全壊。上面に移築し、川を全上しくるサケの確保最盛期に備え、作業を進めています。

3 網に力を入れ、網をくっつき上げる。作業を進める漁師の表情は真剣そのもの。(5/3)

4 網をくっつけた後、船の近くまで引き寄せた網の中で、魚のしぼり上げをする。(5/3)

5 網から船に揚げられる大量の魚。これを数限りなく。最盛期にはこの何倍もの量が獲れる。(5/4)

海で生きる。やるしかないのです

「大震災はまだまだです。この海が自分たちの生きている場所。大震災に倒れ、船や漁具を失った漁業者も、漁業を生業として、漁に再起をかけている漁業者は、漁の現場は、その強い意志が伝わっています。昨年より高い海水温が影響して、10月までのサケの水揚げ量は速気味ですが、定置網漁が回復し、最盛期を迎えることが期待されています。大震災で漁が滞りながらも、漁業者はやるしかない。力を尽すまで、漁業を続ける。漁業協同組合の松野正事は、意気込みを語ります。

港に活気を 揺るぎない決意

「大震災はまだまだです。この海が自分たちの生きている場所。大震災に倒れ、船や漁具を失った漁業者も、漁業を生業として、漁に再起をかけている漁業者は、漁の現場は、その強い意志が伝わっています。昨年より高い海水温が影響して、10月までのサケの水揚げ量は速気味ですが、定置網漁が回復し、最盛期を迎えることが期待されています。大震災で漁が滞りながらも、漁業者はやるしかない。力を尽すまで、漁業を続ける。漁業協同組合の松野正事は、意気込みを語ります。

光と希望あふれるように

朝日を浴びながら進められる水揚げ作業。輝く朝日のように、さらに海に光と希望があふれることを、祈らずにはいられません。



再起をかける 海の男たち

大震災後も漁業を生業とし、出陣した小松定置網組合を取材しました。

「早々に継続を決定」
大震災で船や漁具を失った漁業者、窮地に立たされた漁業者。窮地に立たされた漁業者も、再起をかけています。10月17日から定置網漁を再開した小松定置網組合を取材しました。

「ここが生きる場所。どうにか漁を軌道に」
船がなければ仕事にならない。待ちに待った船が着き、船がないときは気持ちよく働けます。漁に出る船をこぼさず、漁が再開されるように、漁業者は必死の努力をしています。大震災で被害を受けた、えびさ漁も立て直し、11月にはどうにか漁を軌道に乗せたいです。

現在の 12m から、最大で 14m の高さに整備する方針が示された久喜漁港海岸防潮堤

県の整備方針

防潮堤の高さを示される

防潮堤などの現在高と 県が設定した最大高

整備主体	防潮堤などの名称	現在高	県設定最大高
市	久慈湊漁港海岸防潮堤	8.0m	8.0m
県	掘込防潮堤 (久慈新港)	7.3m	
県	久慈川河川堤防	7.0m	
県	長内川河川堤防	7.0m	
県	夏井川河川堤防	5.7m	
市	小袖防潮堤	7.3m	12.0m
県	久喜漁港海岸防潮堤	12.0m	14.0m

湾口防波堤が前提

津波防災対策を強化するため、県は防潮堤や河川堤防の高さを見直し、10月20日までに沿岸全市町村の整備方針を固めました。

県は、数十年から百数十年に一度発生する「頻度の高い津波」に対しては、防潮堤などで被害を防ぐことを目標に設定。東日本大震災の大津波や明治三陸地震津波のような「発生頻度が低い最大級の津波」に対しては、防潮堤などだけでなく、迅速な避難等で被害を減らすという「多重防御」の考え方をとりました。

県との協議の中で、市は湾口防波堤(全長3.8km)の早期完成と、防潮堤などのかさ上げを強く訴えましたが、県は湾口防波堤の完成を前提とした整備内容を上表のとおり示しました。

なお、湾口防波堤は昨年度末で計画の約24%が完成。早

意見交換会を開催

県から防潮堤などの整備方針が示されたことなどを受け、市は左表の日程で「復興に係るまちづくり」についての意見交換会を各地区で開催します。皆さんのご意見をお寄せください。

◎政策推進課 ☎ 52-2115

《意見交換会の日時・会場など》

日時	会場	対象地区
11 / 21(月) 18:30 ~	大湊公民館	夏井
11 / 22(火) 18:30 ~	中央公民館湊分館	久慈湊
11 / 24(木) 18:30 ~	市防災センター	長内元木沢・大尻・小袖
11 / 25(金) 18:30 ~	久喜公民館	久喜
11 / 28(月) 18:30 ~	玉の脇公民館	玉の脇
11 / 29(火) 18:30 ~	市役所3階・大会議室	全地区

※都合がつかない場合は、対象地区以外の日程での参加も可

Information

**リアスハイウェイ
早期実現久慈大会**
 —合同開催—
**八戸・久慈自動車道
整備促進住民大会**
12.4日

沿岸市町村が一丸となって、道路の必要性をアピールし、整備促進を目指す2つの大会を合同で開催。大会では「震災復興への取り組み(仮題)」をテーマにパネルディスカッションも行います。大会にはどなたでも参加することができます。私たちの生活に必

要不可欠な幹線道路の一日も早い完成に向け、みんなの力と思いを結集しましょう！
 ▶期日…12月4日(日) 13時～15時
 ▶会場…アンバーホール
 ◎政策推進課 ☎ 52-2115
 ◎土木課 ☎ 52-2124



広報くじ

12

2011
月1日号
No. 138

盛漁期を迎えた秋サケ漁。11月19日、小袖定置網漁組合は小袖漁港を3時30分に出港し、えびす漁場へ。網を起こし、大量の秋サケを揚げた船の上には、奮闘する海の男たちの姿がありました

海の男たちの

進む三鉄

P 2—5

秋の大会で本市選手が大活躍 **秋の栄冠**

P 12—14

久慈まめぶ部屋 **全国に久慈を発信**

P 15

放射線量率の測定結果

P 16—17



大震災から5日後に走り出した三鉄
 何とかして走らせたい—
 誰もが必死でした
 三陸鉄道 北リアス線運行本部
 金野 洋一 本部長



3月16日、荷物を手荷列車に乗り込む利用者(久慈駅)

三陸鉄道の被害概要

北リアス線(久慈～宮古)	南リアス線(金石～吉浜)
盛土など 11カ所	61カ所
橋など 15カ所	20カ所
トンネル 0カ所	4カ所
駅・車庫 1カ所	4カ所
線路など 38カ所	96カ所
信号など 5カ所	52カ所
建設機 0カ所	10カ所
小計 70カ所	247カ所
合計	317カ所

線路が流出した野田玉川付近

三陸鉄道が運行再開に向けて動き出したのは3月13日から。被害状況を見回った望月正彦社長が「走れるところからだけでも走らせよう」と判断し、翌朝から急ピッチで準備を進めました。
 14日は運行可能な区間の点検と踏手続き。15日には久慈～陸中野田間の試運転を行いながら運行方法を詰めました。津波の被害を受けた社員もいました。

が、何とかして走らせたいと、誰もが必死に朝から晩まで作業に当たりました。
 16日朝8時の災害復興支援列車第1便。ほっとした表情で列車に乗り込むお客さんの姿を見て、走らせて本当に良かったと思います。三鉄は沿岸市町村の皆さんあってのもの。今後も地域に寄り添い、少しでも皆さんの役に立てたいと思っています。



昨年4月には久慈駅から田畑までつながる予定の北リアス線。東日本大震災の被害を乗り越え、三陸鉄道も前へと進みます

始動

責任感と熱意の表れ
 全線運行再開を目指す

運行再開は3分の1

地域の悲願の鉄道として昭和59年に開業した三陸鉄道。通学など私たちにあってはなくてはならない、この地域の「足」も3月16日の東日本大震災で壊滅的な被害を受け、大きな被害を受けました。それでも社員は私たちが利用するために、震災直後から運行再開に向けて発着を問わず5日後には、小本間から久慈、陸中野田間の運行を再開20日には宮古～田老間、さらには25日には、小本間～田老間までを再開させました。社員の中には被災し、避難先から通勤した人も。震災直後の運行再開は、地域のためにという熱意と強い真意の表れでした。しかし震災の爪痕は深く、

三陸鉄道・全線復旧スケジュール

復旧工事を次の1次～3次に分けて実施。平成26年4月の全線運行再開を目指しています。



力を合わせる望月社長

再開できた区間は全線の3分の1。震災から8カ月以上が過ぎた今も、釜石市と大船渡市をつなぐ南リアス線全区間と北リアス線の陸中野田～小本間が不通となっています。

平成26年再開を目指す

そんな中、国や県などの支援を受け、本格的な復旧工事が11月3日に始まりました。同日、野田村で開かれた復旧工事安全祈願祭と起工式には、国や県、沿岸市町村などから約80人が出席。三鉄の望月正彦社長は、本格的な復旧工事を宣言しました。



安全祈願祭では、復旧工事の安全を願う。望月社長のほかは津川祥吾復興対策本部部長、岩手県知事、山形県知事など約60人が参加

進む三鉄

全線再開へ 地域とともに

陸中野田～田畑間の運行再開は昨年4月。全線の運行再開は平成26年4月を目指しています。
 地域とともに歩んできた三鉄は、震災を乗り越えてつながり続け、これからも前へと進み続けます。(5ページ)

東日本大震災で大きな被害を受けたながらも、地域のため、わずか5日後に久慈～陸中野田間の運行を再開させた三陸鉄道。11月3日、全線運行再開に向けた本格的な復旧工事が始まりました。



写真左側、陸中野田駅を過ぎたところで途切れた線路。写真右側、5年23日、宮古駅への車両搬送作業にあたる社員ら

3 広報くじNo138



得てくれる人がいる。これからは三鉄は地域のために走り続けよう

地域のために地域とともに

「開業以来、地域と密接に関わり、私たちの生活の足として、ただでなく、観光客の誘客などで産業振興と地域活性化への貢献を目標に掲げてきた三鉄。沿岸市町村の人口減少や自家用車の普及など、利用者数が減少し、その目標や地域への思いが薄れることはありませんでした。

震災直後、先が見えないような状況にも関わらず、運行再開に向けて懸命に取り組んだのも、開業以来変わらぬ地域への思いの表れ。まちが「変身」し、苦しみや悲しみ、不安ばかりが状況だからこそ、三鉄社員は鉄道マンとして、この誇りを持ち、列車を走らせようという立ち回りを決意を新たに

「とてつもない復興への道を」
 ついに復旧工事が本格化し、全線再開に向けて加速する三鉄。社員も、決意を新たに



集う
 第3回秋のさんてつまつり
 第6回さんてつ北リアス緑市
 11月6日

- 1/やませデザイン会議が企画した「つながるんだま」来場者は、だるまに付いた紙のレーベルを願いを込めて貼り付け、三鉄への思いをつづり残した
- 2/「つながるんだま」が企画された久慈駅前には、市内にもちろん全国から大勢の三鉄ファンが、もろまきでは大きな歓声が響きわたりました
- 3/三鉄とふれあえるイベントが開催された車両基地も、お祭り参加者での記念撮影も大盛況となりました
- 4/車両基地では指令室などの公開も、運行管理方法の説明などに、多くのファンが参加していました

結集

三鉄を愛する思い
 イベントに人集う

「来場し復旧を後押し」
 震災後、全線復旧を願う地元や全国の人がたから支援が寄せられた三鉄。その温かい支援に感謝を込め、三鉄では11月6日、第3回秋のさんてつまつりを開催。やませデザイン会議の応援イベント「第6回さんてつ北リアス緑市」も同時開催され、久慈駅前や車両基地が大いににぎわいました。復旧工事の本格化を喜び、三鉄を後押しするのと同じように、市内だけでなく全国各地から多くの人が集い、多彩な催しを通して車両基地にふれ、社員との交流も深めた来場者は、地域の足「三鉄」に対する愛着をより強めています。

「震災 思い一層強く」
 震災前から三鉄の利用促進活動などを展開してきた、やませデザイン会議(田中卓平 議長)と交流し、三鉄支援の「つ」を考え、震災後もすに行動を起こしました。4月29日と5月29日には三鉄、陸中野田に花を飾る復興列車企画に協力し、5月8日には応援イベントを開催。11月には11月まで1回、久慈、陸中野田、田畑の各駅さんてつ北リアス緑市を開催。三鉄を応援し続けました。「緑市などの企画には三鉄と地域がつながり続けてほしい」という思いを込め、また「田中卓平議長、生活と観光を担う三鉄は地域の財源、少しでも足を運んでもらえよう、できることをやり続けたいです」と熱い思いを口にしますが、人が集い、三鉄への思いが結集したイベント。震災で被害を受けた三鉄が、三鉄を愛する人たちの思いが一層強く、なつたように感じられました。



思いを口にしている田中議長



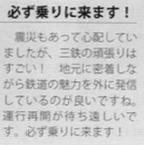
地域とともに復興へ

本格的な復旧工事が始まった11月3日、安全祈願祭、起工式の会場前で、決意を新たに前を向く三鉄社員

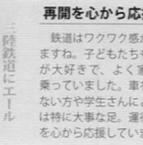
三陸鉄道株式会社
 復旧工事安全



坂本健一 さん(久慈駅 18歳) 必す乗りに来ます!



児玉剛幸 さん(陸中野田駅 18歳) 必す乗りに来ます!



山形知美 さん(久慈駅 18歳) 必す乗りに来ます!



山形知美 さん(久慈駅 18歳) 必す乗りに来ます!

「再帰を心から応援!」
 鉄道はワクワク感があります。子どもたちも三鉄が大好きで、よく家族で乗っています。車を持たない方や学生さんにとっては特に大事な足。運行再開を心から応援しています!



絆の音楽で元気に

岩手県警察と青森県警察の音楽隊による「安全・安心ふれあい絆コンサート」は10月28日、久慈高等学校で開催...



児童代表の高橋美くんと、6年のは「すばらしい演奏をありがとうございました！」と大きな声で感謝の気持ちを述べた。



明るいまちへ街路灯

10月31日、東北電力南久慈営業所(孫開健志所長)と奥ノアテック久慈営業所(福島豊所長)は「明るいまちづくり」に役立てて、LED街路灯40基を市に寄贈しました...



喜びの力走 声援と海風受けたすきをつなぐ

第16回久慈もぐらひ駅健走大会は11月6日、久慈市立総合体育館で開かれ、久慈市立第一中学校の選手がスタートした...



釣り好き集い 大漁揃って集中

釣り好き集い 大漁揃って集中

第4回サモンフィッシング大会は10月29日、久慈市(海と親しむ)旧復興支援協議会主催で、10月29日と30日、舟渡海水浴場で開催された...

被災者への救援支援物資、義援金、市への寄付金

熱い支援感謝

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、多くの救援支援物資や義援金、市への寄付金が、全国各地から寄せられました...

救援支援物資、義援金、寄付金のリスト。包括的支援基金、見舞金を追加交付、義援金の協力など。

PICKUP NEWS



アワビ漁 待望の口開け 浜活気づく

11月10日、アワビ漁が口開け、待望の漁を迎えた漁業者の熱気、浜が活気づきました。南待浜漁業生産部では6時30分から漁を開始...



- 1/地元の郷土料理「あさきぼた」作り体験
2/岩手県水産庁ではササガのつみみり、みんなが夢中になりました。
3/ノボリ屋や中庭店シイタケの収穫体験も

地域一丸 反応に手応え
侍浜町で体験学習と民泊を受け入れ、地域が一丸となって受け入れを実現...



どれも楽しい!
(前列左から)小野美菜さん、遠水菜菜さん、後列左から)月村明美さん、小野聖平さん



やって良かった
受け入れは、地元のみならず、子どもたちも楽しんでくれて、中々良かった。震災でいろいろあったけど、海の方にも人が来てくれるとうれしいね。

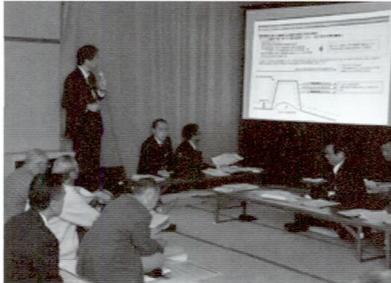
叙勲

瑞宝双光章 水上清治さん(中央)、谷地哲也さん(川崎町)、旭日双光章 白岩道夫さん(川崎町)

表彰

社会教育活動に尽力 東北地区 木地谷 シキさん(山形町)、成谷 明子さん(天童町)
納税制度 普及発展に貢献 細谷地 諒吉さん(中央)

スクリーンに資料を映し出し、県から示された防潮堤の整備方針などを一つ一つ説明



今後のまちづくりのイメージなどが示された資料に目を通しながら、山内市長の説明に聴き入る参加者

「復興に係るまちづくりについての意見交換会」を計6会場で開催

新たなまち地域と共に

市は11月21日から29日までの日程で「復興に係るまちづくりについての意見交換会」を計6会場で開催。津波防災施設や避難道路等の整備イメージなどを示し、新しいまちづくりの方向性について地域と意見を交わしました。

11月22日、久慈湊地区を対象に中央公民館湊分館で開催した意見交換会には約40人が参加。はじめに山内隆文市長が「県が示した防潮堤などの整備方針は決して満足できるものではありませんが、その上に立った防災を考えていかなければなりません。減災と多重防災、そして迅速な避難行動を柱とし、津波に強いまちを目指していきます」と、あいさつしました。

続いて市の担当課から、防潮堤などの整備に関する県の考え方や、津波防災施設などの整備イメージ、津波浸水シ

ミュレーションの内容を説明。津波の心配が少ない高台等への集団移転についても国の支援制度などを説明しました。津波を目の当たりにした参加者からは、湾口防波堤の早期完成や避難施設の整備を切に願う声が多数。集団移転に関する質問や、より目に見える形での復興策を期待する意見なども寄せられました。

最後に山内市長は「新しいまちづくりは地域と共にくり上げるものと考えています。皆さんの声を聞き、一緒になって取り組みを進めていきます」と力を込めた言葉で締めくくりました。

他市町村に先駆け、7月22日に復興計画を定めた市は、現在、より具体的な事業を盛り込む「久慈市復興計画実施計画」の策定作業中。一日でも早く復興を実現するため、今後も全力を尽くします。

Information

市役所の年末年始休業期間



※休業中も婚姻、出生、死亡など戸籍に関する届け出は、日直で受け付けます

12月29日*
1月3日火

市役所の業務は12月29日(木)～1月3日(火)まで、年末年始のためお休みします。市の施設などの休業期間(通常の休館日などを含む)は右表のとおりです。

休業期間	施設名など
12/29(木)～1/3(火)	●市役所(山形総合支所・各支所を含む) ●アンパーホール ●おらほーる ●市立公民館 ●水道事業所 ●国保山形診療所 ●図書館 ●市民体育館 ●屋内体育施設 ●三船十段記念館 ●福祉の村 ●山形老人福祉センター ●勤労青少年ホーム ●ごみ焼却場 ●粗大ごみ処理場(ごみの収集も休みになります)
上記以外	●子育て支援センター(12/28午後～1/3) ●福祉の村屋内温水プール(12/29～1/2) ※1/3は10時～16時まで無料開放 ●もぐらんびあ・まちなか水族館(12/31、1/1) ●観光交流センター(1/1) ●久慈地区火葬場(12/31午後、1/1)
無休	●べっぴんの湯 ●平庭山荘 ●平庭高原スキー場 ●ガタゴンサライ

思い一つに

県内外のデザイナーや写真家などの有志が、復興に向かう被災地の姿を撮影し、全国に支援を呼び掛けている「復興の狼煙ホスタープロジェクト」。12月18日、二子朝市が開かれた玉の塩漁港で、久慈市撮影会が行われました。多くの思いや願いが一つに。参加者は、復興に向けたそれぞれの思いや願いを胸に写真に納まっています。



平成 24 年 **復興祈願**
P 2-3

新春座談会 **再起へ邁進**
P 4-9

リアス・ハイウェイ早期実現久慈大会
P 12

平成 24 年

復興祈願

東日本大震災から徐々に笑顔を取り戻してきた日本。平成 24 年、さらに復興が進み、まちに笑顔が広がることを全国の人たちも願っていることでしょう。今年は「たつ年」、小学校 5 年生は年男年女を迎える年代です。今回は沿岸部の小学校 5 年生に、新年の抱負や、今後のまちへの希望などを伺いました。さあ皆さん、今年も気持ちを一つにして力を合わせ、昇り竜のように復興に向かって突き進んでいきましょう！



笑顔がいっぱいの一年に！！

元気いっぱい笑顔を広げる長内小学校（左）と久慈漁小学校の 5 年生の皆さん。





漁業者の大きな収入源となるワビやニギハヤヒなど、魚もつくり育てる漁業の振興が求められます

■中野市長 マイナスのスタターで、多くの皆さまの支えに頑張ってきました。その中で、漁業は一人、絶対に行けないことや、ありがたみ、力を合わせるとの大切さを感じました。朝市に対し、多くの期待を寄せていただき感謝しています。

■市長 海の中の状況は一番分かっていられるのは漁業者の方です。その情報を漁協や行政も共有し、共に資源の回復について考え、漁業再生に向けて頑張っていくと思います。そして次に、新年にあたり漁協、水産加工業者との意見交換をおこなう予定です。■経済部長 各漁業者との施設や、一部の加工業者など、また復興まで至っていないところもあります。魚市場の機能も果たしていくには、漁業者を加え、共に立ち上げることが必要です。



防災圏も強化された北日本漁船の新工場

■市長 東市長は世界の経済動向を見据えながら、受注に世界を東西走らせておられます。■市長 東市長は世界の経済動向を見据えながら、受注に世界を東西走らせておられます。■市長 東市長は世界の経済動向を見据えながら、受注に世界を東西走らせておられます。

■経済部長 3月末を目標に復興・復興をさらに進めたいと考えています。■市長 新工場のために新しい用を確保し、久慈市は12万円になりました。■市長 海外からの受注は高くなっていますが、船の燃料である原油価格の高騰に対応し、現在、少ない燃料で動かせる省エネ船型を開発に注力しています。

が、事業の今後の見通しなどを開かせたい。■市長 新工場のために新しい用を確保し、久慈市は12万円になりました。■市長 海外からの受注は高くなっていますが、船の燃料である原油価格の高騰に対応し、現在、少ない燃料で動かせる省エネ船型を開発に注力しています。

●むがし、とおる ●北日本漁船社長。世界の経済情勢を注視し、先を見据えた事業を展開。地域の雇用、産業活性化にも大きく貢献

再起に邁進する皆さんの思い 市も全力で取り組みを進めます



■市長 私たちにとって期待できるお話をいただきました。津波による大きな被害を受けてしまいましたが、私たちがはげしく生きていかなくてはならない宿命にあると考えています。結びに、それぞれの立場から海への思いをお聞かせください。

今後と海

■市長 昔から海は海といふ認識を持っていましたが、今回を考えると微々たるものが、たまたま海がなればなりという考えもありません。■市長 昔から海は海といふ認識を持っていましたが、今回を考えると微々たるものが、たまたま海がなればなりという考えもありません。

■中野市長 地域には、宝の山のような海のおかげで生きてこれたと言っている人がいます。私たちが漁業者は海がなければ生きていけないという



終了後、表情を揃え対談者。このような笑顔が広がる一年になることを願っています

TOPICS 東日本大震災支援関係

放射能計測のケイトにドクダミ



科学の力に目撃

身近な材料を使ったおもしろ科学の力を学ぶ「科学のお祭り」は11月23日、久慈小学校で開催されました。



運動で楽しさと夢を

健康イベント「ファミリーゲームズ（日本アスリート会議など主催）」は12月10日、市民体育館で開催。

東日本大震災関係 INFORMATION

土地や家屋 固定資産税を減額する特例措置があります

国税庁課税52-2114

東日本大震災で被災し、代わりの土地や家屋を取得した場合などは、固定資産税が減額になります。また、原子力災害の警戒区域内となった代わりの土地や家屋を取得した場合も減額になります。

Table with 3 columns: 適用されるもの, 特例の内容など, 申告. It details tax reduction rules for damaged residential land and houses.

Table with 3 columns: 適用されるもの, 特例の内容など, 申告. It details tax reduction rules for land and houses in evacuation zones.

※市外で被災した人が、久慈市内に土地や家屋を取得する場合も対象になります

固定資産税 償却資産申告も忘れずに!

東日本大震災で償却資産を失った場合も申告が必要です。申告しないと、そのまま課税される場合もあります。

11月11日～12月10日受付分

被災者への救援支援物資、義援金、市への寄付金

熱い支援感謝

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、多くの救援支援物資や義援金、市への寄付金が、全国各地から寄せられました。

Advertisement for donations and support. Includes sections for '熱い支援感謝', '救済支援物資', '寄付金', and '義援金'. Lists various organizations and methods for sending support.

心込めて音色とふれあい

クラシックやアニメの曲などを披露した後は、楽器ふれあいタイムも開催。学生らの指導の下、子どもたちはさまざまな楽器に挑戦し、目を輝かせていました。



1/あいさつする細田会長
2/写真を映し出して全国B-1での集約を報告
3/土曜入りに大盛り上がり

久慈まめぶ部屋後援会設立総会

久慈まめぶ部屋後援会設立総会

まめぶ発信に力 後援会が発足

頑張りに応え一緒に

平成22年4月の発足以降、精力的な活動を展開し、23年11月には第6回全国B-1グランプリで全国に久慈市とまめぶをPRした久慈まめぶ部屋（小笠原部屋）を支援しようとして、12月18日、「久慈まめぶ部屋後援会」が発足しました。同日、市内催事場で開かれた設立総会には約50人が出席し、市観光物産協会の細田俊男会長が「まめぶ部屋の活動によるPR、経済効果は相当大きいと考えています。この頑張りに応え、さらに高みを目指して皆さんと一緒に応援していければと思います」と、あいさつ。議事では、活動内容などを定める会則が異議なく

承認され、後援会長には細田会長が選任されました。

支えを力に全国発信

総会後は会場を移し、同部屋の全国B-1報告と、同部屋のPRを交えての懇親会を開催。懇親会では、メンバーが感謝を込めて相撲掛けや土俵入り披露して盛り上げ、後援会員は「活動を続け、全国に発信していこう」「土俵を目指し共に頑張ろう」など、熱い言葉で激励しました。

小笠原部屋は「後援会設立は信じられないと思います。皆さんの思いを受け、一緒に頑張って、まめぶが久慈をPRしていきたい」と思い、決意を新たにしました。支えは力。久慈市の全国発信に向け、まめぶ部屋をみんなで応援していきますよ！



後援会 会員を募集中!!

久慈まめぶ部屋の活動支援を通じて久慈市の活性化を目指す「久慈まめぶ部屋後援会」。同後援会では随時、入会を受け付けています！久慈市を元気にしたいという熱い思いで奮闘するまめぶ部屋。「応援したい！」とお考えの方は、まずは事務局まで気軽にお問い合わせください。

▶年会費 ①個人会員 5千円
②法人・団体会員 1万円

☎事務局・久慈市観光物産協会 ☎66-9200



1/受け付けなど意気込み活動
2/パネルディスカッション
3/リアスみちづくり女性の会・大朝野子会長の挨拶を聞き

大会決議後、「カンパロー」の両岸合わせ、勢を突き上げる参加者

道路完成に向け 沿岸が団結!

1200人 完成祈え

八戸市と仙台市を結ぶ高規格道路「三陸沿岸道路」の早期完成を祈るリアス・ハイウェイ早期実現久慈大会と八戸・久慈自動車道整備促進住民大会は12月4日、アンパルホールで開催。八戸市から久慈市までの7市の市長や市民など、沿岸市町村から約1200人が参加しました。

はじめに主催者を代表し、山内隆文市長が「東日本大震災からの復興は入り口に立つばかり。三陸沿岸道路をシボルとして沿岸市町村が一つになり頑張っていきたいと思います」と力強く呼び掛けました。続いて沿岸7市の市長などが復興をテーマにパネルディスカッションを実施。各市長の訴えに対し、東日本大震災復興対策本部の津川祥吾岩手現地対策本部長は「三陸沿岸道路は生活道にと考え、全国モデルになるようまちはつくりを一緒に進めたい」と思っています」と述べました。

最後は、三陸沿岸道路の早期完成を国に要望する大会決議を宣言し、カンパローを三唱。参加者全員で勢を高く突き上げ、一致団結しました。

これから協力

国では三陸沿岸道路を、重点的に整備する復興道路に位置づけ、一部整備を開始。被災地間の連携を促し、早期復興に向けて、7年程度での全線開通を目指しています。一日も早い復興と、道路の完成に向けて、これからも力を合わせていきましょう。



久慈市 八戸市 大船渡市 釜石市 宮古市 久慈市 八戸市
菅原 茂 戸部 太 戸田公明 野田武明 山本正徳 山内隆文 小林 眞

沿岸7市長 復興へ思い一つ

沿岸7市長はパネルディスカッションで、復興に懸ける決意や現在の課題などを発言。7市の復興に懸ける思いは一つ。三陸沿岸はこれからも団結して前に進みます。

夜を彩る

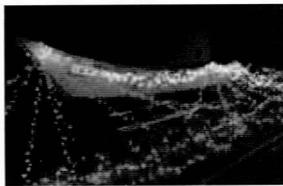
かわいらしいサンタの歌声と電飾が、街なかの夜を彩りました

広報くじ 1月1日号 No.140



植物油、大豆インクを使用しています

再生紙を使用しています



上 進行役を務めた久慈高校長内校の
澤里佳恵さん(左)と植野郁美さん
中 3人で仲良くボタンを押して点灯
下 土風館周辺は青や白の電球で美しく

11月26日、やませ土風館周辺を約2万球のLED電球で彩る「街なかクリスマスイルミネーション」が始まりました。同日の点灯式には門前保育園ぞう組の23人と保護者など約70人が参加。夏は北限の海女クラブとして活躍した高校生2人の進行により、同園の関美里ちゃん、田表日和ちゃん、櫻澤正悟くんの3人がボタンを押して電球を点灯させました。点灯後は園児がハンドベルの演奏や合唱などを披露。園児のかわいらしい姿と美しい光景に参加者からは大きな拍手が沸き起こりました。点灯は3月11日まで。まちがより元気で明るくなるようにと願いを込め、17時から22時まで点灯されます。

もうクリスマス!

上手に発表ができてうれしい! きれいだし、サンタさんの服も着れて、もうクリスマスが来たみたい!



秋山幸太朗くん
(門前保育園)

INTERVIEW

すっごくきれい!

寒かったけど、みんなと一緒に楽しかったです! ビカビカしてすっごくきれい。また遊びに来たいです!



宮澤 葵ちゃん
(門前保育園)

元気を願い2万球

街なかクリスマスイルミネーション

1球だけある赤色の電球。見つけると願いかなうというウワサも...



編集後記

▶平成24年のスタート。みんなの思いが一つになり、さらに前に進んでいければとの願いを込め、復興支援ポスター撮影会での集合写真を表紙にしました▶つらく、悲しいことが、あまりにも多過ぎた平成23年ですが、振り返ると、人の力強さや優しさを感じた年のようにも感じます▶震災の被害を乗り越えようとする皆さん。そして支えようとする皆さん。取材を通して、人が持つ力の大きさを実感し、何度も心を打たれました▶今回の座談会もその一つ。対談者が発する一つ一つの言葉から大きな力を感じました▶いろんなものを乗り越えて迎えた平成24年。今年が皆さんにとって良い年になることを心からお祈りします。(八重桜)



大澤虹心

ちゃん(5歳)

空珠

ちゃん(2歳)

大澤重城さん、恵さんの長女と次女(寺里)



本校卒の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くじ担当(☎02-2116)に応募ください。写真はお返しします。

1月4日、朝日を浴びながら、水揚げ作業を進める漁業者。年明けから港が活気づきました



1
15号

広報くじ

平成24年(2012年) No.141

[ホームページアドレス]

<http://www.city.kuji.iwate.jp/>

市営魚市場で初売り式 漁の安全と豊漁祈る

復興元年 港活気づく

水揚げ増に意気込み

市営魚市場の初売り式は1月4日、同市場で開催。漁業者や関係者など約100人が一堂に会し、漁業の復興に向けて団結しました。

はじめに、山内隆文市長が「今年は復興元年です。漁業の復興に向けて、一緒になって全力で取り組んでいきましょう」と力を込めてあいさつ。市漁業協同組合の巨健一郎組合長も「震災で大きな被害を受けましたが、多くの支援もいただき、復旧・復興が進ん



市漁協役員などが豪快にもちまき。大きな歓声が響きわたりました

できました。たつ年にあやかり、今年の水揚げが一層伸びるよう、頑張っていきたいと思えます」と意気込みました。漁業繁栄の願いを込めて山内隆文市長など5人が鏡開きをした後は、中平武雄副組合長の声に合わせて威勢よく乾杯。恒例のもちまきも行い、最後は漁の安全と豊漁を祈り、一本締めで締めくくりました。

今年の一步 威勢良く

震災で甚大な被害を受けながらも全国からの支援と漁業者の奮闘により、魚市場の平成23年4月12月の水揚げ量は前年同期とほぼ同等の1万1319トンを確保。この日もスルメイカやサケなど約21トンの水揚げされました。漁業者の威勢の良い声が飛び交い、年明けから活気づいた港。漁業復興に向けた今年的一步を踏み出しました。

Information

海区選挙人名簿の 登載申請を 受け付けます

2月1日*~10日

岩手海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の登載申請を2月1日(水)~10日(金)まで受け付けます。申請できるのは右表に該当する人です。忘れずに申請ください。

また同名簿の縦覧期間は次のとおりです。

▶縦覧期間…3月20日(火・祝)~4月3日(火) 8時30分~17時

▶縦覧場所…市役所2階・選挙管理委員会事務局
選挙管理委員会事務局 ☎52-2111 内線472

申請できる人(次の全てに該当)

- 平成4年7月24日までに生まれた人
※ただし平成4年7月生まれの方は、平成24年執行の選挙期日確定によっては登載外になる場合があります
- 平成24年2月1日現在で市内に住所か事業所がある人
- 年間90日以上(※)漁業に従事している人。または、被災したため、現時点では従事していないが今後漁業に従事する意思がある人
※災害廃棄物撤去作業や、将来見込まれる従事日数も含む



威風堂々

■久慈市成人式

絆誓い新たな一歩
P 2—5

■久慈市中高生海外派遣研修

感謝伝え心通わす
P 8—9

地デジ化期限は3月31日
P 22—23

市消防出初め式は1月9日に開催。市街地での分列行進では、消防団員らが威風堂々とした姿を見せ、「今年もまちと市民を守る」という気概を示しました。（関連記事105）

広報くじ

3

2012
月1日号
No.144

あの日から、もうすぐ一年

支え合って、一歩ずつ

東日本大震災 激動の一年

歩み

P 2-11

はつらつママさんバレーボール

P 14

教育奨励賞・市民文芸賞

P 16

旧長内中学校敷地内に建つ応急仮設住宅。東日本大震災の発生からもうすぐ一年。入居する皆さんは、今もしつかりと支え合い、一歩ずつ前に進もうとしています。(2月19日・関連記事10頁)

浸水範囲などを記した図面を広げながら意見を出し合う参加者

出入口

3
15号

広報 くじ

平成 24 年 (2012 年) No.145

[ホームページアドレス]

<http://www.city.kuji.iwate.jp/>

対策のさらなる充実へ地域の声

津波防災 課題洗い出す

久慈市防災ワークショップ(津波)を開催



1



2

1/誰もが真剣。避難時の混乱や避難所での状況を振り返りながら、問題点などについて意見を出し合う参加者

2/発生時の避難ルートや、今後、改善が必要な点などを図面に記しました

津波防災対策のさらなる充実に向けたスタート。東日本大震災の避難・被害状況を踏まえ、今後の津波防災対策を考える「久慈市防災ワークショップ(津波)」が2月26日、防災センターで開かれました。はじめに市の菅原慶一総務部長が「市民の皆さんの安全のため、地域の実態に沿った防災対策を進めたいと考えています。望ましい避難路など、一つでも多くの意見を出してもらえれば」と、あいさつ。その後、約40人の参加者が、地区ごとに5班に分かれて話し合いを進めました。

話し合いには市の担当者のほか、進行・まとめ役として岩手大学工学部の小笠原敏記准教授、同農学部の子論准教授なども参加。参加者は、震災発生時の避難行動、津波による被害と混乱を振り返りながら、避難路や避難所の課題などを洗い出しました。参加者からは「車で混雑し、動きがとれない道があった」、「避難所に暖房やトイレ、発電機があれば」などの意見が。市は同ワークショップを継続して開催し、防災計画の見直しなど、地域の声を反映した取り組みを進める予定です。

Information

祝・三鉄再開 いわて DC スタート記念

久慈駅
まつり
4.1日 10時～

待望の運転再開！ 東日本大震災による被害から復旧工事を進めている三陸鉄道は、4月1日から北リアス線・陸中野田～田野畑間の運転を再開します。

三鉄の運転再開を祝い、同日から始まる「いわてDC(デスティネーションキャンペーン)」を記念し、次により久慈駅まつりを開催。屋台出店やミニSL運行など盛りだくさん。ぜひご来場ください。

▶日時…4月1日(日)10時～

▶会場…三陸鉄道久慈駅周辺

時間	主な内容
10:00～	バルーンリリース、ミニSL
11:30～	ご当地キャラじゃんけん大会
12:00～	景品付き宝まき
12:30～	アンダーパスミニライブ
13:00～	たらしらウォーキング

📍イベント・商工観光課 ☎ 52-2123

🚆列車運行・三鉄久慈駅 ☎ 52-0177

野田～田野畑間
待望の運転再開



広報くじ

4

2012
月1日号
No.146

東日本大震災から1年となった3月11日、市漁業協同組合で久慈市東日本大震災復興祈念式を挙行。出席者はさまざまな思いを胸に、犠牲者を追悼し、復興へ一丸となって進み続けることを誓いました（関連記事2-3頁）

思いを胸に

久慈市東日本大震災復興祈念式

追悼と決意

P 2-3

平成24年度 久慈市の動き

施政方針

ほか

P 4-11

●本号の内容 PICKUP ● JR 八戸線運転再開 / 消防団第9分団2部屯所が開所 / 高機能消防指令センター完成 / 久喜小がビデオコンテストで審査員特別賞 ほか

戸呂町小・荷軽部小閉校、山根小併設に

学校にありがとう

P 22-27

長内町の4自主防災会に認定証



大震災で実証された地域の絆の大切さ。大きな被害を受けた長内町の4地区は、自らの地域を災害から守るため、自主防災会を立ち上げました。

これで市内の自主防災組織は10団体に。認定証の交付を受けたのは次の4団体です。

- ▶**中長内自主防災会**（稲村和雄会長・加入150世帯）
- ▶**下長内自主防災会**（卯道勝志会長・加入168世帯）※同日付けで「災害時要援護者名簿の共有について個人情報保護に関する協定」も市と締結しました
- ▶**元木沢自主防災会**（一沢明男会長・加入217世帯）
- ▶**上長内町内会自主防災会**（小屋畑武彦会長・加入407世帯）

43団体2個人に感謝状を贈呈 ※敬称略、各50音順



- 【寄付金】▶秋田県鹿角市▶秋田県能代市▶(財)アリオン音楽財団▶荏原環境プラント(株)▶春日野部屋▶菊原光治▶JFEミネラル(株)▶新日本婦人の会▶(財)全国市町村振興協会▶(社)全国信用金庫協会▶(社)大日本水産会▶東亜道路工業(株)▶東京書籍(株)▶日本国土開発(株)▶(株)はるやまチェーン▶北星鉱業(株)▶(株)細谷地▶北海道弟子屈町▶水ing(株)▶みちのく銀行グループ▶宮城建設(株)▶(株)宮商▶公益財団法人モラロジー研究所▶山口建設(株)▶リトアニア共和国クライペダ市

- 【義援金】▶アメリカ合衆国フランクリン市▶(株)イーシステム▶岩本歯科医院▶インディアナ日米協会▶(株)ウラタ▶小千谷市民義援金▶高校生ボランティアグループ・グリーンピース、SEED、中学生ボランティアグループ・ドリームズブロッコリー▶社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団▶(株)CVSベイエリア▶ジョンソン郡コミュニティ財団▶税理士法人市川会計▶曹洞宗岩手県宗務所▶東京電波(株)▶(株)東山堂▶日軽建材工業労働組合▶日本共産党中央委員会▶日本自治体労働組合総連合▶(株)ミゾタ▶(株)ユニバース

- 【支援活動】▶さかなクン



体験発表・支援活動

久慈地区災害ボランティア
久世一彦さん

活動で感じたのは地域の強い絆。若い世代も泥にまみれ、汗を流す姿に心を打たれました。助け合いと郷土愛、頼もしさを感じる活動でした。



体験発表・避難と対応

日本地下石油備蓄(株)久慈事業所
大藤友詳 所長

迅速な避難と行動で社員も岩盤タンクも守ることができました。震災後の緊急対応も速やかに実施。これも地元と全国の支援のおかげです。



基調講演・教訓と今後

岩手大学工学部
堺茂樹 教授

湾口防波堤など構造物は決して無駄ではありません。また、訓練などは継続することが重要です。心構えと訓練の積み重ねが命を守ります。

その後は、岩手大学工学部の堺茂樹教授が「東日本大震災からの教訓と今後のあり方」と題して基調講演。津波から社員と基地を守った日本地下石油備蓄(株)久慈事業所の「大藤友詳」所長と、被災者のために懸命な活動を展開した久慈地区災害ボランティアの久世一彦さんが、自身の体験から迅速な避難と助け合いの重要性を熱弁しました。

眞福祈り、復興誓う

体験発表後は、献花用の花を一人一人手にして市営魚市場に移動。肌を刺す厳しい寒さの中、遺族など多くの市民も集まりました。

会場では国主催の追悼式の様子も大型スクリーンで中継。大震災の地震発生時刻の14時46分、全員で海に向かって黙とうをささげ、犠牲になった方々の眞福を祈りました。

あれから一年。海を見つめ、言葉を発せずに悔しさや悲しさなどをかみしめる参列者。最後は犠牲者への思いを込めて献花台に花をささげ、全市民一丸となって復興に突き進むことを決意しました。



犠牲になった方々の眞福を祈って献花



国の追悼式を大型スクリーンで中継

犠牲者への追悼と復興への決意。言葉を発せずに、さまざまな思いをかみしめる出席者



あの「3月11日」から1年

追悼

久慈市東日本大震災復興祈念式を挙行

と決意

3月11日、久慈市東日本大震災復興祈念式を挙行。
悔しさや悲しさなど、さまざまな思いを胸に、犠牲になった方々を追悼し、復興に向けて全市民一丸となって突き進むことを決意しました。

手を携えて力の限り

まちを破壊し、船や家、命をも奪った東日本大震災。発生から1年を迎えた3月11日、市は、久慈市東日本大震災復興祈念式を市漁業協同組合で挙行しました。国や県のほか関係団体などから350人が出席。犠牲になった方々を追悼し、復興に向けて難局に立ち向かうことを決意しました。山内隆文市長は「多くの支援のもと、取り組みが着実に進んでいることに感謝。今後、も皆さまと手を携え、力の限り復旧・復興に取り組むことを誓います」と決意。八重櫻

友夫市議会議長も「市とともに、市議会も全力で復旧・復興に取り組んでいきます」と言葉に力を込めました。

感謝と期待を込めて

国・県関係者のあいさつの後は、おおむね100万円以上の寄付金や義援金などで市を支援した43団体2個人に感謝状を贈呈。代表して宮城建設株式会社と、さかなクンが受領しました。

続いて、同日付けで自主防災会を立ち上げた長内町の4団体に認定証を交付。高まる地域の結束と防災力に、感謝と期待を込めました。



東日本大震災復旧復興本部規程

平成23年3月30日

訓令第4号

市長部局

議会事務局

教育長並びに教育委員会の事務局及びその所管に属する教育機関

選挙管理委員会事務局

監査委員事務局

農業委員会事務局

市長の権限に属する水道事業所

(設置)

第1条 平成23年3月11日に発生した東日本大震災からの復旧及び復興を適切かつ迅速に推進するため、久慈市東日本大震災復旧復興本部（以下「復旧復興本部」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 復旧復興本部の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 東日本大震災に係る復旧復興計画の推進に関すること。
- (2) 東日本大震災に係る復旧及び復興（以下「復旧復興」という。）に係る施策の確実な実施と総合調整に関すること。
- (3) その他復旧復興に係る重要事項に関すること。

(組織)

第3条 復旧復興本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって組織し、別表に掲げる職にある者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第4条 本部長は、復旧復興本部を統括する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるとき、又は本部長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は、本部長が招集する。

- 2 本部長は、必要があると認めるときは、本部員以外の職員又は外部の関係機関の

者に会議への出席を要請することができる。

(庶務)

第6条 復旧復興本部の庶務は、総務部総務課において処理する。

(廃止)

第7条 本部長は、復旧復興本部の設置の目的が達成されたと認めるときは、復旧復興本部を廃止するものとする。

(補則)

第8条 この訓令に定めるもののほか、復旧復興本部の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この訓令は、平成23年3月30日から施行する。

附 則 (平成23年4月1日訓令第5号)

この訓令は、平成23年4月1日から施行し、改正後の東日本大震災復旧復興本部規程の規定は、平成23年3月30日から適用する。

別表（第3条関係）

区 分	職 名	職 務
本 部 長	市 長	復旧復興本部の統括
副 本 部 長	外 館 副 市 長 末 崎 副 市 長	本部長の補佐及び本部長に事故があるとき、又は本部長が欠けたときの職務の代理
本 部 員	総 務 部 長 総 合 政 策 部 長 総合政策部付部長 市 民 生 活 部 長 健 康 福 祉 部 長 農 林 水 産 部 長 産 業 振 興 部 長 建 設 部 長 山形総合支所長 会 計 管 理 者 水 道 事 業 所 長 教 育 長 教 育 次 長 議 会 事 務 局 長	所管ごとの関連事項の実施責任者

備考 本部長が不在の時に副本部長が代理する順序は、市長の職務の代理に関する規則（平成18年久慈市規則第7号）に準ずる。

東日本大震災記録集編集運営委員会設置要領

＜平成23年10月24日 部長決裁＞

(設置)

第1条 東日本大震災に係る記録集を編集し、更なる支援の促進と、今後の防災対策に資することを目的として、東日本大震災記録集編集運営委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(取扱事項)

第2条 委員会で取り扱う事項は、次のとおりとする。

- (1) 記録集の編集に関すること
- (2) 記録集のダイジェスト版の編集に関すること。
- (3) その他、記録集の編集に関し必要なこと。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織し、別表第1に掲げる職にあるものをもって充てる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、前項に掲げる者のほか、市の職員のうちから委員を指名することができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員長は、委員会を統括する。

2 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときに、その職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は、必要に応じて、委員長が招集する。

2 副委員長及び委員は、東日本大震災記録集編集に関するものについて調査、資料収集等を行い、会議で情報提供することとする。

3 委員長は必要があると認めるときは、委員以外の職員又は外部の関係機関の者に会議への出席を要請することができる。

(編集班)

第6条 編集を円滑に行うため、委員会に東日本大震災記録集編集班を（「編集班」という）を置く。

2 編集班の班員は、別表第2に掲げる職員をもって充てる。

3 委員長は、必要があると認めるときは、職員又は外部の関係機関の者を班員として要請することができる。

(庶務)

第7条 連絡会議の庶務は、総務部総務課において処理する。

(補則)

第8条 この要領に定めるもののほか、連絡会議の運営その他に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

- 1 この要領は、平成23年10月 日から施行する。
- 2 この要領は、平成24年3月31日限り、その効力を失う。

別表第1（第3条関係）

区 分	職 名	職 務
委員長	総務部長	会議の統括
副委員長	総務課長	委員長の補佐及び委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときの職務代理
委 員	消防防災課長 政策推進課長 まちづくり振興課長 社会福祉課長	

別表第2（第6条関係）

区 分	職 名
班 員	総務課行政文書グループ総括主査 総務課行政文書グループ主任 消防防災課消防グループ総括主査 消防防災課防災グループ総括主査 政策推進課企画政策グループ総括主査 政策推進課秘書グループ総括主査 まちづくり振興課広報統計グループ総括主査 まちづくり振興課広報統計グループ主任 社会福祉課社会長寿グループ総括主査 社会福祉課社会長寿グループ主査 選挙管理委員会事務局選挙グループ総括主査

平成24年3月31日発行

編集・発行

久慈市災災害対策本部
久慈市東日本大震災復旧復興本部
久慈市
久慈市東日本大震災記録集編集運営委員会

事務局 久慈市総務部総務課

〒 028-8030

岩手県久慈市川崎町1番1号

TEL 0194-52-2111 (代表) 内線 212

Eメール：kujishi@city.kuji.iwate.jp

